

第7回くらしと生活設計に関する調査 報告書

2026年3月

一般財団法人 ゆうちよ財団

目 次

I 調査の概要	1
1. 調査目的	3
2. 調査内容	3
3. 調査対象	3
4. 抽出方法	3
5. 調査方法	3
6. 調査期間	3
7. 回収状況	4
8. 回答者の属性	4
(1) 性別	4
(2) 未既婚	4
(3) 本人および配偶者の健康状態	5
(4) 年代	6
(5) 父母の存否	7
(6) 逝去した父母の没年	8
(7) 本人・配偶者・それぞれの父母の最終学歴	9
(8) 世帯主からみた続き柄	10
(9) 住居および生計をともにしている家族人数	10
(10) 子ども人数（養子・継子・非同居含む）	11
(11) 子どもの状況	11
(12) 現在同居者	14
9. この報告書を読む際の注意	15
II 結果の概要	17
1. 消費生活等について	19
(1) 買い物について	19
(2) 電車やバスの中で他人に席を譲ること	24
(3) 直近1年間の寄付・募金回数	24
2. 小学生の頃のことについて	25
(1) 高学年の頃の家庭の収入状況	25
(2) 高学年の頃の父親と母親の職業	26
(3) 高学年の頃の家の仕事の手伝い	28
3. 金融の知識について	29
(1) 暮らしに役立つ金融知識・情報	29

(2) 預金保険の保護対象だと思う金融商品	31
(3) 金利の計算	32
(4) 預金口座の利率とインフレ率の差について	33
(5) 株式購入と投資信託について	34
(6) 投資意向について	35
(7) 金融教育を受けた経験	36
4. クレジットカードについて	37
(1) 自分名義クレジットカードの保有状況	37
(2) 自分名義クレジットカードの選択理由	38
5. カードローンや消費者金融について	39
(1) カードローンや消費者金融からの借入状況	39
(2) 最近3年間のカードローンや消費者金融から借入回数	40
(3) 現在のカードローンや消費者金融からの借入総額	41
(4) カードローンや消費者金融からの現在の借入への返済	42
6. 決済方法について	43
(1) 現金払いとキャッシュレス決済	43
(2) 各種支払いに利用する決済方法	46
(3) スマホ決済の利用状況・利用意向	48
(4) スマホ決済を利用しない理由	51
7. 相続対策について	53
(1) 自身の財産の相続に対する準備	53
(2) 相続対策のきっかけ	54
(3) 相続対策を行っていない理由	55
(4) 親の相続の準備	56
8. リスク性金融商品について	57
(1) リスク性金融商品を保有する必要性	57
(2) リスク性金融商品の保有・運用経験	58
(3) リスク性金融商品の保有・運用の目的	60
(4) リスク性金融商品の損益状況	62
(5) リスク性金融商品を保有・運用していない理由	63
(6) 魅力を感じるリスク性金融商品	64
(7) 税制が優遇される長期資産形成制度の利用	65
(8) NISA を利用しない理由	67
(9) プラチナ NISA とこども支援 NISA の利用意向	69
9. 就業状況について	70

(1) 現在就業状況（本人・配偶者）	70
(2) 就業者の雇用形態（本人・配偶者）	71
(3) 就業者の業種（本人・配偶者）	74
(4) 就業者の職種（本人・配偶者）	77
(5) 就業先の従業員数（本人・配偶者）	81
(6) 就業者の就労時間（本人・配偶者）	84
(7) 就業者の就労時期（本人・配偶者）	87
(8) 就業者の仕事に対する満足度（本人）	90
(9) 昨年の同じ月と比較した就労収入の変化.....	91
10. 収入と支出、社会保険について	94
(1) 昨年1年間の就労収入（本人・配偶者）	94
(2) 昨年の世帯年収（総収入・手取り）	97
(3) 昨年ひと月あたりの世帯支出.....	100
(4) 家計の収支状況.....	101
(5) 消費者物価上昇に伴い家計で起こったこと	101
(6) 家計の保有金融資産残高	102
11. 住居について.....	104
(1) 住居形態・所有者	104
(2) 取得経路・取得時期	106
(3) 住宅購入価格・資金の内訳	108
(4) 自己資金以外の購入資金	110
(5) 借入金融機関・金利タイプ・借入金利	112
(6) 持ち家の3年後の資産価値予測（持ち家居住者）	115
(7) ひと月の家賃（賃貸居住者）	117
12. 金融機関の利用状況について	118
(1) 利用している金融機関.....	118
(2) 最も預金残高が多い金融機関での利用サービス.....	120
(3) 行員等がいる窓口を利用している金融機関.....	121
(4) 銀行等の窓口を利用する目的、理由.....	122
(5) 銀行等の窓口を利用する頻度・最もよく窓口を利用する金融機関	124
(6) 最もよく窓口を利用する金融機関のロケーション	125
(7) 窓口を利用する金融機関の店舗の変更	126
(8) 銀行等の窓口を利用しない理由	127
Ⅲ 調査票（付：単純集計結果）	129

I 調査の概要

1. 調査目的

本調査は、個人の生活設計や暮らしむきに関する考え方を調査することにより、個人金融に関する調査・研究に役立てることを目的とする。

2. 調査内容

調査項目は次のとおりである。なお、具体的な質問内容については、「Ⅲ 調査票（付：単純集計結果）」を参照。

- (1) 消費生活等について
- (2) 小学生の頃のことについて
- (3) 金融の知識について
- (4) クレジットカードについて
- (5) カードローンや消費者金融について
- (6) 決済方法について
- (7) 相続対策について
- (8) リスク性金融商品について
- (9) 就業状況について
- (10) 収入と支出、社会保険について
- (11) 住居について
- (12) 金融機関の利用について

3. 調査対象

20歳以上の男女個人 5,000人

4. 抽出方法

- (1) 層化二段無作為抽出法により全国から 250 の調査地点を選び、各調査地点から 20 歳以上の個人を無作為に 20 人選ぶことによって、計 5,000 の調査対象者（標本）を抽出した。
- (2) 標本抽出には住民基本台帳を使用した。

5. 調査方法

本調査は、一般社団法人 中央調査社に委託して実施した。

抽出した調査対象者に依頼状と調査票を送付した後、記入済調査票の回収にあたっては、対象者に「調査員による訪問」ないし「郵送」のどちらかを選んで提出してもらった（郵送法と郵送留め置き法の併用）。

6. 調査期間

2025年11月14日（金）～2026年1月8日（木）

7. 回収状況

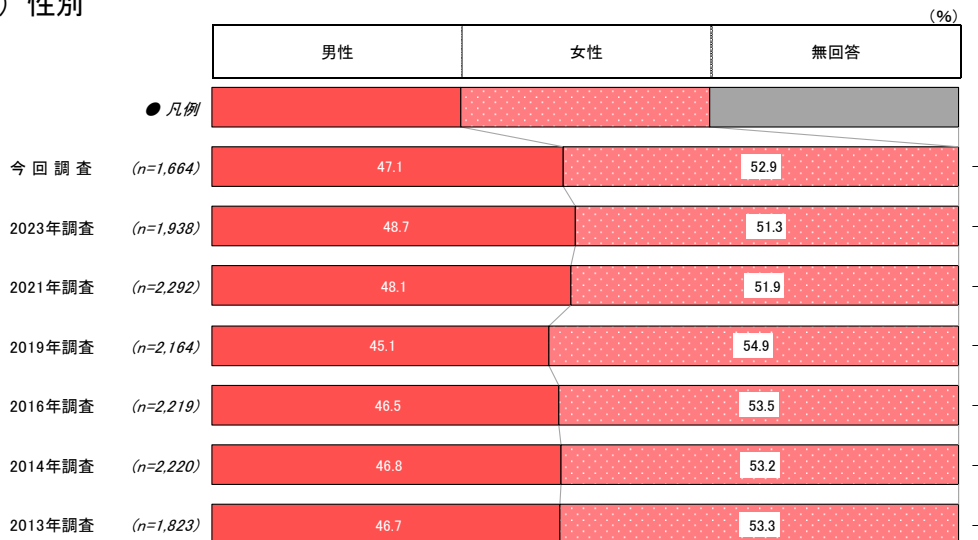
有効回収数（回収率） 1,664 票（33.3%）

〈地域別〉

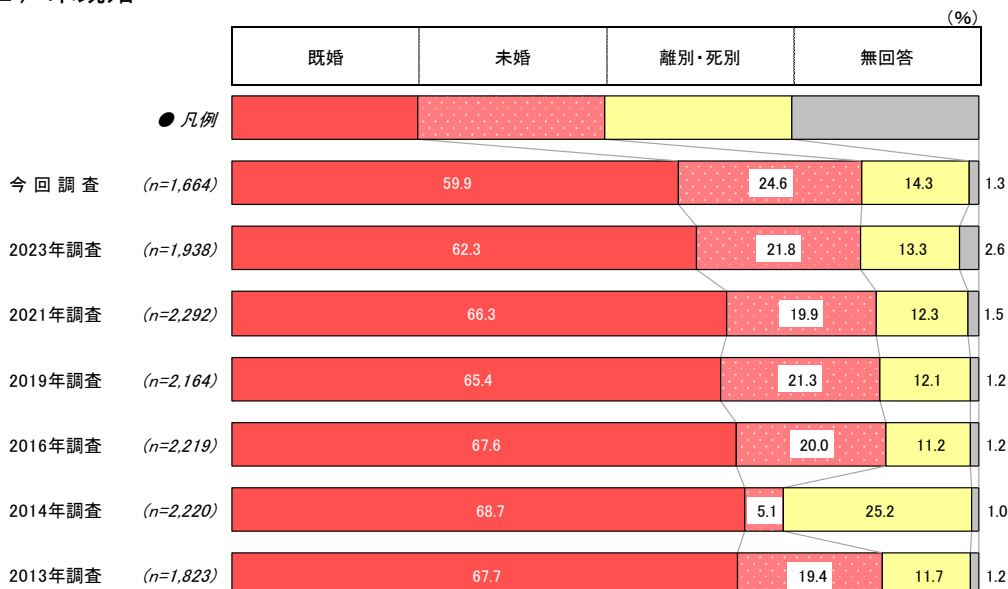
	抽出数	回収数	回収率
全 国	5,000	1,664	33.3%
北海道	220	95	43.2%
東 北	340	150	44.1%
関 東	1860	564	30.3%
北 陸	200	67	33.5%
中 部	580	217	37.4%
近 畿	820	247	30.1%
中 国	280	93	33.2%
四 国	140	45	32.1%
九 州	560	186	33.2%

8. 回答者の属性

（1）性別

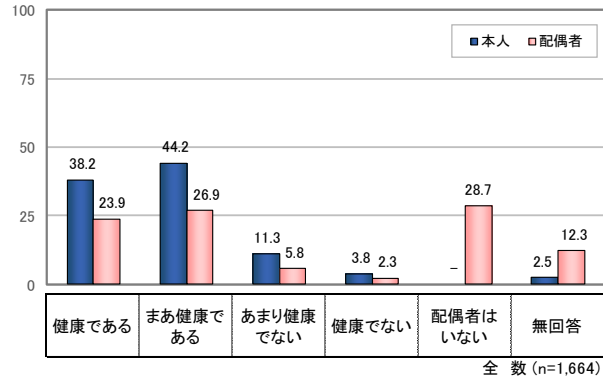


（2）未既婚

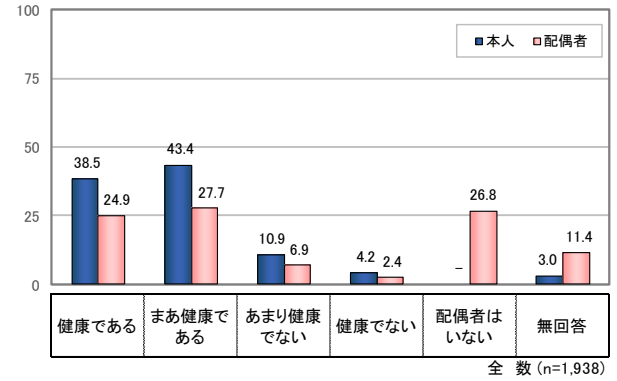


(3) 本人および配偶者の健康状態

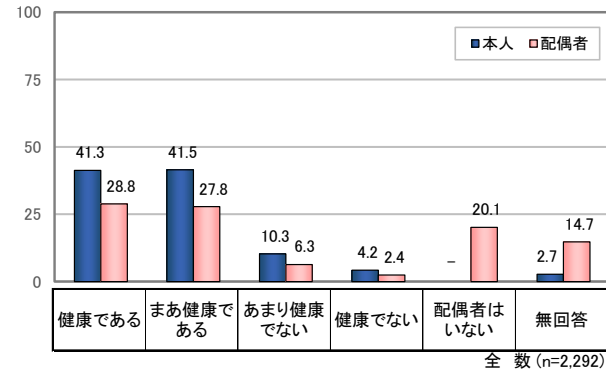
【今回調査】



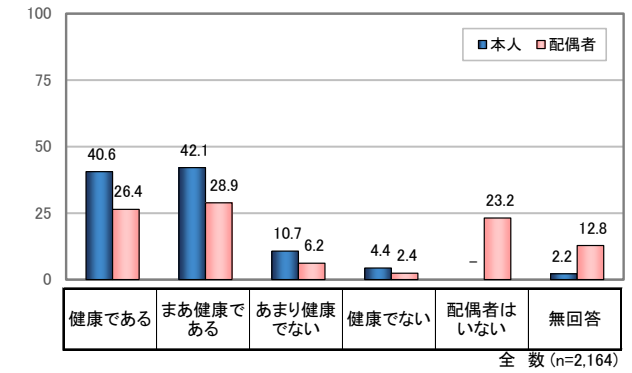
【2023年調査】



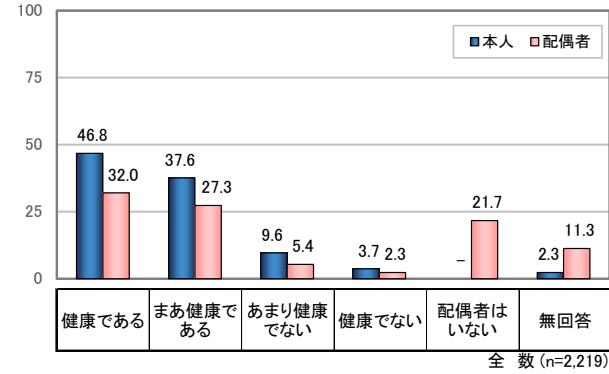
【2021年調査】



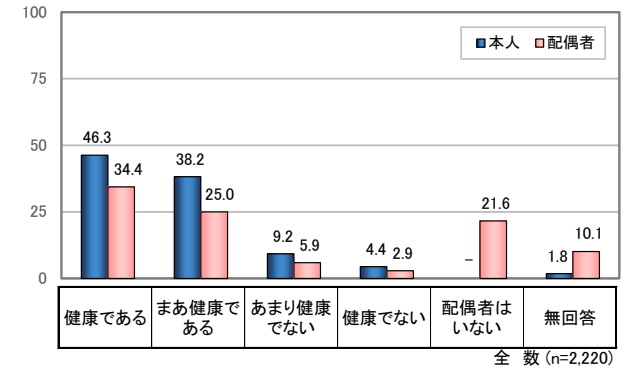
【2019年調査】



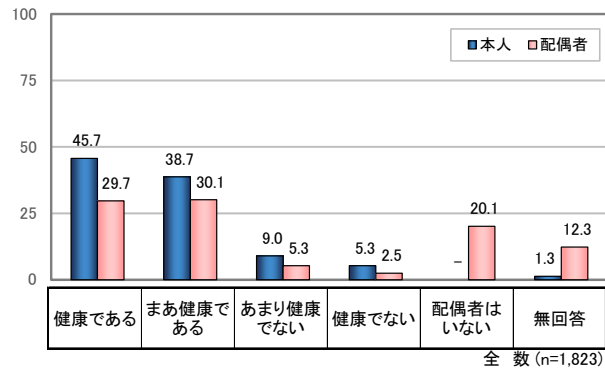
【2016年調査】



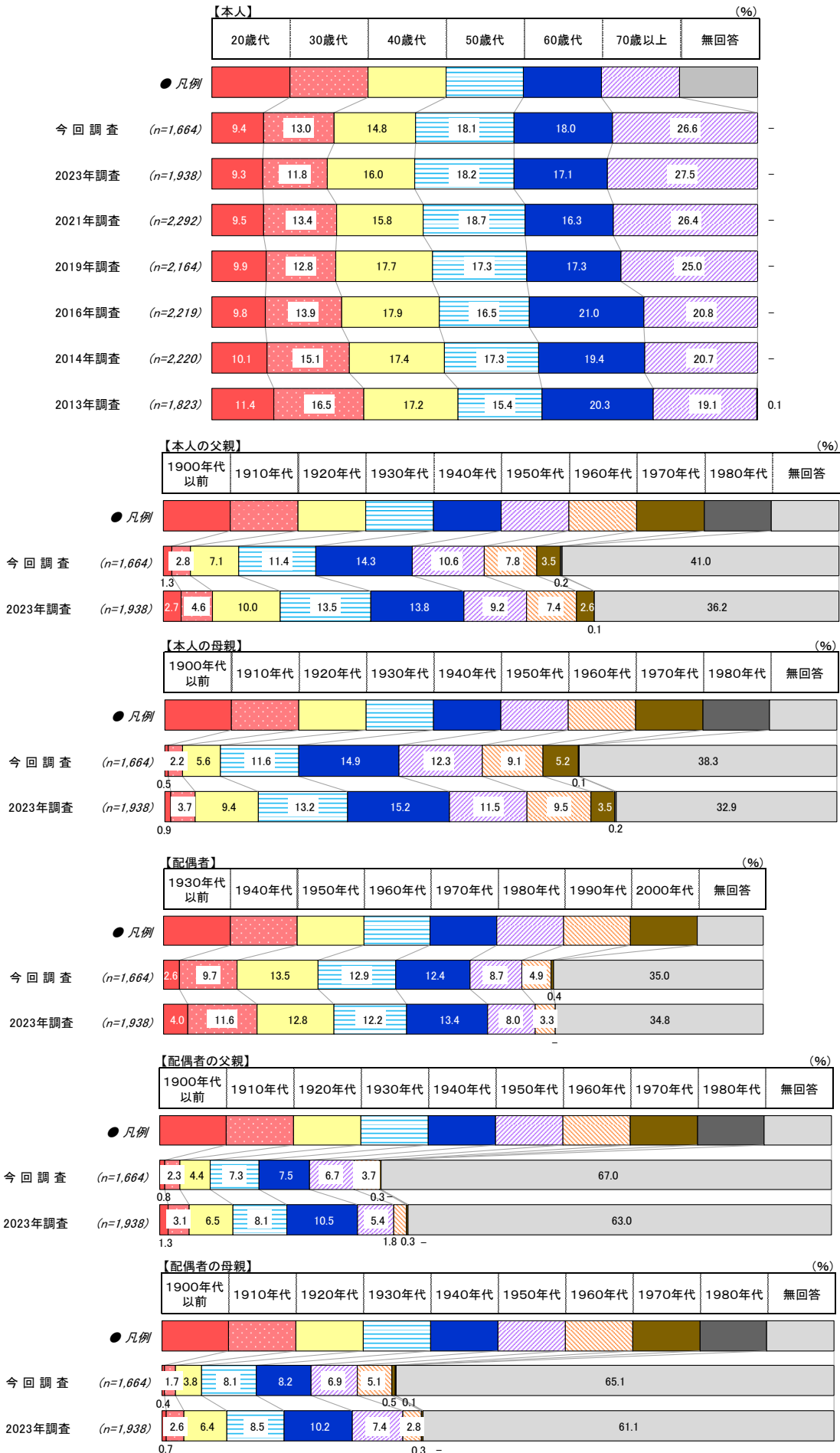
【2014年調査】



【2013年調査】

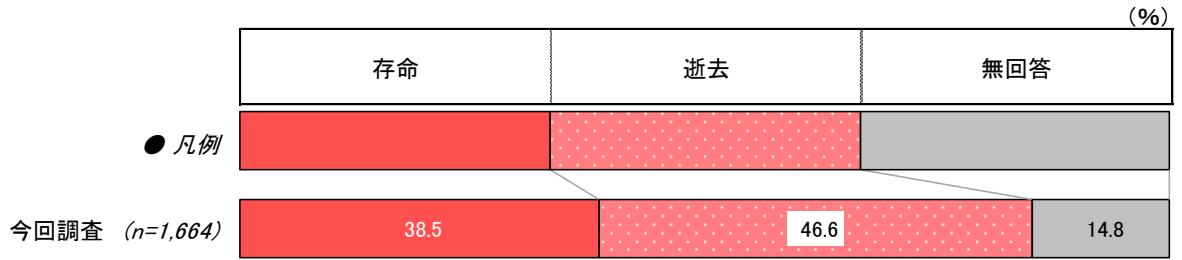


(4) 年代

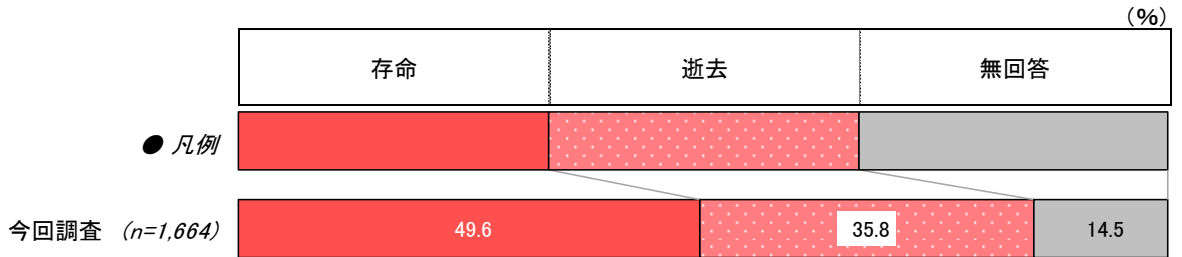


(5) 父母の存否

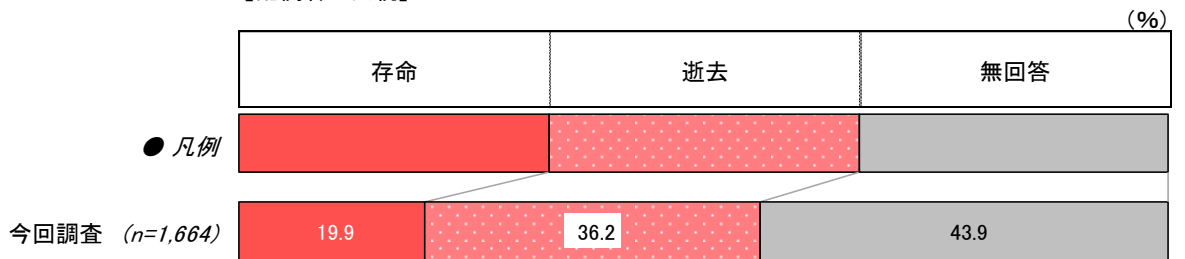
【本人の父親】



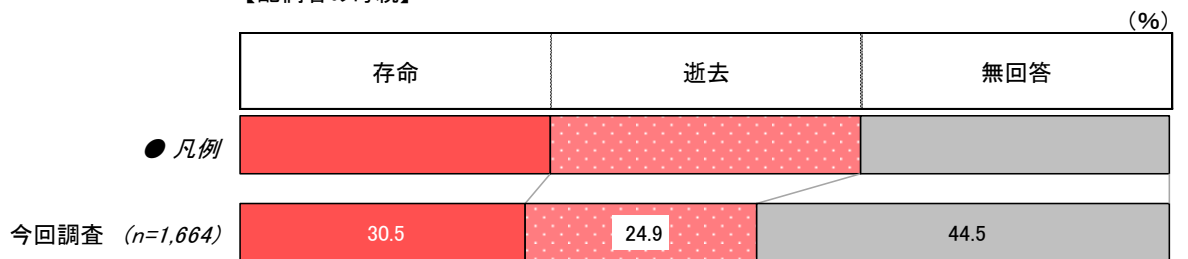
【本人の母親】



【配偶者の父親】

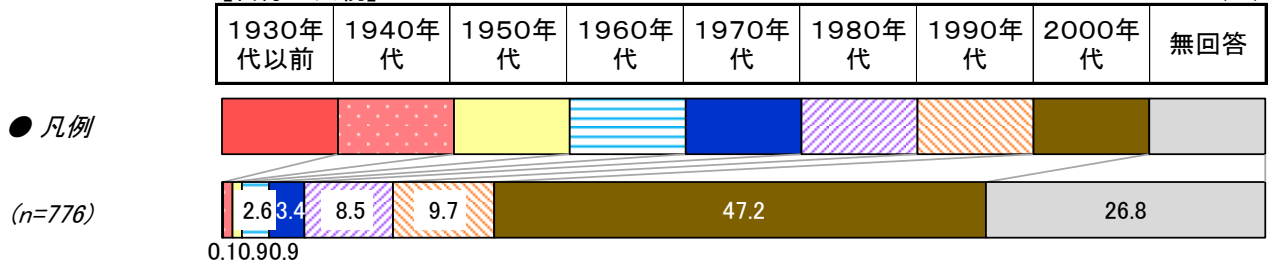


【配偶者の母親】

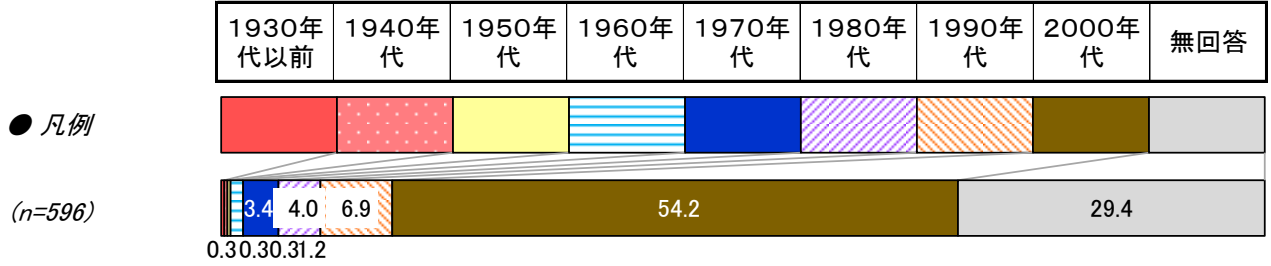


(6) 逝去した父母の没年

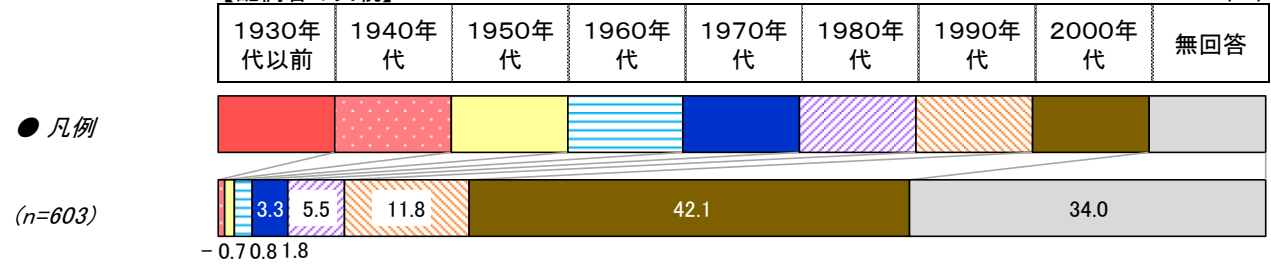
【自分の父親】 (％)



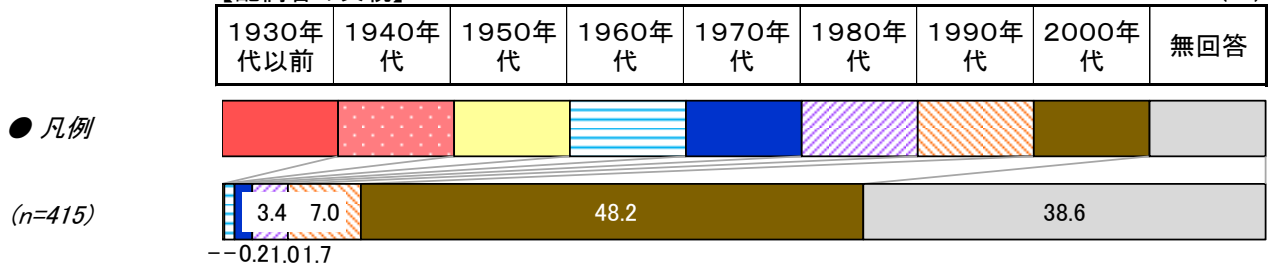
【自分の母親】 (％)



【配偶者の父親】 (％)



【配偶者の父親】 (％)



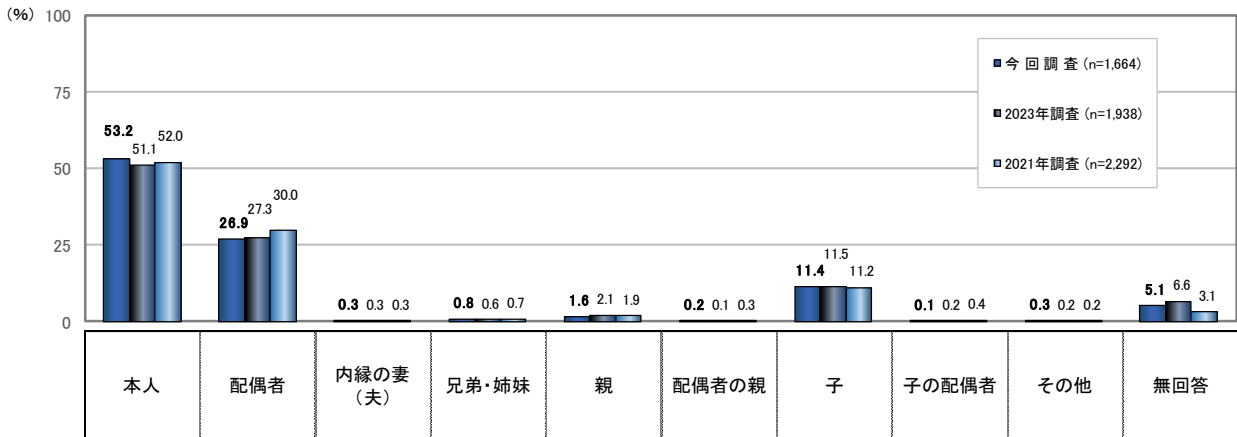
(7) 本人・配偶者・それぞれの父母の最終学歴

(96)

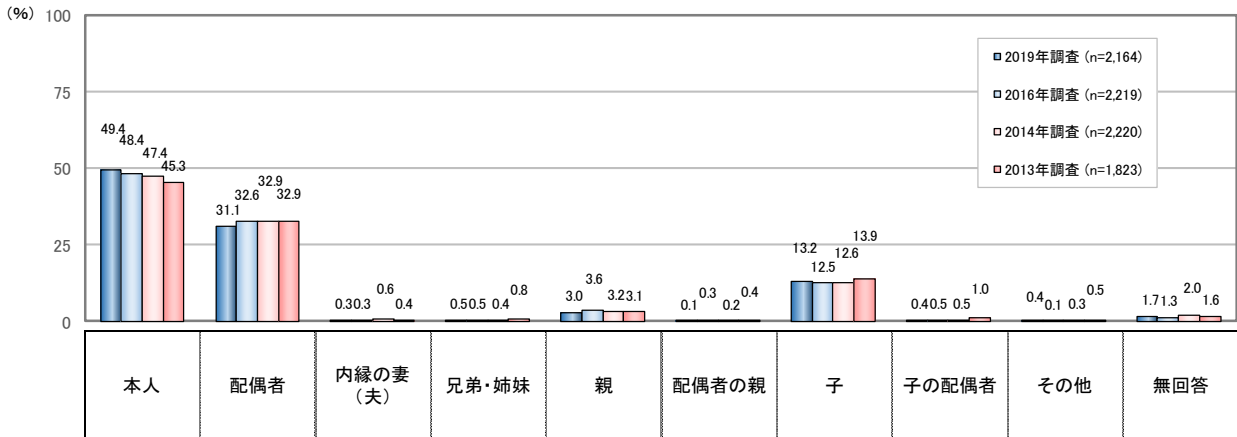
		中学校 (旧制小・ 高等小)	高等学校 (旧制中・ 旧制高女)	専修学校・ 各種学校	短大・ 高等専門 学校	大学・ 大学院 (文系)	大学・ 大学院 (理系)	その他	わからない	無回答	
本人	今回調査	n=(1,664)	5.8	33.5	10.0	11.4	19.6	10.3	0.2	0.2	9.1
	2023年調査	n=(1,938)	5.4	35.4	9.5	12.2	17.6	8.7	0.4	0.1	10.8
	2021年調査	n=(2,292)	9.0	37.9	9.8	12.4	18.2	8.9	0.5	0.4	2.9
	2019年調査	n=(2,164)	9.8	39.0	9.9	12.8	17.3	7.3	0.9	-	2.9
	2016年調査	n=(2,219)	10.6	40.4	9.0	12.5	15.9	7.5	0.1	0.5	3.5
	2014年調査	n=(2,220)	12.0	41.2	8.5	12.0	14.1	7.5	0.1	0.3	4.3
	2013年調査	n=(1,823)	13.1	42.6	8.2	12.3	13.2	6.9	0.7	0.6	2.4
本人の父親	今回調査	n=(1,664)	21.3	28.3	3.1	1.7	10.8	5.9	0.5	13.4	15.0
	2023年調査	n=(1,938)	21.3	27.2	1.9	2.3	9.7	4.8	0.2	10.2	22.4
	2021年調査	n=(2,292)	28.1	30.1	2.8	2.6	11.0	6.2	0.6	12.2	6.5
	2019年調査	n=(2,164)	31.3	29.3	2.6	3.0	9.9	5.1	0.5	11.3	6.9
	2016年調査	n=(2,219)	31.2	28.9	2.7	2.7	9.9	3.9	-	12.9	7.9
	2014年調査	n=(2,220)	32.9	27.1	2.8	2.4	8.5	4.2	0.2	13.0	8.9
	2013年調査	n=(1,823)	34.4	28.6	2.0	2.5	9.1	4.2	0.4	11.1	7.7
本人の母親	今回調査	n=(1,664)	20.4	33.7	4.1	8.1	4.9	1.6	0.4	12.1	14.6
	2023年調査	n=(1,938)	20.8	32.2	4.3	6.7	4.6	1.0	0.1	9.4	20.9
	2021年調査	n=(2,292)	27.4	36.8	4.2	8.2	4.6	1.0	0.3	11.1	6.3
	2019年調査	n=(2,164)	29.8	36.3	3.4	7.6	4.3	0.8	0.3	10.6	6.8
	2016年調査	n=(2,219)	29.0	36.3	3.3	7.6	3.2	0.4	0.2	12.0	8.1
	2014年調査	n=(2,220)	31.7	34.3	3.5	6.7	3.0	0.7	0.1	11.1	8.8
	2013年調査	n=(1,823)	34.0	32.4	3.3	7.5	3.6	0.5	0.4	10.3	8.0
配偶者(離別・死別の 場合は元配偶者を含 む)	今回調査	n=(1,664)	4.3	24.2	6.2	8.7	13.8	6.4	0.2	0.9	35.3
	2023年調査	n=(1,938)	4.7	24.8	5.7	9.4	13.6	6.3	0.1	0.4	34.9
	2021年調査	n=(2,292)	6.3	29.4	6.0	9.1	13.7	6.8	0.1	0.9	27.5
	2019年調査	n=(2,164)	7.0	31.1	5.8	8.5	13.6	5.4	0.4	1.0	27.3
	2016年調査	n=(2,219)	8.1	29.8	6.3	8.8	12.5	5.9	0.1	1.0	27.4
	2014年調査	n=(2,220)	10.1	33.1	5.7	8.2	10.4	5.7	0.2	1.4	25.1
	2013年調査	n=(1,823)	10.7	37.1	5.8	9.0	13.0	7.7	0.3	1.2	15.3
配偶者の父親	今回調査	n=(1,664)	12.4	19.0	0.6	0.8	5.2	3.2	0.2	15.6	42.9
	2023年調査	n=(1,938)	13.7	17.6	1.0	1.0	5.4	2.6	0.2	11.2	47.3
配偶者の母親	今回調査	n=(1,664)	12.4	21.4	1.2	3.4	3.1	0.4	0.2	15.1	42.8
	2023年調査	n=(1,938)	13.3	20.7	1.3	3.0	2.6	0.6	0.3	11.1	47.0

(8) 世帯主からみた続き柄

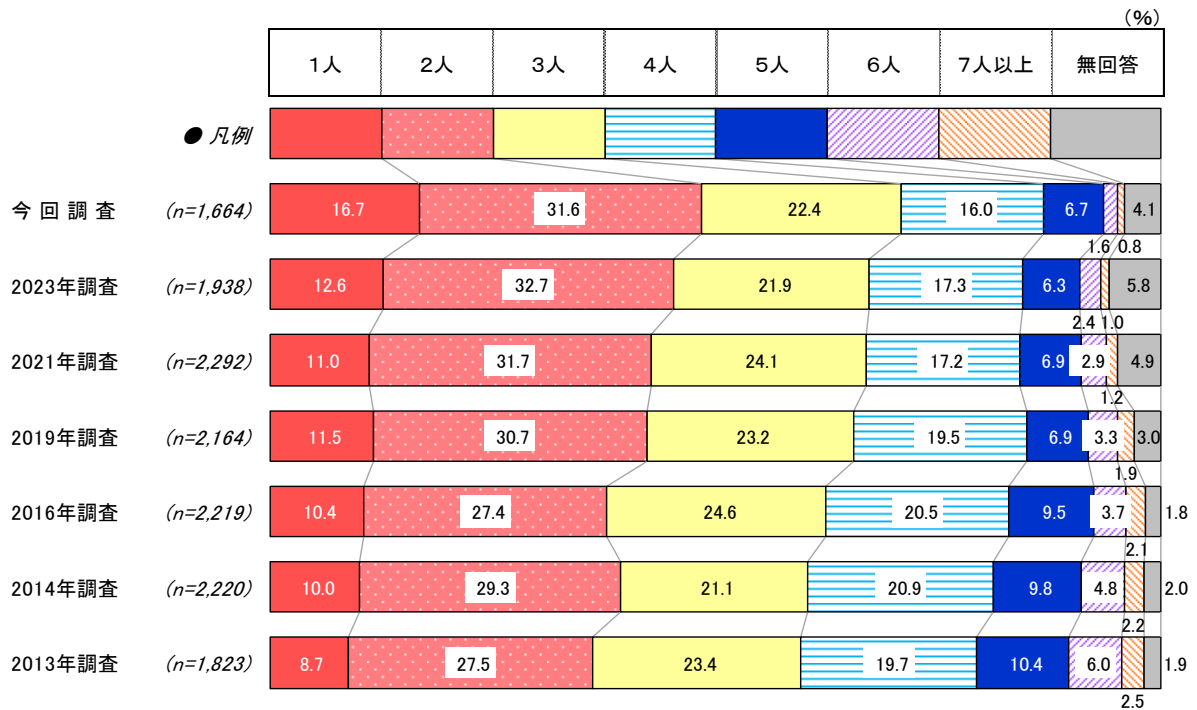
【2021年調査以降】



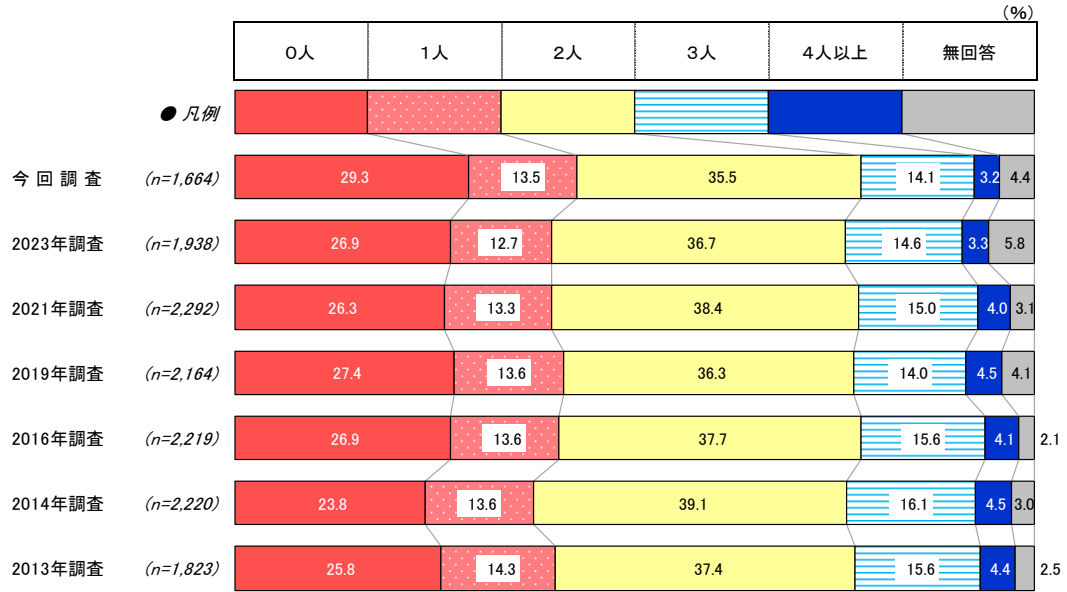
【2019年調査以前】



(9) 住居および生計をともにしている家族人数



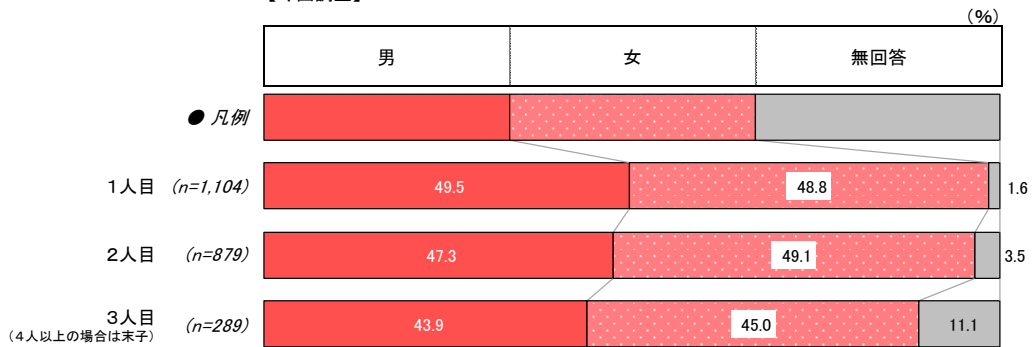
(10) 子ども人数 (養子・継子・非同居含む)



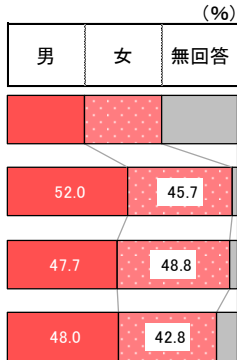
(11) 子どもの状況

①性別

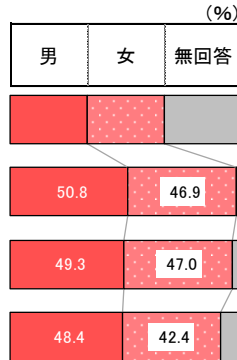
【今回調査】



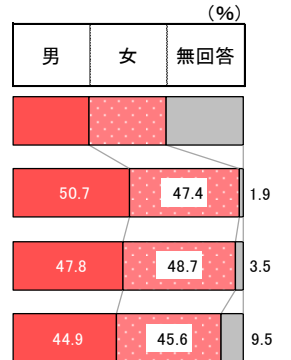
【2023年調査】



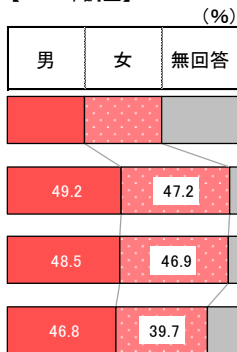
【2021年調査】



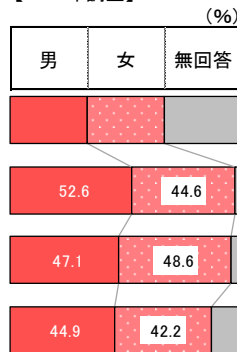
【2019年調査】



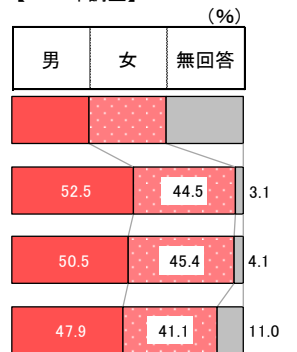
【2016年調査】



【2014年調査】



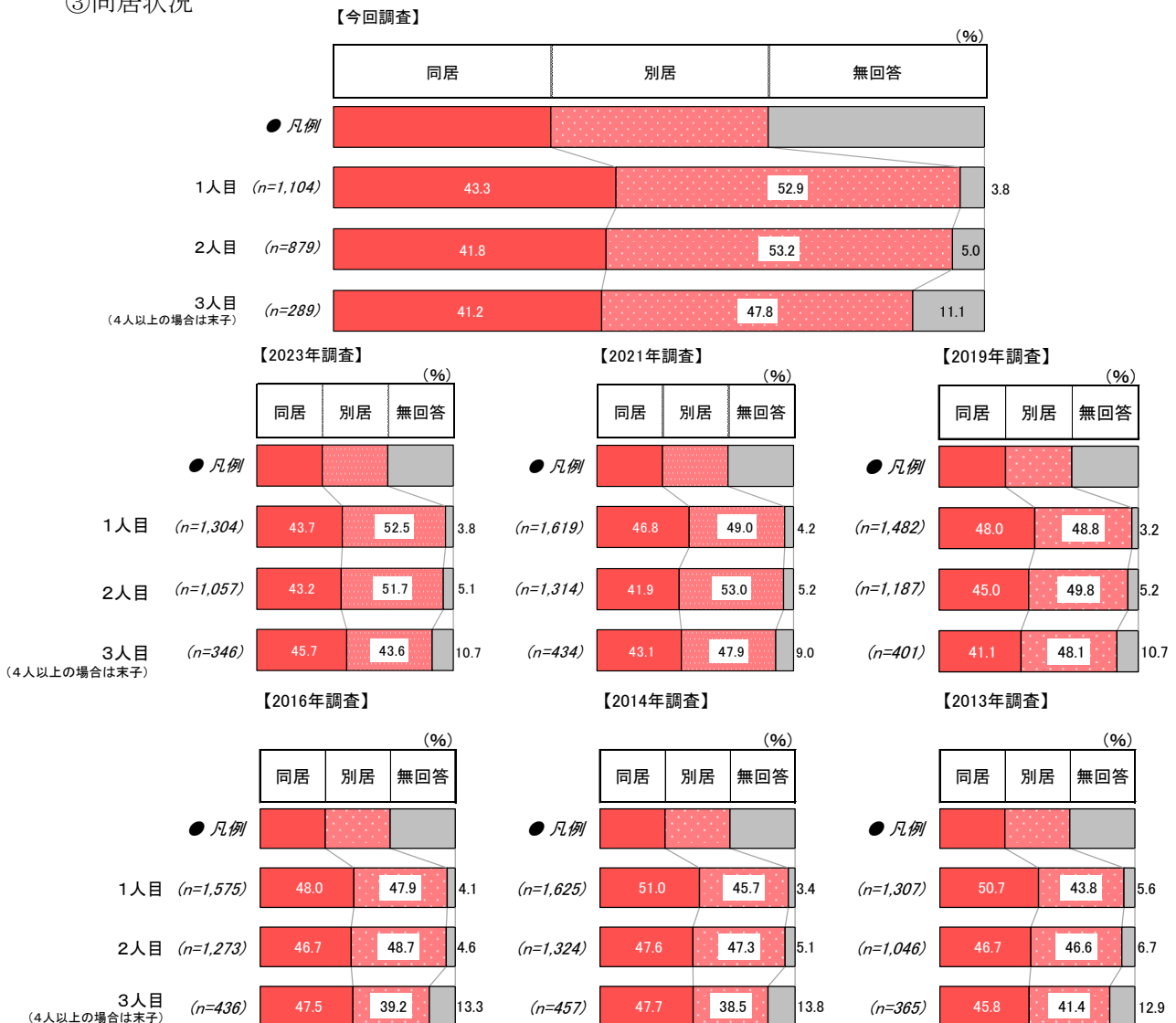
【2013年調査】



② 出生年（西暦）

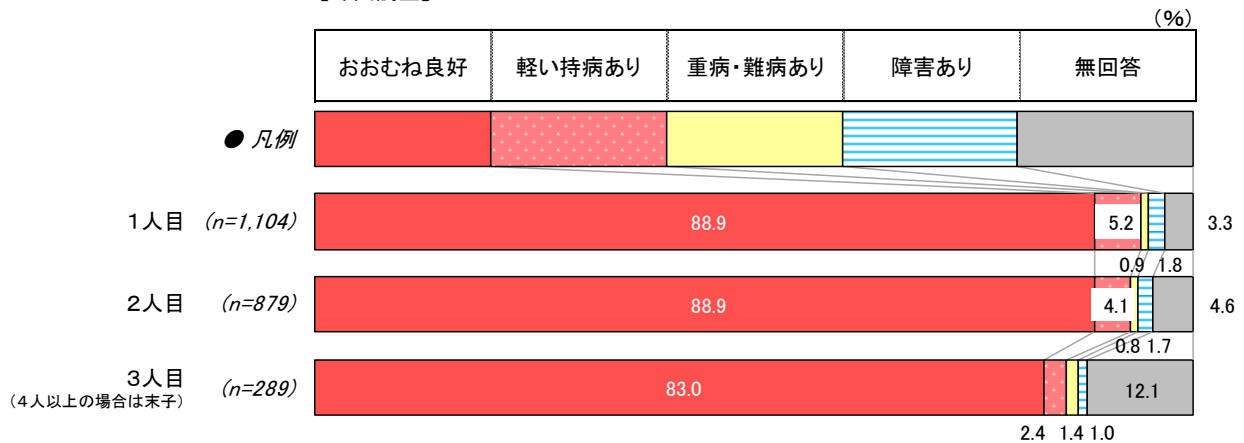
		1950年代 以前	1960年代	1970年代	1980年代	1990年代	2000年代	2010年代	2020年代	無回答
1人目	今回調査 n=(1,104)	1.0	6.6	16.4	17.8	14.9	16.8	13.1	5.9	7.5
	2023年調査 n=(1,304)	0.5	7.8	16.6	17.3	14.4	17.1	13.0	3.8	9.5
	2021年調査 n=(1,619)	2.0	8.5	17.4	16.1	17.0	14.5	12.7	2.2	9.7
	2019年調査 n=(1,482)	1.8	8.8	20.1	17.2	15.9	15.9	12.2	-	10.1
	2016年調査 n=(1,575)	3.5	12.3	20.1	16.4	14.9	13.4	8.4	-	11.1
	2014年調査 n=(1,625)	5.5	13.2	17.2	13.9	16.1	14.0	5.8	-	14.2
	2013年調査 n=(1,307)	4.7	11.1	18.5	14.2	15.5	13.8	5.3	-	16.8
2人目	今回調査 n=(879)	0.6	4.6	15.0	21.0	14.8	15.8	12.6	6.6	9.0
	2023年調査 n=(1,057)	0.3	5.5	14.9	18.4	14.9	17.7	13.9	3.5	10.8
	2021年調査 n=(1,314)	1.4	5.6	17.8	18.4	15.4	16.4	11.3	2.8	11.0
	2019年調査 n=(1,187)	0.9	7.2	17.7	18.4	15.6	14.2	14.2	-	11.9
	2016年調査 n=(1,273)	2.1	9.9	19.6	20.5	14.3	13.4	8.5	-	11.7
	2014年調査 n=(1,324)	2.6	11.8	18.6	15.9	14.7	15.1	6.0	-	15.3
	2013年調査 n=(1,046)	3.5	10.2	19.1	15.2	16.3	13.4	4.5	-	17.8
3人目 (4人以上の場合は末子)	今回調査 n=(289)	-	2.4	8.3	20.4	20.1	13.1	13.5	6.9	15.2
	2023年調査 n=(346)	0.3	2.9	9.8	15.6	20.2	14.5	14.7	5.5	16.5
	2021年調査 n=(434)	1.2	4.8	13.1	19.1	16.4	14.7	10.6	3.2	16.8
	2019年調査 n=(401)	0.2	4.7	13.2	20.2	14.7	12.7	13.7	-	20.4
	2016年調査 n=(436)	0.7	3.7	15.6	20.0	14.9	12.8	11.2	-	21.1
	2014年調査 n=(457)	3.1	5.9	13.8	18.6	15.8	13.8	6.3	-	22.8
	2013年調査 n=(365)	4.1	5.5	13.7	17.0	15.1	14.2	6.0	-	24.4

③ 同居状況

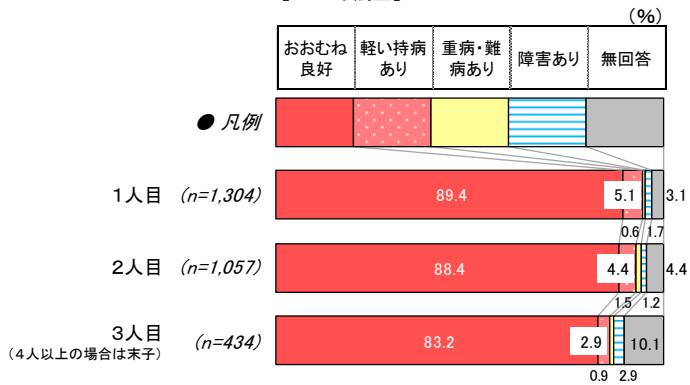


④健康状態

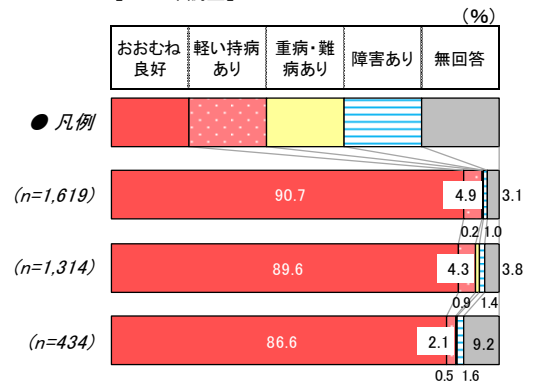
【今回調査】



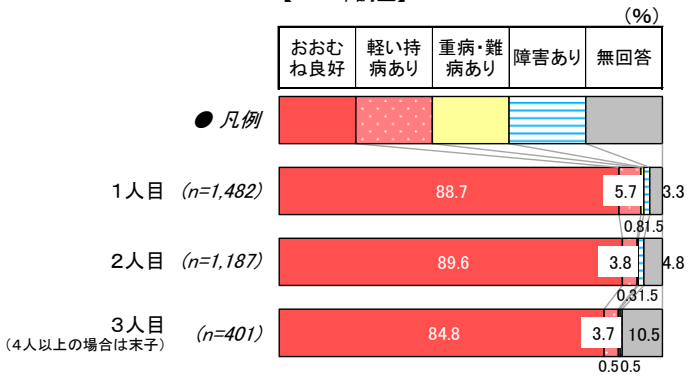
【2023年調査】



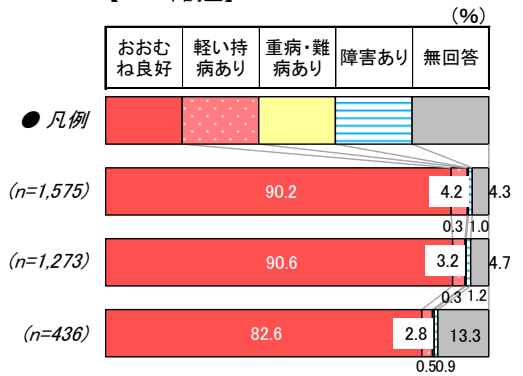
【2021年調査】



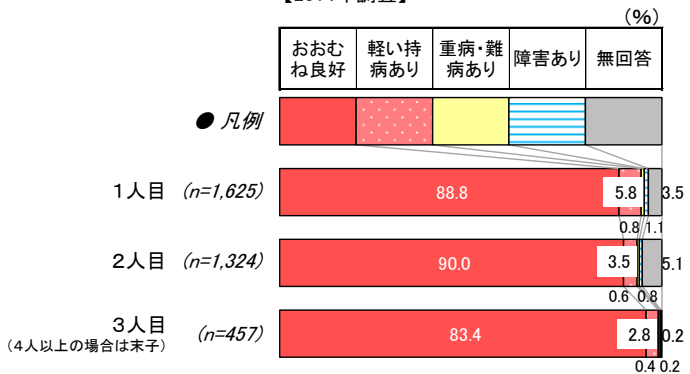
【2019年調査】



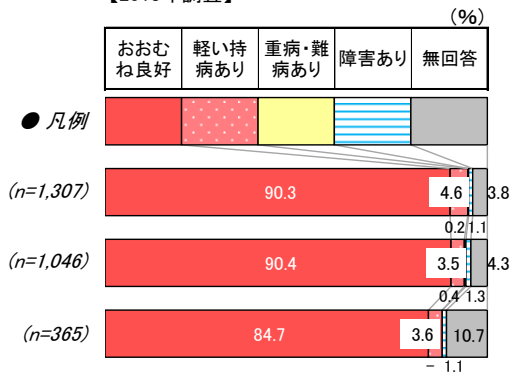
【2016年調査】



【2014年調査】



【2013年調査】

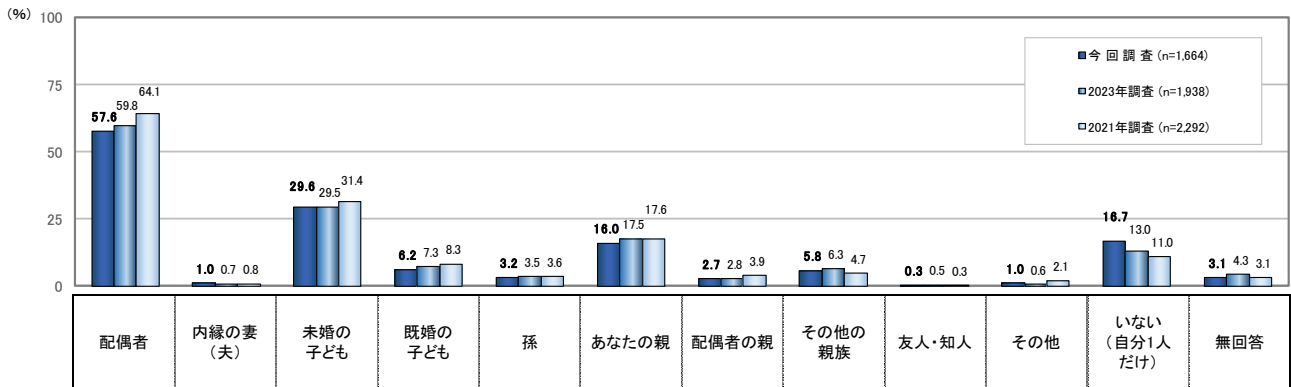


⑤学校等教育機関での在籍状況

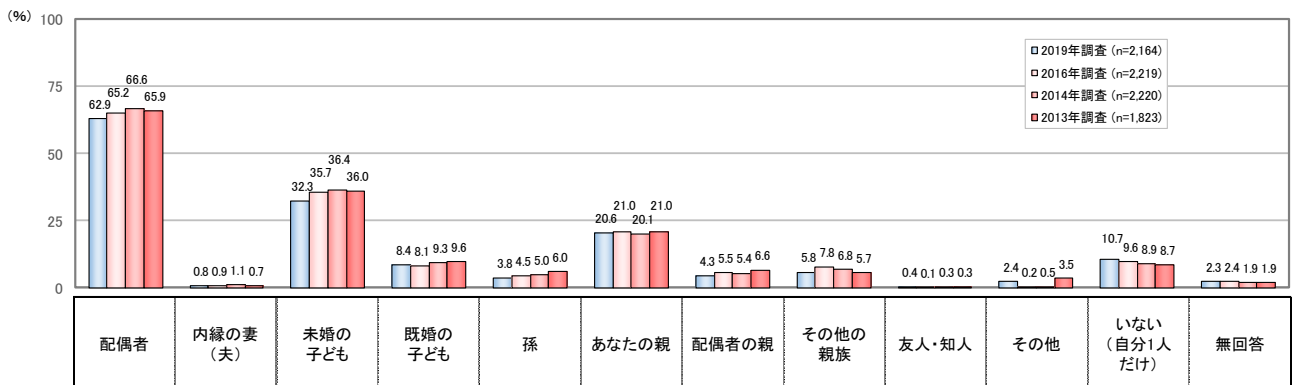
		認可保育園	認可外保育施設(認証保育園、ベビーホテル等)	幼稚園	小中高校(国公立)	小中高校(私立)	短大・高专	大学・大学院	その他教育機関	該当なし	無回答
1人目	今回調査 n=(1,104)	3.3	0.4	0.8	14.9	2.2	1.2	9.1	0.6	38.0	29.5
	2023年調査 n=(1,304)	3.2	0.2	0.8	15.2	3.5	1.7	9.4	0.6	33.3	32.1
	2021年調査 n=(1,619)	4.1	0.5	1.4	13.5	2.5	1.5	8.4	0.7	35.0	32.3
	2019年調査 n=(1,482)	3.3	0.2	2.2	24.2	5.4	6.3	15.0	1.1	33.6	8.7
	2016年調査 n=(1,575)	2.7	0.3	2.7	14.6	2.7	0.8	16.8	1.2	35.0	23.2
	2014年調査 n=(1,625)	3.1	0.4	2.2	16.6	3.7	1.3	13.2	1.2	37.5	20.9
	2013年調査 n=(1,307)	2.8	0.2	2.4	15.1	2.5	1.0	10.9	1.4	37.1	26.5
2人目	今回調査 n=(879)	4.1	0.5	1.9	14.6	3.8	0.5	8.3	0.6	34.6	31.3
	2023年調査 n=(1,057)	3.0	0.1	1.6	17.0	2.9	2.5	8.8	0.5	30.5	33.1
	2021年調査 n=(1,314)	4.3	0.4	1.5	14.2	2.8	1.6	5.9	0.9	33.4	34.9
	2019年調査 n=(1,187)	4.2	0.3	2.3	22.7	4.7	7.2	14.7	1.4	31.5	10.9
	2016年調査 n=(1,273)	3.2	0.3	2.0	14.5	2.4	1.1	14.5	0.7	36.2	25.2
	2014年調査 n=(1,324)	2.7	-	3.1	17.6	3.1	0.8	11.3	1.2	36.8	23.3
	2013年調査 n=(1,046)	3.1	0.3	2.1	16.9	2.4	1.3	10.5	0.8	34.0	28.6
3人目 (4人以上の場合は末子)	今回調査 n=(289)	3.8	0.7	1.4	14.2	1.7	0.3	8.0	1.4	38.4	30.1
	2023年調査 n=(346)	4.3	-	2.3	15.9	2.3	1.7	5.8	0.3	32.9	34.4
	2021年調査 n=(434)	3.9	0.9	1.4	15.7	2.8	1.4	3.0	0.2	32.5	38.2
	2019年調査 n=(401)	4.7	0.5	2.5	23.2	4.2	6.2	11.7	0.5	31.7	14.7
	2016年調査 n=(436)	5.7	0.5	1.6	14.9	1.8	0.7	8.7	1.1	35.3	29.6
	2014年調査 n=(457)	2.4	0.7	2.0	19.9	2.6	0.9	7.7	1.8	33.9	28.2
	2013年調査 n=(365)	3.8	0.3	3.0	16.4	3.0	1.1	7.7	1.6	30.7	32.3

(12) 現在同居者

【2021年調査以降】



【2019年調査以前】



9. この報告書を読む際の注意

- (1) 図表中の n とは、比率算出の基数を表すもので、原則として回答者総数 (1,664 人)、または分類別の回答者数のことである。
- (2) 百分比は、小数点第 2 位で四捨五入して、小数点第 1 位までを表示した。四捨五入したため、合計値が 100% と一致しないことがある。
- (3) 「複数回答」と表示のある設問は、2 つ以上の複数回答を認めているため、回答計は 100% を超える。
- (4) 図表中“—”は、回答者が皆無であることを、“0.0”は 0.05 未満の数値であったことを示す。
- (5) 回答者数が 50 人より少ない場合は傾向をみるにとどめ、コメントは百分比でなく人数を紹介している。
- (6) 過去調査 (2013 年 3 月実施、2014 年 8 月実施、2016 年 11 月実施、2019 年 11 月実施、2021 年 11 月調査、2023 年 11 月調査) と同一設問については、図表中に「2013 年調査」「2014 年調査」「2016 年調査」「2019 年調査」「2021 年調査」「2023 年調査」として数値を紹介している。

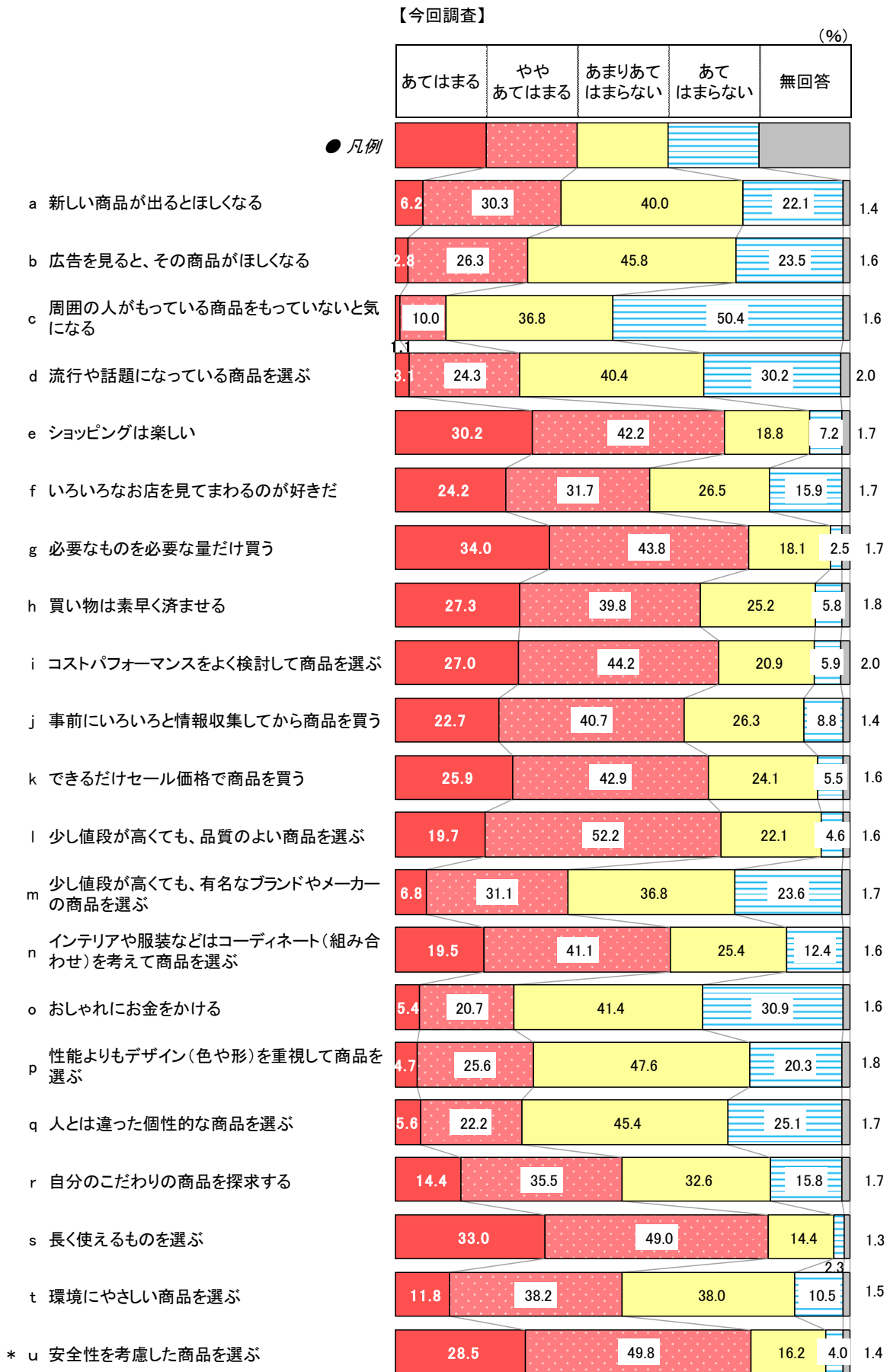
II 結果の概要

1. 消費生活等について

(1) 買い物について

- 買い物についての考え方や行動 21 項目について、回答者にあてはまるかどうかを聞いた。
- 『あてはまる』（「あてはまる」と「ややあてはまる」の合計）という回答者が最も多かったのは、“長く使えるものを選ぶ”の 82.0%であった。
- “安全性を考慮した商品を選ぶ”（『あてはまる』78.4%）、“必要なものを必要な量だけ買う”（同 77.7%）、“ショッピングは楽しい”（同 72.4%）、“少し値段が高くても、品質のよい商品を選ぶ”（同 71.8%）、“コストパフォーマンスをよく検討して商品を選ぶ”（同 71.2%）は、それぞれ7割以上であった。
- “できるだけセール価格で商品を買う”（同 68.8%）、“買い物は素早く済ませる”（同 67.2%）、“事前にいろいろと情報収集してから商品を買う”（同 63.4%）、“インテリアや服装等はコーディネートを考えて選ぶ”（同 60.6%）は、それぞれ6割台を占めた。
- 一方、“周囲の人がもっている商品をもっていないと気になる”では、『あてはまらない』（「あてはまらない」と「あまりあてはまらない」の合計）が 87.3%と、最も多かった。
- また、“おしゃれにお金をかける”（『あてはまらない』72.3%）、“流行や話題になっている商品を選ぶ”（同 70.6%）、“人とは違った個性的な商品を選ぶ”（同 70.5%）はそれぞれ7割以上を占めた。次いで、“広告を見ると、その商品がほしくなる”（同 69.3%）が7割弱に上った。（図表 1-1）

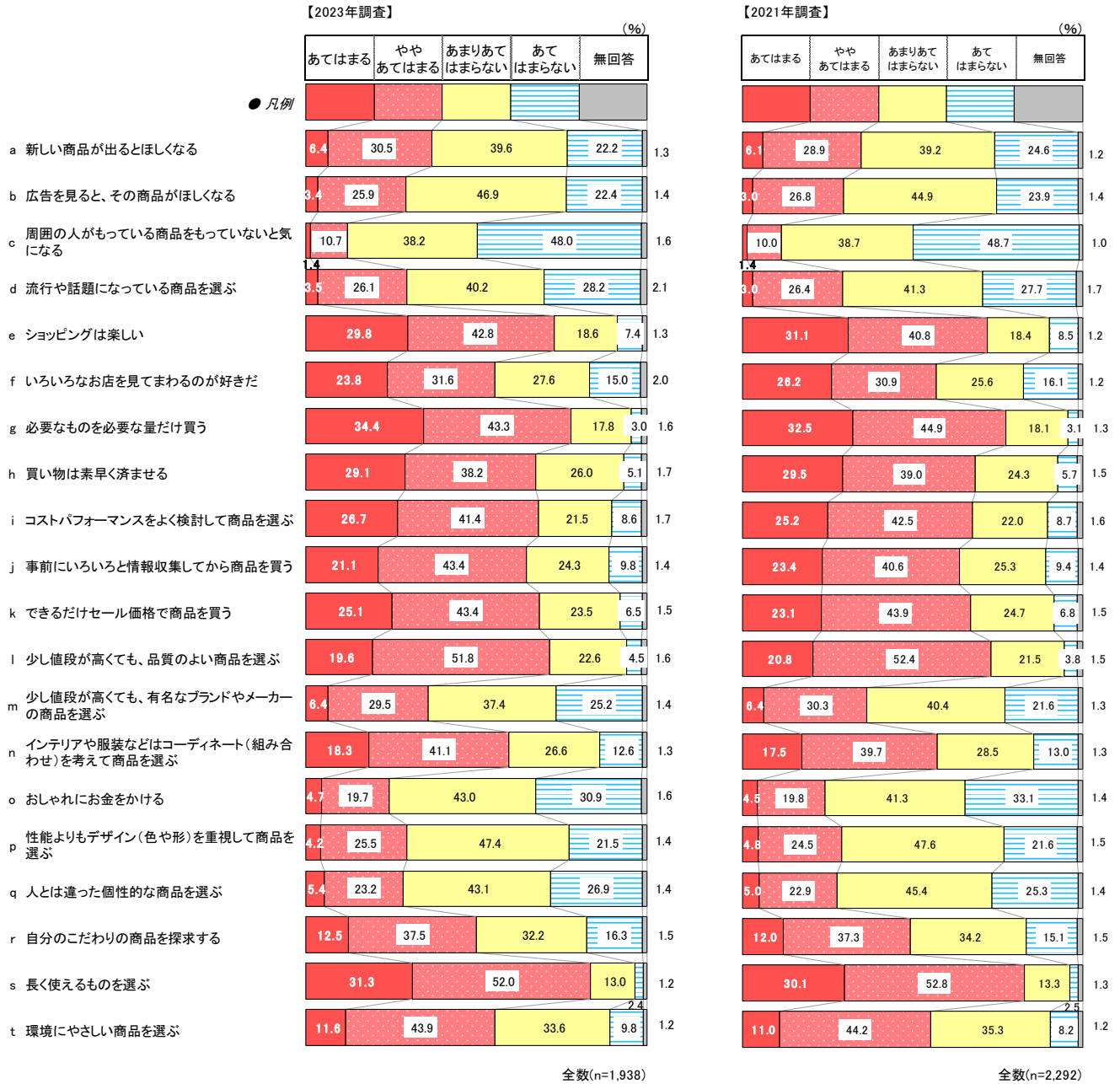
(図表 1-1) 買い物について (問 1)



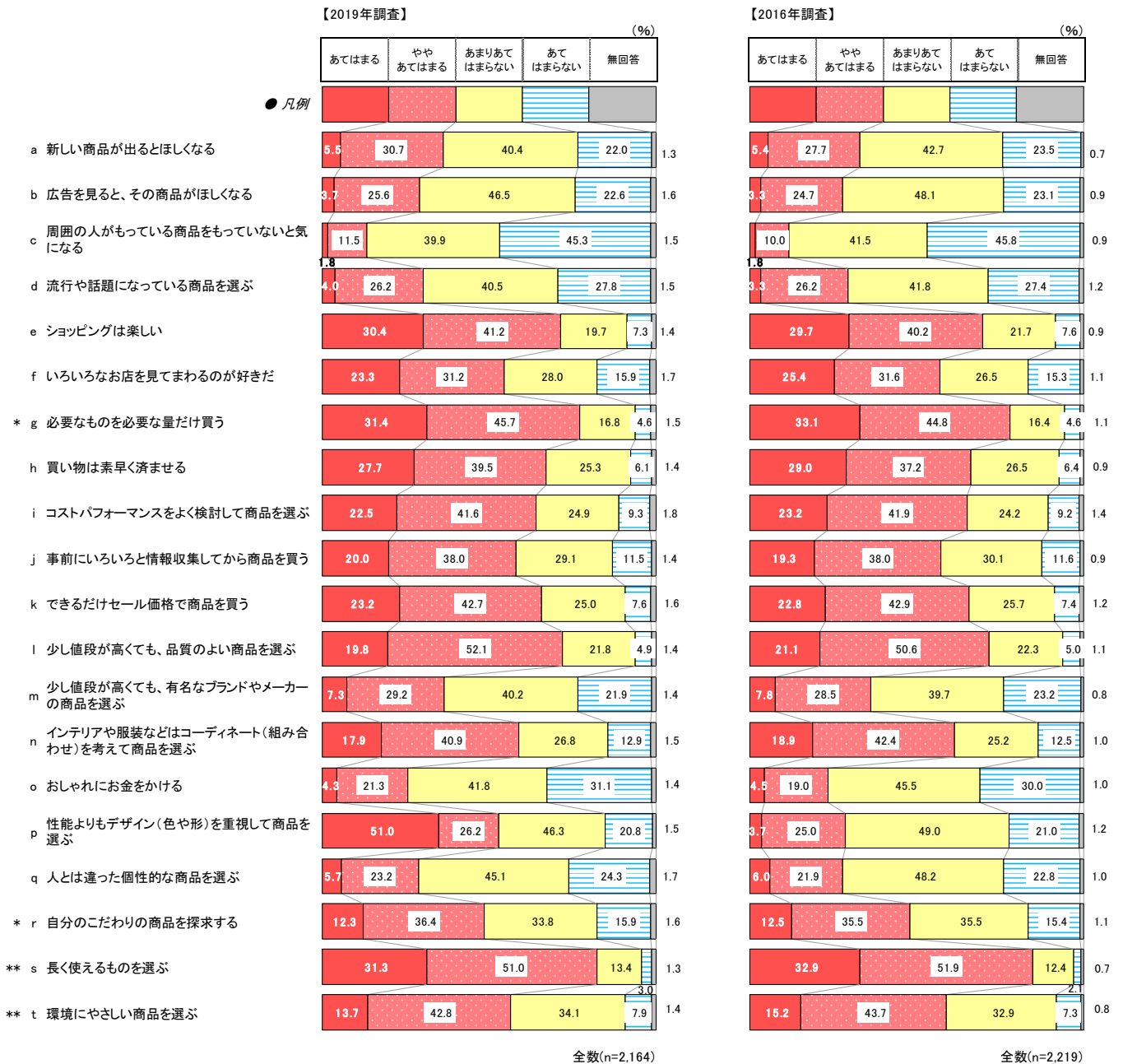
* 2025年調査から質問している項目

全数(n=1,664)

(図表 1 - 1 続き) 買い物について (2023 年調査・2021 年調査)



(図表 1 - 1 続き) 買い物について (2019 年調査・2016 年調査)

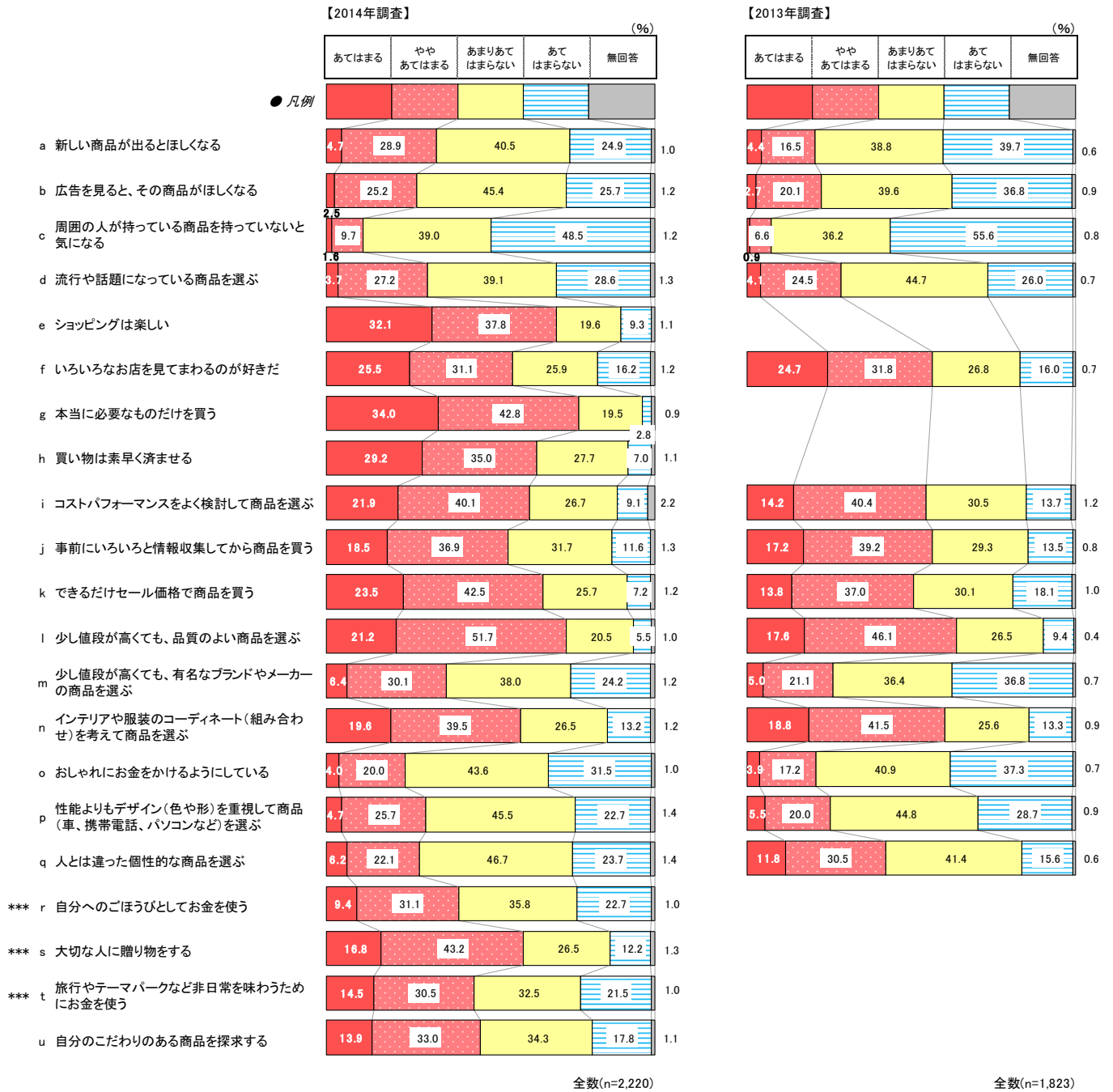


全数(n=2,164)

全数(n=2,219)

* 2014年調査までと2016年調査からとで表現が異なる項目
 ** 2016年調査から質問している項目

(図表 1 - 1 続き) 買い物について (2014 年調査・2013 年調査)



全数(n=2,220)

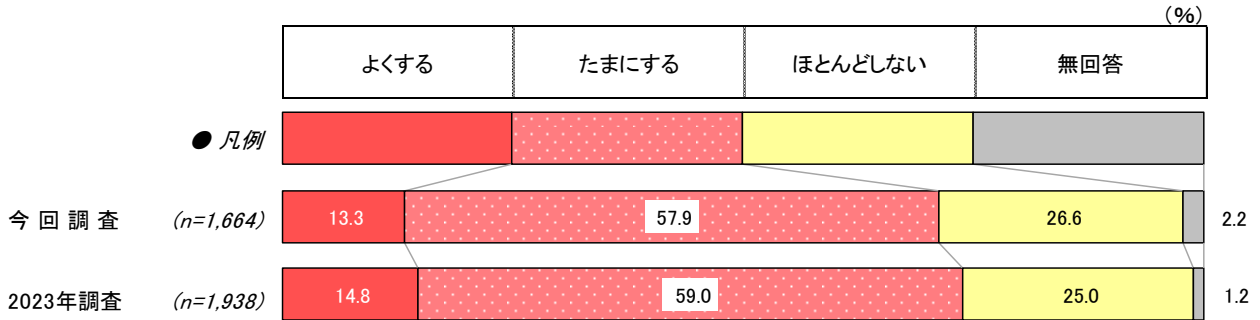
全数(n=1,823)

*** 2014年調査のみで質問した項目

(2) 電車やバスの中で他人に席を譲ること

- 電車やバスの中で他人に席を譲るかは、「たまにする」が 57.9%で最も多かった。以下、「ほとんどしない」(26.6%)、「よくする」(13.3%) となっている。(図表 1-2)

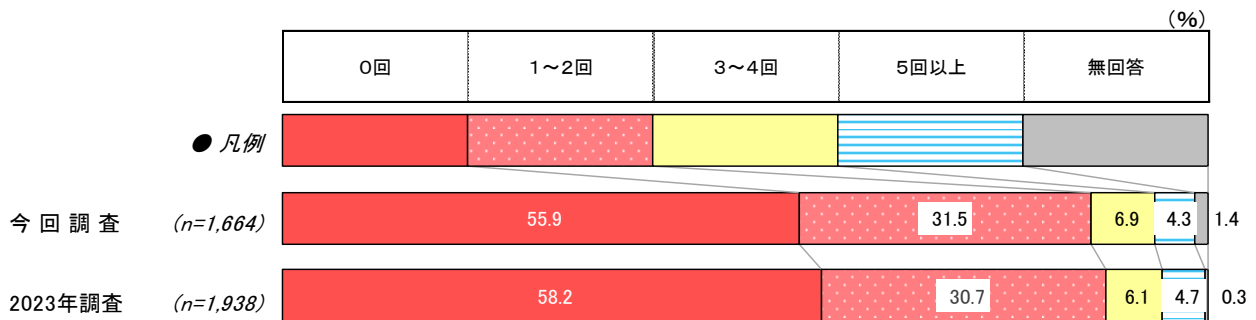
(図表 1-2) 電車やバスの中で他人に席を譲ること (問2)



(3) 直近1年間の寄付・募金回数

- 直近1年間の寄付・募金回数は、「0回」が 55.9%で最も多かった。以下、「1~2回」(31.5%)、「3~4回」(6.9%)、「5回以上」(4.3%) となっている。(図表 1-3)

(図表 1-3) 直近1年間の寄付・募金回数 (問3)

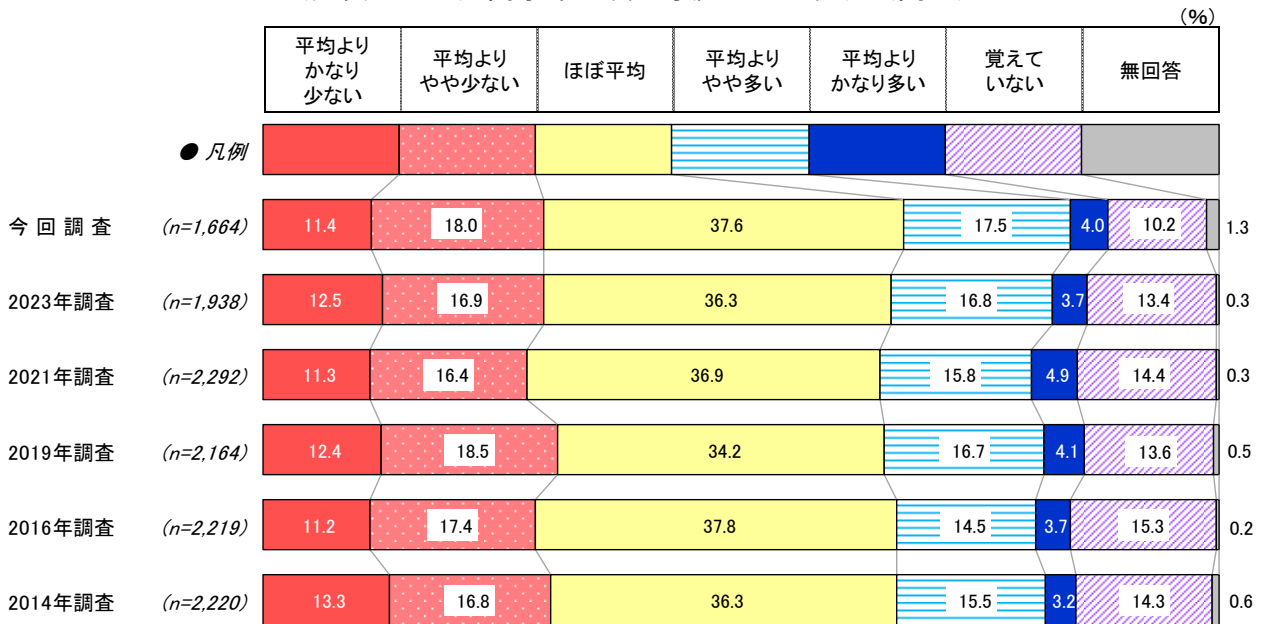


2. 小学生の頃のことについて

(1) 高学年の頃の家庭の収入状況

- 小学校高学年の頃の家庭の収入状況は、「ほぼ平均」が37.6%で最も多かった。以下、『平均より少ない』（「平均よりかなり少ない」と「平均よりやや少ない」の合計）が29.4%で、『平均より多い』（「平均よりかなり多い」と「平均よりやや多い」の合計）の21.5%を上回った。（図表 2-1）

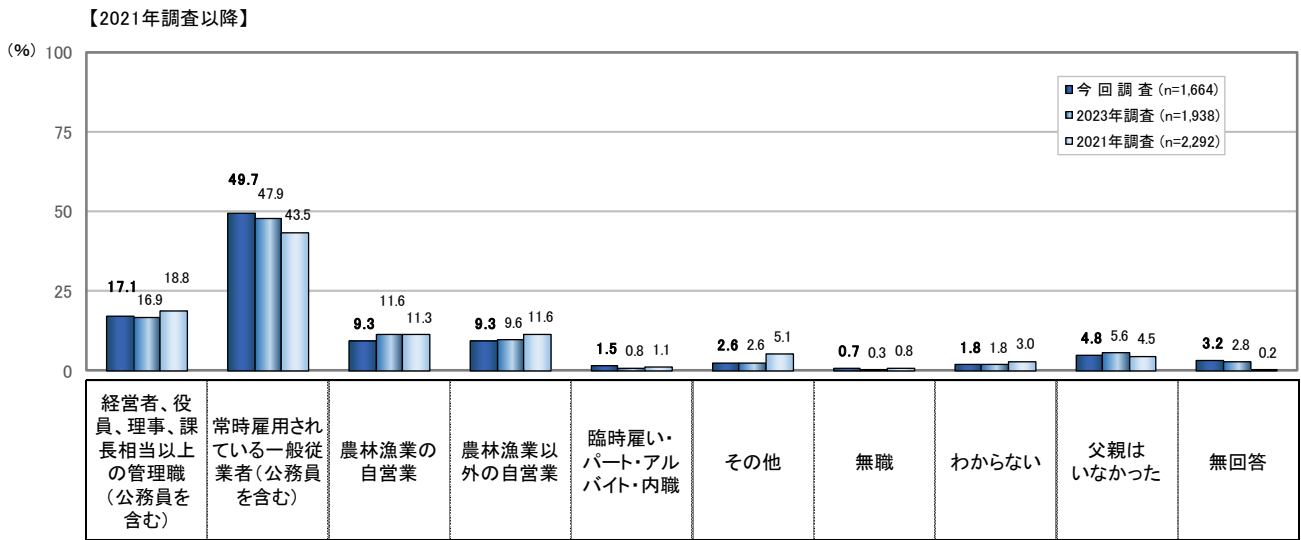
(図表 2-1) 高学年の頃の家庭の収入状況 (問4)



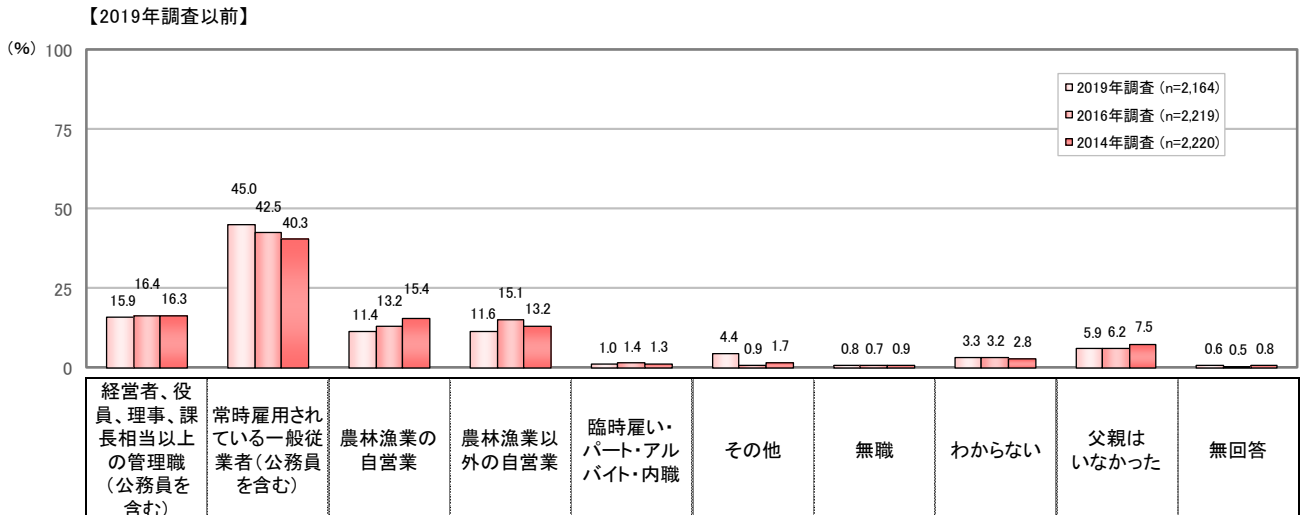
(2) 高学年の頃の父親と母親の職業

- 小学校高学年の頃の父親の職業は、「常時雇用されている一般従業者（公務員を含む）」が49.7%で最も多かった。以下、「経営者、役員、理事、課長相当以上の管理職（公務員を含む）」（17.1%）、「農林漁業以外の自営業」（9.3%）「農林漁業の自営業」（9.3%）、の順となった。（図表 2-2-1）
- 一方、母親の職業については、「臨時雇い・パート・アルバイト・内職」が32.8%で最も多かった。次いで、「無職」（24.5%）、「常時雇用されている一般従業者（公務員を含む）」（16.3%）が続いた。（図表 2-2-2）

(図表 2-2-1) 高学年の頃の父親の職業 (問5)

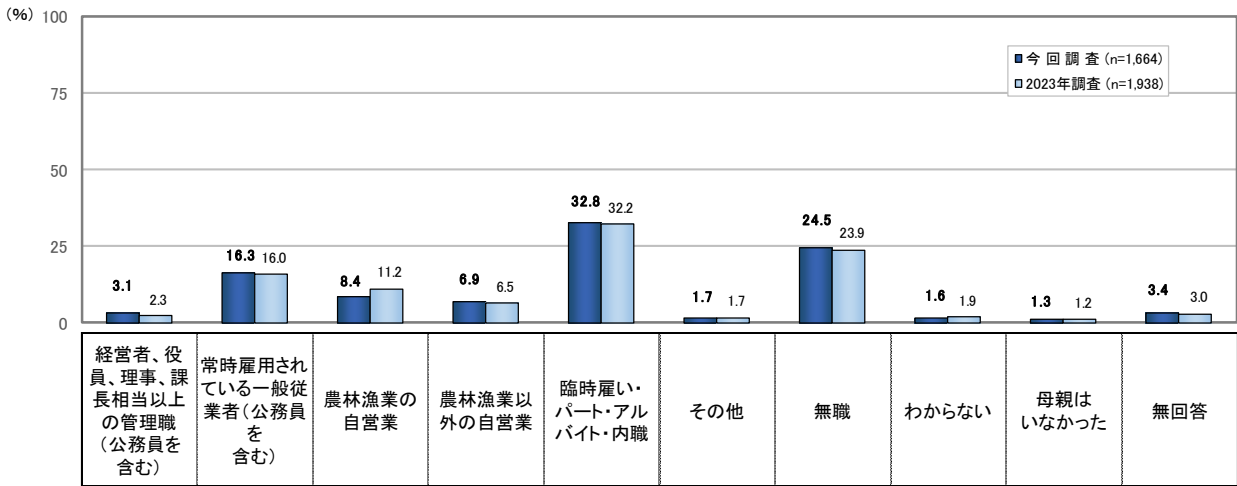


※今回調査の「農林漁業の自営業」と「農林漁業以外の自営業」は、四捨五入した比率は同じ9.3だが、実数では後者の方が回答数が多い。

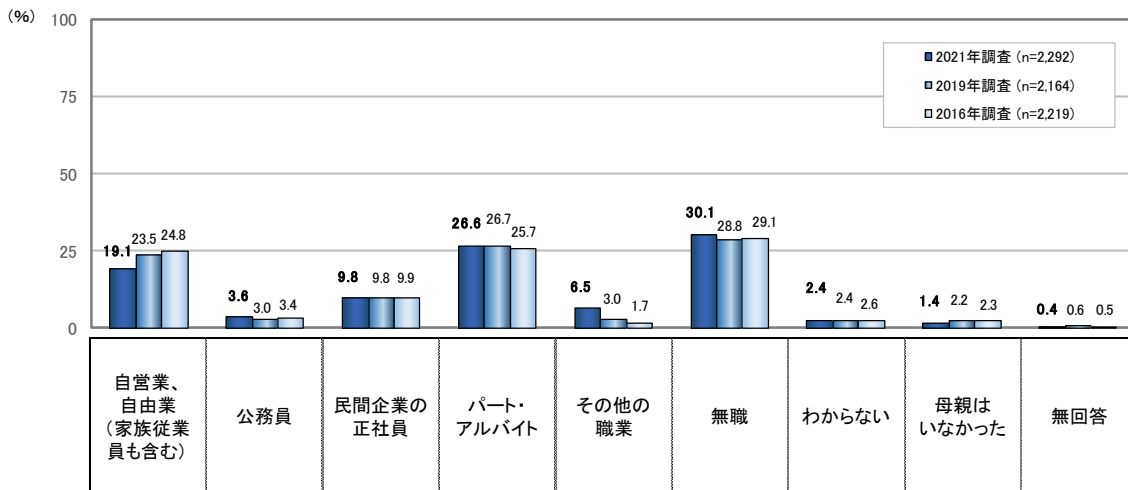


(図表 2-2-2) 高学年の頃の母親の職業 (問5)

【2023年調査以降】



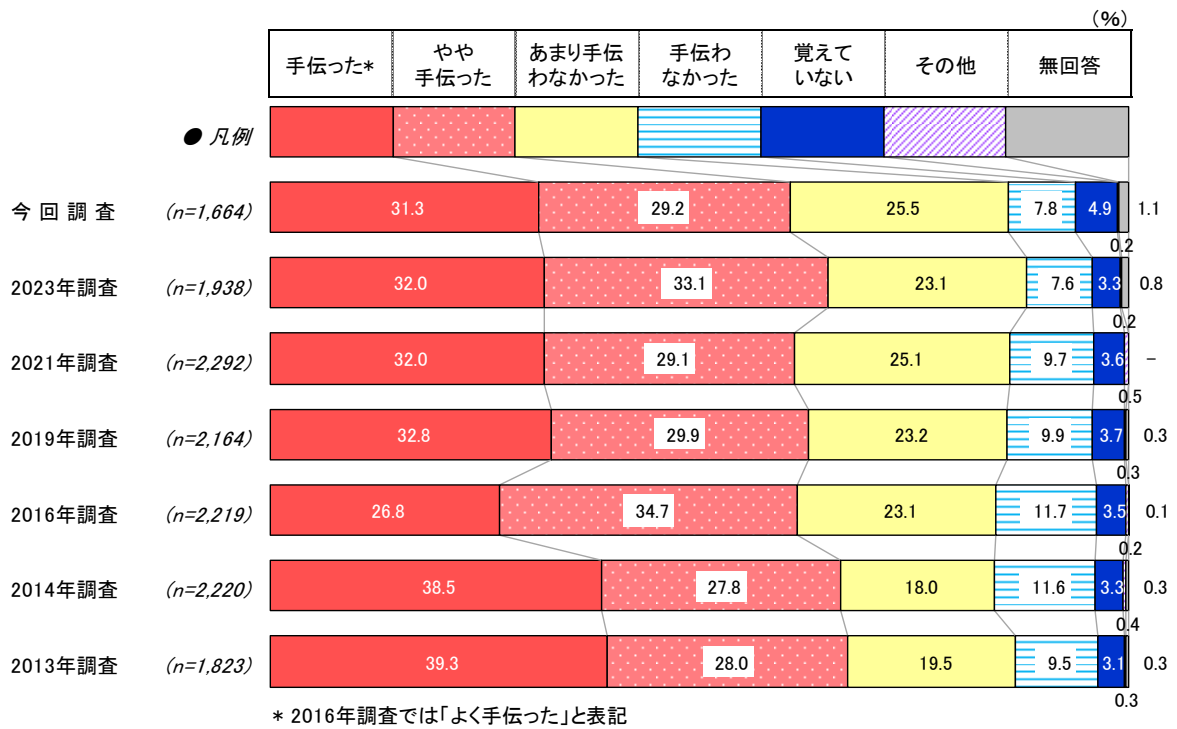
【2021年調査以前】



(3) 高学年の頃の家の仕事の手伝い

- 小学校高学年の頃、家の仕事（料理、洗濯、掃除、おつかいなど）については、「手伝った」が31.3%で、「やや手伝った」（29.2%）を合わせると、60.5%が『手伝った』と回答した。
- 一方、「あまり手伝わなかった」は25.5%であり、「手伝わなかった」（7.8%）を合わせると、『手伝わなかった』という回答者は33.3%であった。（図表2-3）

(図表2-3) 高学年の頃の家の仕事の手伝い（問6）

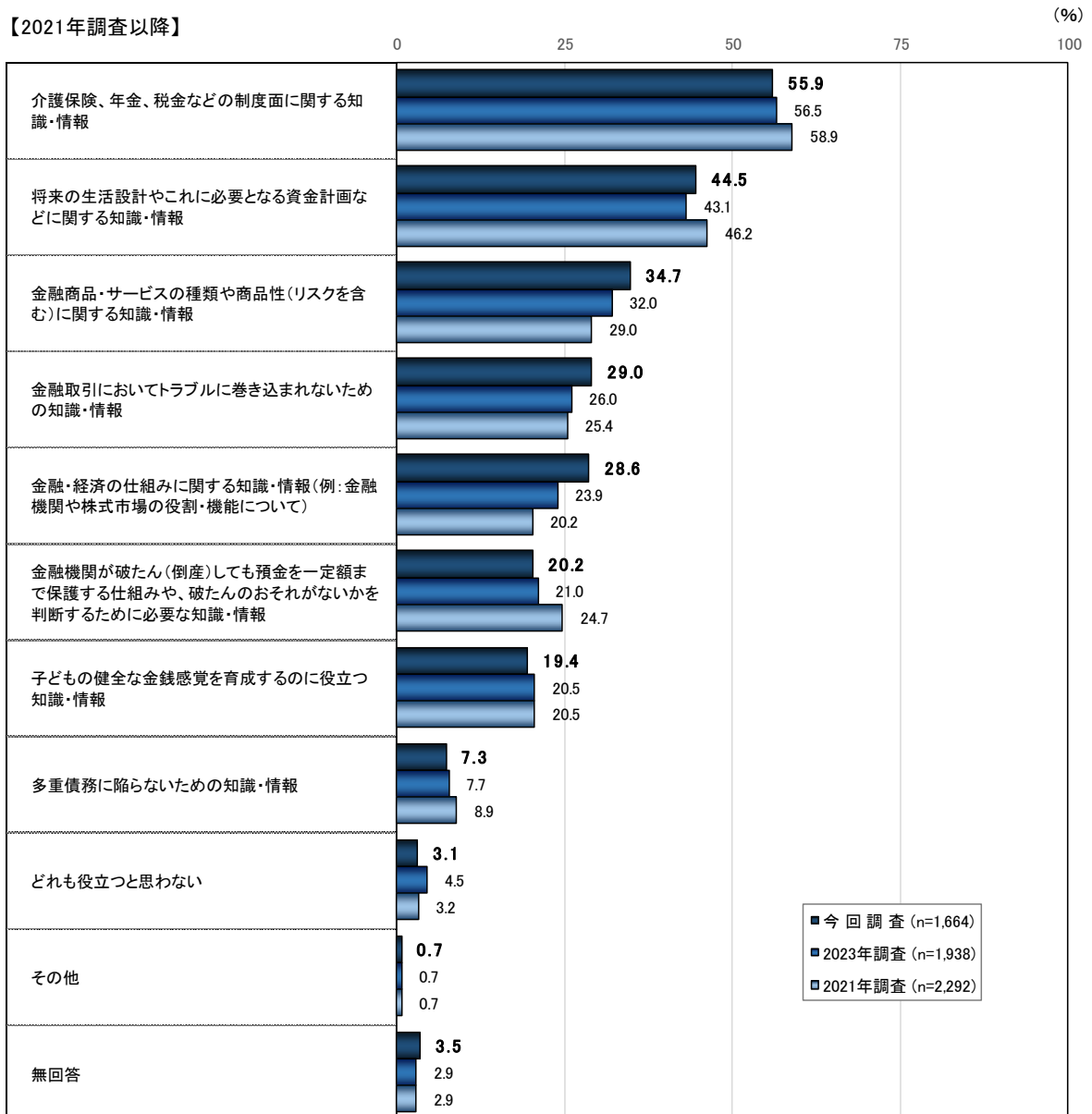


3. 金融の知識について

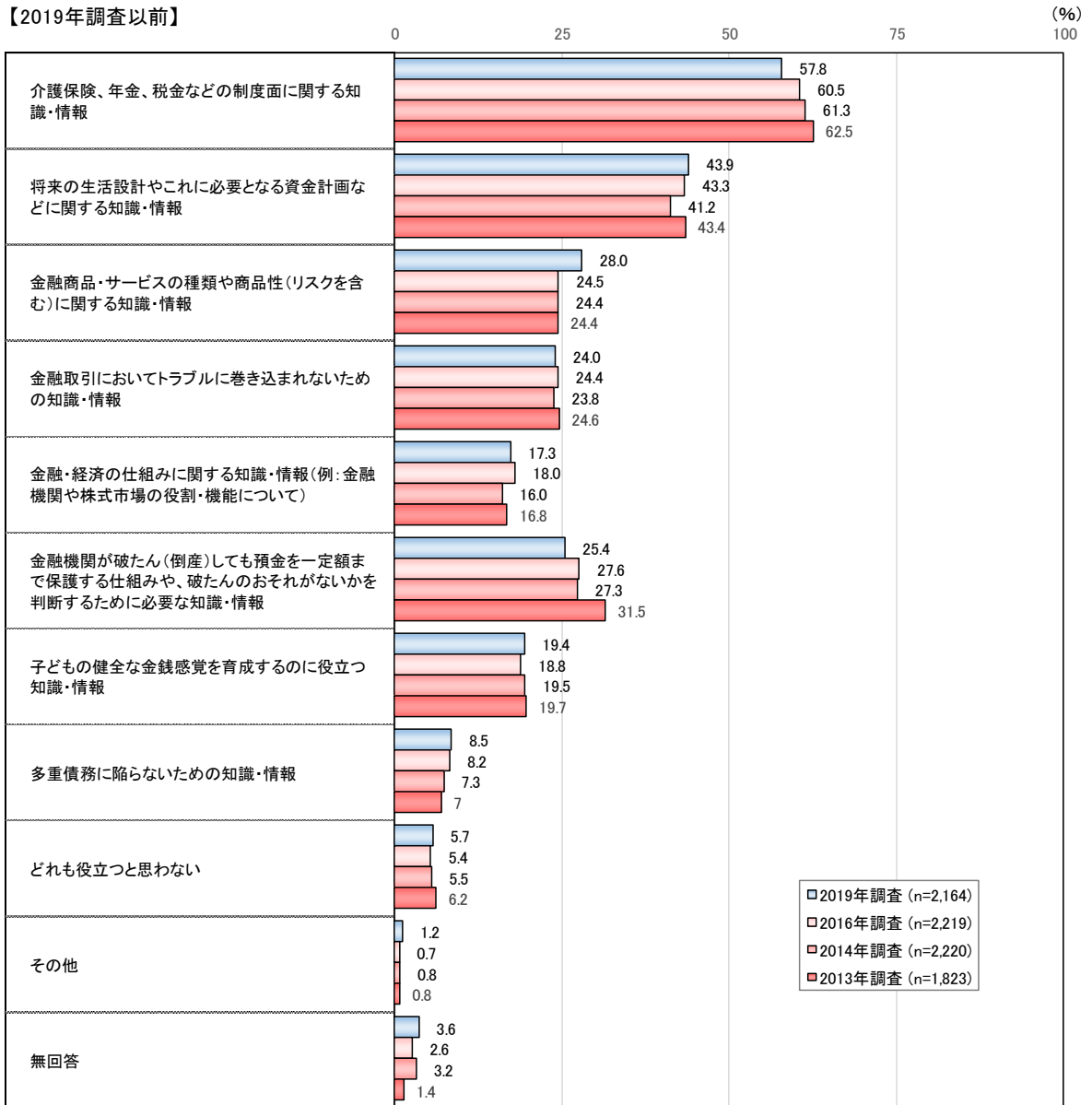
(1) 暮らしに役立つ金融知識・情報

- 暮らしに役立つと思う金融に関する知識・情報（3つまでの複数回答）としては、「介護保険、年金、税金などの制度面に関する知識・情報」が**55.9%**で最も多かった。以下、「将来の生活設計やこれに必要な資金計画などに関する知識・情報」（44.5%）、「金融商品・サービスの種類や商品性（リスクを含む）に関する知識・情報」（34.7%）、「金融取引においてトラブルに巻き込まれないための知識・情報」（29.0%）、「金融・経済の仕組みに関する知識・情報」（28.6%）、「金融機関が破たん（倒産）しても預金を一定額まで保護する仕組みや、破たんのおそれがないかを判断するために必要な知識・情報」（20.2%）、「子どもの健全な金銭感覚を育成するのに役立つ知識・情報」（19.4%）、「多重債務に陥らないための知識・情報」（7.3%）の順で続いた。
- 「どれも役立つと思わない」は、3.1%となった。（図表 3-1）

（図表 3-1）暮らしに役立つ金融知識・情報（問 7、3つまでの複数回答）



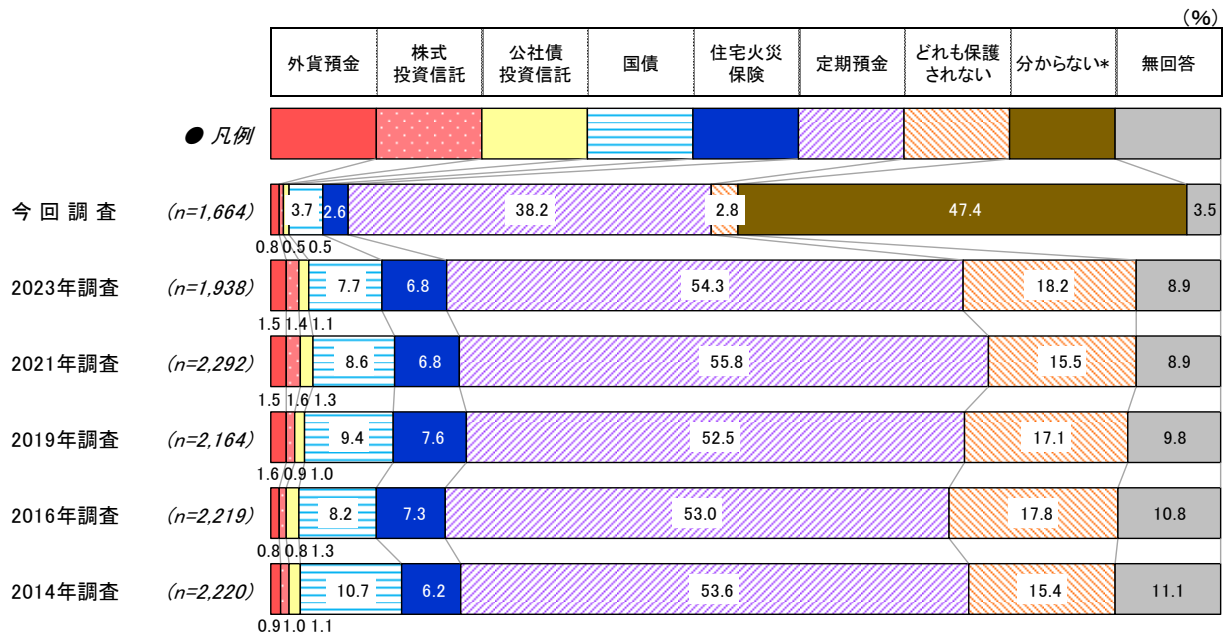
(図表3-1 続き) 暮らしに役立つ金融知識・情報 (2019年調査以前)



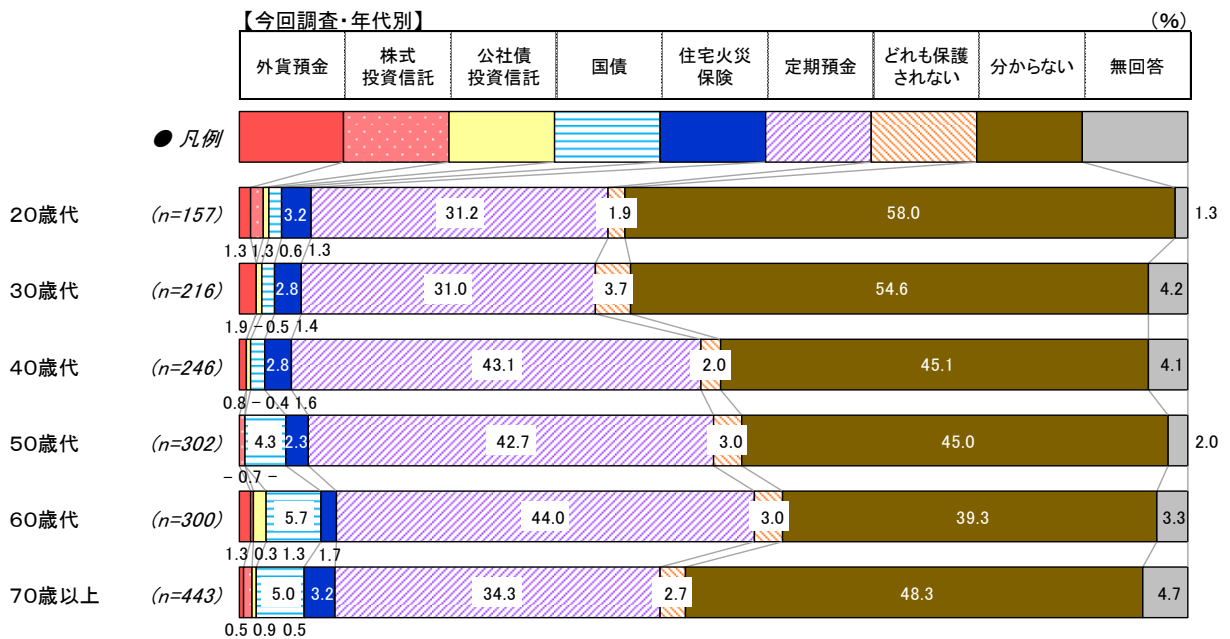
(2) 預金保険の保護対象だと思う金融商品

- 預金保険の保護対象だと思う金融商品の正答率(「定期預金」)は38.2%であった。誤回答として、「国債」が3.7%で最も多く、次いで、「どれも保護されない」(2.8%)「住宅火災保険」(2.6%)となった。今回調査から選択肢に加わった「分からない」は47.4%であった。(図表3-2)

(図表3-2) 預金保険の保護対象だと思う金融商品 (問8)



*今回(2025年)調査から新設された項目

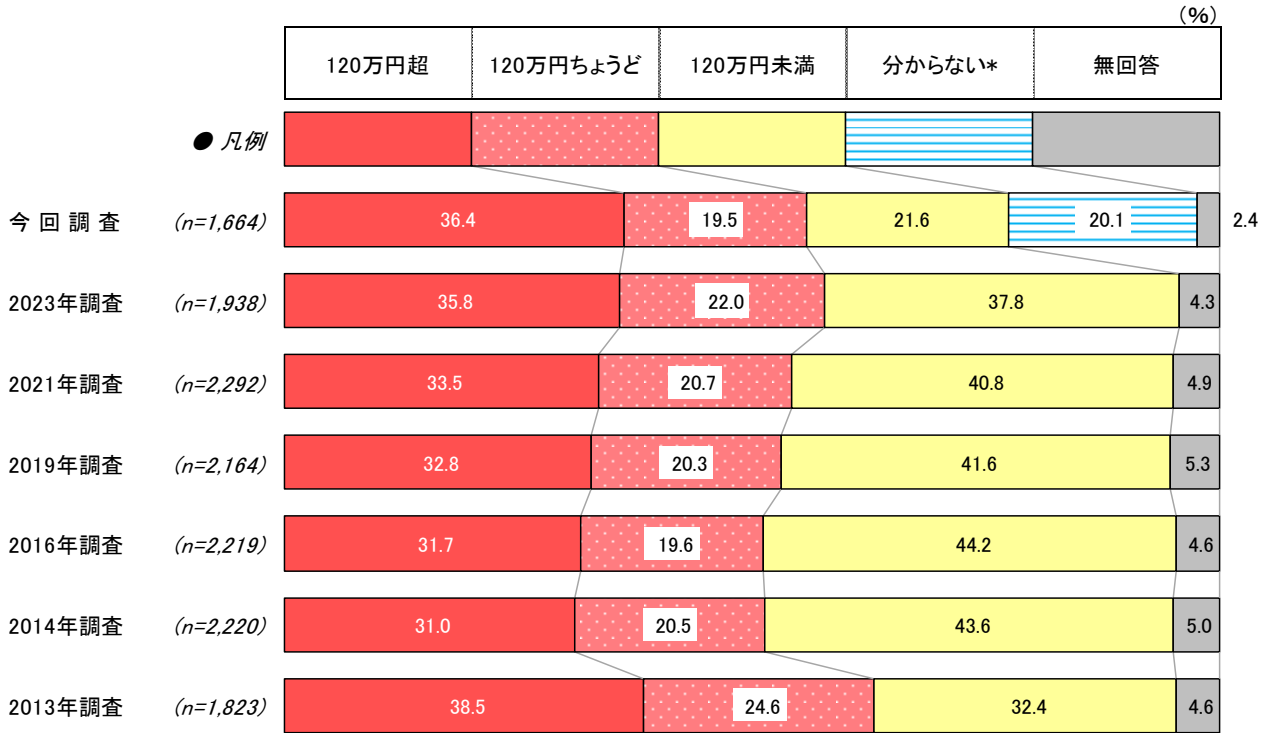


(3) 金利の計算

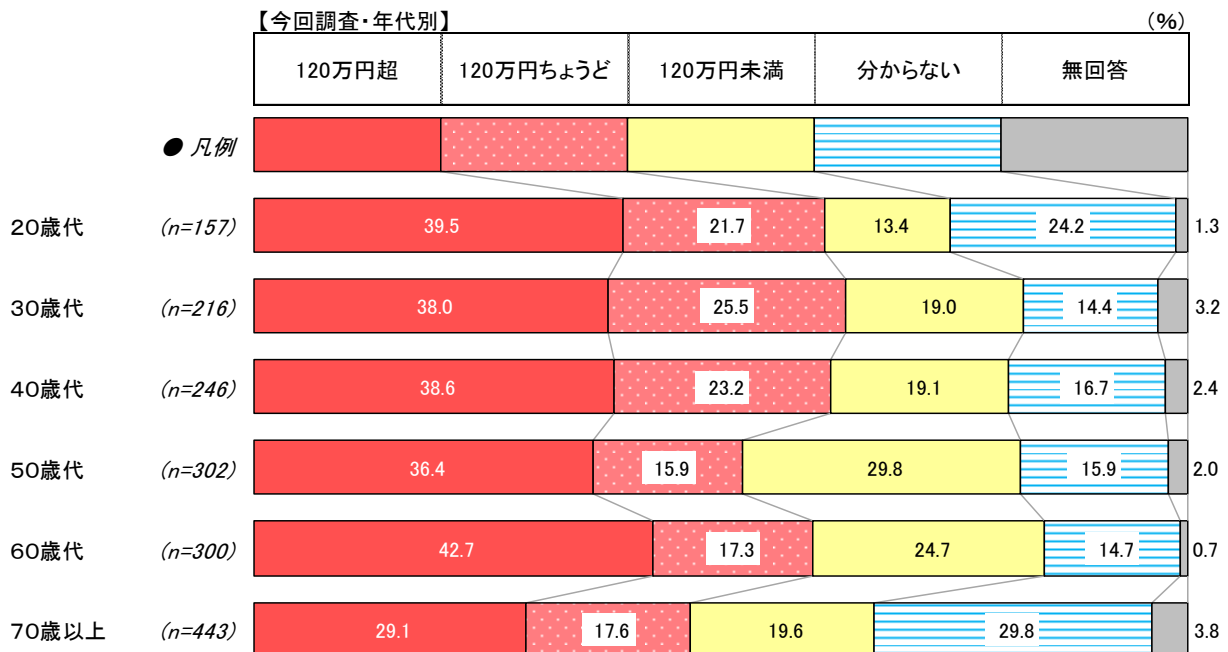
- 複利計算の正答率(*)は36.4%で、誤回答の「120万円未満」は21.6%、「120万円ちょうど」は19.5%であった。今回調査から選択肢に加わった「分からない」は20.1%であった。(図表3-3)

*預金金利が年率2%の場合に100万円を10年後まで預けたときの金額を「120万超」と答えた比率。

(図表3-3) 金利の計算 (問9)



*今回(2025年)調査から新設された項目



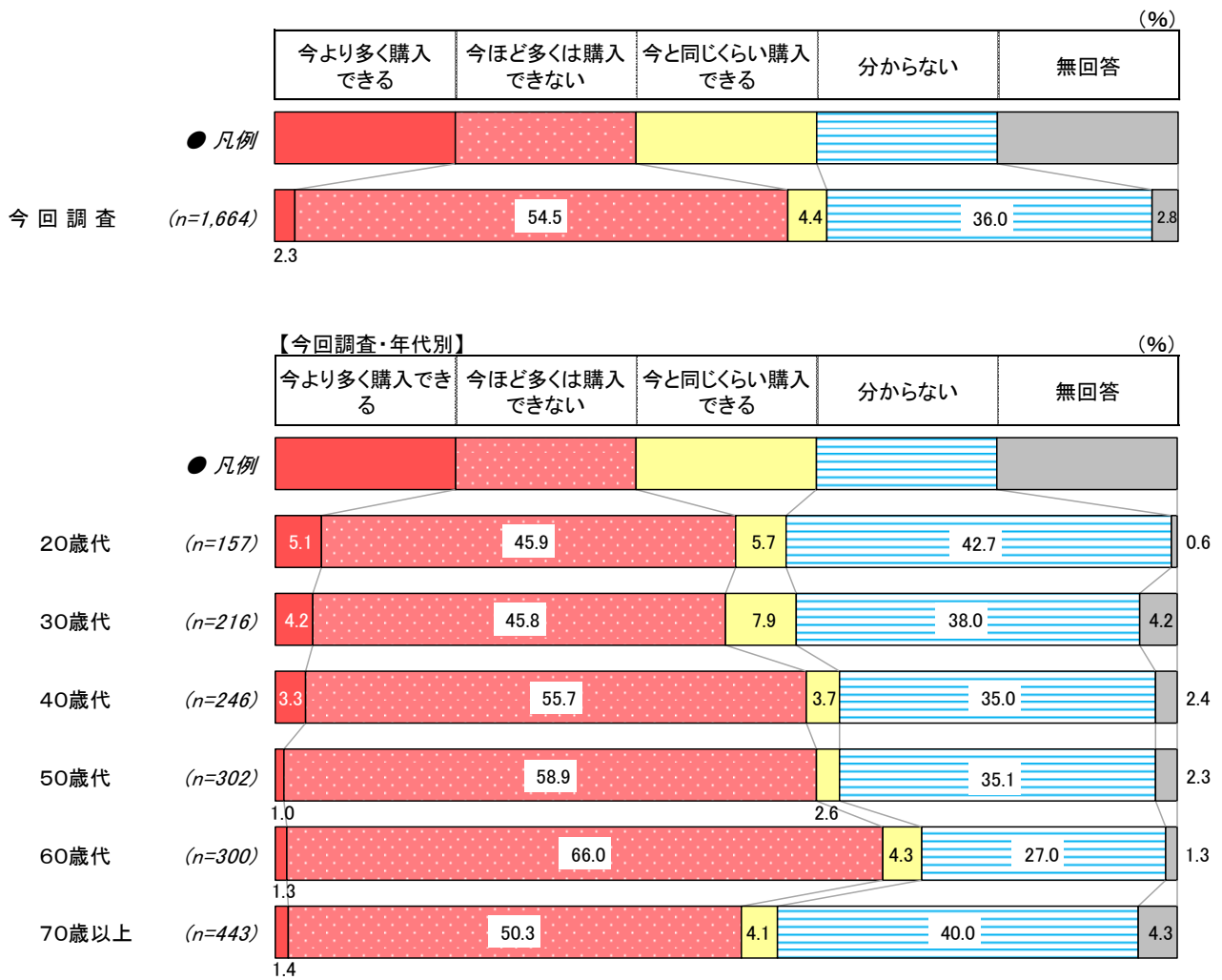
(4) 預金口座の利率とインフレ率の差について

- 預金口座の利率とインフレ率の差についての正答率(*)は54.5%で、誤回答の「今より多く購入できる」は2.3%、「今と同じくらい購入できる」は4.4%となった。「分からない」は36.0%であった。

(図表 3-4)

* 預金口座に対する利率が年1%で、インフレ率は2%とした場合に、1年後にその口座のお金を使って購入できるものについて「今ほど多くは購入できない」と答えた比率。

(図表 3-4) 預金口座の利率とインフレ率の差について (問10)

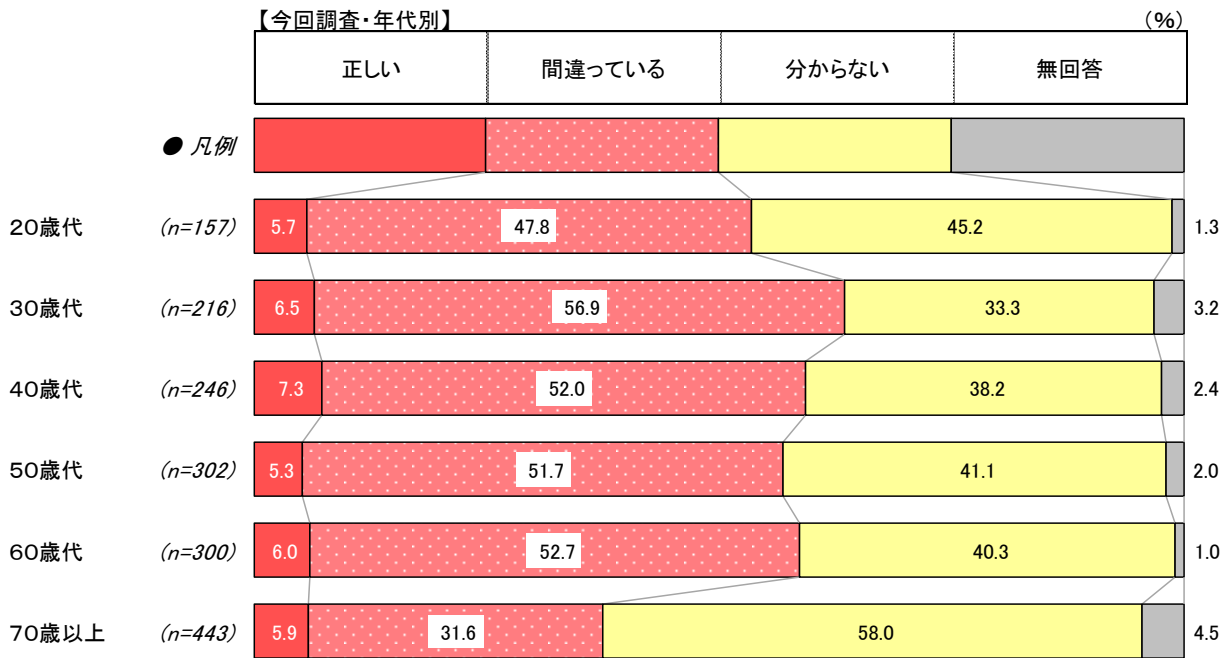
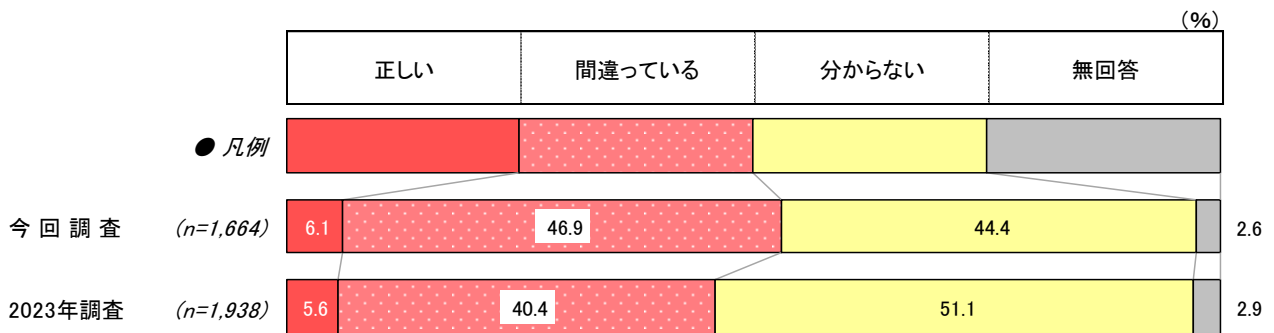


(5) 株式購入と投資信託について

- 株式購入と投資信託の損益の振れ幅の正答率^(*)は46.9%で、誤回答の「正しい」は6.1%、「分からない」は44.4%であった。(図表3-5)

*一社の株式を購入する場合と、複数社の株式に投資する投資信託を購入する場合は、一般的に、一社の株を購入した方が、損益の振れ幅が小さくなることを「間違っている」と答えた比率。

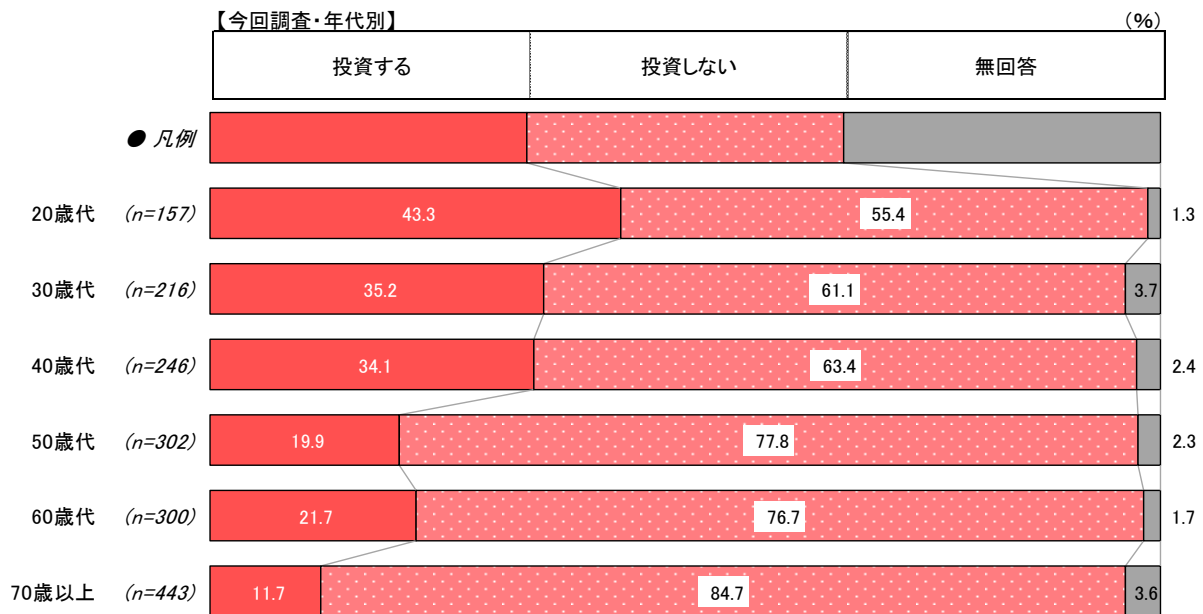
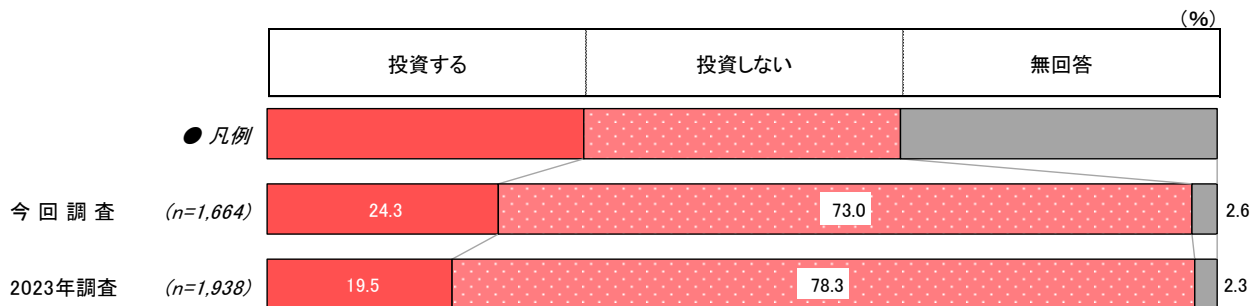
(図表3-5) 株式購入と投資信託について (問11)



(6) 投資意向について

- 10万円を投資すると半々の確率で2万円の値上がり益か1万円の値下がり損のいずれかが発生する時の投資意向は、「投資する」が24.3%で、「投資しない」が73.0%となった。(図表3-6)

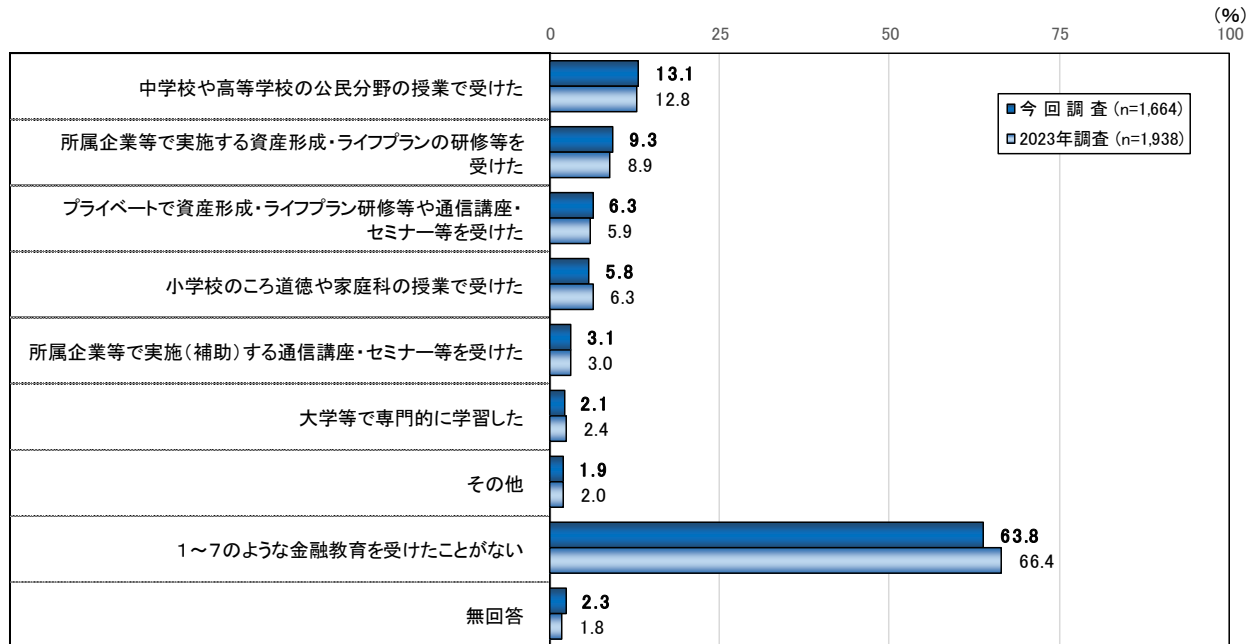
(図表3-6) 投資意向について (問12)



(7) 金融教育を受けた経験

- 金融教育を受けた経験（複数回答）を聞いたところ、「1～7のような金融教育を受けたことがない」が63.8%で最も多く、次いで、「中学校や高等学校の公民分野の授業で受けた」が13.1%、「所属企業等で実施する資産形成・ライフプランの研修等を受けた」が9.3%となった。（図表3-7）

(図表3-7) 金融教育を受けた経験（問13、複数回答）

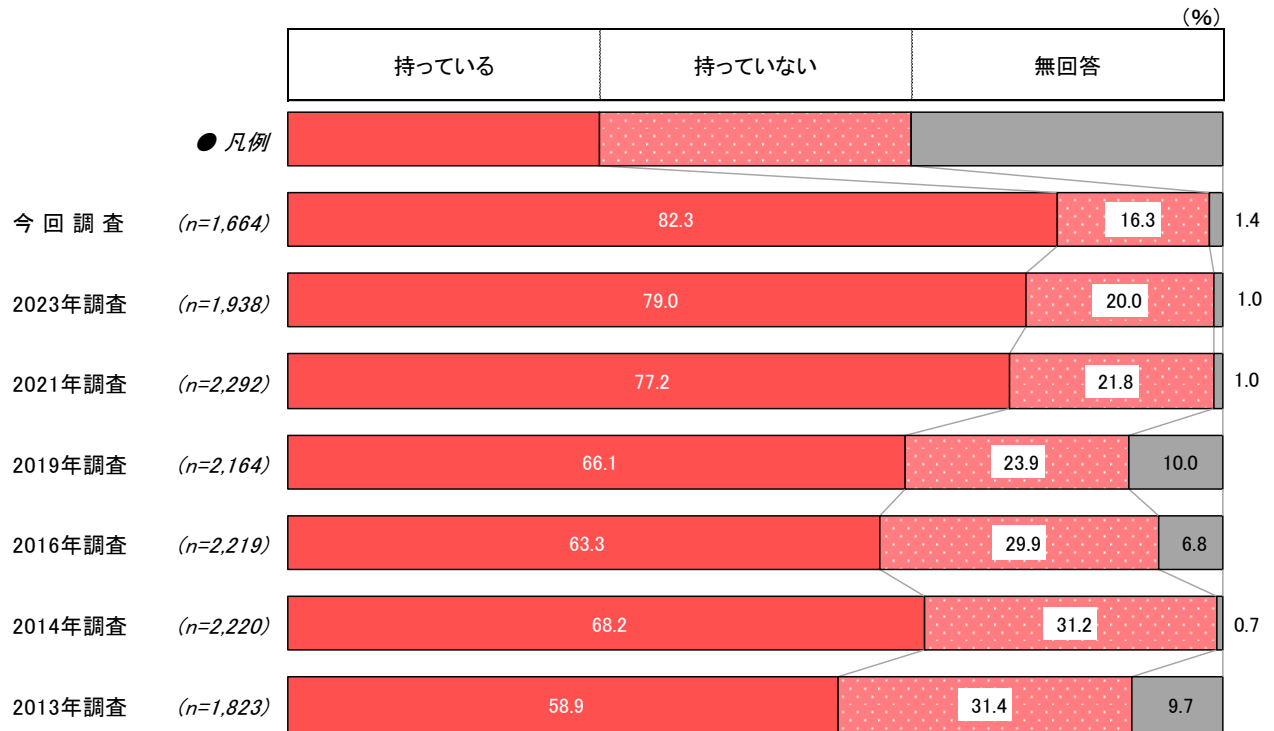


4. クレジットカードについて

(1) 自分名義クレジットカードの保有状況

- 自分名義のクレジットカードは、「持っている」と答えた人が 82.3%で、「持っていない」(16.3%)を 66.0 ポイント上回った。(図表 4-1)

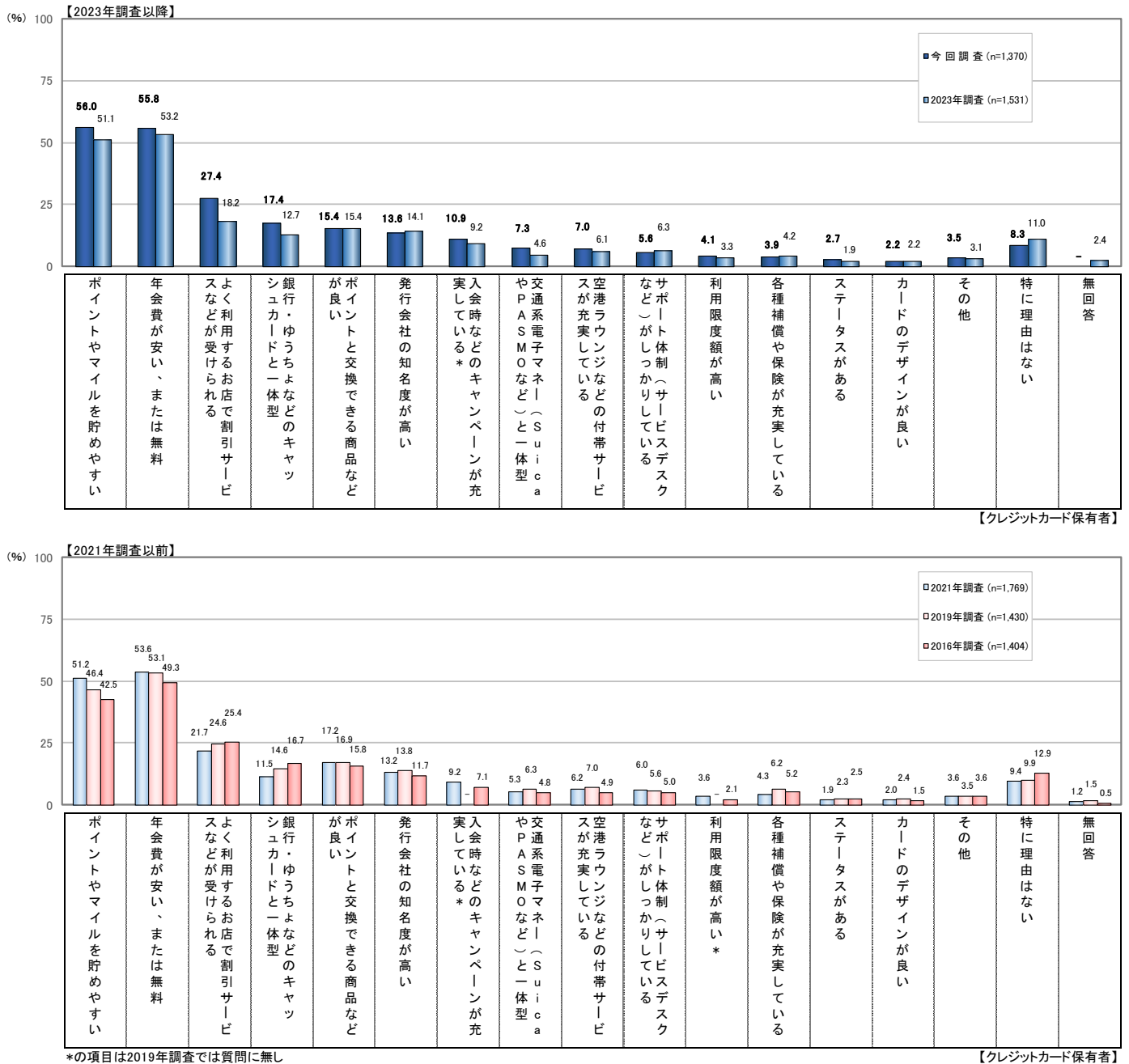
(図表 4-1) 自分名義クレジットカードの保有状況 (問 14)



(2) 自分名義クレジットカードの選択理由

- 自分名義のクレジットカード保有者 (n=1,370) のクレジットカード選択理由 (複数回答) としては、「ポイントやマイルを貯めやすい」が 56.0%で最も多かった。以下、「年会費が安い、または無料」(55.8%) 「よく利用するお店で割引サービスなどが受けられる」(27.4%)、「銀行・ゆうちょなどのキャッシュカードと一体型」(17.4%)、「ポイントと交換できる商品などが良い」(15.4%)、「発行会社の知名度が高い」(13.6%)、「入会時などのキャンペーンが充実している」(10.9%) などの順で続いた。(図表 4-2)

(図表 4-2) 自分名義クレジットカードの選択理由 (問 14-1、複数回答)

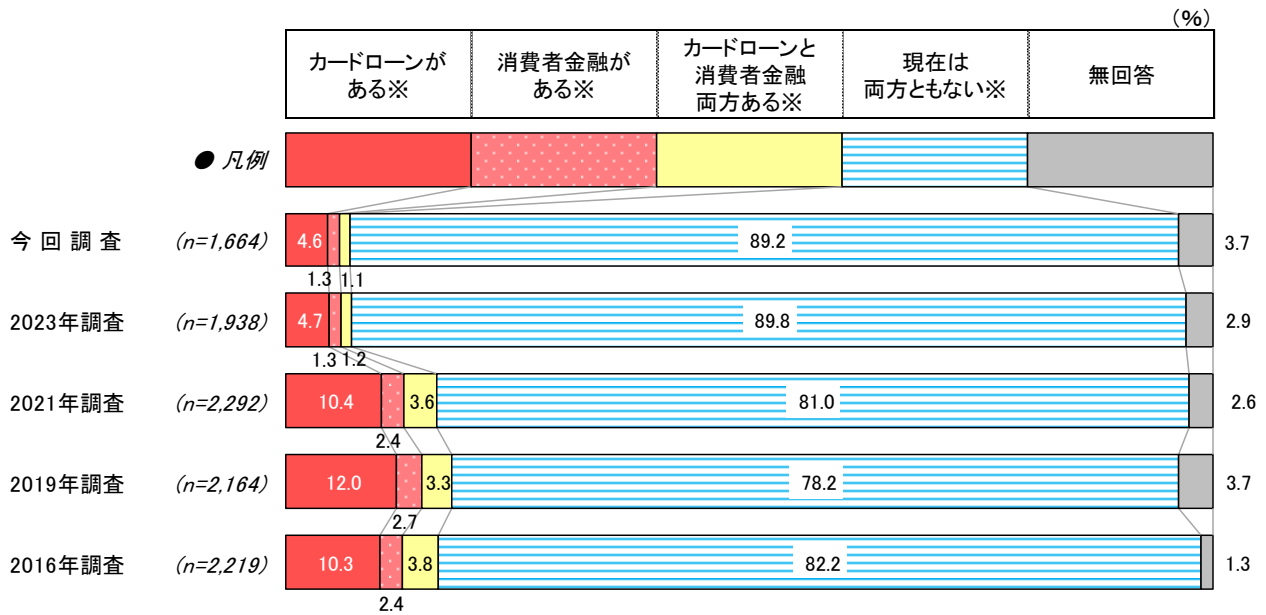


5. カードローンや消費者金融について

(1) カードローンや消費者金融からの借入状況

- 現在のカードローンや消費者金融からの借入状況として、「カードローンがある」人は 4.6%で、「消費者金融がある」人が 1.3%、「カードローンと消費者金融両方ある」人が 1.1%となった。89.2%は「現在は両方ともない」と回答している。(図表 5-1)

(図表 5-1) カードローンや消費者金融からの借入状況 (問 15)



※2021年調査までは、「カードローンはある」、「消費者金融はある」、
「カードローンも消費者金融もある」、「どちらもない」と聞いていた。

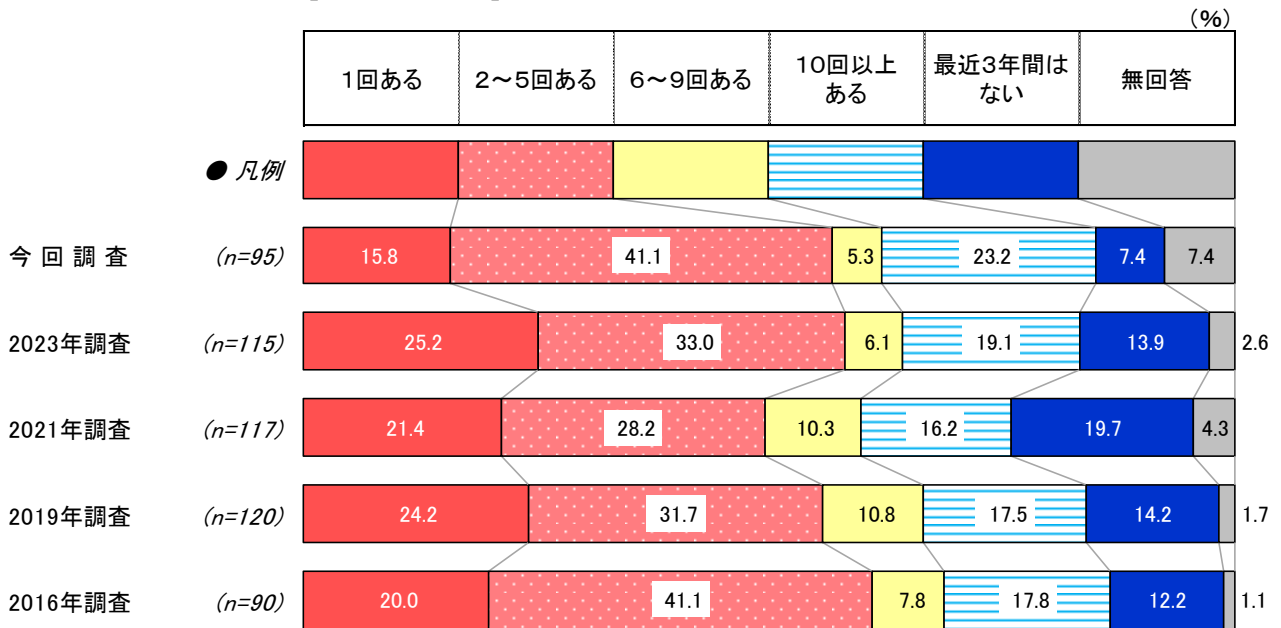
※※2021年調査までは、これまでに借入したことがあるかについてたずねていた。

(2) 最近3年間のカードローンや消費者金融から借入回数

- カードローン借入者 (n=95) の、最近3年間の借入回数は、「2～5回ある」が41.1%で最も多く、次いで「10回以上ある」が23.2%、「1回ある」が15.8%であった。「最近3年間はない」は7.4%であった(図表5-2-ア)。
- 消費者金融借入者40人では、過去3年間の借入が「1回ある」人が9人、「2～5回ある」人は8人、「最近3年間はない」が1人で、11人は「10回以上ある」と回答している(図表5-2-イ)。

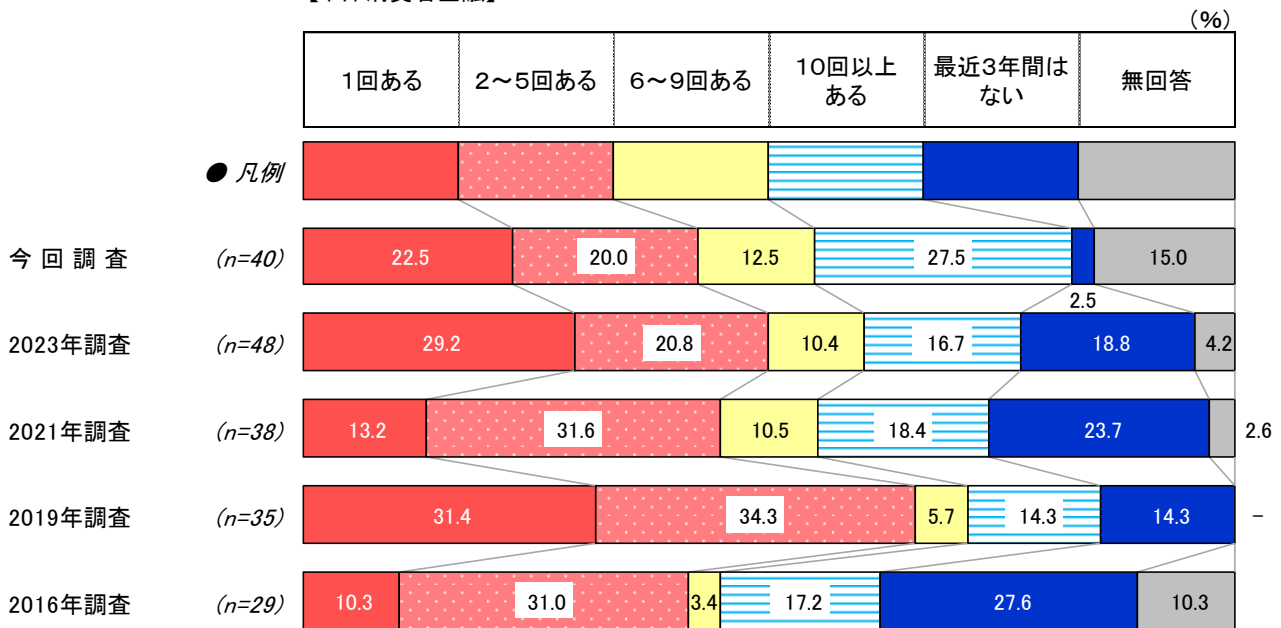
(図表5-2) 最近3年間のカードローンや消費者金融から借入回数(問15-1)

【(ア)カードローン】



【カードローン借入残高あり】

【(イ)消費者金融】

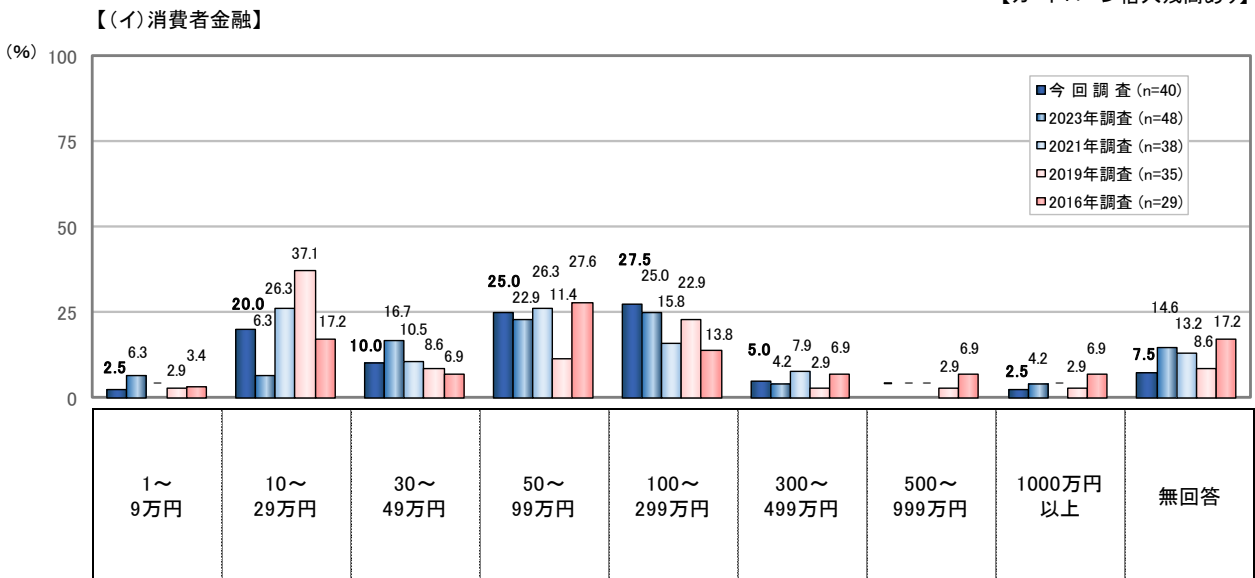
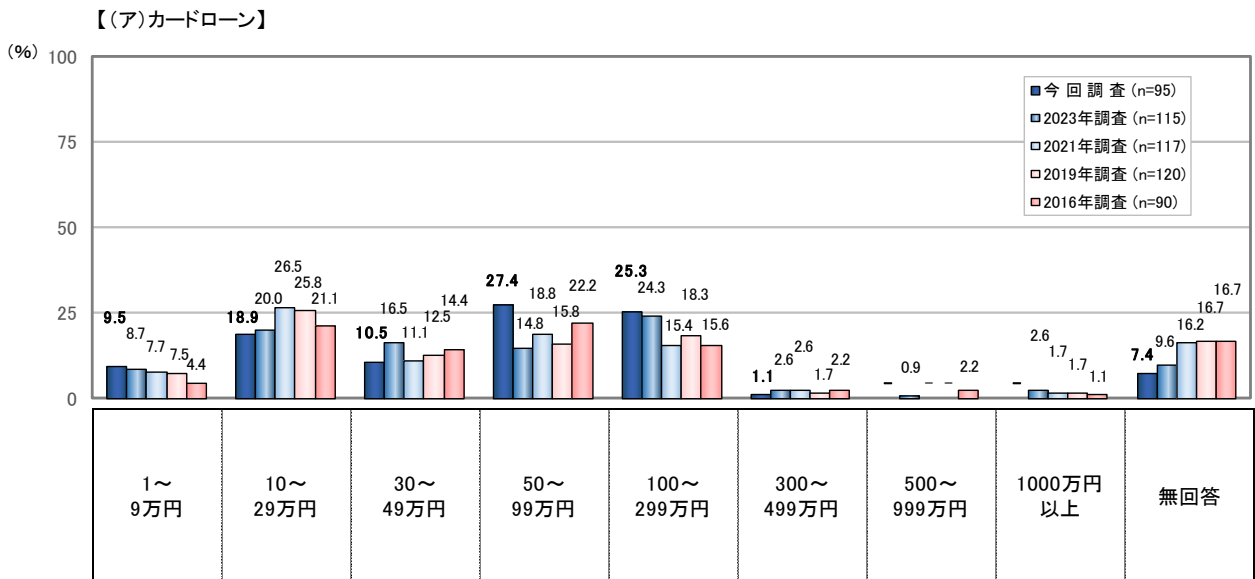


【消費者金融借入残高あり】

(3) 現在のカードローンや消費者金融からの借入総額

- カードローン借入者 (n=95) の現在の借入総額は、「50～99万円」が27.4%、「100～299万円」が25.3%、「10～29万円」が18.9%、現在の平均カードローン借入総額は約65万7千円であった。(図表5-3-ア)
- 一方、消費者金融借入者40人では、「100～299万円」が11人、「50～99万円」が10人で、現在の平均消費者金融借入総額は約170万4千円であった。(図表5-3-イ)

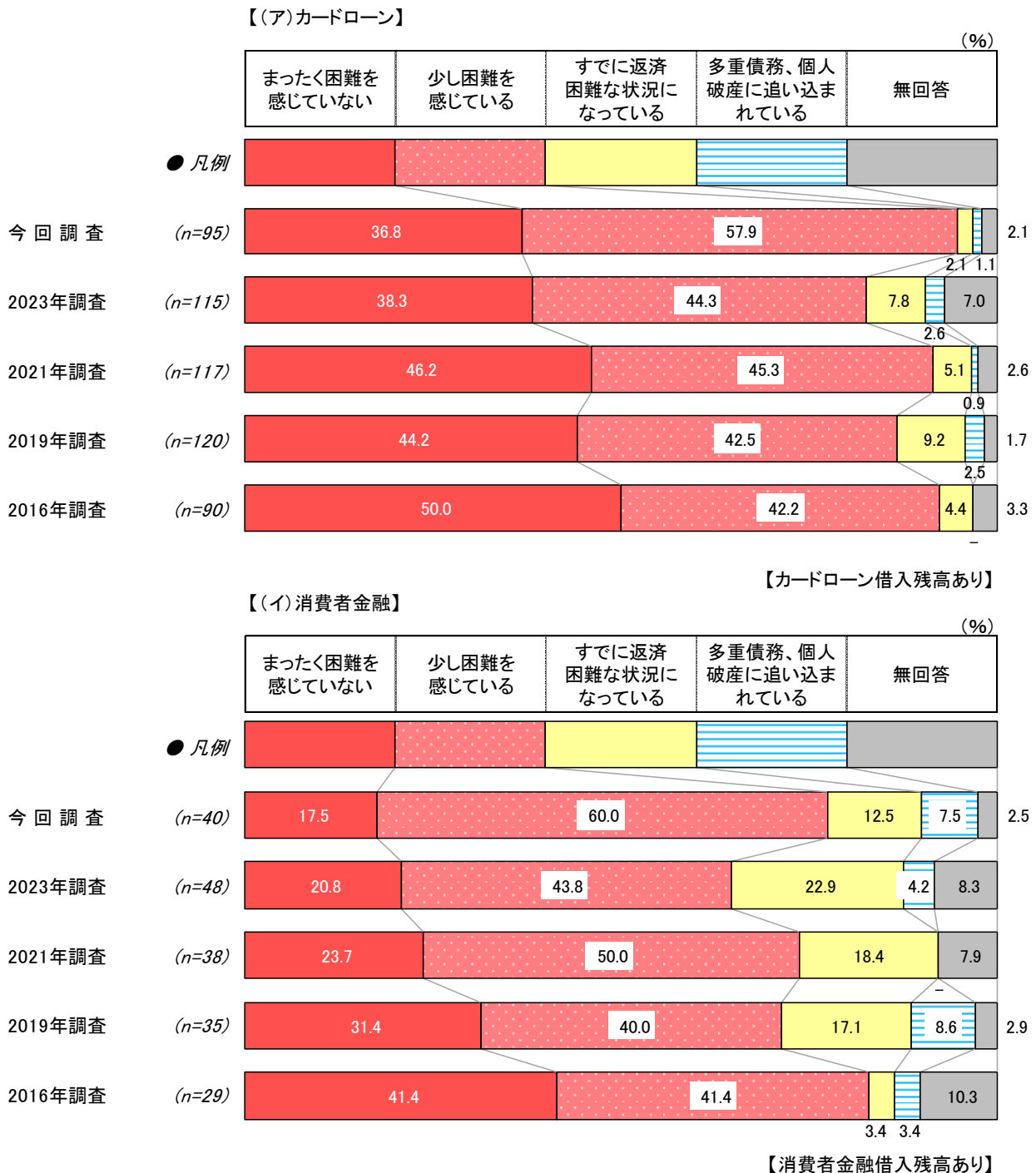
(図表5-3) 現在のカードローンや消費者金融からの借入総額 (問15-2)



(4) カードローンや消費者金融からの現在の借入への返済

- カードローン借入者 (n=95) で、返済に「まったく困難を感じていない」と回答した人は 36.8%であった。「少し困難を感じている」(57.9%)と「すでに返済困難な状況になっている」(2.1%)と合わせた『困難を感じている』は 60.0%であった(図表 5-4-ア)。
- 一方、消費者金融借入者 40 人では、「まったく困難を感じていない」人が 7 人、「少し困難を感じている」人が 24 人、「すでに返済困難な状況になっている」人が 5 人であった。(図表 5-4-イ)。

(図表 5-4) カードローンや消費者金融からの現在の借入への返済 (問 15-3)

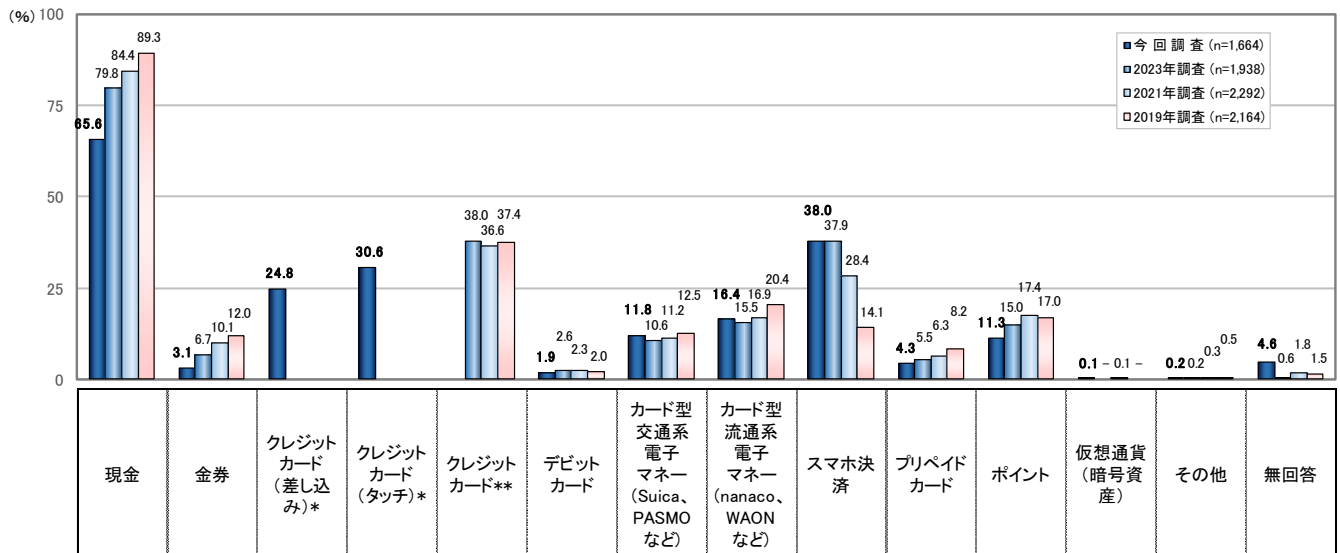


6. 決済方法について

(1) 現金払いとキャッシュレス決済

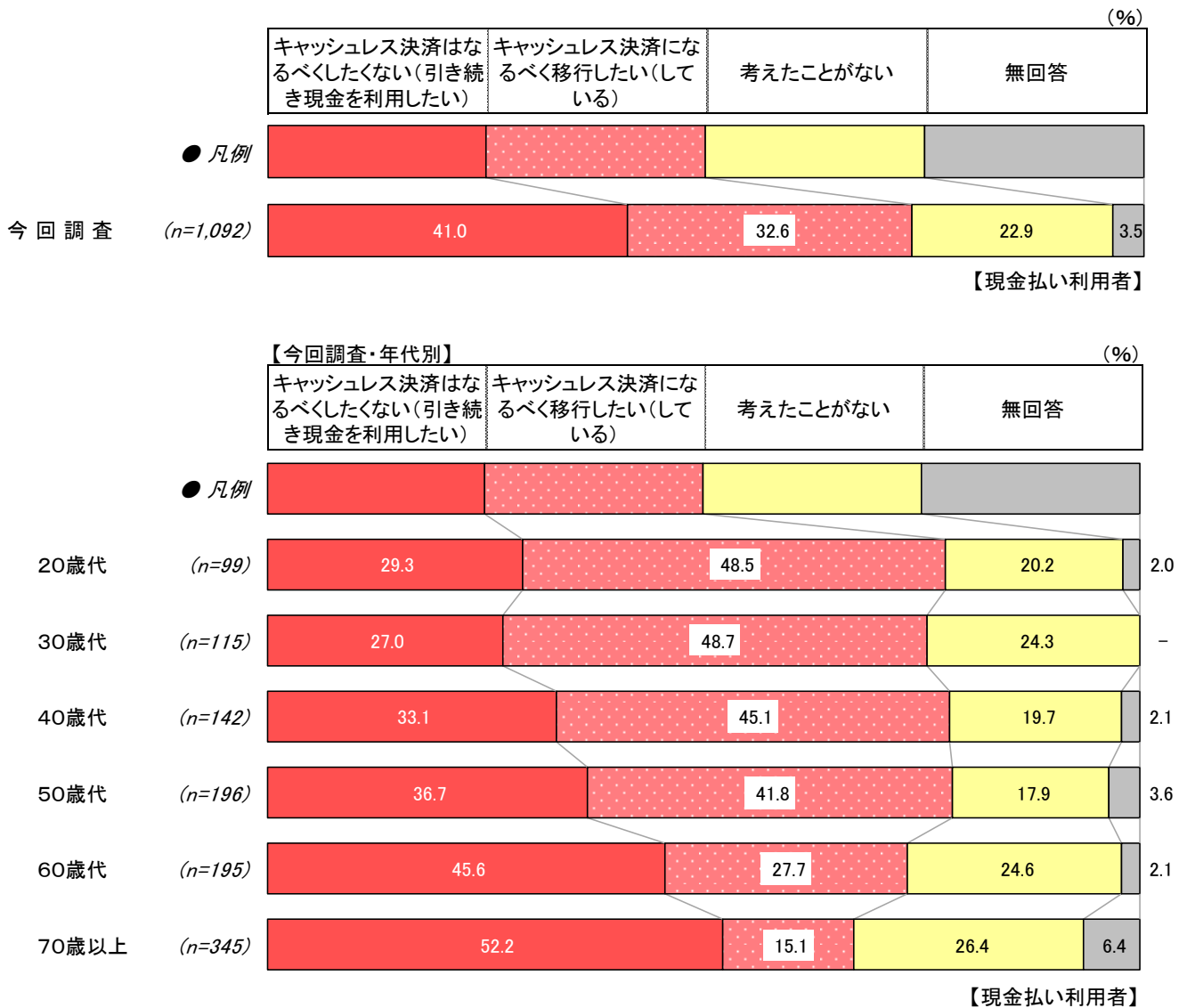
- 「スーパーやコンビニでの買い物の支払い」に利用する決済方法（複数回答）は、「現金」が65.6%と最も多く、次いで、「スマホ決済」（38.0%）、「クレジットカード（タッチ）」（30.6%）、「クレジットカード（差し込み）」（24.8%）、「カード型流通系電子マネー（nanaco、WAON など）」（16.4%）、「カード型交通系電子マネー（Suica、PASMO など）」（11.8%）、「ポイント」（11.3%）などとなった。（図表 6-1-1）
- 現金払い利用者（n=1,092）で、「キャッシュレス決済はなるべくしたくない（引き続き現金を利用したい）」と回答した人は41.0%であった。「キャッシュレス決済になるべく移行したい（している）」は32.6%、「考えたことがない」が22.9%となった。（図表 6-1-2）
- キャッシュレス決済非利用意向者（n=448）の、今後も現金を利用したい理由（複数回答）は、「その場で支払いが完了するから」が83.0%と最も多く、次いで、「お金を使い過ぎる心配が少ないから」（63.4%）、「多くの場所で使えるから」（25.9%）、「信頼性が高いから」（19.6%）、「手数料などのコストがかからないから」（15.2%）、「キャッシュレス決済の仕方がわからない・設定が難しいから」（12.9%）、「匿名性が高いから」（8.5%）の順であった。（図表 6-1-3）
- キャッシュレス決済利用者（n=1,167）の、キャッシュレス決済を利用する際に最も重要視することは、「ポイント還元率の高い方を使う」が32.3%と最も多く、次いで、「よく利用する店舗で使える方を使う」（20.0%）、「チャージ方法が簡単な方を使う」（8.2%）などとなった。（図表 6-1-4）

(図表 6-1-1) スーパーやコンビニでの支払い方法 (問 16)

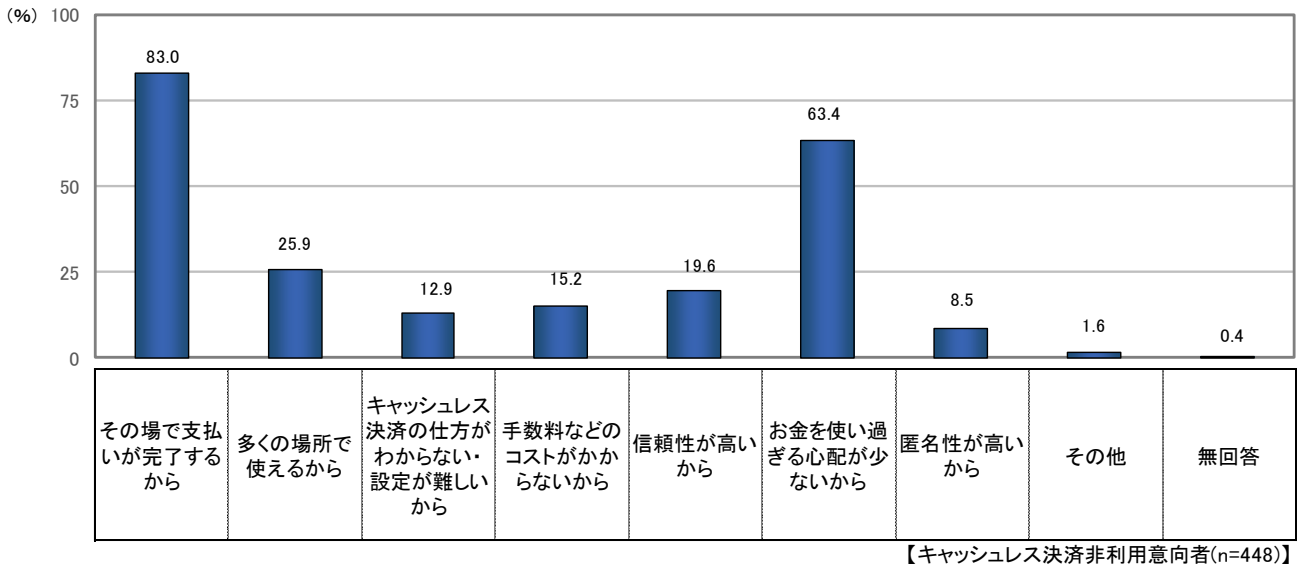


*今回調査から新設された項目(クレジットカードは「差し込み」と「タッチ」に分割した)
 **2023年調査までの項目

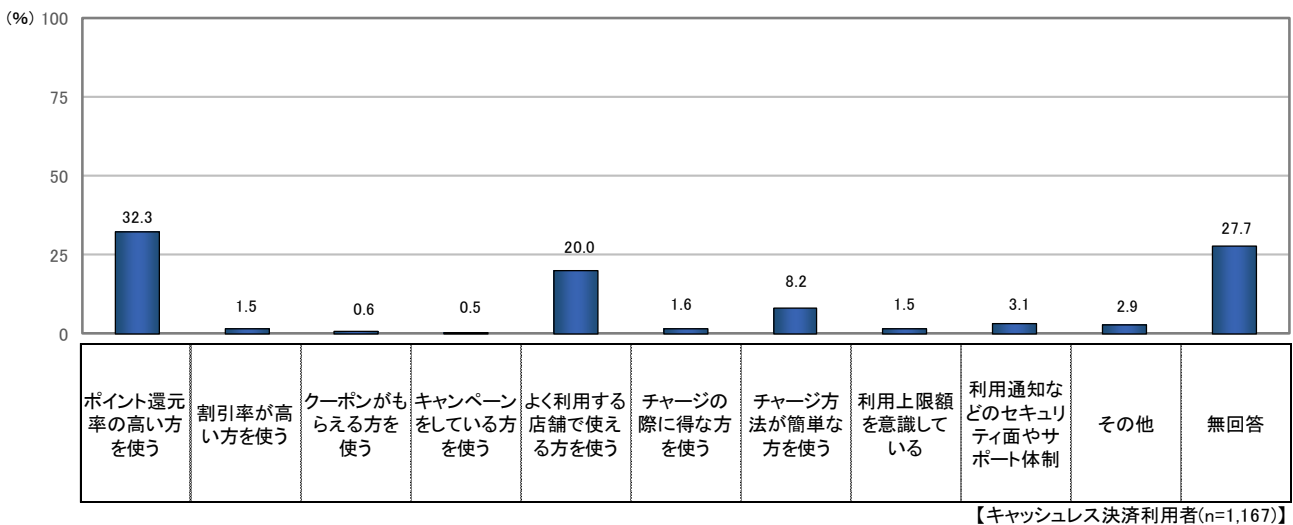
(図表6-1-2) 現金払い利用者のキャッシュレス決済利用意向 (問16-1)



(図表 6-1-3) 現金払い継続意向理由 (問 16-2)



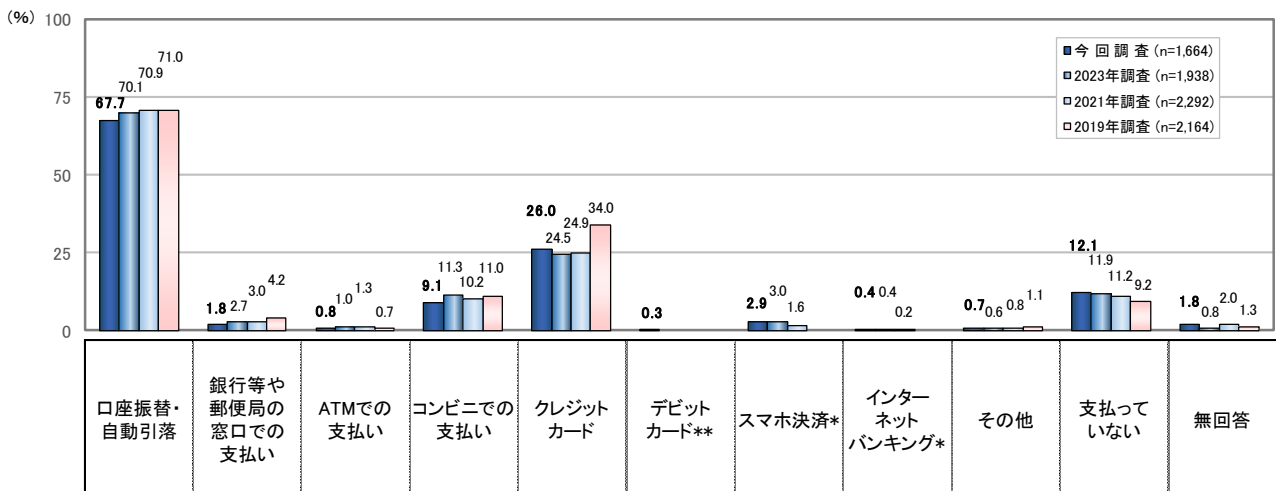
(図表 6-1-4) キャッシュレス決済利用時に最も重要視したこと (問 16-3)



(2) 各種支払いに利用する決済方法

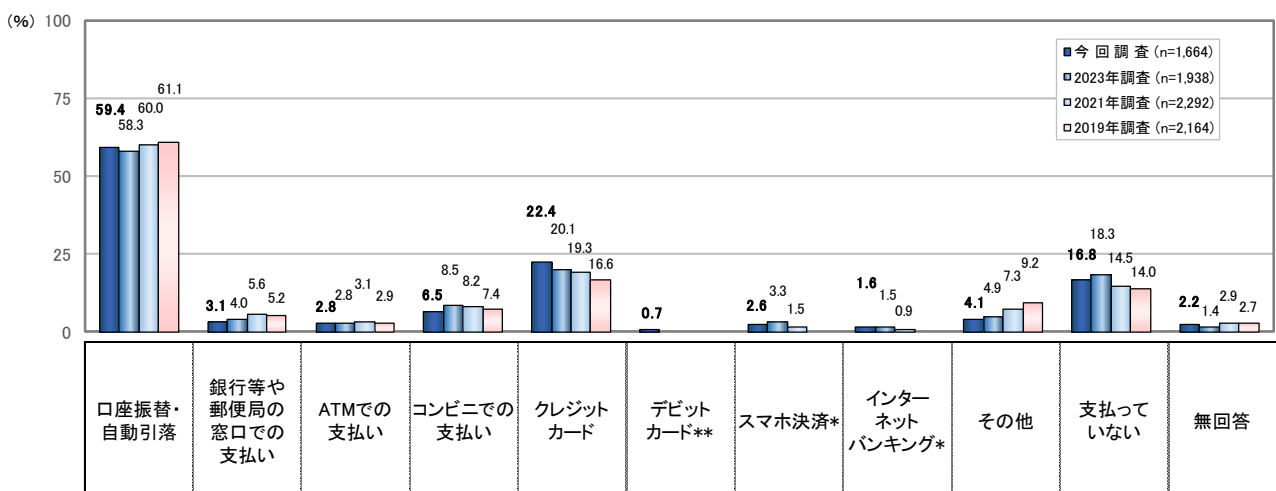
- 「電気・ガス・水道代などの公共料金の支払い」に利用する決済方法（複数回答）は、「口座振替・自動引落」が67.7%と最も多く、次いで、「クレジットカード」(26.0%)、「コンビニでの支払い」(9.1%)の順となった。「支払っていない」は12.1%となった。（図表 6-2-1）
- 「家賃・給食費・新聞購読代などの定期的な支払い」に利用する決済方法（複数回答）は、「口座振替・自動引落」が59.4%と最も多く、次いで、「クレジットカード」(22.4%)、「コンビニでの支払い」(6.5%)の順となった。「支払っていない」は16.8%となった。（図表 6-2-2）
- 「固定資産税などの税金や社会保険料の支払い」に利用する決済方法（複数回答）は、「口座振替・自動引落」が53.0%と最も多く、次いで、「コンビニでの支払い」(19.3%)、「銀行等や郵便局の窓口での支払い」(13.8%)の順となった。「支払っていない」は11.5%となった。（図表 6-2-3）
- 「ネット通販で購入した代金の支払い」に利用する決済方法（複数回答）は、「クレジットカード」が55.6%と最も多く、次いで、「コンビニでの支払い」(23.4%)、「スマホ決済」(15.1%)の順となった。「ネット通販は利用していない」は17.4%となった。（図表 6-2-4）

(図表 6-2-1) 電気・ガス・水道代などの公共料金の支払い方法 (問 17)



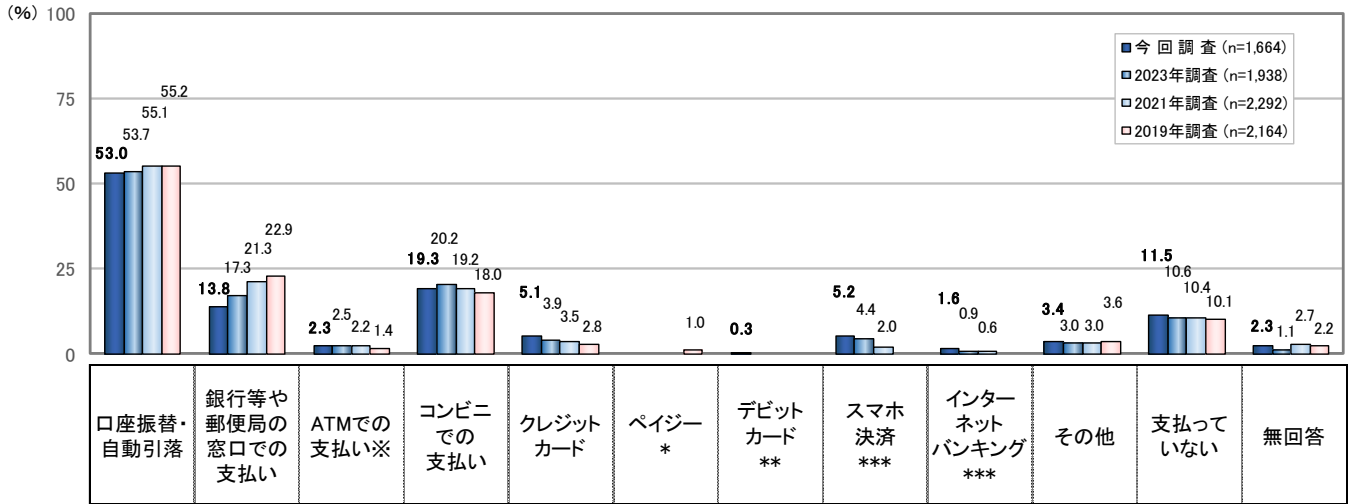
*の項目は2019年調査では質問していない項目。
**の項目は今回調査(2025)で新設した項目。

(図表 6-2-2) 家賃・給食費・新聞購読代などの定期的な支払い方法 (問 18)



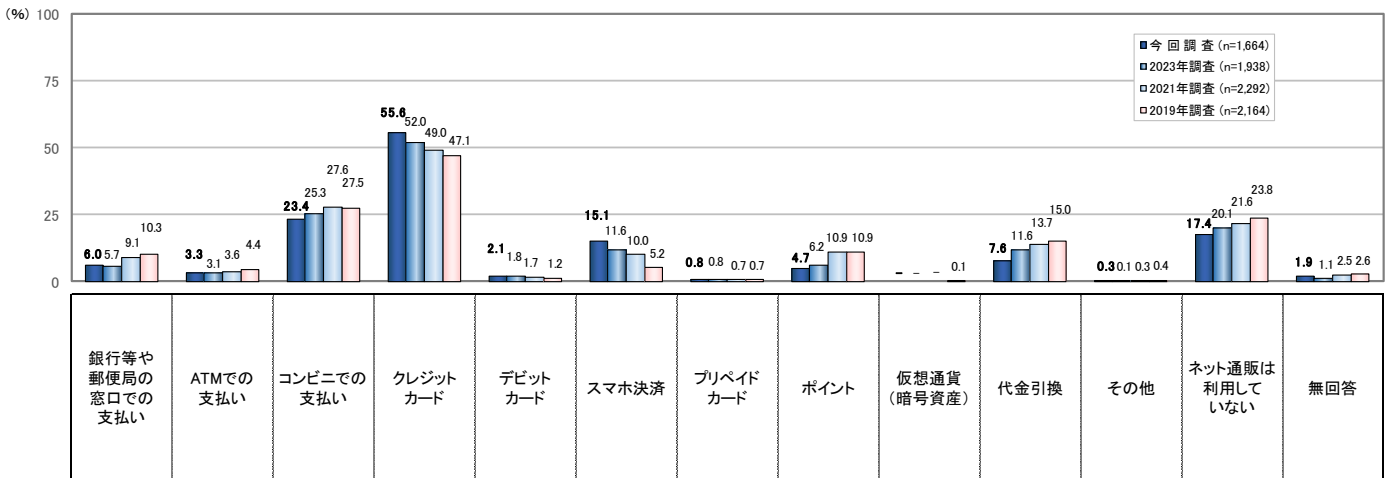
*の項目は2019年調査では質問していない項目。
**の項目は今回調査(2025)で新設した項目。

(図表6-2-3) 固定資産税などの税金や社会保険料の支払い方法 (問19)



※2019年調査では「ATMでの支払い(ペイジーを除く)」と聞いていた。
 *の項目は2019年調査でのみ質問した項目。
 **の項目は今回調査(2025)で新設した項目。
 ***の項目は2019年調査では質問していない項目。

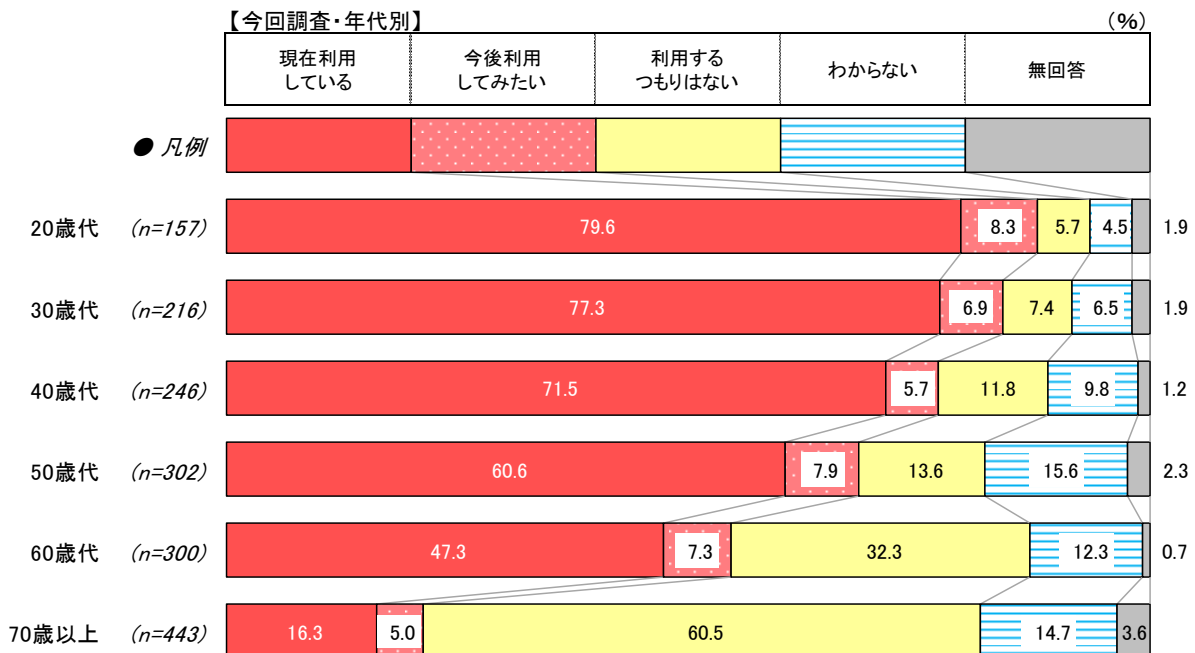
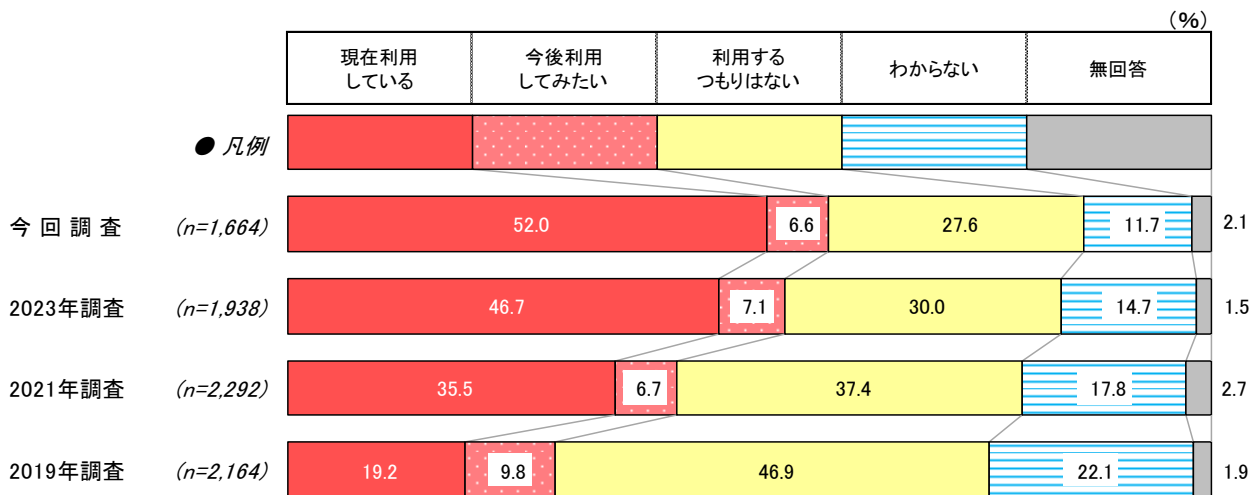
(図表6-2-4) ネット通販で購入した代金の支払い方法 (問20)



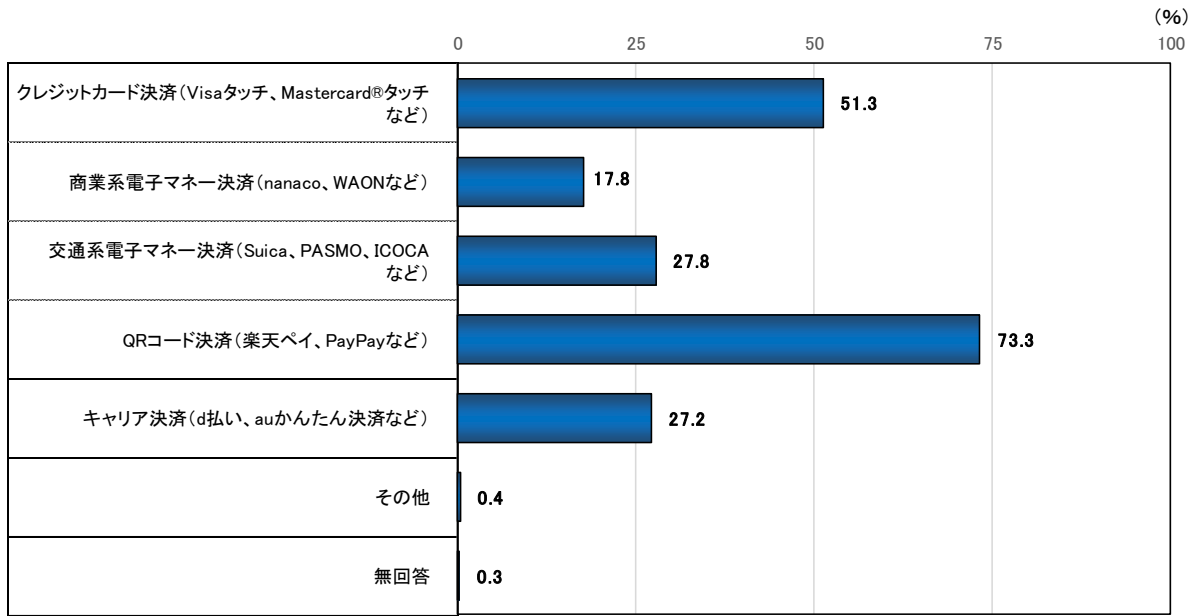
(3) スマホ決済の利用状況・利用意向

- スマホ決済の利用有無または今後利用意向を聞いたところ、「現在利用している」は52.0%で、「今後利用してみたい」の6.6%と合わせて58.6%が利用している、または利用意向がある。他方「利用するつもりはない」が27.6%、「わからない」が11.7%を占めた。(図表6-3-1)
- 利用している／利用意向がある人(n=975)に、現在利用または今後利用したいスマホ決済の種類(複数回答)を聞いたところ、「QRコード決済(楽天ペイ、PayPayなど)」が73.3%と最も多く、次いで、「クレジットカード決済(Visaタッチ、Mastercard®タッチなど)」(51.3%)、「交通系電子マネー決済(Suica、PASMO、ICOCAなど)」(27.8%)、「キャリア決済(d払い、auかんたん決済など)」(27.2%)、「商業系電子マネー決済(nanaco、WAONなど)」(17.8%)の順となった。(図表6-3-2)

(図表6-3-1) スマホ決済の利用状況・利用意向(問21)

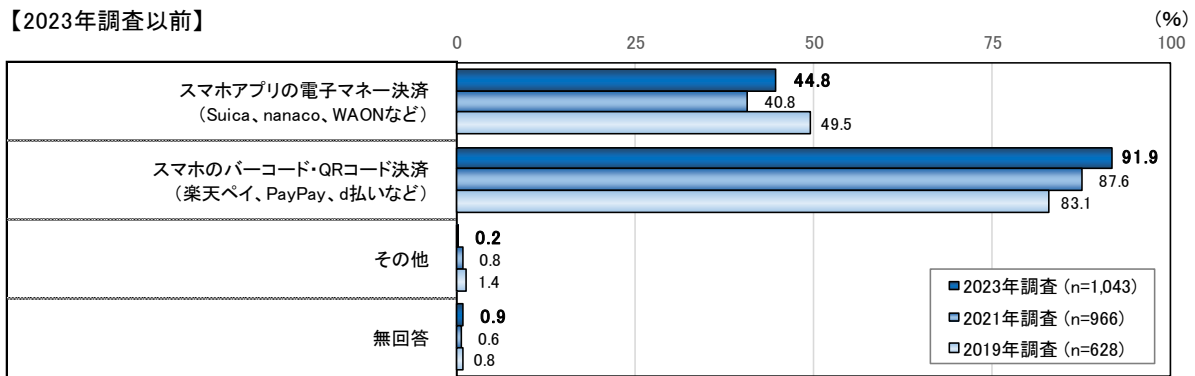


(図表 6-3-2) 現在利用または今後利用したいスマホ決済 (問 21-1、複数回答)



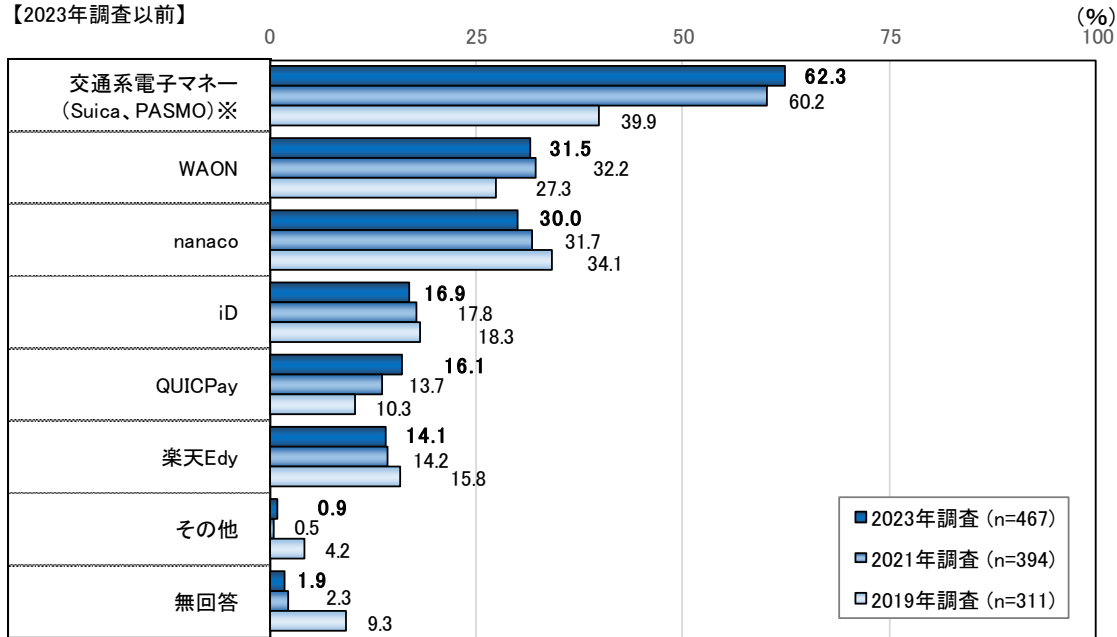
【スマホ決済利用者または利用意向者(n=975)】

【2023年調査以前】



【スマホ決済利用者または利用意向者】

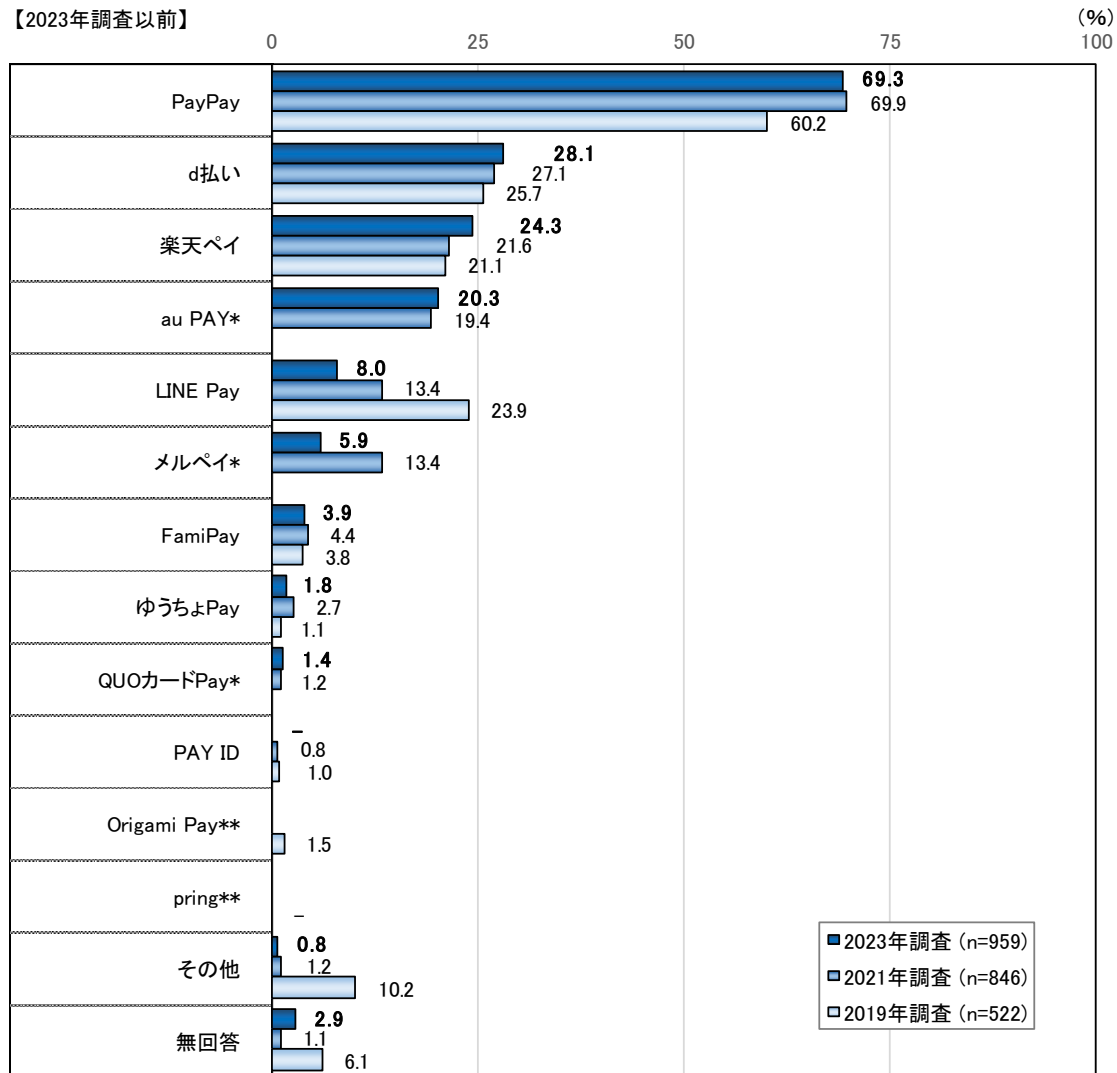
【2023年調査以前】



【スマホアプリの電子マネー決済利用者または利用意向者】

※2019年調査では「Suica」として聞いている。

【2023年調査以前】



【スマホのバーコード・QRコード決済利用者または利用意向者】

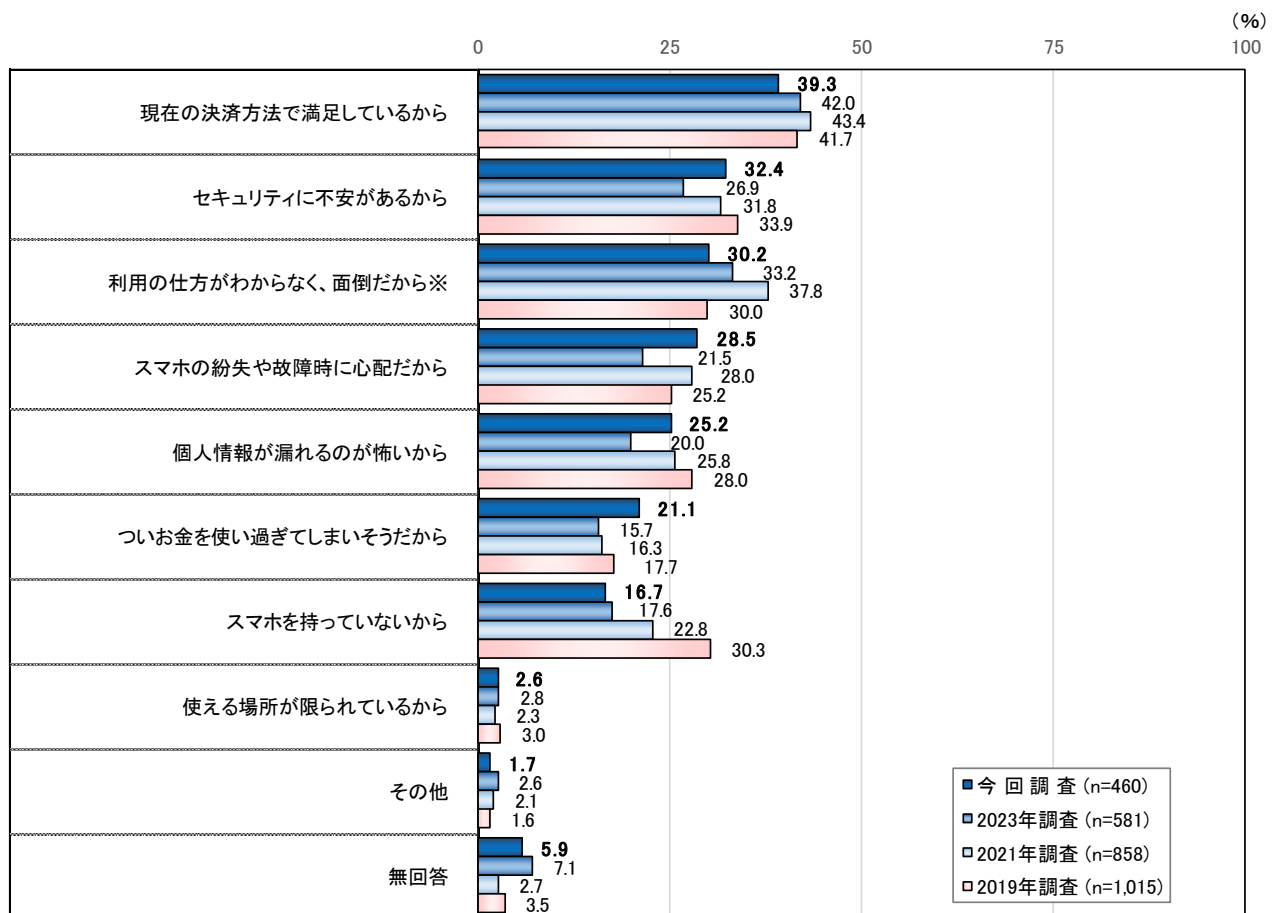
*の項目は2019年調査では質問していない項目。

**の項目は2019年調査でのみ質問した項目。

(4) スマホ決済を利用しない理由

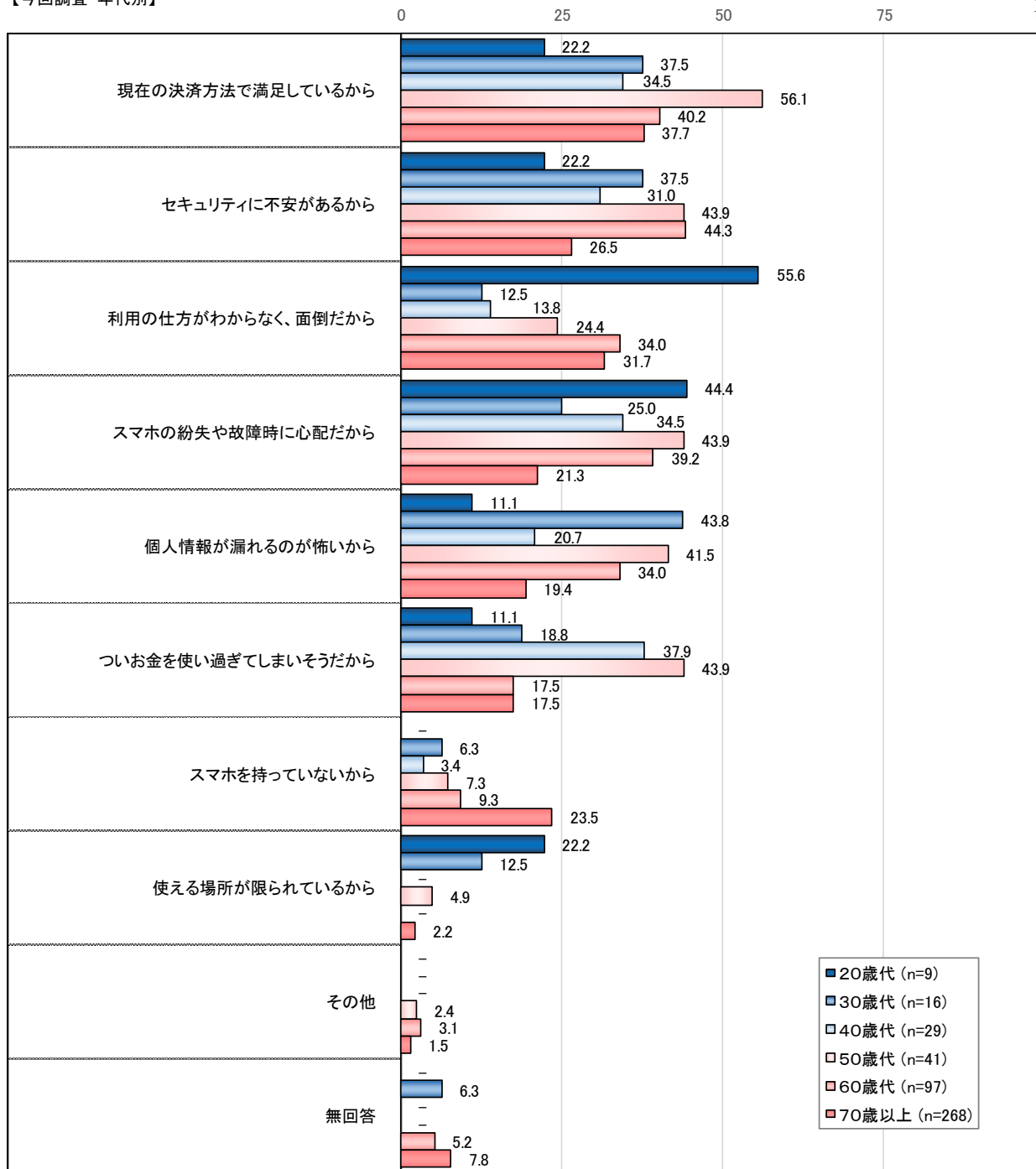
- スマホ決済を「利用するつもりはない」と回答した人 (n=460) に、利用しない理由 (複数回答) を聞いたところ、「現在の決済方法で満足しているから」が 39.3% で最も多く、次いで、「セキュリティに不安があるから」(32.4%)、「利用の仕方がわからなく、面倒だから」(30.2%) が 3 割台、「スマホの紛失や故障時に心配だから」(28.5%)、「個人情報漏れるのが怖いから」(25.2%)、「ついお金を使い過ぎてしまいそうだから」(21.1%) が 2 割台で続き、以下、「スマホを持っていないから」(16.7%)、「使える場所が限られているから」(2.6%) の順となった。(図表 6-4)

(図表 6-4) スマホ決済を利用しない理由 (問 21-2)



【スマホ決済非利用意向者】

※2021年調査までは、「利用の仕方がわからなく、面倒くさそうだから」と聞いていた。



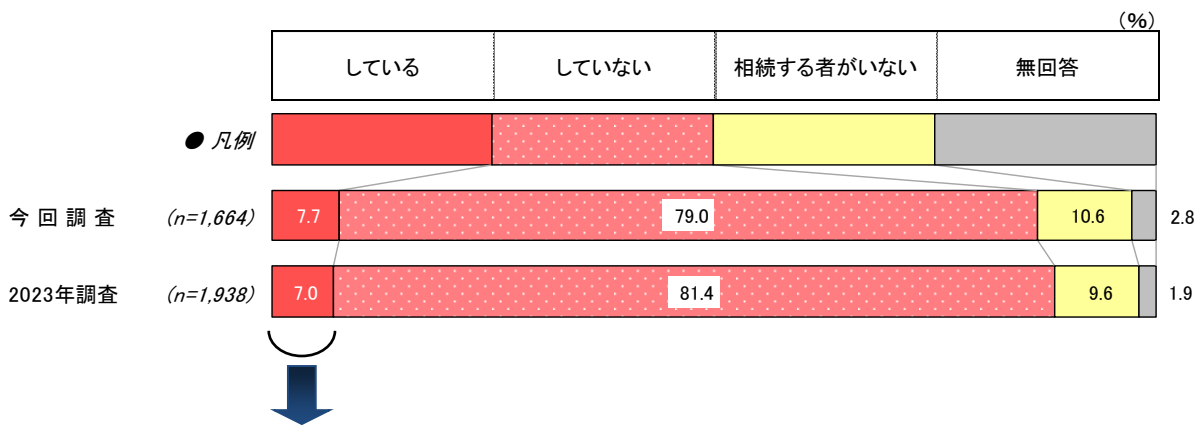
【スマホ決済非利用意向者】

7. 相続対策について

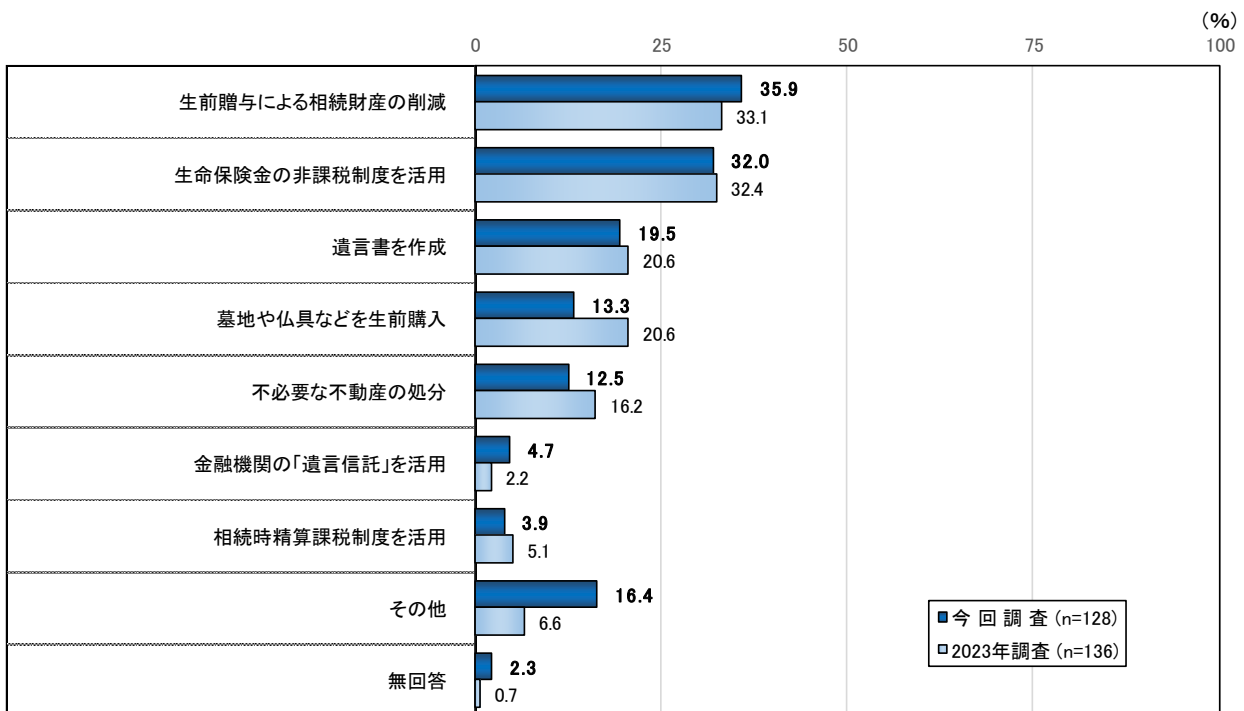
(1) 自身の財産の相続に対する準備

- 相続対策について、自身の財産の相続に対する準備を聞いたところ、「している」は7.7%、「していない」は79.0%、「相続する者がいない」は10.6%であった。(図表 7-1-1)
- 相続対策をしている人 (n=128) に、具体的に取り組んでいる対策 (複数回答) を聞いたところ、「生前贈与による相続財産の削減」が35.9%と最も多く、次いで、「生命保険金の非課税制度を活用」(32.0%)、「遺言書を作成」(19.5%)、「墓地や仏具などを生前購入」(13.3%)、「不必要な不動産の処分」(12.5%) などとなった。(図表 7-1-2)

(図表 7-1-1) 自身の財産の相続に対する準備 (問 22)



(図表 7-1-2) 相続に関する対策 (問 22-1、複数回答)

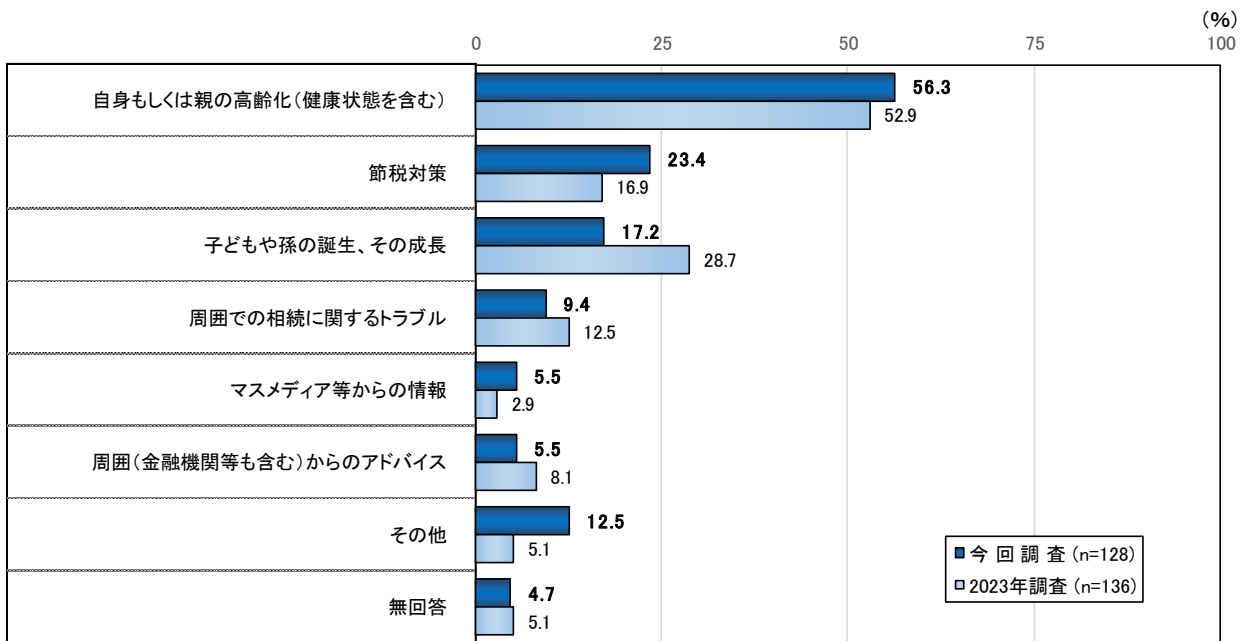


【相続対策経験者】

(2) 相続対策のきっかけ

- 相続対策をしている人（n=128）に、相続対策を行うようになった主なきっかけ（2つまでの複数回答）を聞いたところ、「自身もしくは親の高齢化（健康状態を含む）」が56.3%と最も多く、次いで、「節税対策」（23.4%）、「子どもや孫の誕生、その成長」（17.2%）などとなった。（図表 7-2）

(図表 7-2) 相続対策のきっかけ（問 22-2、2つまでの複数回答）

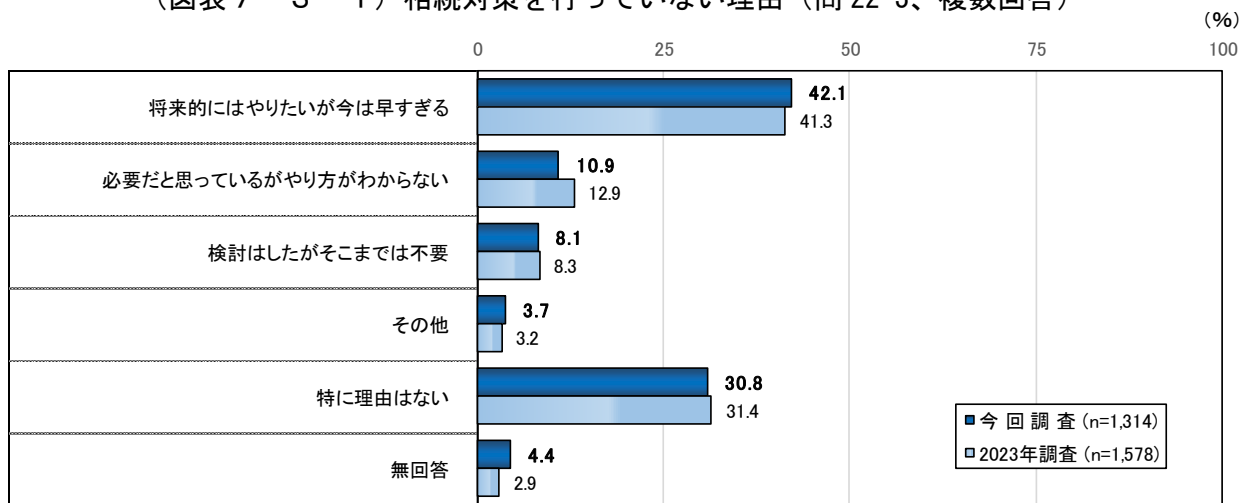


【相続対策経験者】

(3) 相続対策を行っていない理由

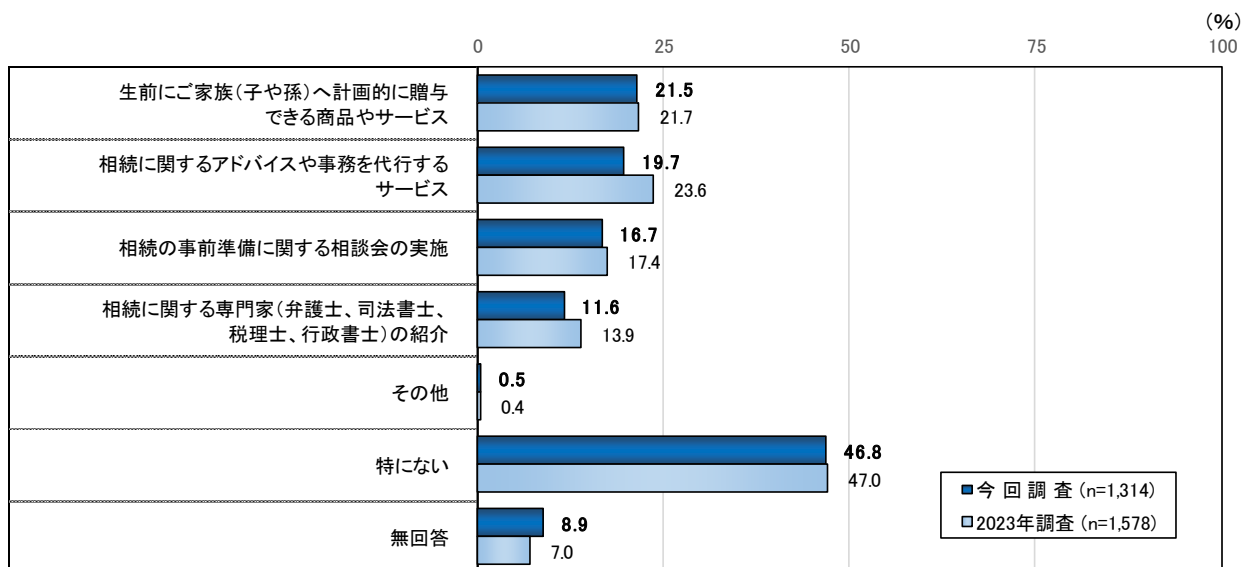
- 相続対策を行っていない人 (n=1,314) に、相続対策を行っていない理由 (複数回答) を聞いたところ、「将来的にはやりたいが今は早すぎる」が 42.1%と最も多く、次いで、「必要だと思っているがやり方がわからない」(10.9%) などとなった。「特に理由はない」は 30.8%。(図表 7-3-1)
- 相続対策を行っていない人 (n=1,314) に、金融機関で利用したい相続に関する商品やサービス (複数回答) を聞いたところ、「生前にご家族 (子や孫) へ計画的に贈与できる商品やサービス」が 21.5%と最も多く、次いで、「相続に関するアドバイスや事務を代行するサービス」(19.7%)、「相続の事前準備に関する相談会の実施」(16.7%)、「相続に関する専門家 (弁護士、司法書士、税理士、行政書士) の紹介」(11.6%) の順であった。「特にない」は 46.8%。(図表 7-3-2)

(図表 7-3-1) 相続対策を行っていない理由 (問 22-3、複数回答)



【相続対策未経験者】

(図表 7-3-2) 利用したい相続に関する商品やサービス (問 22-4、複数回答)

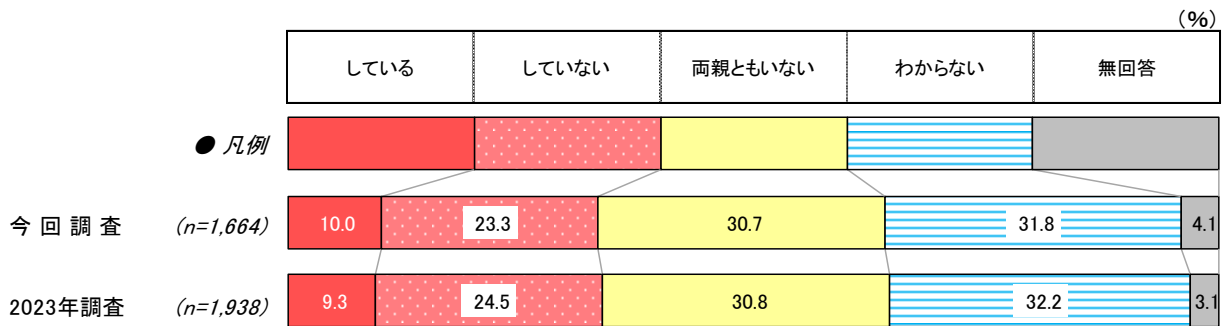


【相続対策未経験者】

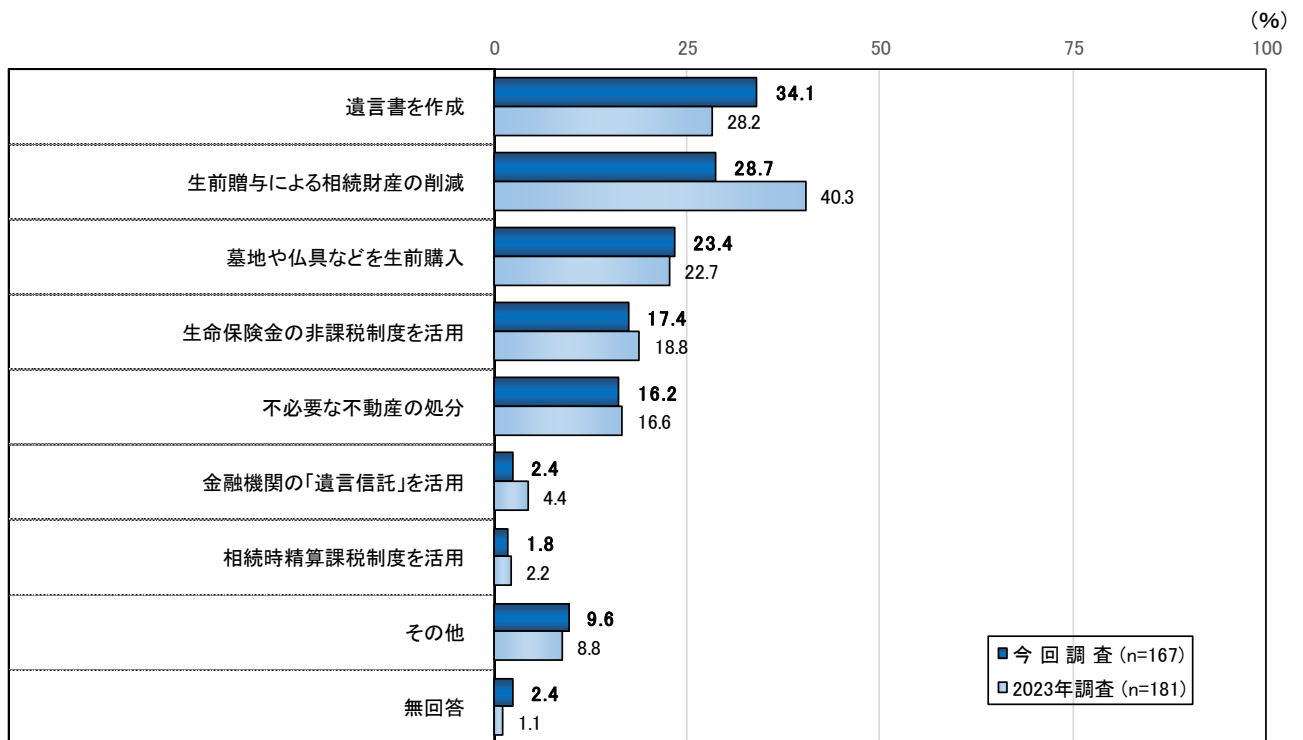
(4) 親の相続の準備

- 親の相続の準備経験を聞くと、「している」は10.0%、「していない」は23.3%、「両親ともいない」は30.7%、「わからない」は31.8%であった。(図表 7-4-1)
- 親の相続の準備経験者 (n=167) に、具体的に行っている対策 (複数回答) を聞いたところ、「遺言書を作成」が34.1%と最も多く、次いで、「生前贈与による相続財産の削減」(28.7%)、「墓地や仏具などを生前購入」(23.4%) が2割台であった。(図表 7-4-2)

(図表 7-4-1) 親の相続の準備 (問 23)



(図表 7-4-2) 具体的に行っている親の相続の対策 (問 23-1、複数回答)



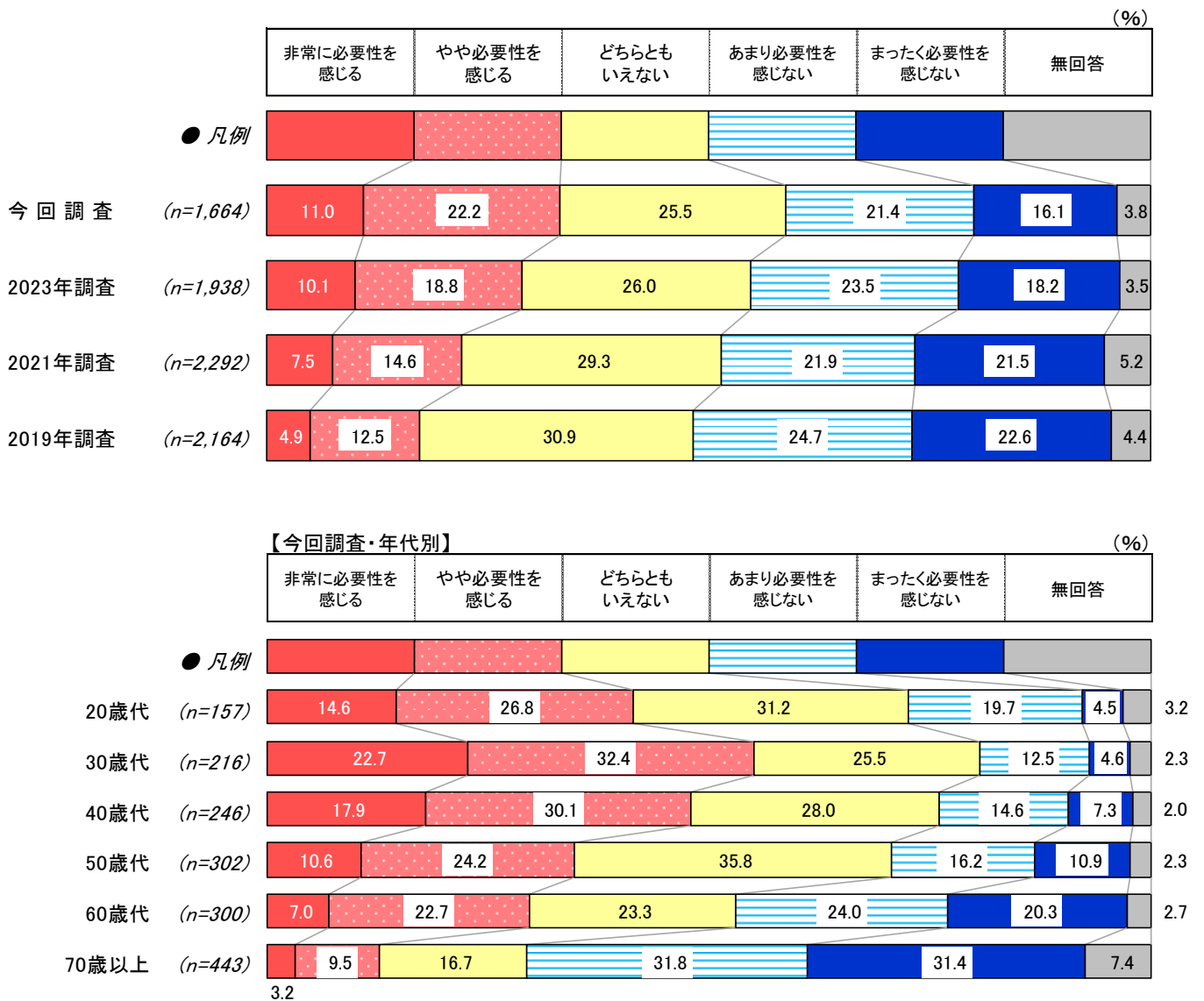
【親の相続準備経験者】

8. リスク性金融商品について

(1) リスク性金融商品を保有する必要性

- リスク性金融商品を保有することの必要性の意識の程度を聞くと、「どちらともいえない」が25.5%で最も多い。『必要性を感じない』（「あまり必要性を感じない」「まったく必要性を感じない」の合計）は37.5%で、『必要性を感じる』（「非常に必要性を感じる」「やや必要性を感じる」の合計）の33.2%を上回った。（図表8-1）

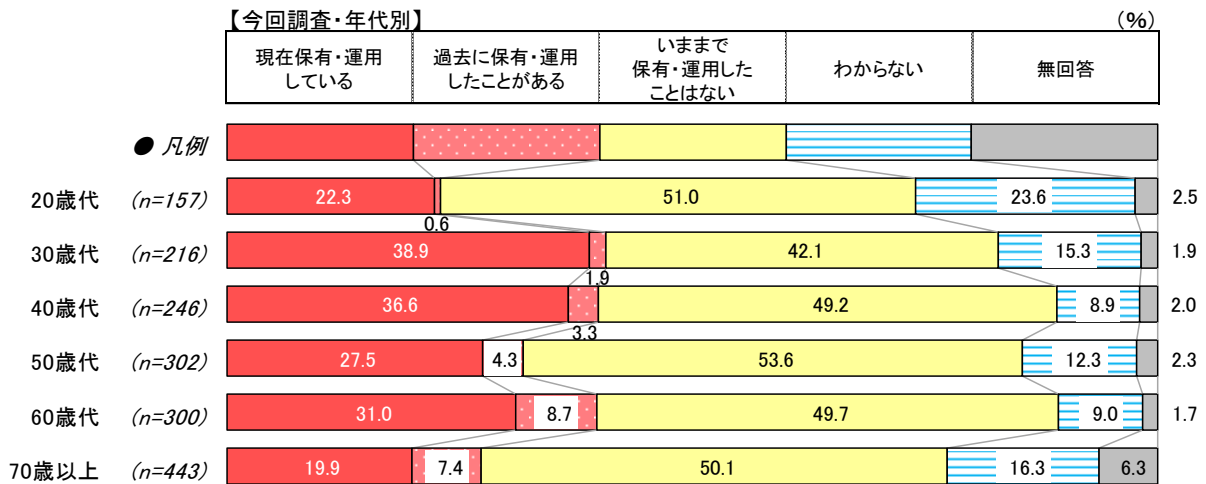
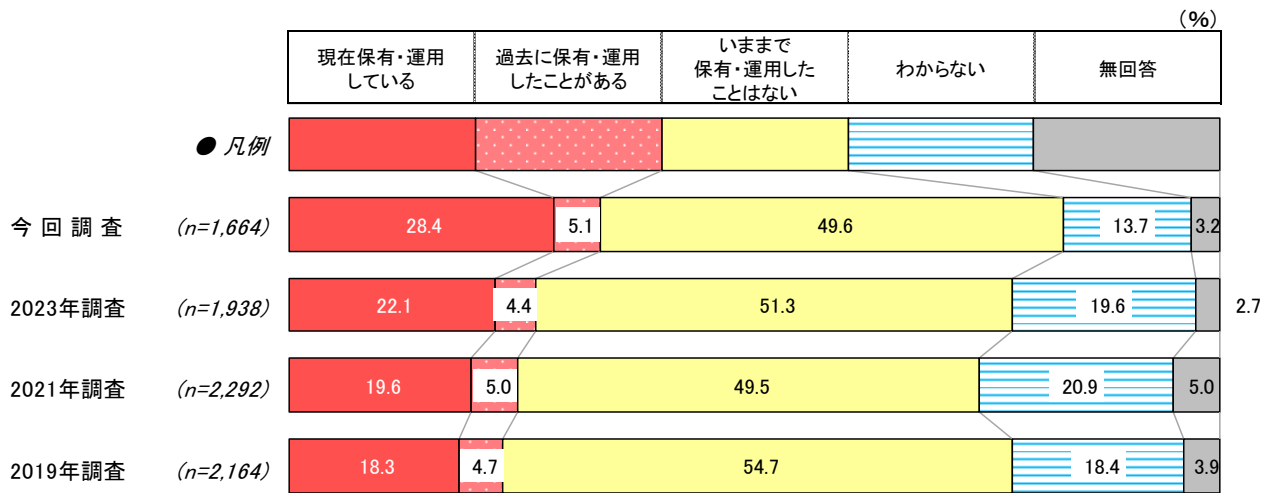
(図表8-1) リスク性金融商品（投資信託など）を保有する必要性（問24）



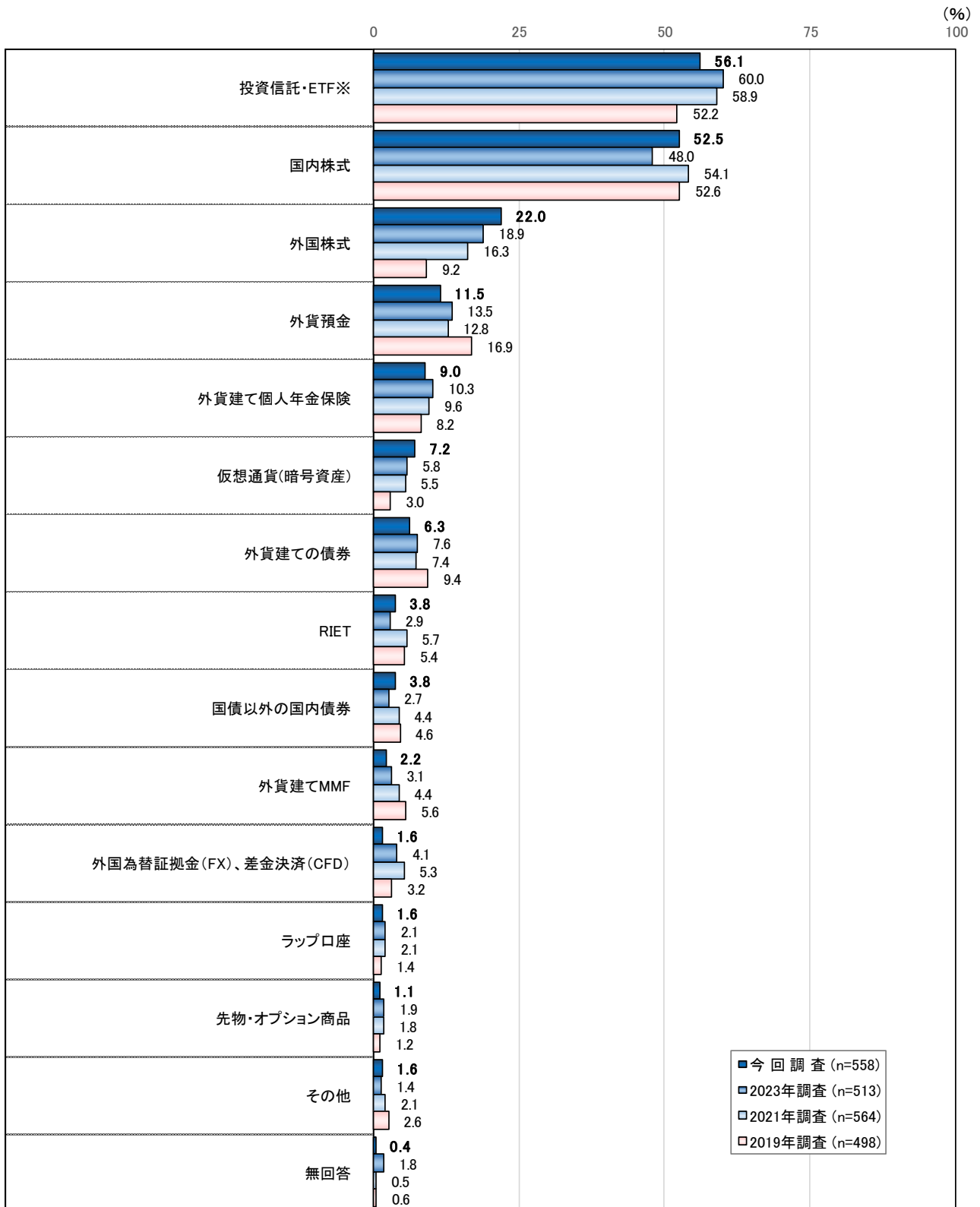
(2) リスク性金融商品の保有・運用経験

- リスク性金融商品を「現在保有・運用している」人は28.4%、「過去に保有・運用したことがある」が5.1%で、合計33.5%が保有・運用経験がある。(図表8-2-1)
- 保有・運用経験がある人(n=558)に、保有・運用したことのあるリスク性金融商品の種類(複数回答)を聞くと、「投資信託・ETF」(56.1%)が最も多く、次いで、「国内株式」(52.5%)、「外国株式」(22.0%)、「外貨預金」(11.5%)の順となり、その他の商品は1割未満であった。(図表8-2-2)

(図表8-2-1) リスク性金融商品の保有・運用経験(問25)



(図表 8-2-2) 保有・運用したことがあるリスク性金融商品 (問 25-1、複数回答)

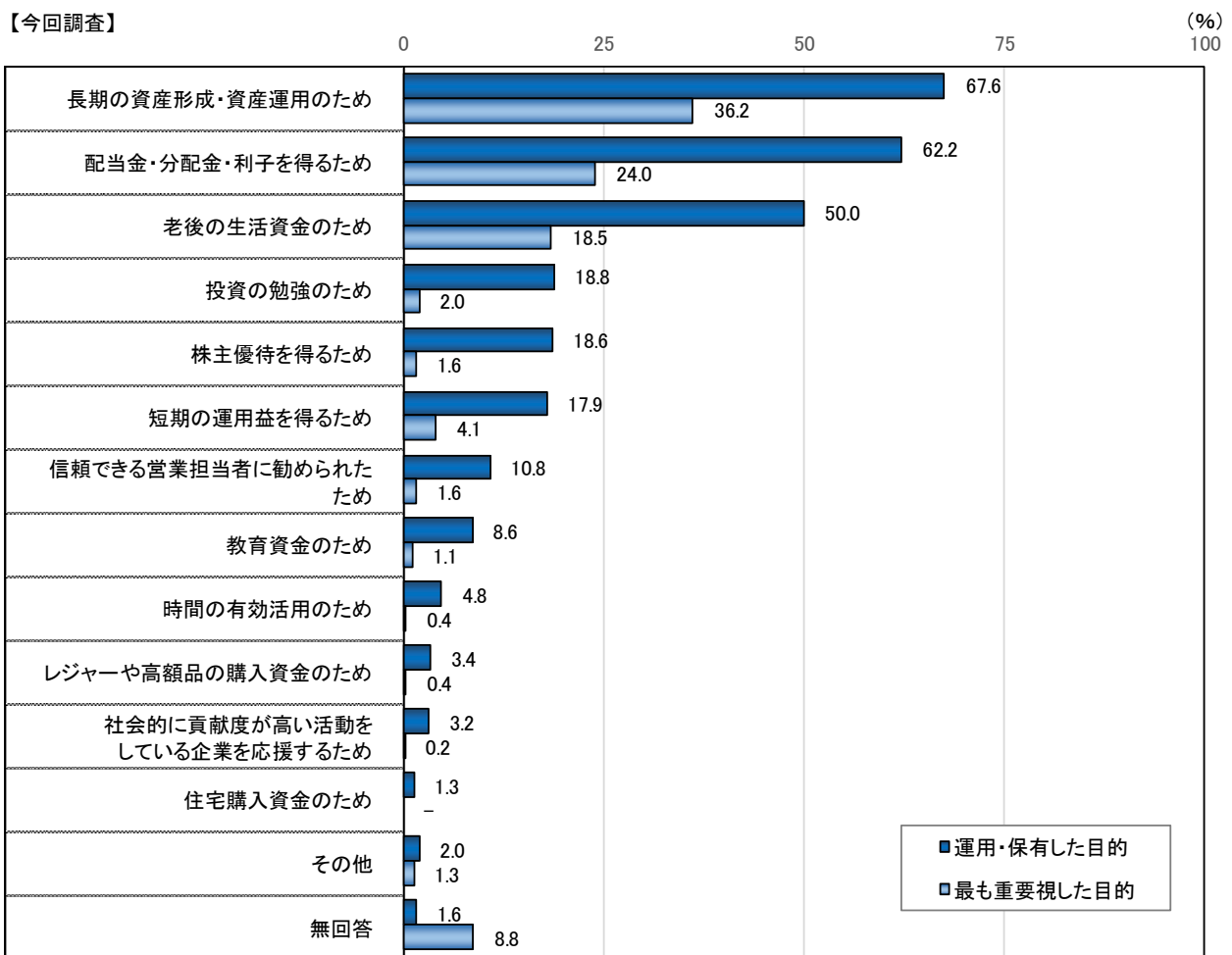


※2023年調査までは「投資信託」のみだった。

(3) リスク性金融商品の保有・運用の目的

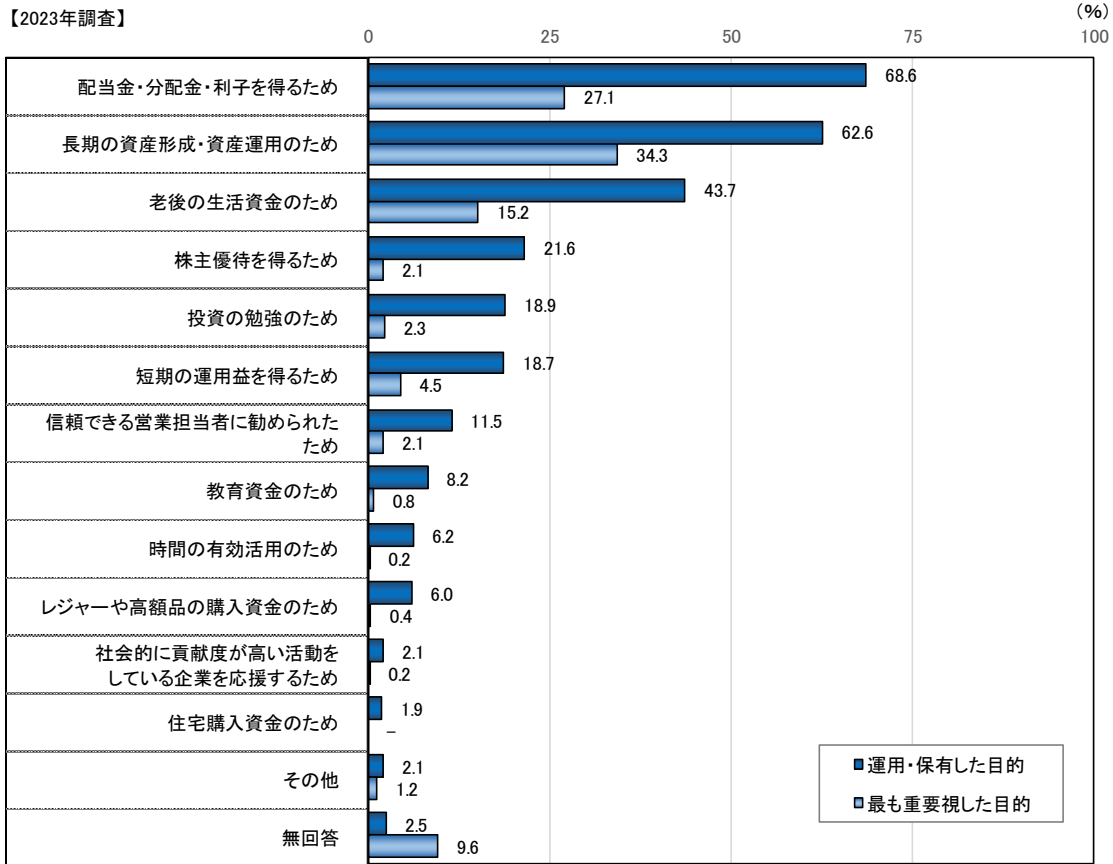
- 保有・運用経験がある人 (n=558) に、保有・運用の目的 (複数回答) を聞くと、「長期の資産形成・資産運用のため」(67.6%)、「配当金・分配金・利子を得るため」(62.2%)、「老後の生活資金のため」(50.0%)、「投資の勉強のため」(18.8%)、「株主優待を得るため」(18.6%)、「短期の運用益を得るため」(17.9%)、「信頼できる営業担当者に勧められたため」(10.8%) の順で、そのほかは1割未満であった。
- そのうち最も重視したものを1つ聞くと、「長期の資産形成・資産運用のため」が36.2%、「配当金・分配金・利子を得るため」が24.0%で、この2つで約6割を占める。(図表8-3)

(図表8-3) リスク性金融商品を保有・運用した目的と、最も重要視した目的 (問25-2(1)(2))

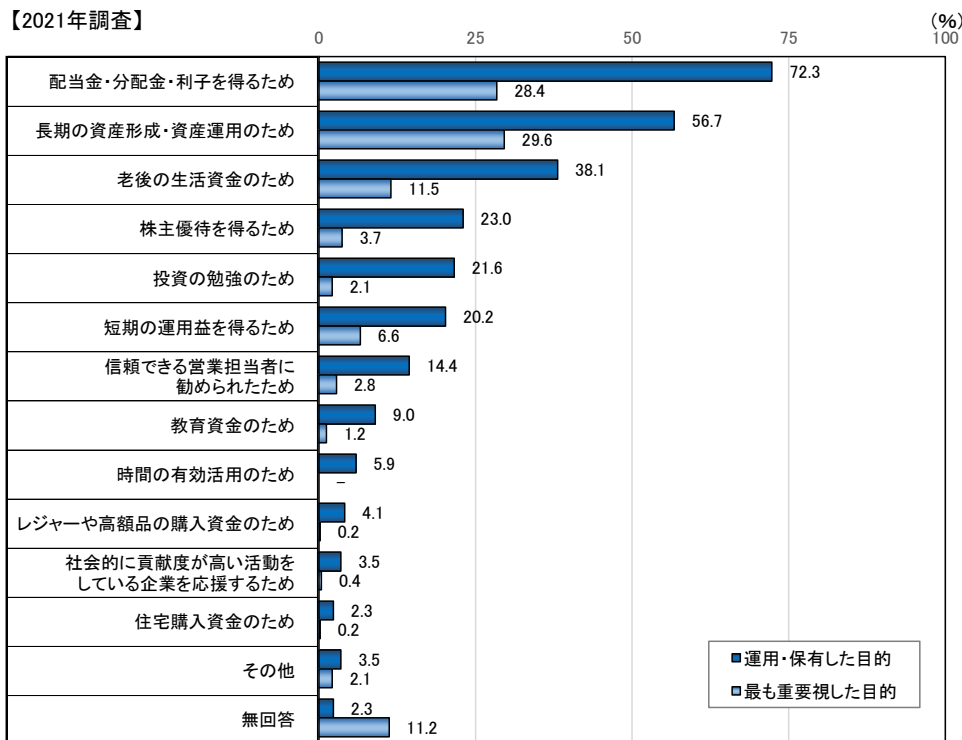


【リスク性金融商品の保有・運用経験者(n=558)】

(図表 8-3 続き) リスク性金融商品を保有・運用した目的と、最も重要視した目的
(2023年調査・2021年調査)

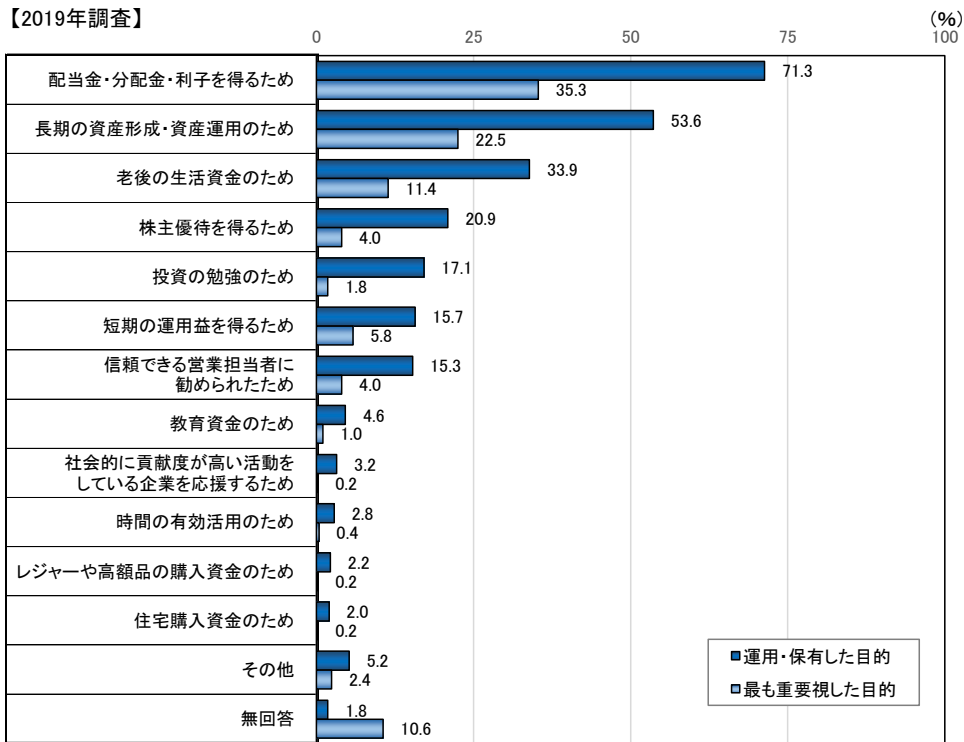


【リスク性金融商品の保有・運用経験者(n=513)】



【リスク性金融商品の保有・運用経験者(n=564)】

(図表 8-3 続き) リスク性金融商品を保有・運用した目的と、最も重要視した目的 (2019 年調査)

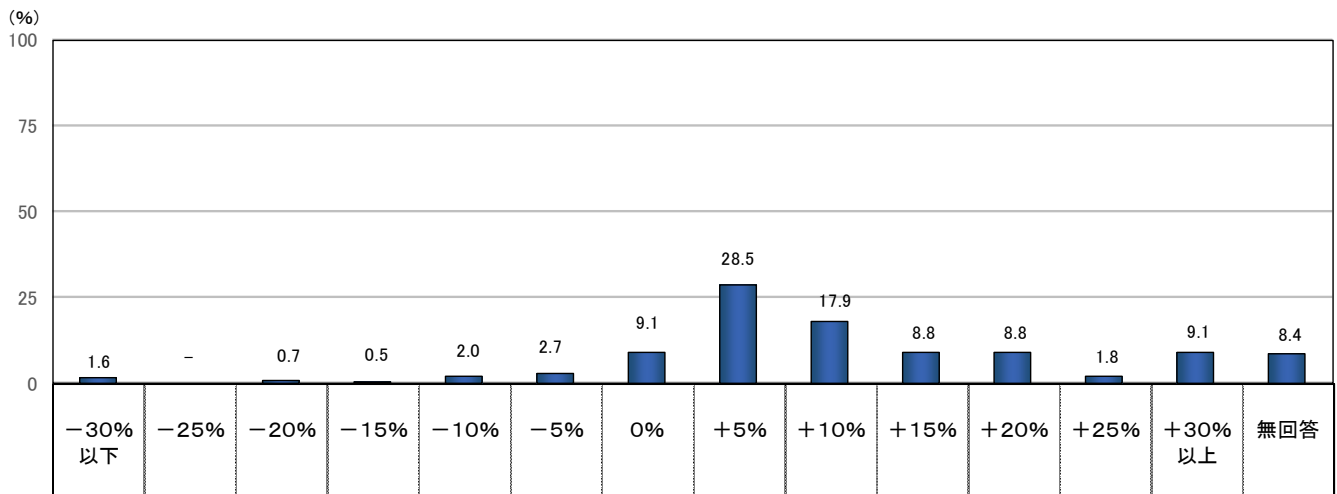


【リスク性金融商品の保有・運用経験者(n=498)】

(4) リスク性金融商品の損益状況

- 保有・運用経験がある人 (n=558) に、過去1年間のリスク性金融商品の損益状況を聞くと、「+5%」が28.5%で最も多く、全体では74.9%がプラスの状況となった。一方、全体の7.5%がマイナスの状況となり、「0%」は9.1%であった。(図表 8-4)

(図表 8-4) リスク性金融商品の損益状況 (問 25-2(3))

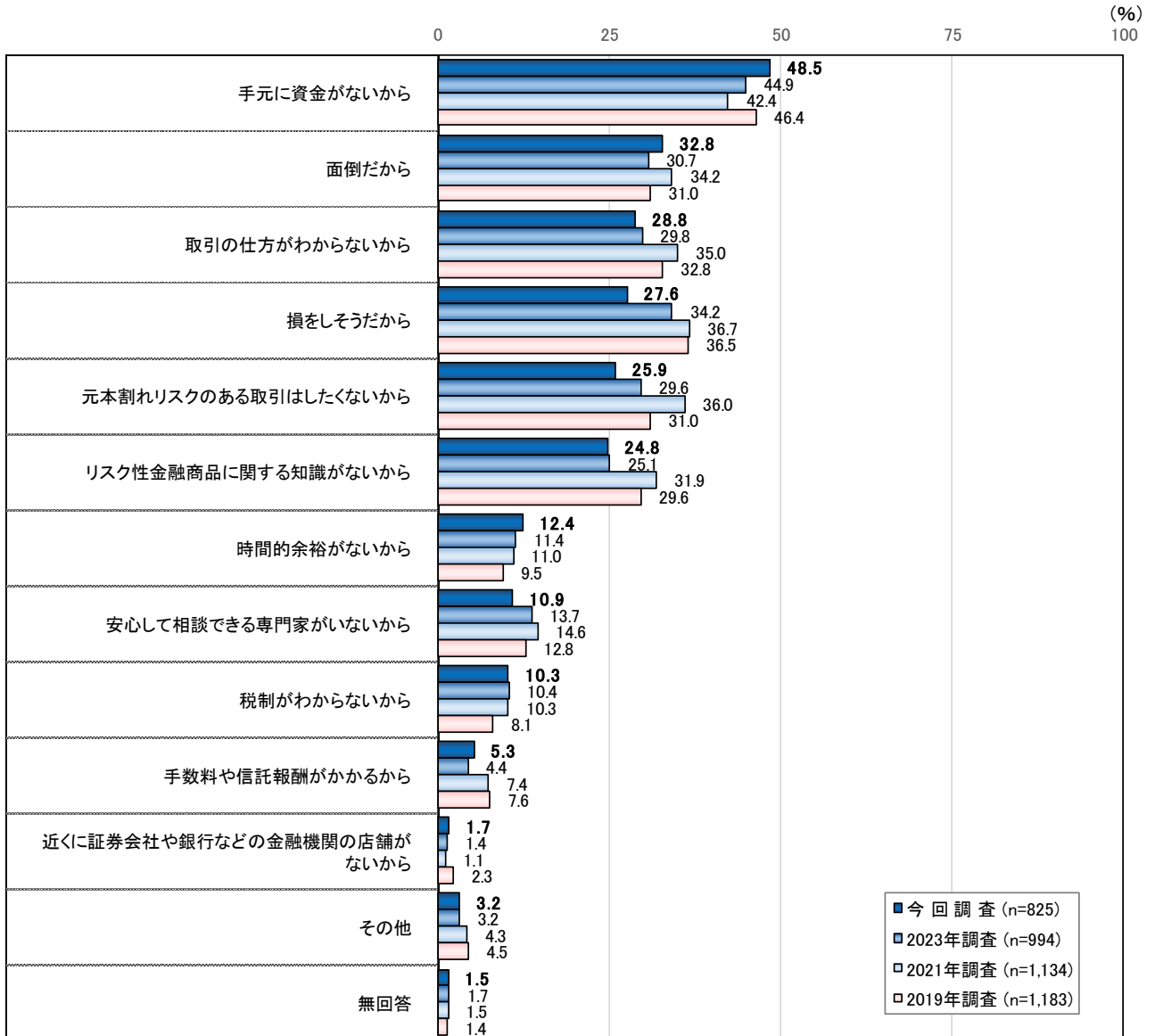


【リスク性金融商品の保有・運用経験者(n=558)】

(5) リスク性金融商品を保有・運用していない理由

- 保有・運用経験がない人 (n=825) に、保有・運用していない理由 (複数回答) を聞くと、「手元に資金がないから」が 48.5% で最も多く、次いで、「面倒だから」(32.8%)、「取引の仕方がわからないから」(28.8%)、「損をしそうだから」(27.6%)、「元本割れリスクのある取引はしたくないから」(25.9%)、「リスク性金融商品に関する知識がないから」(24.8%) などとなった。(図表 8-5)

(図表 8-5) リスク性金融商品を保有・運用していない理由 (問 25-3、複数回答)

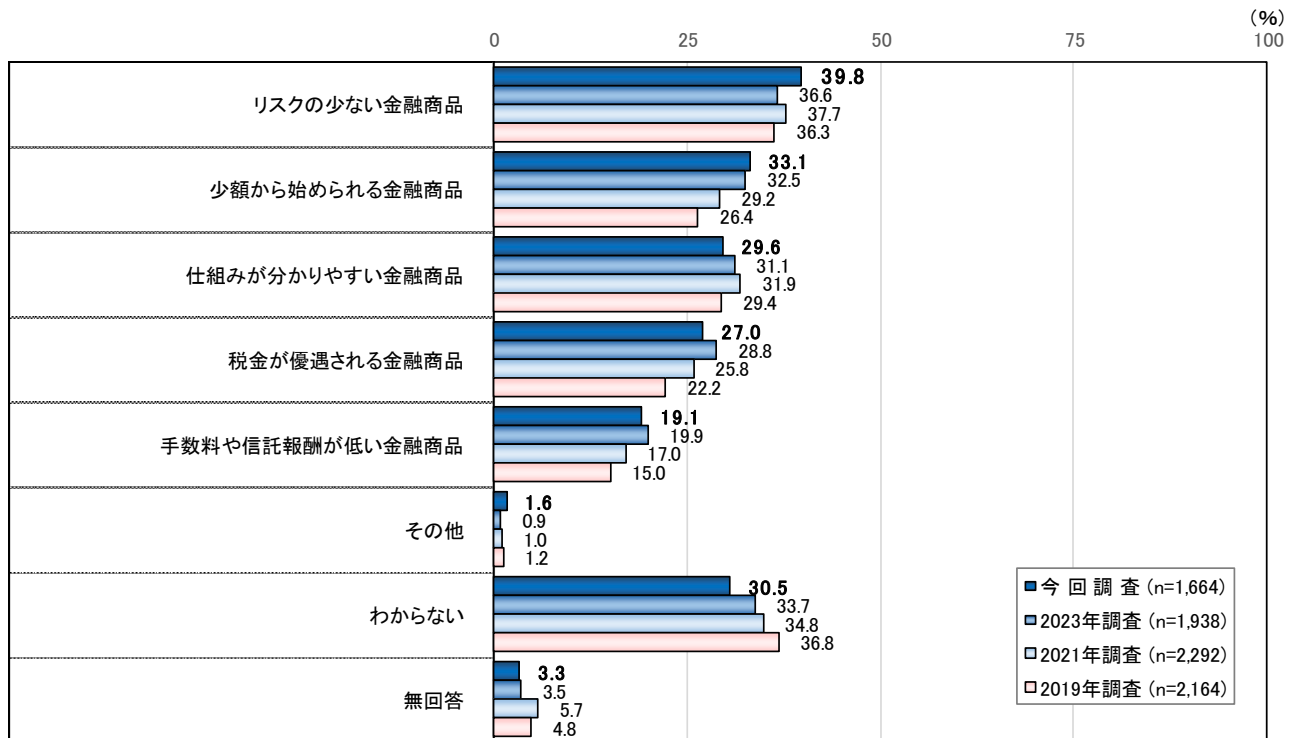


【リスク性金融商品の保有・運用未経験者】

(6) 魅力を感じるリスク性金融商品

- 魅力を感じるリスク性金融商品（複数回答）は、「リスクの少ない金融商品」が39.8%で最も多い。次いで、「少額から始められる金融商品」(33.1%)、「仕組みがわかりやすい金融商品」(29.6%)、「税金が優遇される金融商品」(27.0%)、「手数料や信託報酬が低い金融商品」(19.1%)の順で続く。
(図表 8-6)

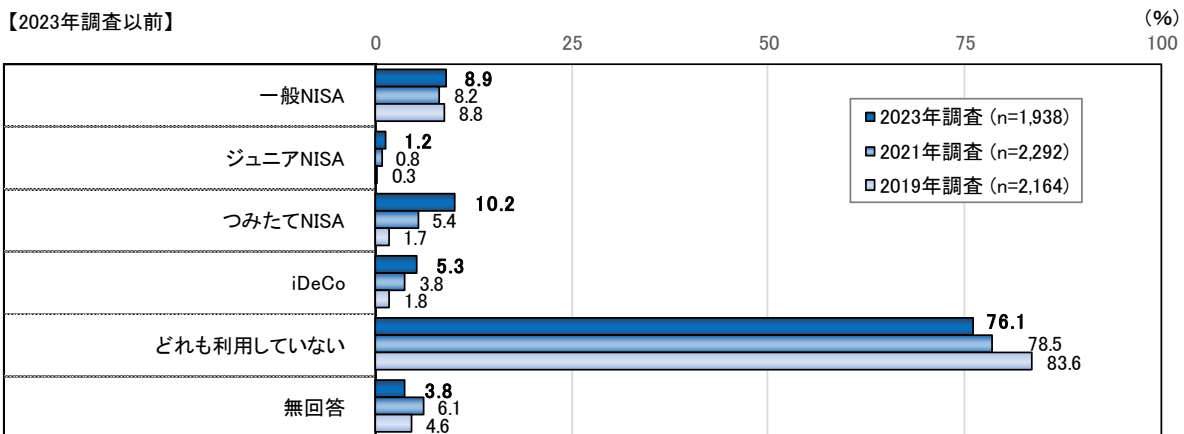
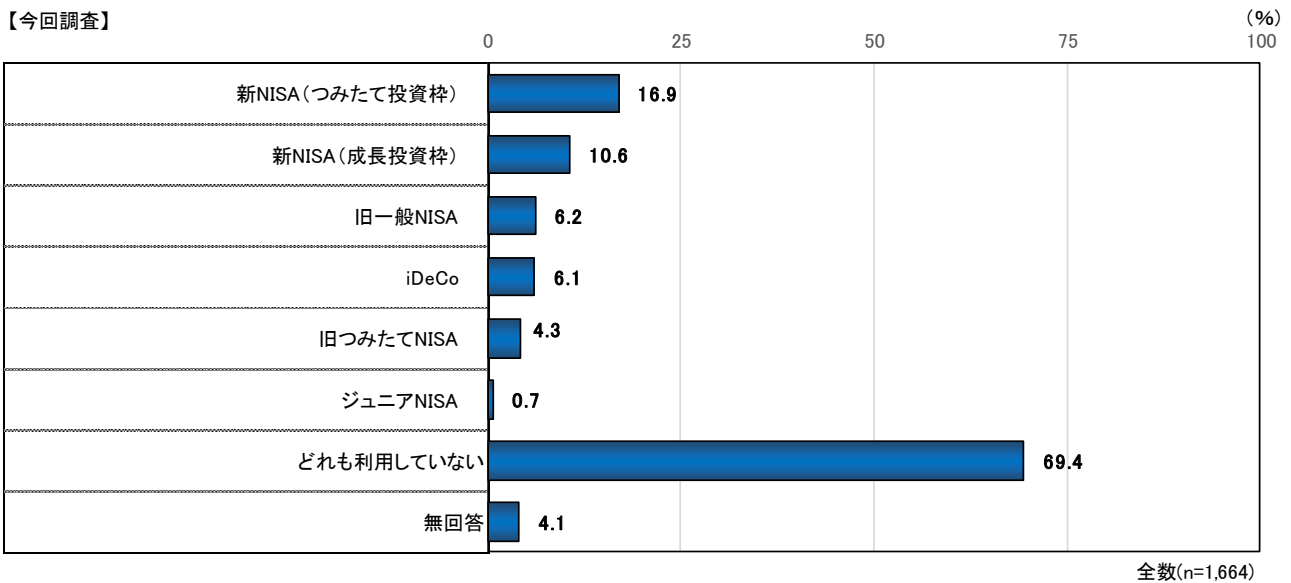
(図表 8-6) 魅力を感じるリスク性金融商品（問 26、複数回答）



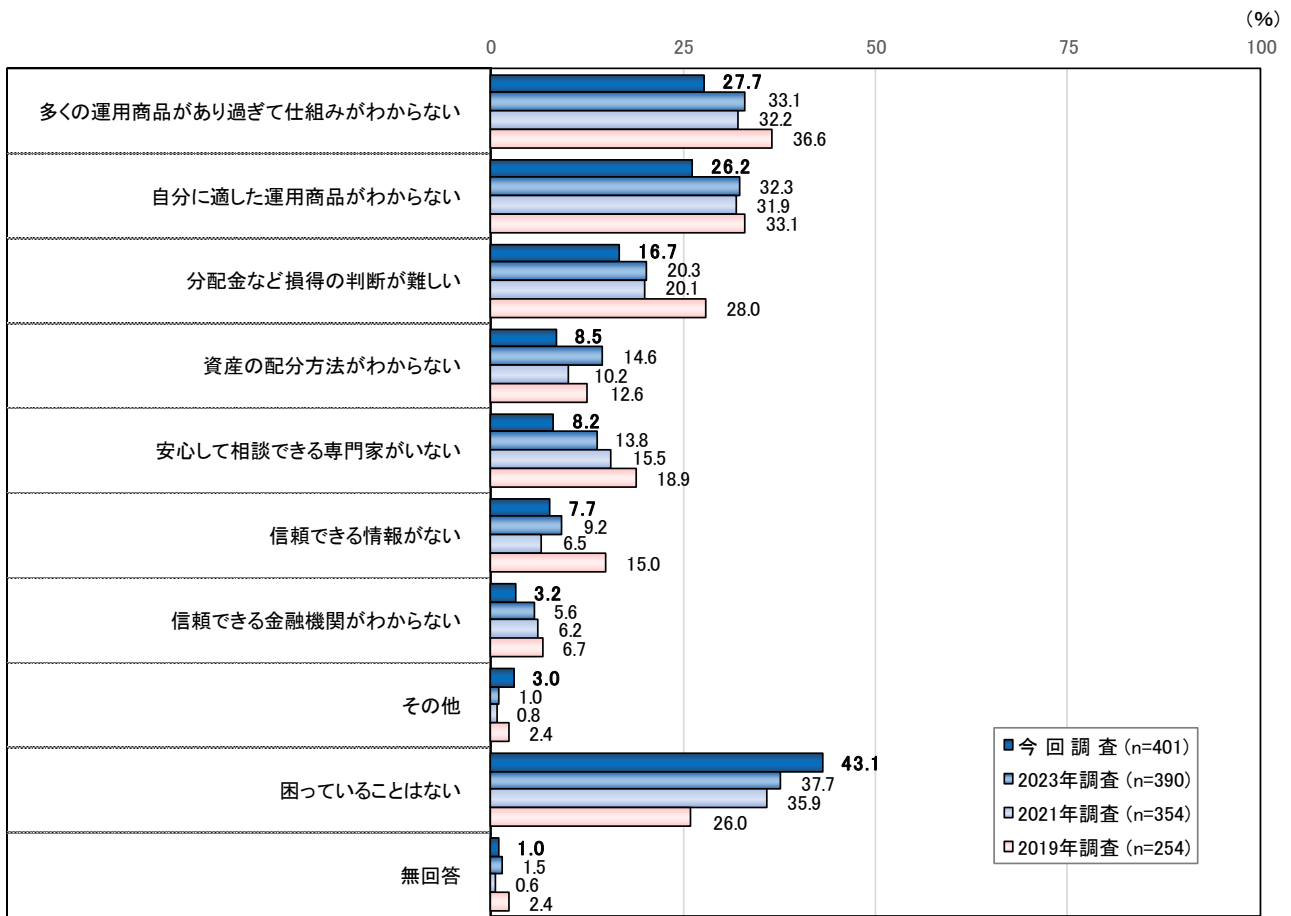
(7) 税制が優遇される長期資産形成制度の利用

- 税制が優遇される長期資産形成制度のうち利用しているもの（複数回答）を聞くと、「新 NISA（つみたて投資枠）」（16.9%）、次いで、「新 NISA（成長投資枠）」（10.6%）が多かった。「どれも利用していない」は 69.4%であった。（図表 8-7-1）
- NISA を利用している人（n=401）に、利用する際に困っていること（複数回答）を聞くと、「多くの運用商品があり過ぎて仕組みがわからない」（27.7%）、「自分に適した運用商品がわからない」（26.2%）、「分配金など損得の判断が難しい」（16.7%）の順に多い。「困っていることはない」は 43.1%であった。（図表 8-7-2）

(図表 8-7-1) 長期資産形成制度の利用 (問 27、複数回答)



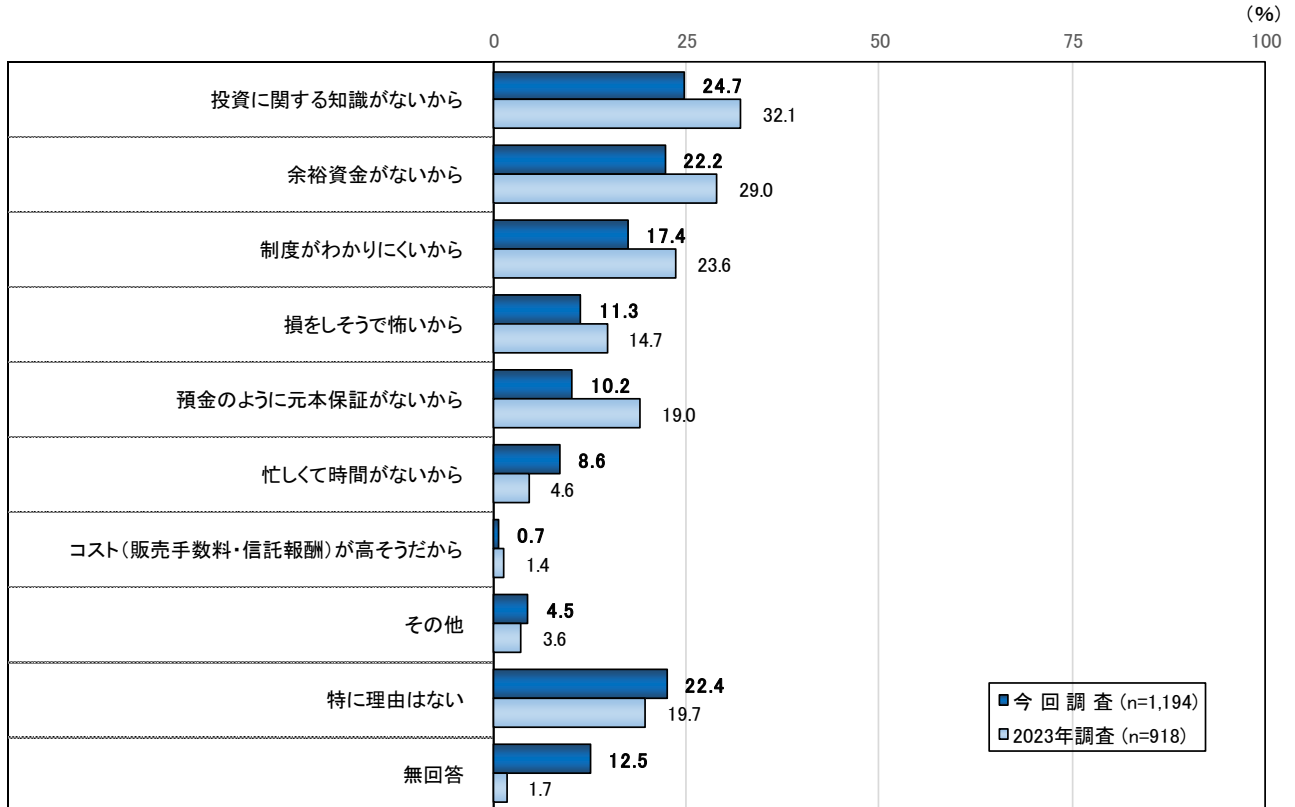
(図表 8-7-2) NISA を利用する際に困っていること (問 27-1、複数回答)



(8) NISA を利用しない理由

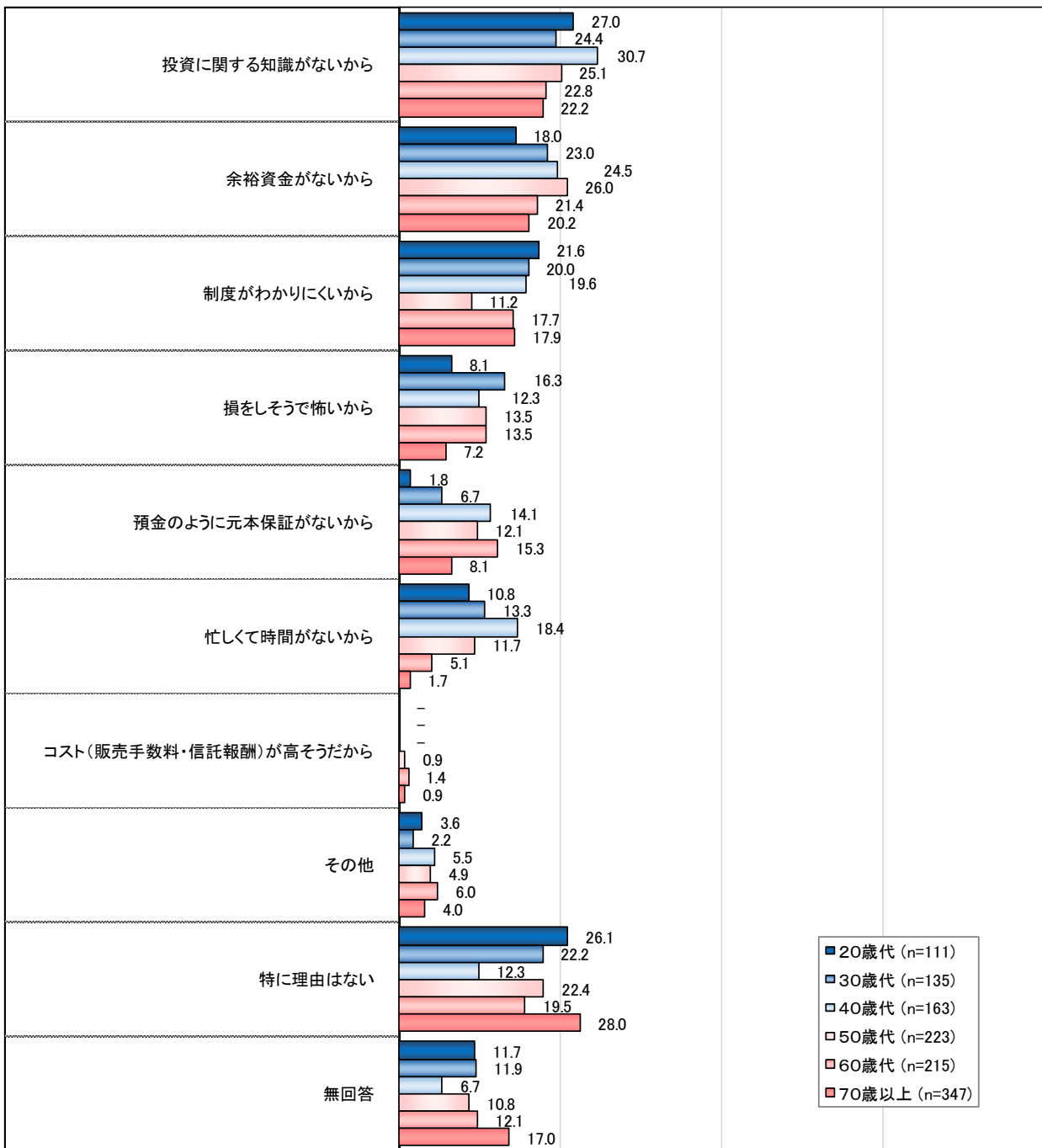
- NISA を利用していない人 (n=1,194) に、利用していない理由 (2つまでの複数回答) を聞くと、「投資に関する知識がないから」(24.7%) が最も多く、次いで、「余裕資金がないから」(22.2%)、「制度がわかりにくいから」(17.4%)、「損をしそうで怖いから」(11.3%)、「預金のように元本保証がないから」(10.2%) などとなった。「特に理由はない」は 22.4%。(図表 8-8)

(図表 8-8) NISA を利用していない理由 (問 27-2、2つまでの複数回答)



【長期資産形成制度非利用者】

2023年調査では直前で新NISAの利用意向をたずね、「利用するつもりはない」と回答した人への該当者質問である。

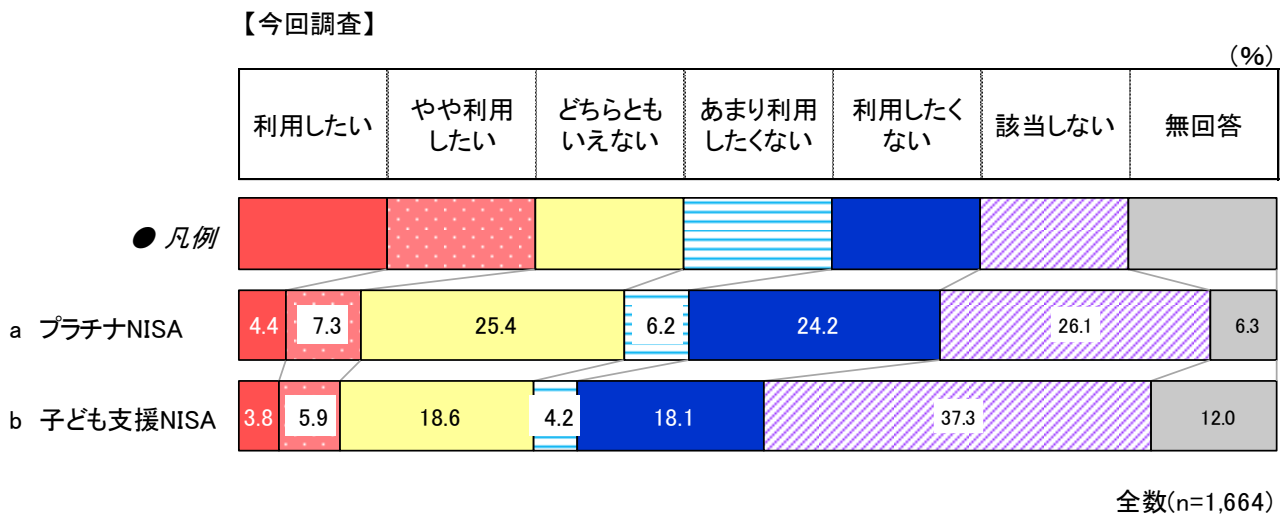


【長期資産形成制度非利用者】

(9) プラチナ NISA と子ども支援 NISA の利用意向

- プラチナ NISA と子ども支援 NISA がもし導入された場合の利用意向を聞くと、プラチナ NISA については、『利用したくない』（「あまり利用したくない」「利用したくない」の合計）の 30.3%が、『利用したい』（「利用したい」「やや利用したい」の合計）の 11.8%を上回った。
 - 子ども支援 NISA については、『利用したくない』（「あまり利用したくない」「利用したくない」の合計）の 22.4%が、『利用したい』（「利用したい」「やや利用したい」の合計）の 9.7%を上回った。
- (図表 8-9)

(図表 8-9) プラチナ NISA と子ども支援 NISA の利用意向 (問 28)

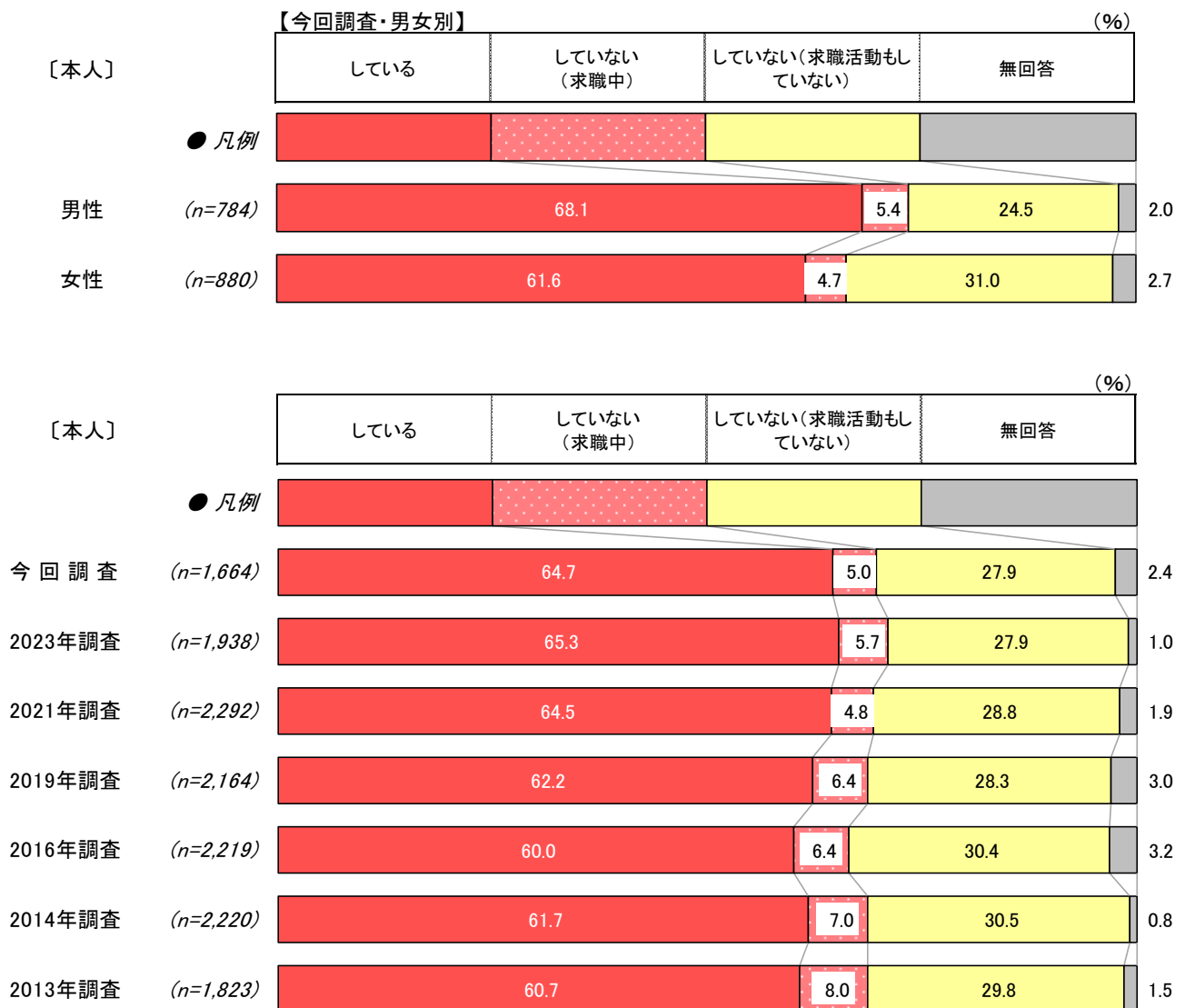


9. 就業状況について

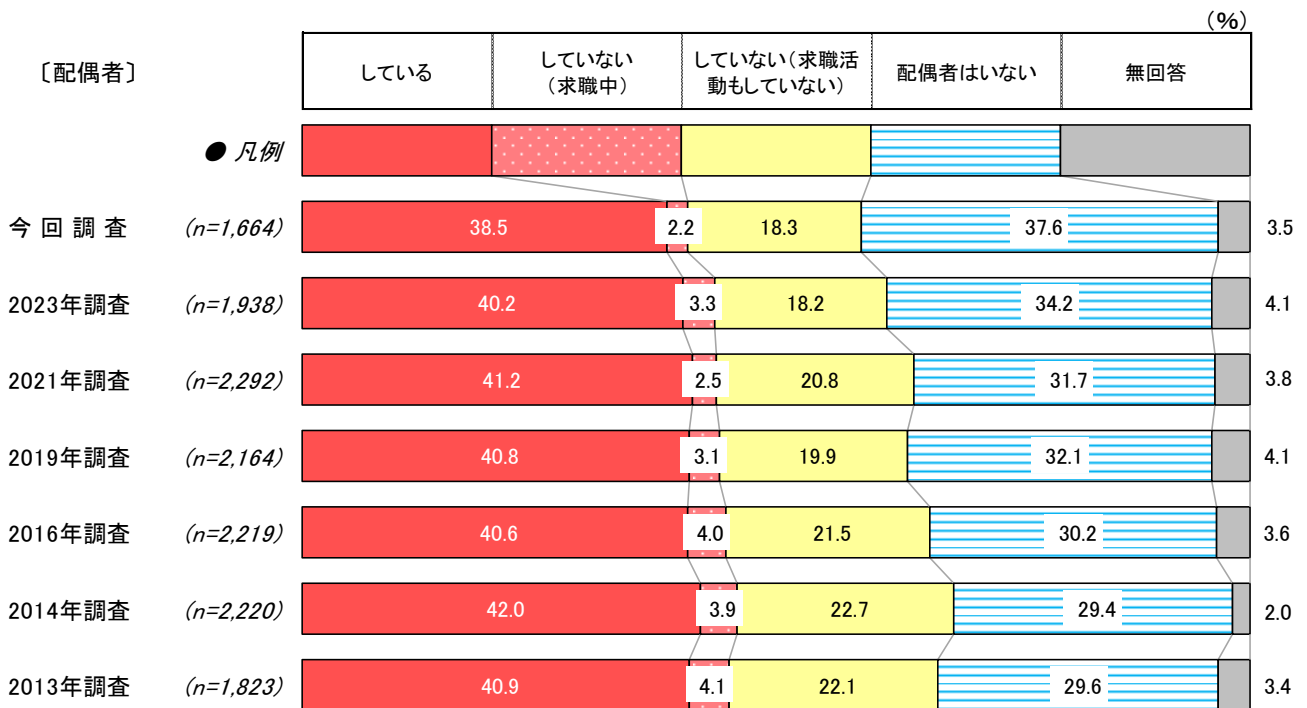
(1) 現在就業状況（本人・配偶者）

- 回答者本人のうち、男性で現在収入をともなう仕事を「している」人は68.1%、「していない（求職中）」人は5.4%、「していない（求職活動もしていない）」人は24.5%となった。また、女性で仕事を「している」人は61.6%、「していない（求職中）」人は4.7%、「していない（求職活動もしていない）」人は31.0%となった。
- 回答者本人全体で現在収入をともなう仕事を「している」人は64.7%で、現在収入をともなう仕事を「していない（求職中）」人は5.0%、「していない（求職活動もしていない）」人は27.9%となった。
- 一方、配偶者が、現在収入をともなう仕事を「している」と回答した人は38.5%、「していない（求職中）」は2.2%、「していない（求職活動もしていない）」は18.3%となった。「配偶者はいない」は37.6%であった。（図表 9-1）

(図表 9-1) 現在就業状況（本人）（問 29・問 30）



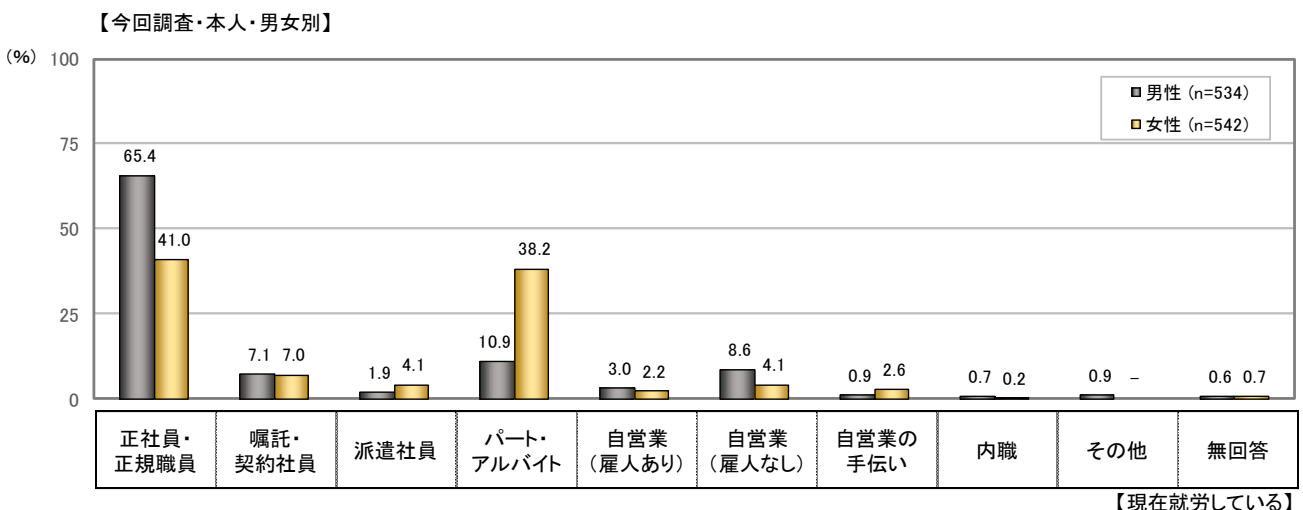
(図表9-1 続き) 現在就業状況 (配偶者) (問29・問30)



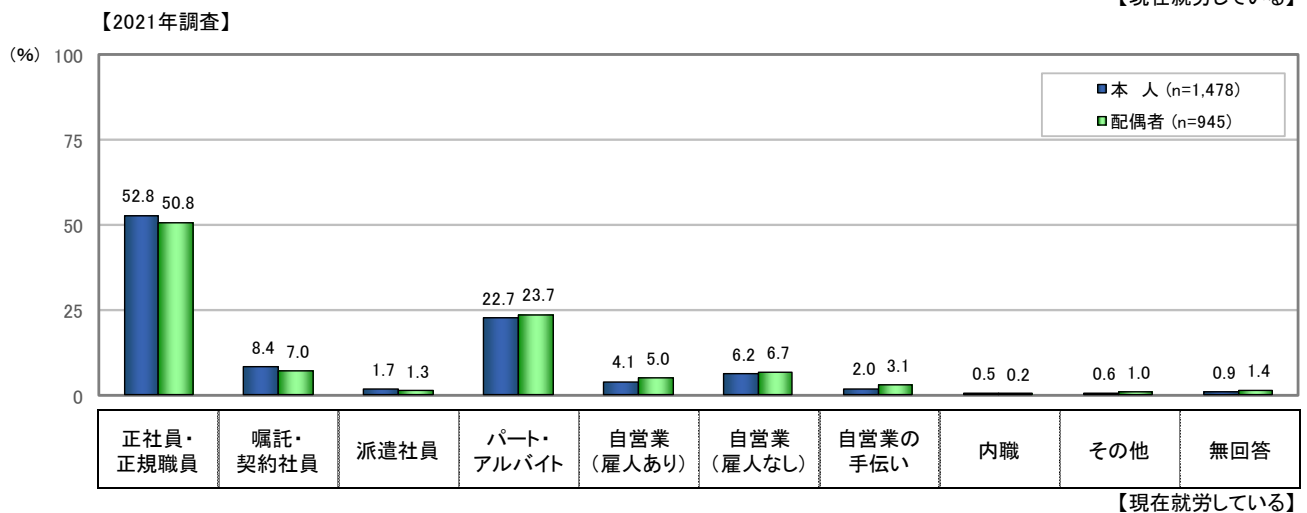
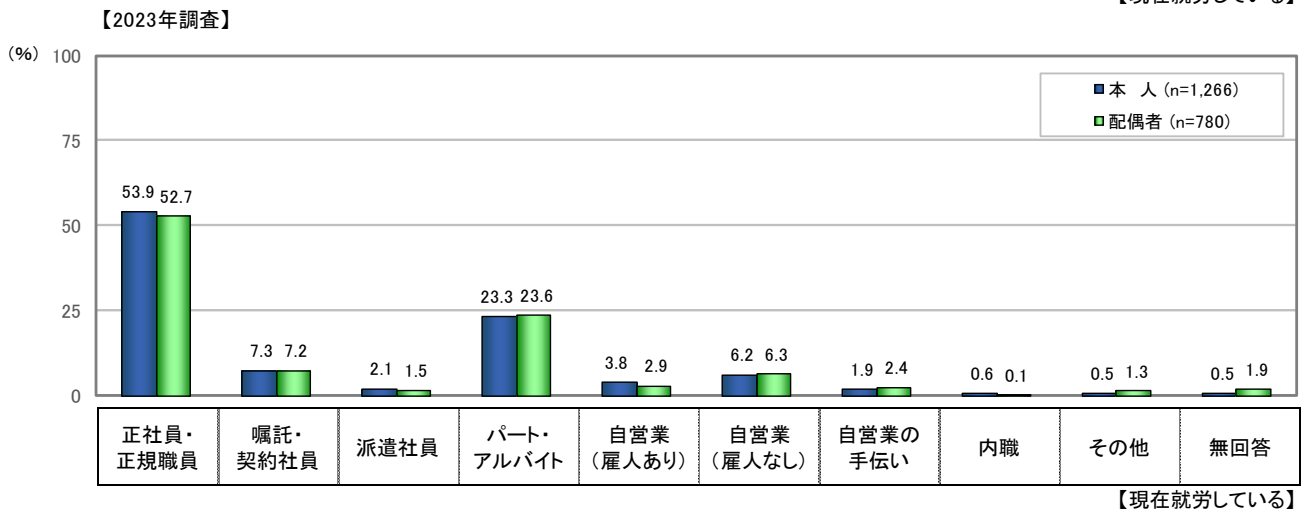
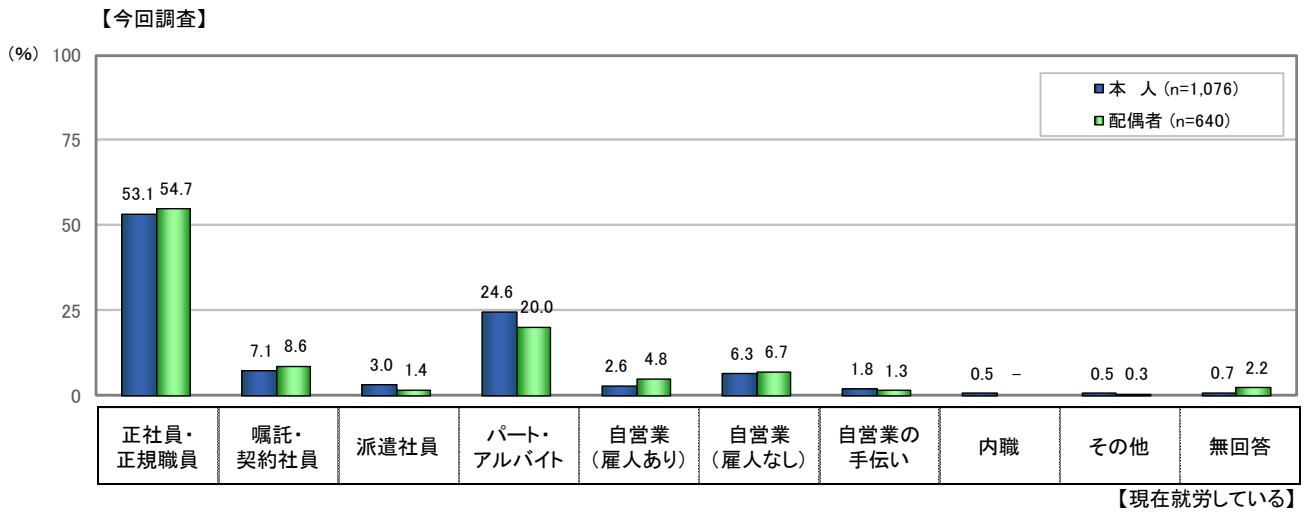
(2) 就業者の雇用形態 (本人・配偶者)

- 有職回答者のうち、男性 (n=534) の雇用形態は、「正社員・正規職員」が 65.4%、「パート・アルバイト」が 10.9%となった。また、女性 (n=542) の雇用形態は、「正社員・正規職員」が 41.0%、「パート・アルバイト」が 38.2%となった。
- 有職回答者全体 (n=1,076) の雇用形態は、「正社員・正規職員」が 53.1%、「パート・アルバイト」が 24.6%、「嘱託・契約社員」が 7.1%、「自営業 (雇人なし)」が 6.3%となった。
- 一方、有職配偶者 (n=640) の雇用形態は、「正社員・正規職員」が 54.7%、「パート・アルバイト」が 20.0%、「嘱託・契約社員」が 8.6%、「自営業 (雇人なし)」が 6.7%となった。(図表9-2)

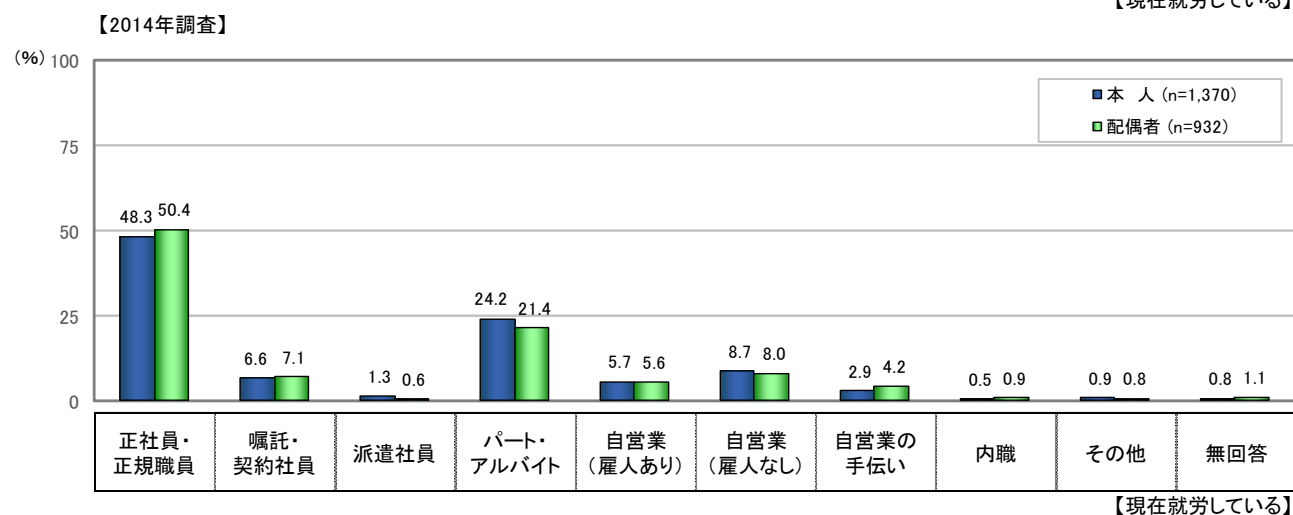
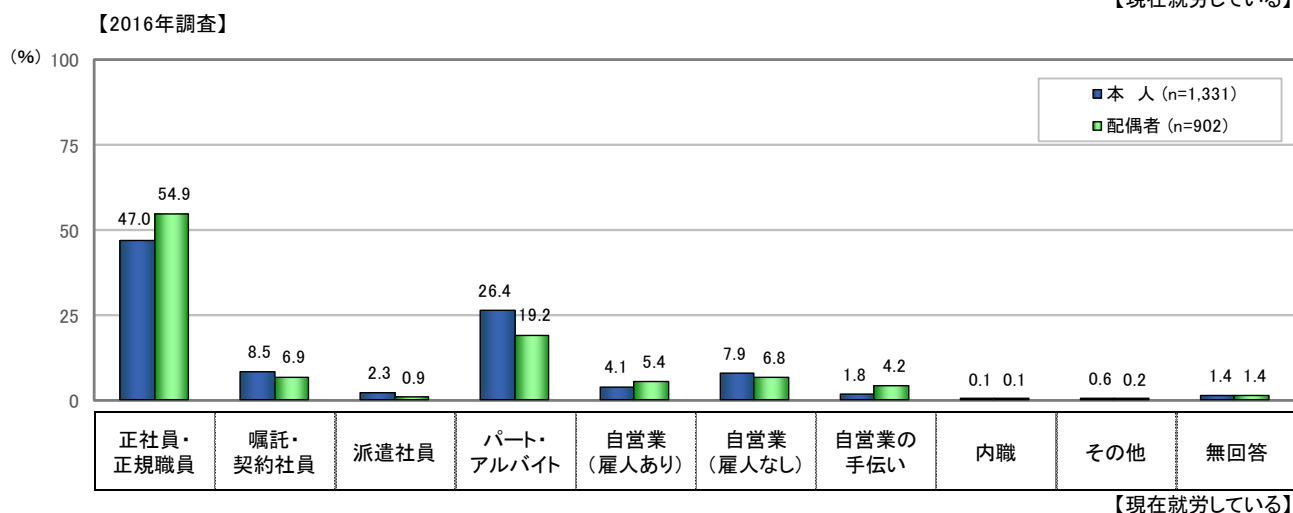
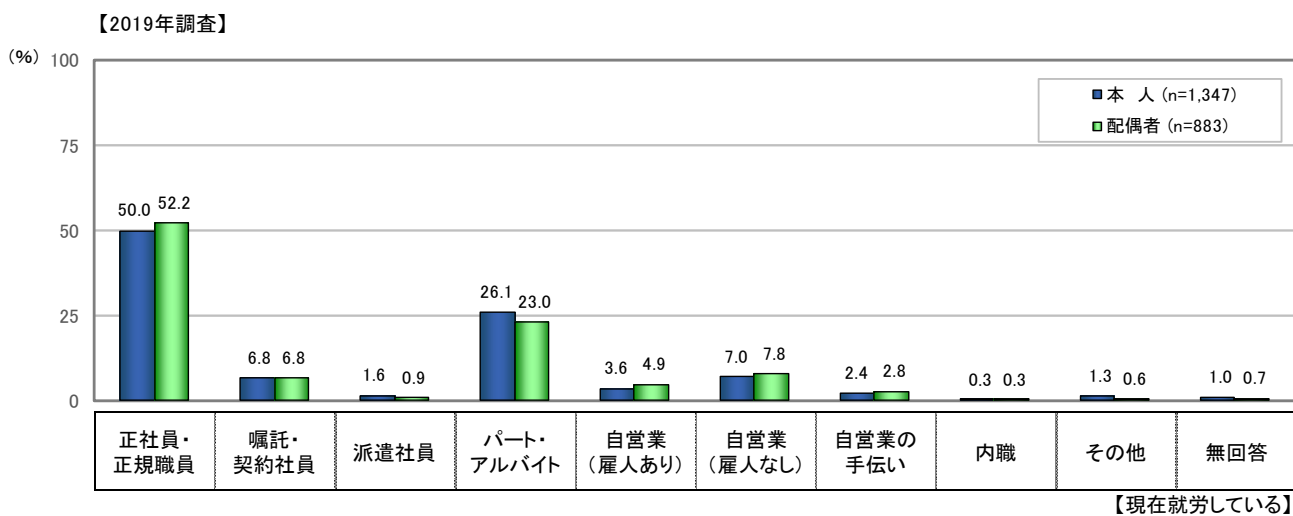
(図表9-2) 就業者の雇用形態 (本人・配偶者) (問29-1①・問30-1①)



(図表 9-2 続き) 就業者の雇用形態 (本人・配偶者) (今回調査・2023年調査・2021年調査)



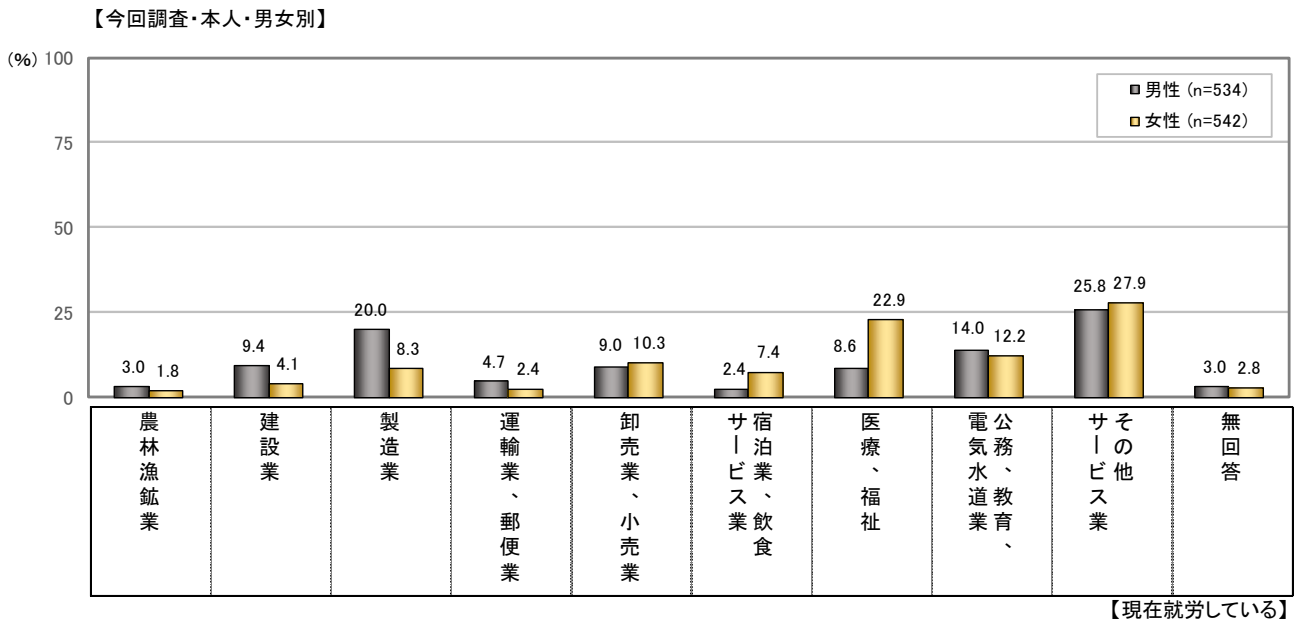
(図表9-2 続き) 就業者の雇用形態(本人・配偶者)(2019年調査・2016年調査・2014年調査)



(3) 就業者の業種（本人・配偶者）

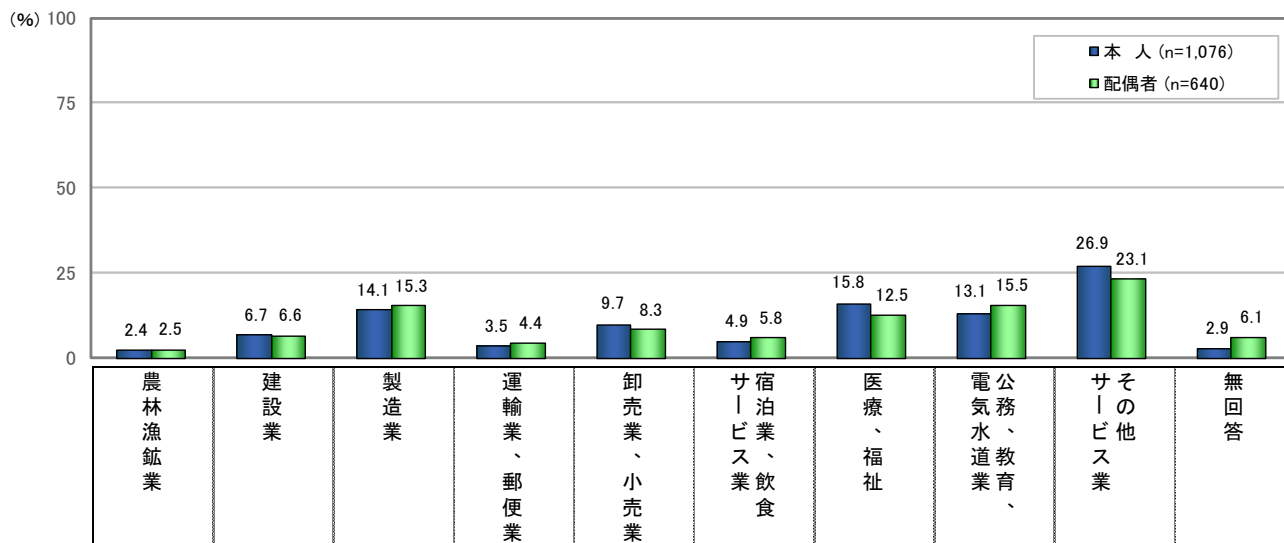
- 有職回答者のうち、男性（n=534）の業種は、「その他サービス業」が 25.8%で最も多く、次いで、「製造業」（20.0%）、「公務、教育、電気水道業」（14.0%）と続いた。また、女性（n=542）の業種は、「その他サービス業」が 27.9%で最も多く、次いで、「医療、福祉」（22.9%）、「公務、教育、電気水道業」（12.2%）と続いた。
- 有職回答者全体（n=1,076）の業種は、「その他サービス業」が 26.9%で最も多く、次いで、「医療、福祉」（15.8%）、「製造業」（14.1%）、「公務、教育、電気水道業」（13.1%）と続いた。
- 配偶者（n=640）も、「その他サービス業」が 23.1%で最も多く、次いで、「公務、教育、電気水道業」（15.5%）、「製造業」（15.3%）、「医療、福祉」（12.5%）と続いた。（図表 9-3）

（図表 9 - 3） 就業者の業種（本人・配偶者）（問 29-1②・問 30-1②）



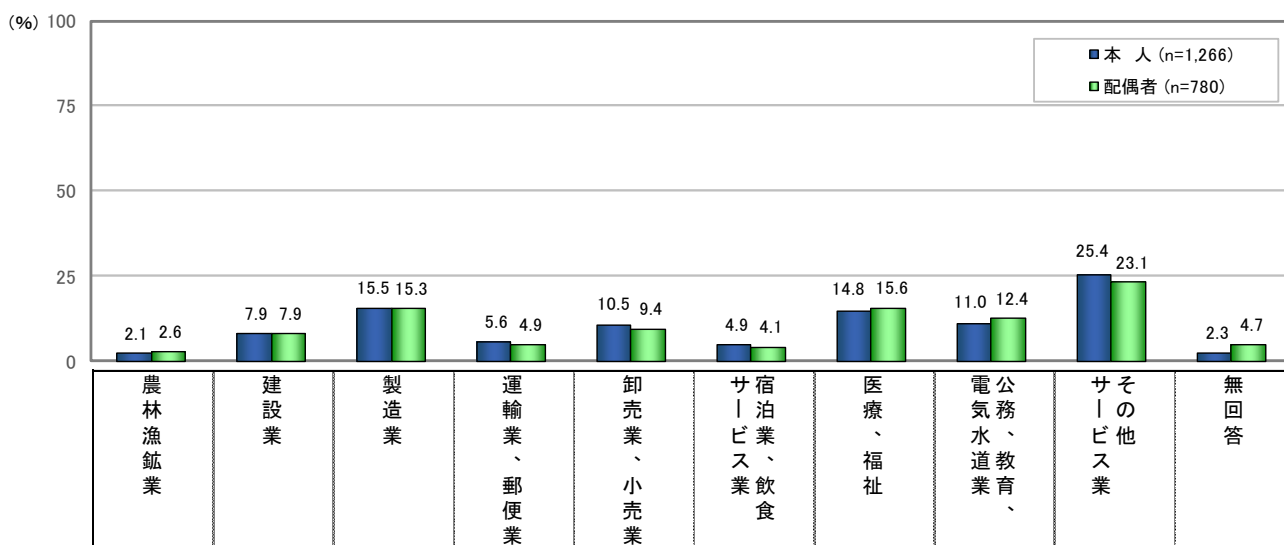
(図表9-3 続き) 就業者の業種 (本人・配偶者) (今回調査・2023年調査・2021年調査)

【今回調査】



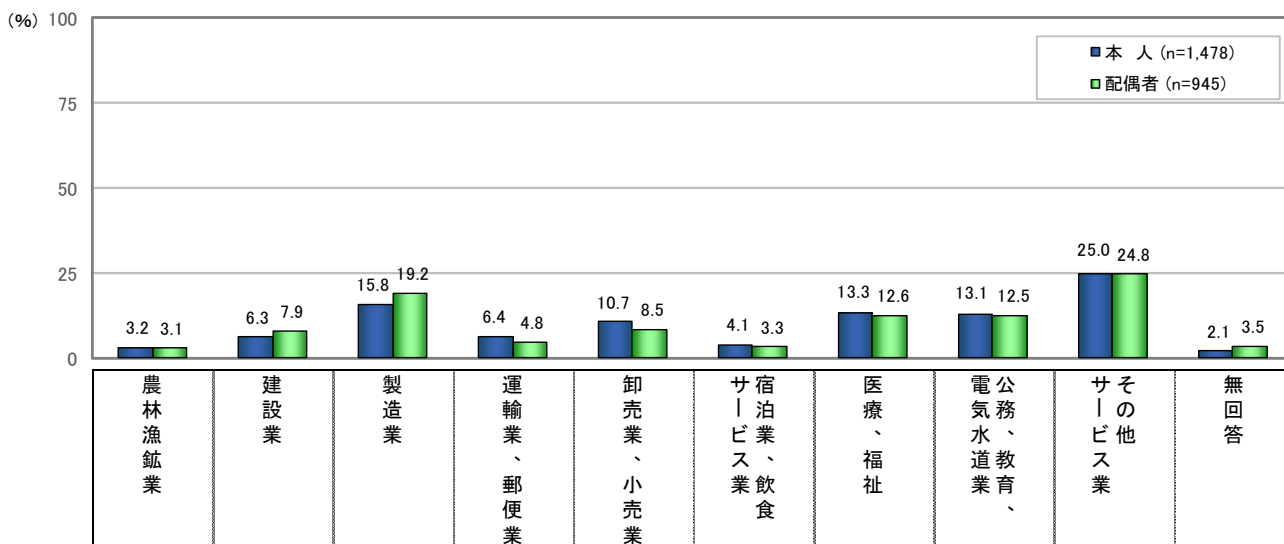
【現在就労している】

【2023年調査】



【現在就労している】

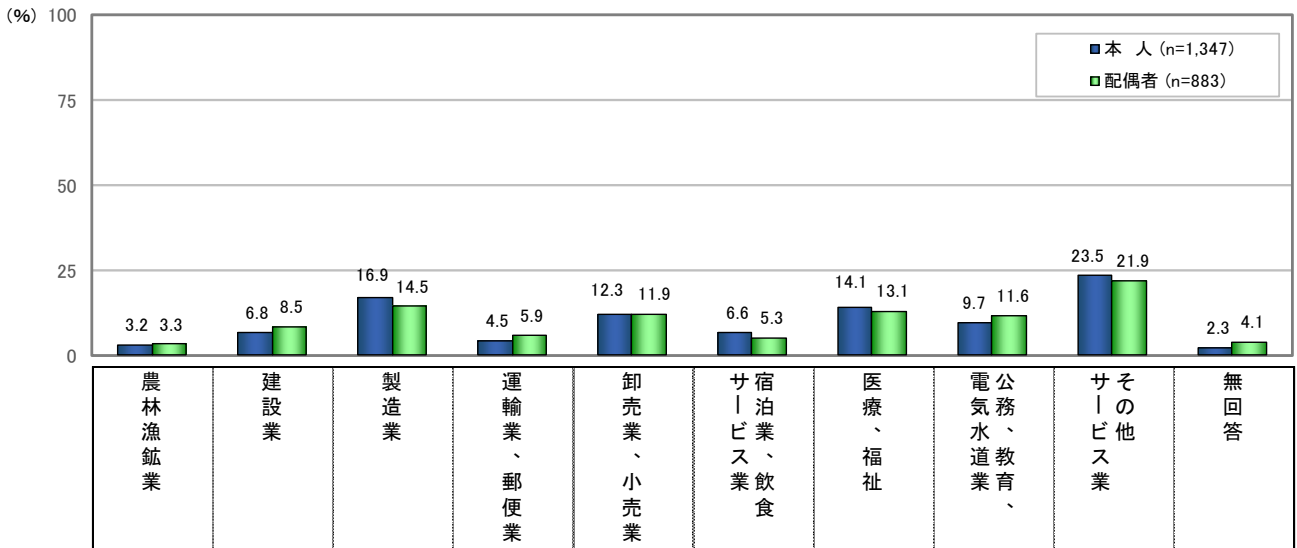
【2021年調査】



【現在就労している】

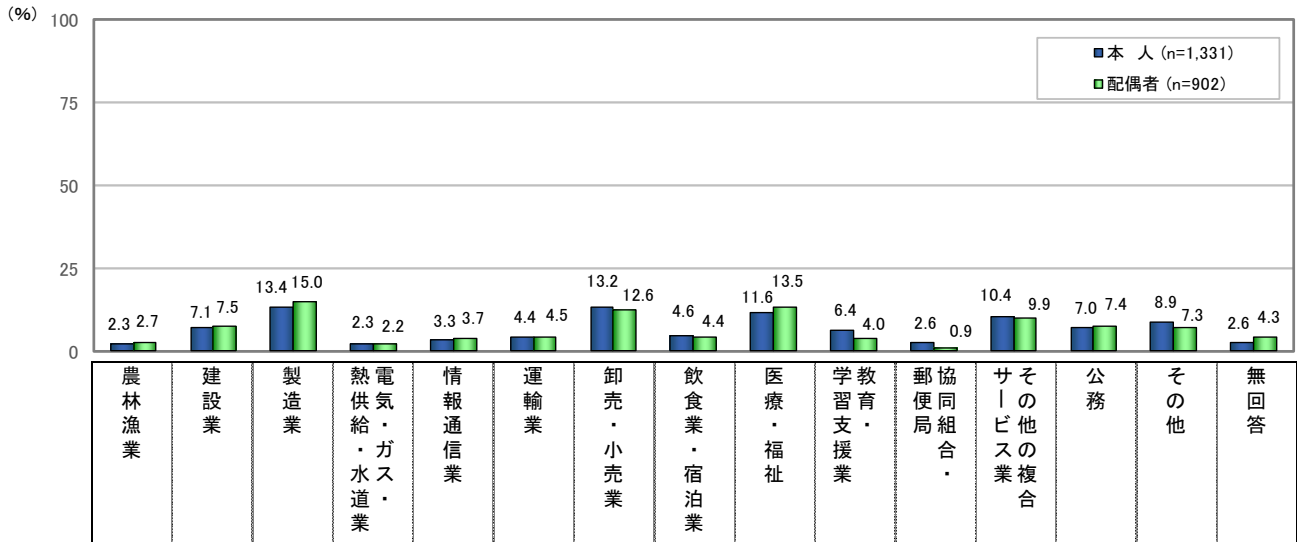
(図表9-3 続き) 就業者の業種 (本人・配偶者) (2019年調査・2016年調査・2014年調査)

【2019年調査】



【現在就労している】

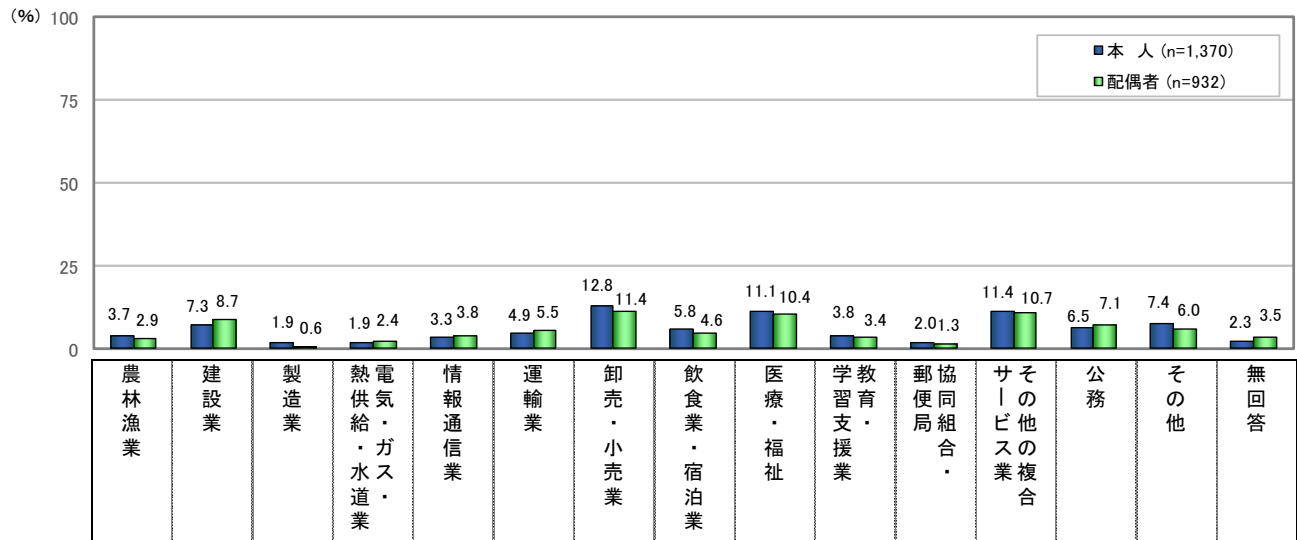
【2016年調査】



2016年調査以前と、2019年調査以降で選択肢の内容が異なる

【現在就労している】

【2014年調査】



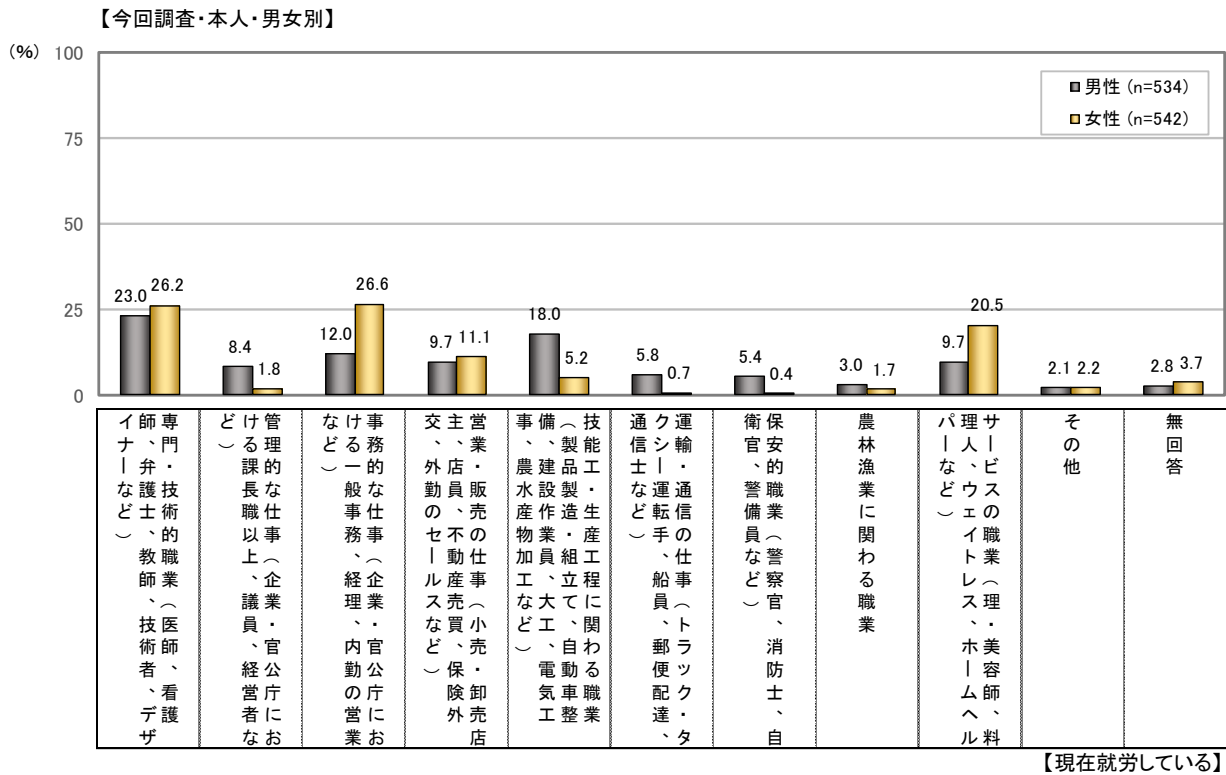
2016年調査以前と、2019年調査以降で選択肢の内容が異なる

【現在就労している】

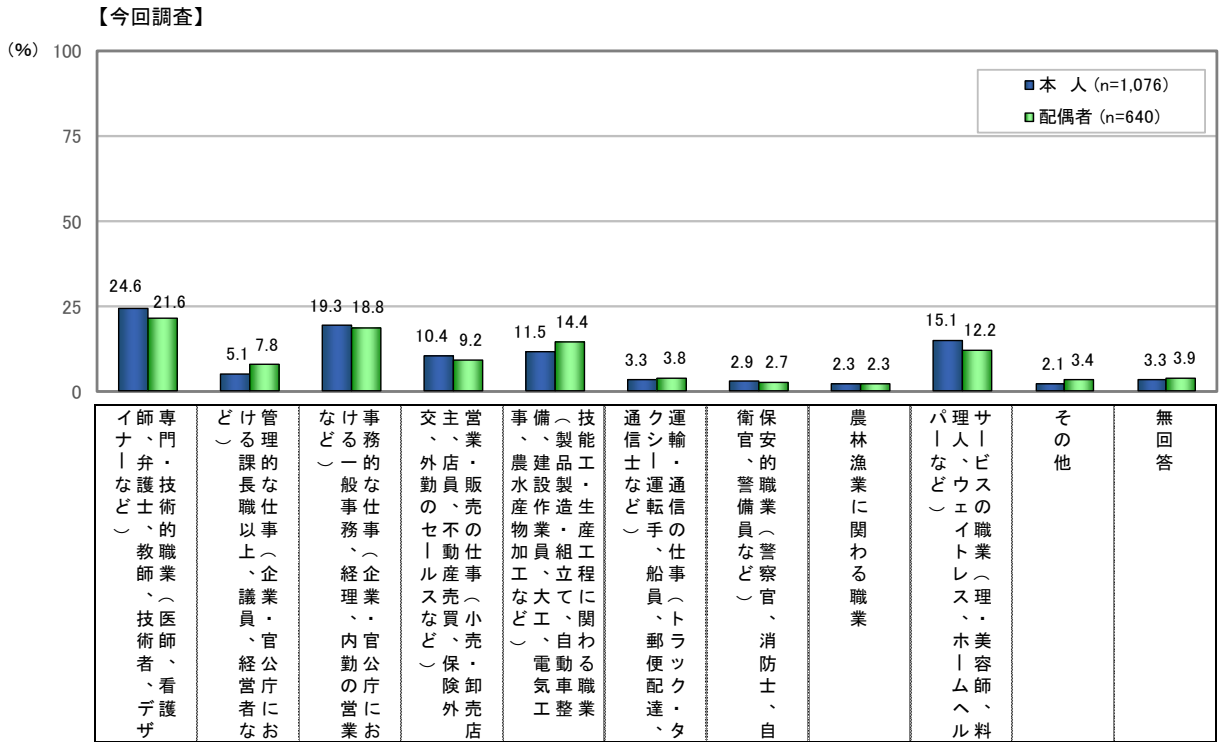
(4) 就業者の職種 (本人・配偶者)

- 有職回答者のうち、男性 (n=534) の職種は、「専門・技術的職業」(23.0%)、「技能工・生産工程に関わる職業」(18.0%)、「事務的な仕事」(12.0%) の順となった。また、女性 (n=542) の職種は、「事務的な仕事」(26.6%)、「専門・技術的職業」(26.2%)、「サービスの職業」(20.5%) の順となった。
- 有職回答者全体 (n=1,076) の職種は、「専門・技術的職業」(24.6%)、「事務的な仕事」(19.3%)、「サービスの職業」(15.1%)、「技能工・生産工程に関わる職業」(11.5%)、「営業・販売の仕事」(10.4%) の順となった。
- 有職配偶者 (n=640) の職種は、「専門・技術的職業」(21.6%) に次いで、「事務的な仕事」(18.8%)、「技能工・生産工程に関わる職業」(14.4%)、「サービスの職業」(12.2%)、「営業・販売の仕事」(9.2%) の順となった。(図表 9-4)

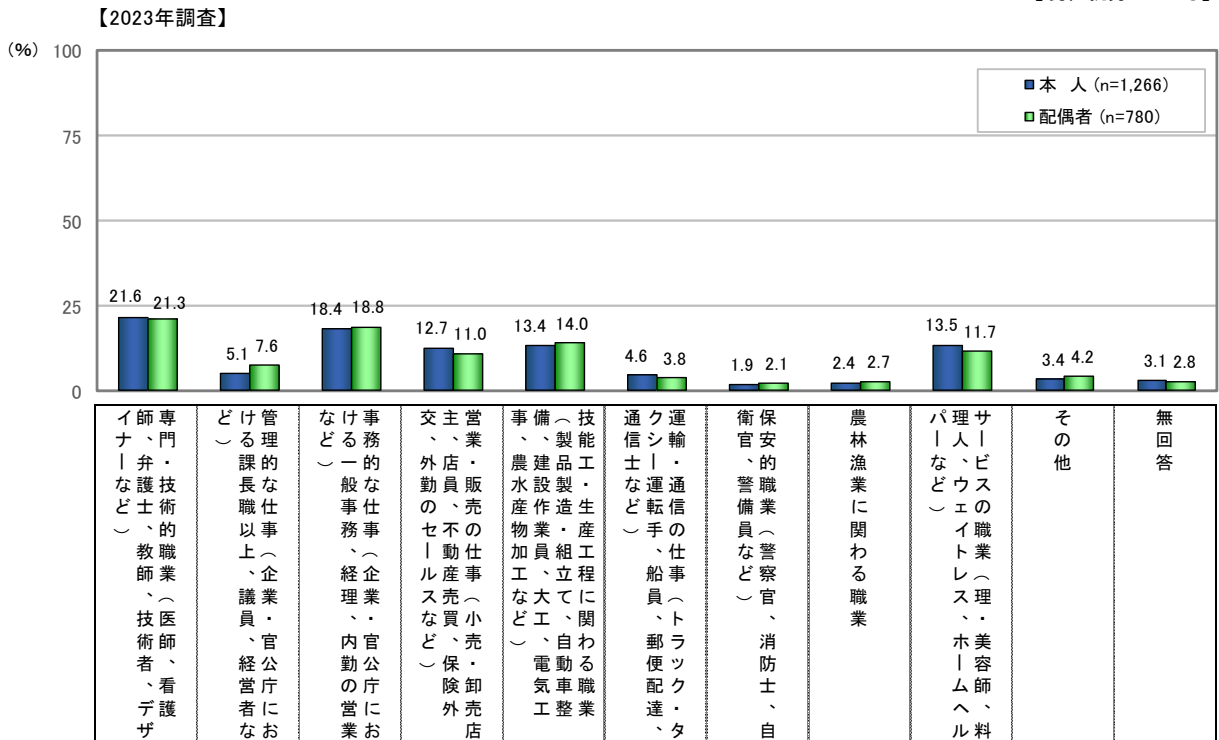
(図表 9-4) 就業者の職種 (本人・配偶者) (問 29-1③・問 30-1③)



(図表9-4 続き) 就業者の職種 (本人・配偶者) (今回調査・2023年調査)

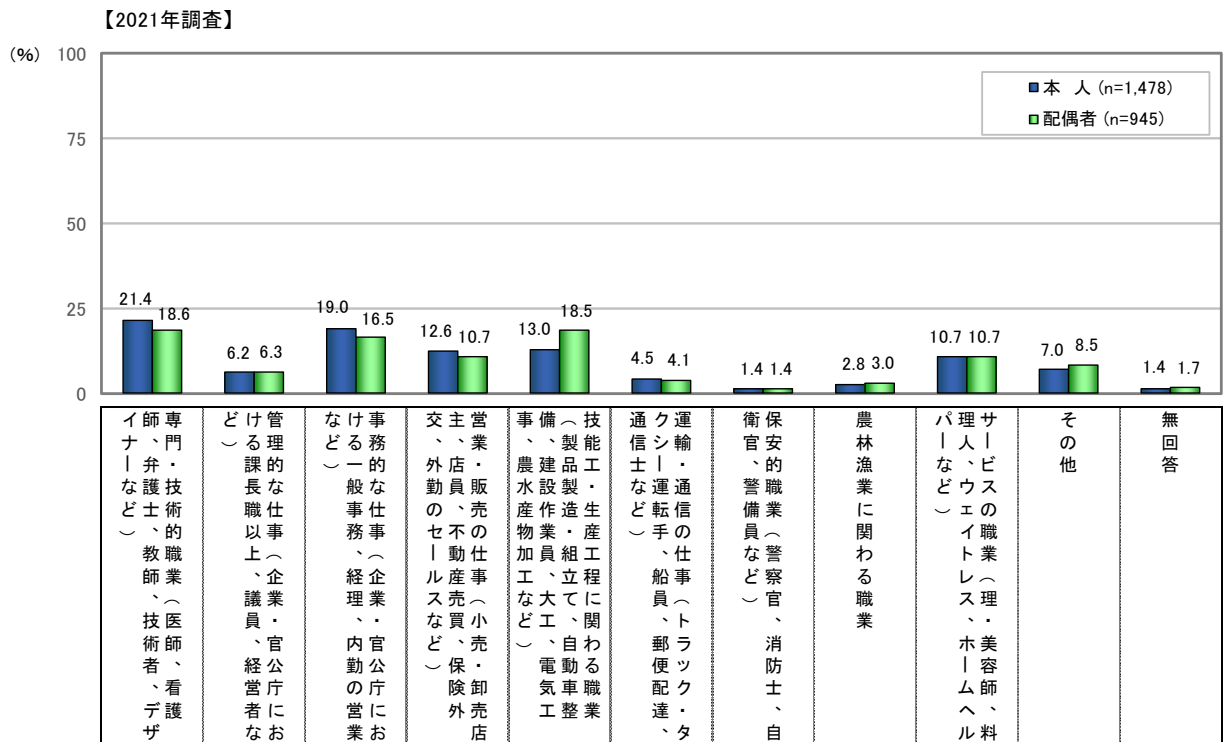


【現在就労している】

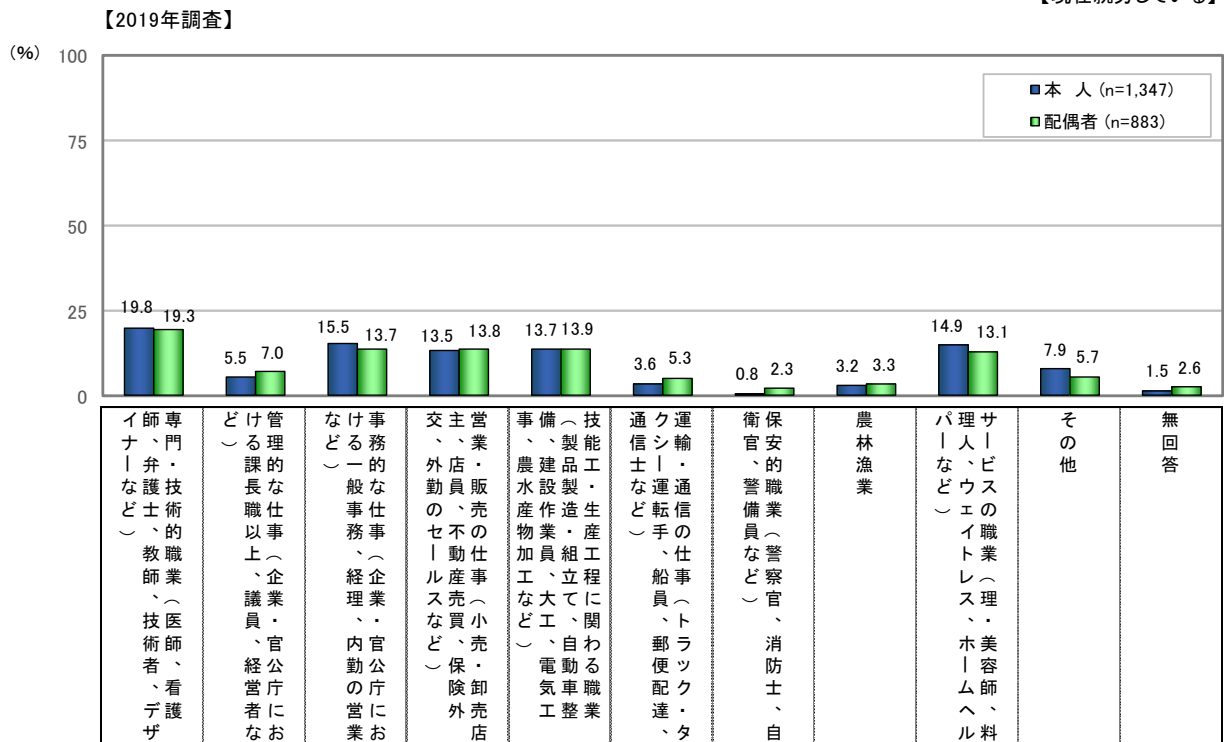


【現在就労している】

(図表9-4 続き) 就業者の職種 (本人・配偶者) (2021年調査・2019年調査)

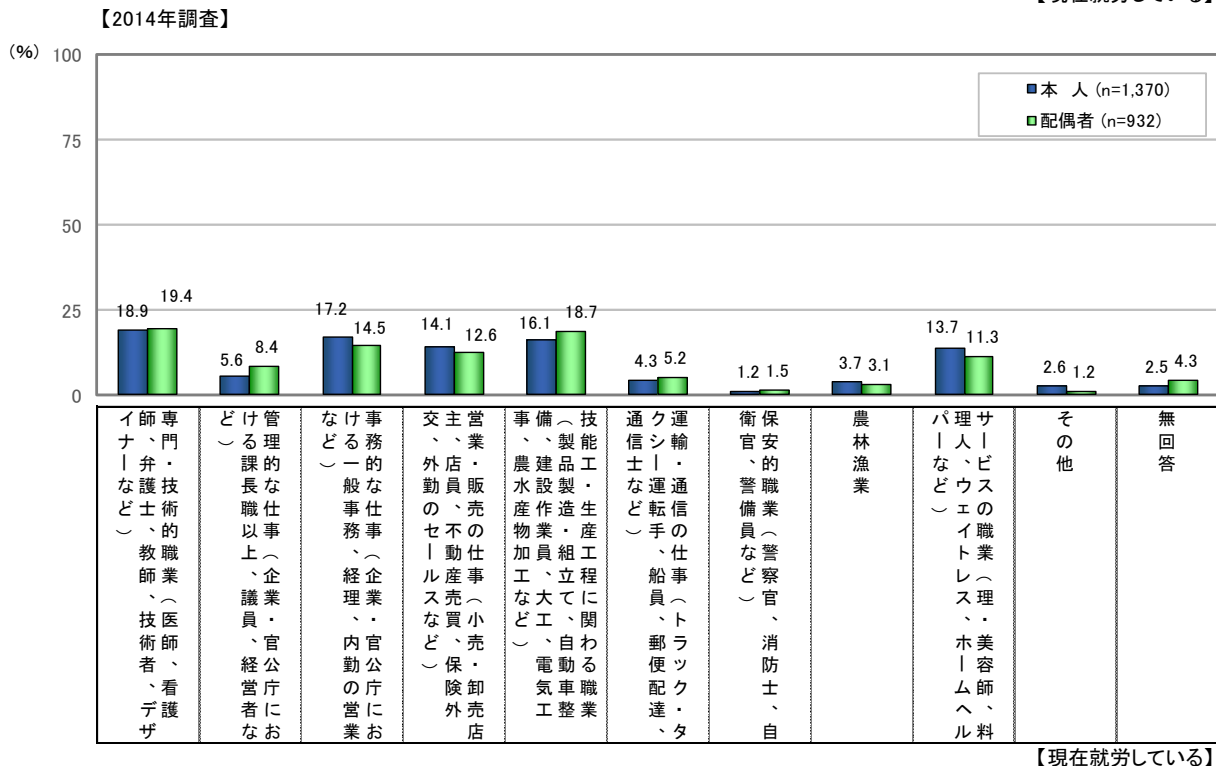
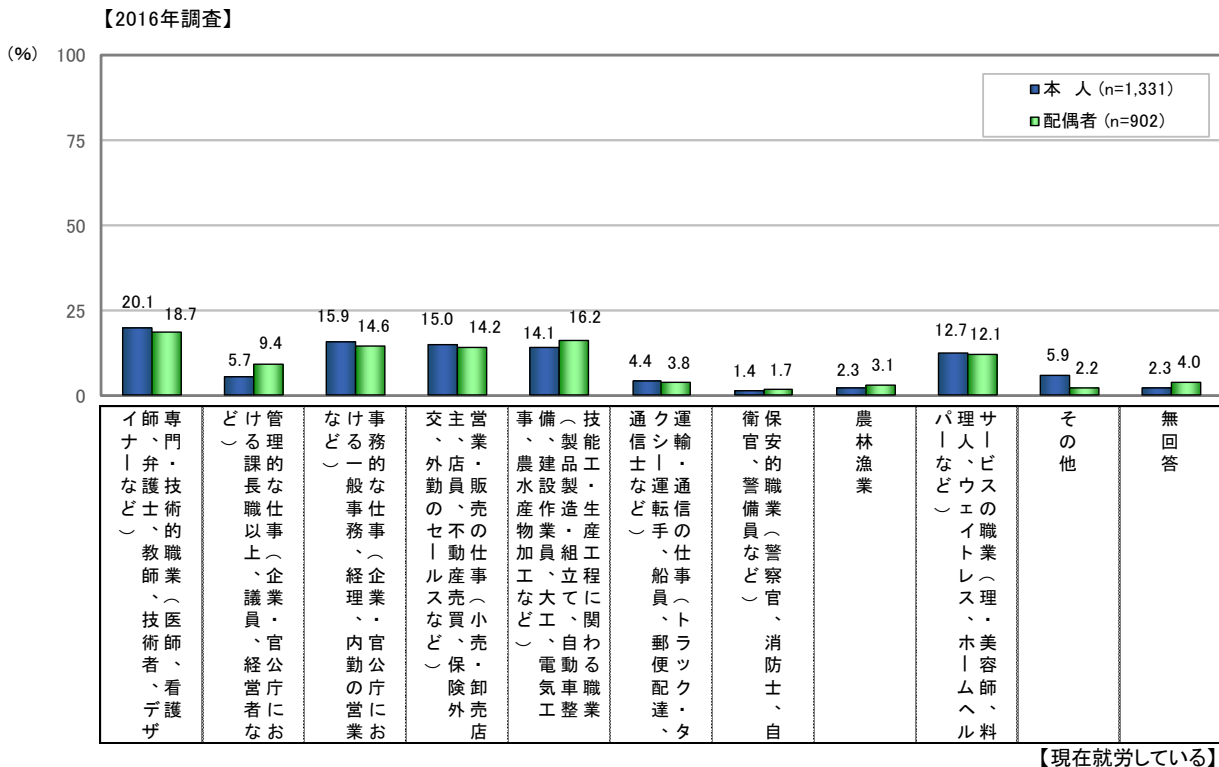


【現在就労している】



【現在就労している】

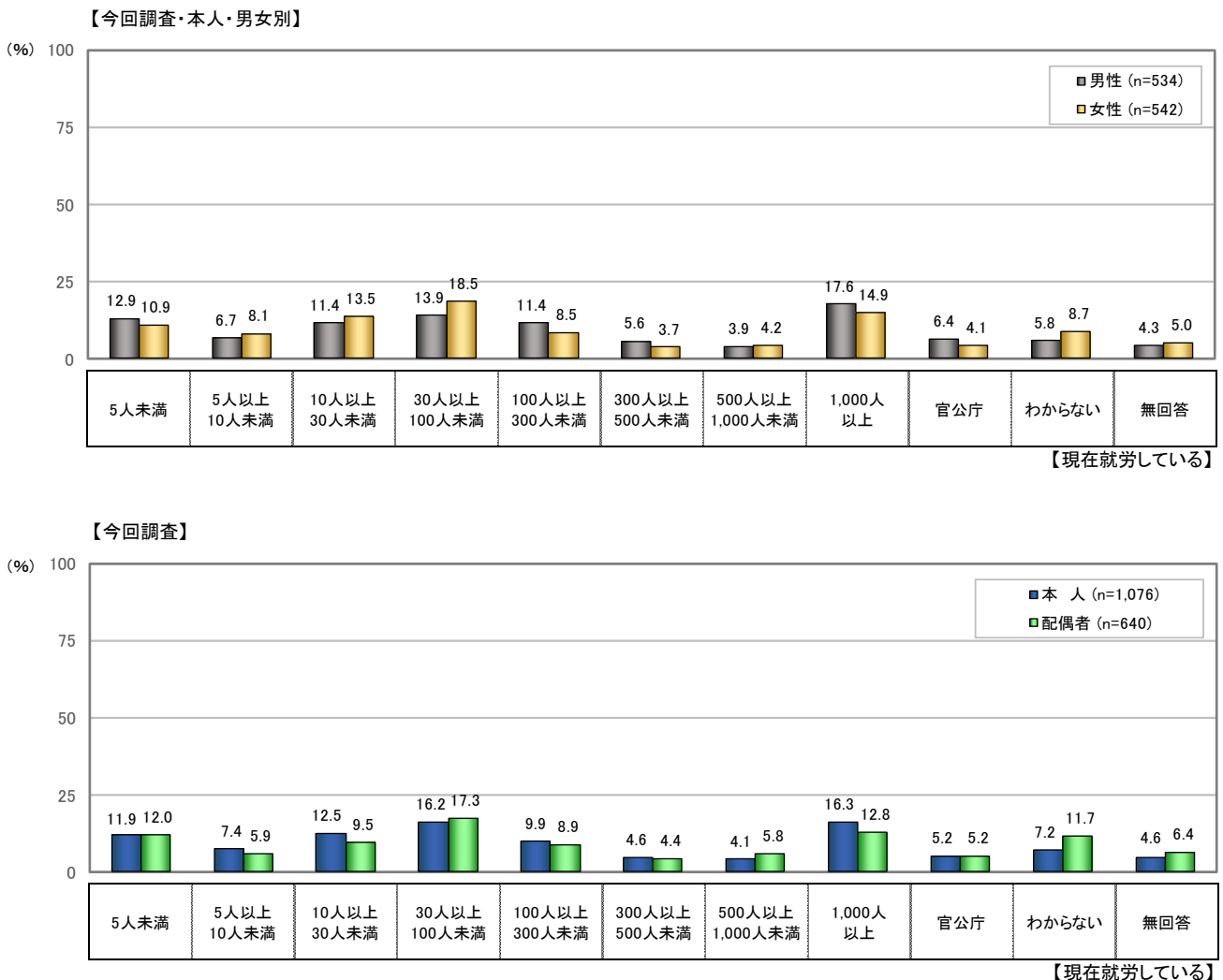
(図表9-4 続き) 就業者の職種 (本人・配偶者) (2016年調査・2014年調査)



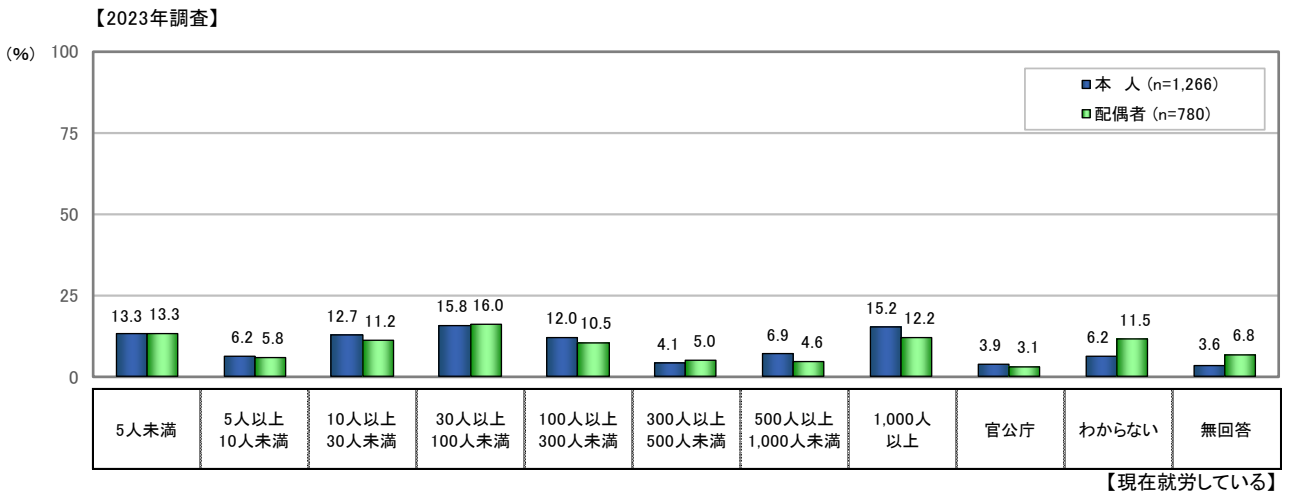
(5) 就業先の従業員数 (本人・配偶者)

- 有職回答者のうち、男性 (n=534) の従業員数は、「1,000人以上」が17.6%、「30人以上100人未満」が13.9%、「5人未満」が12.9%などとなった。また、女性 (n=542) の従業員数は、「30人以上100人未満」が18.5%、「1,000人以上」が14.9%、「10人以上30人未満」が13.5%などとなった。
- 有職回答者全体 (n=1,076) の就業先の従業員数は、「1,000人以上」が16.3%、「30人以上100人未満」が16.2%、「10人以上30人未満」が12.5%、「5人未満」が11.9%などとなった。
- 有職配偶者 (n=640) では、「30人以上100人未満」が17.3%、「1,000人以上」が12.8%、「5人未満」が12.0%などとなった。(図表9-5)

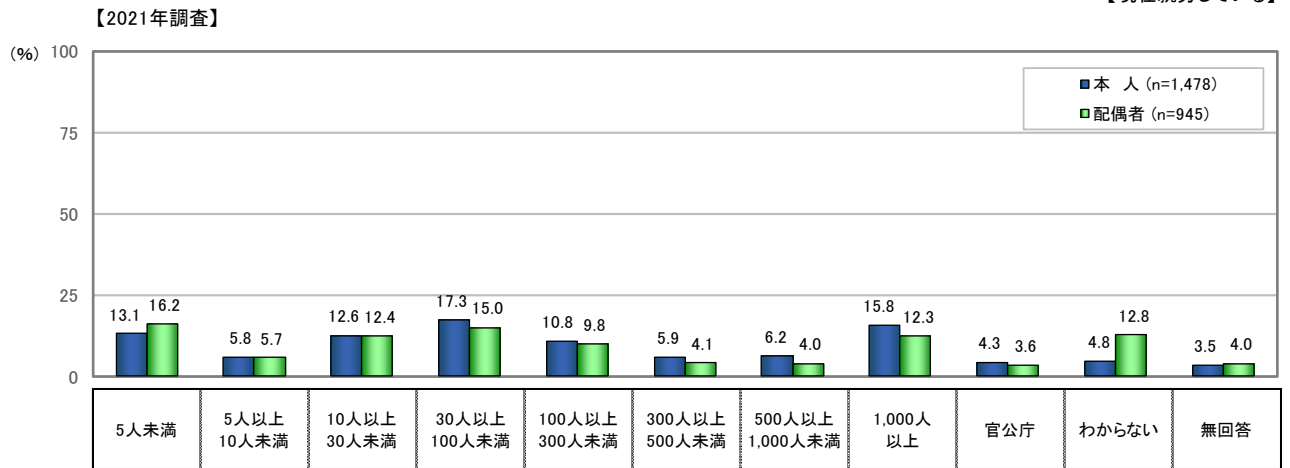
(図表9-5) 就業先の従業員数 (本人・配偶者) (問29-1④・問30-1④)



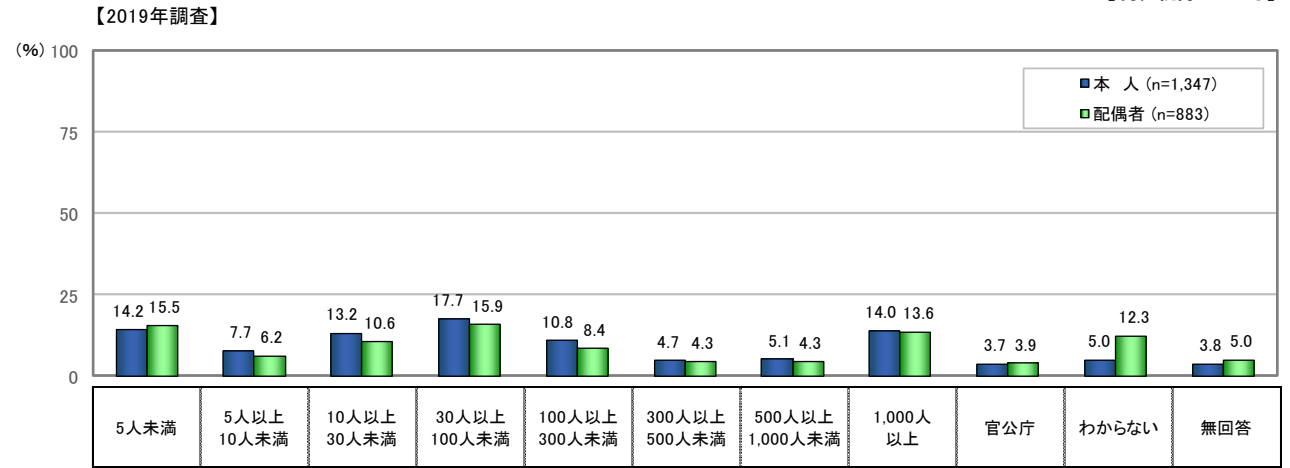
(図表9-5 続き) 就業先の従業員数 (本人・配偶者) (2023年調査・2021年調査・2019年調査)



【現在就労している】



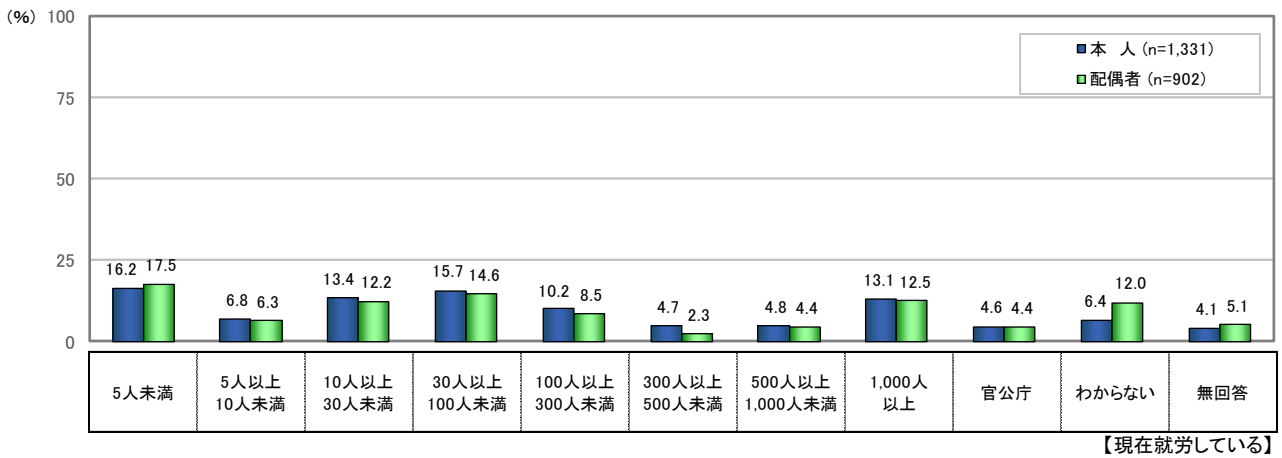
【現在就労している】



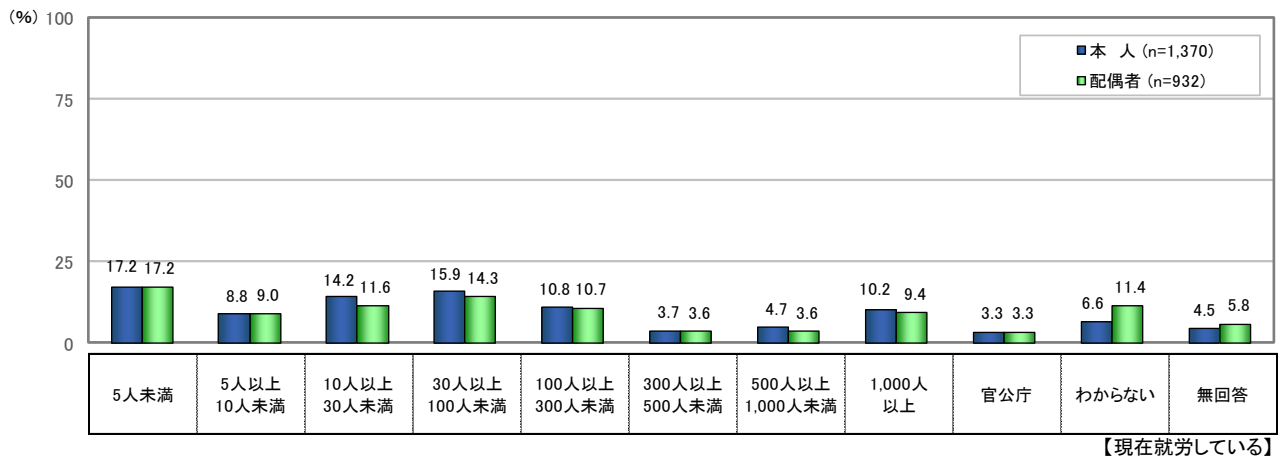
【現在就労している】

(図表 9 - 5 続き) 就業先の従業員数 (本人・配偶者) (2016 年調査・2014 年調査)

【2016年調査】



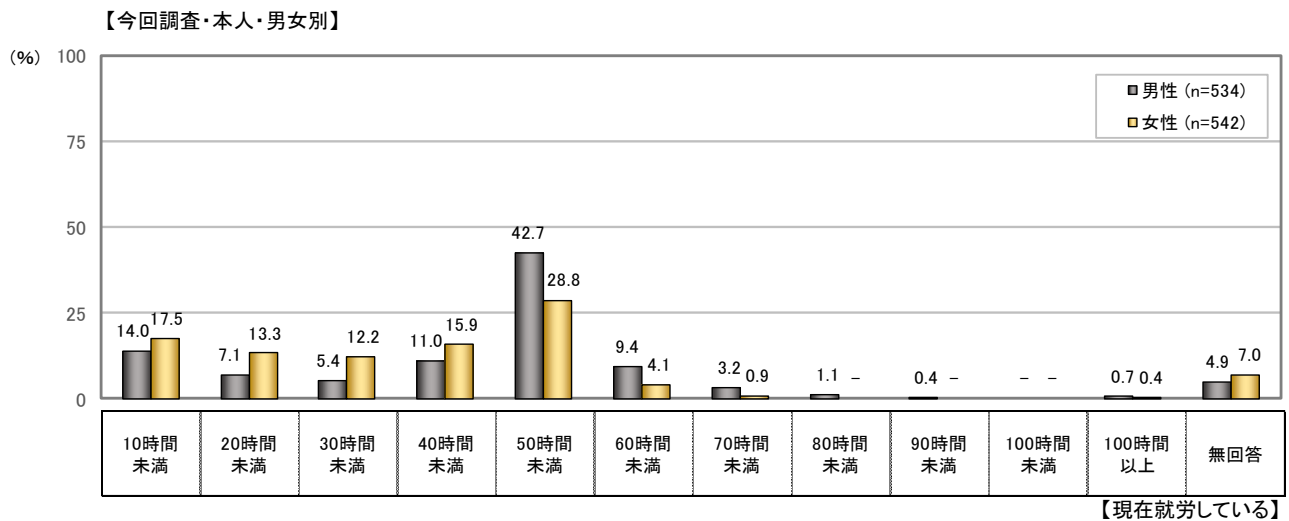
【2014年調査】



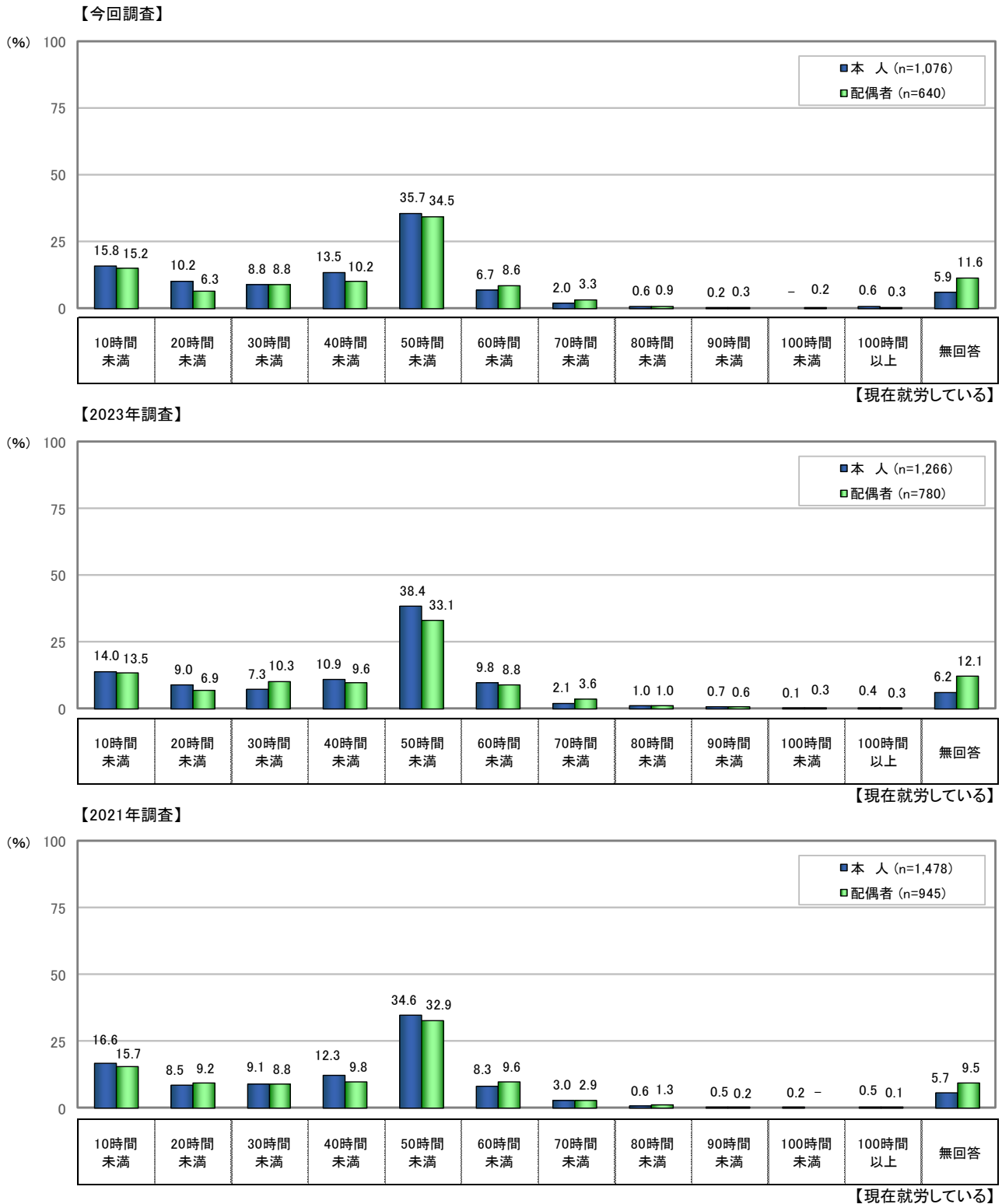
(6) 就業者の就労時間 (本人・配偶者)

- 残業時間を含んだ1週間の就労時間は、回答者本人のうち、男性 (n=534)、女性 (n=542) とともに「40 時間以上 50 時間未満」(男性 42.7%、女性 28.8%) が最も多かった。平均就労時間は、男性では 35.6 時間、女性では 28.3 時間となった。
- 回答者本人全体 (n=1,076)、配偶者 (n=640) とともに「40 時間以上 50 時間未満」(本人 35.7%、配偶者 34.5%) が最も多かった。平均就労時間は、回答者本人では 32.0 時間、配偶者では 33.3 時間となった。(図表 9-6-1)
- 残業時間は、回答者本人のうち、男性 (n=534)、女性 (n=542) とともに「0 時間」(男性 28.8%、女性 31.4%) が最も多く、「5 時間未満」(同 14.8%、15.9%)、「10 時間未満」(同 14.0%、6.6%) の順。平均残業時間は、男性では 3.9 時間、女性では 2.1 時間となった。(※「0」を除いた回答者ベースで算出すると、男性 6.7 時間、女性 4.5 時間)
- 回答者本人全体、配偶者とともに「0 時間」(本人 30.1%、配偶者 25.9%) が最も多く、「5 時間未満」(同 15.3%、9.7%)、「10 時間未満」(同 10.3%、6.7%) の順。平均残業時間は、回答者本人では 3.1 時間、配偶者では 3.8 時間となった。(※「0」を除いた回答者ベースで算出すると、本人 5.8 時間、配偶者 7.6 時間) (図表 9-6-2)

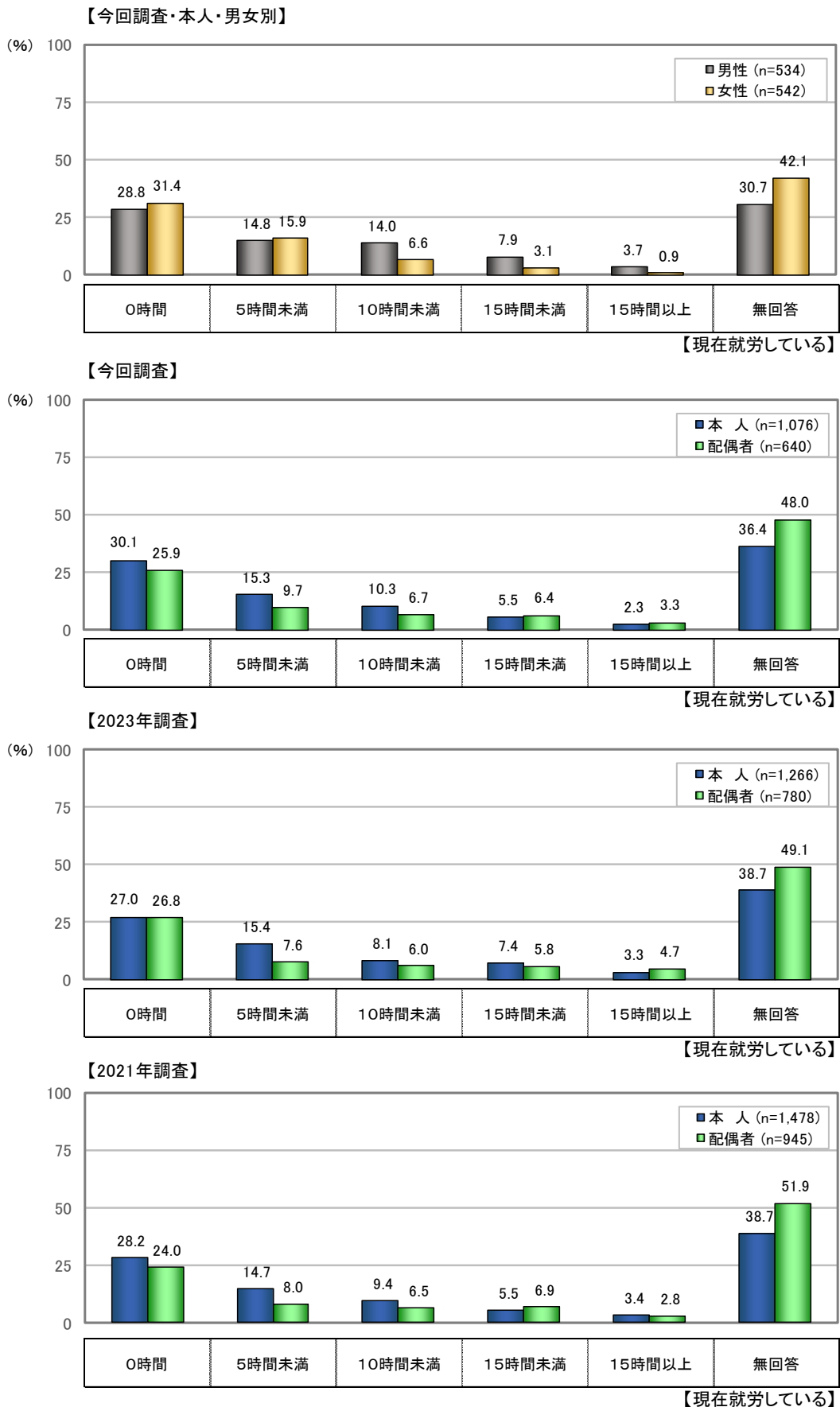
(図表 9-6-1) 就業者の就労時間 (本人・配偶者) (問 29-1⑤-1・問 30-1⑤-1)



(図表9-6-1 続き) 就業者の就労時間(本人・配偶者)(今回調査・2023年調査・2021年調査)



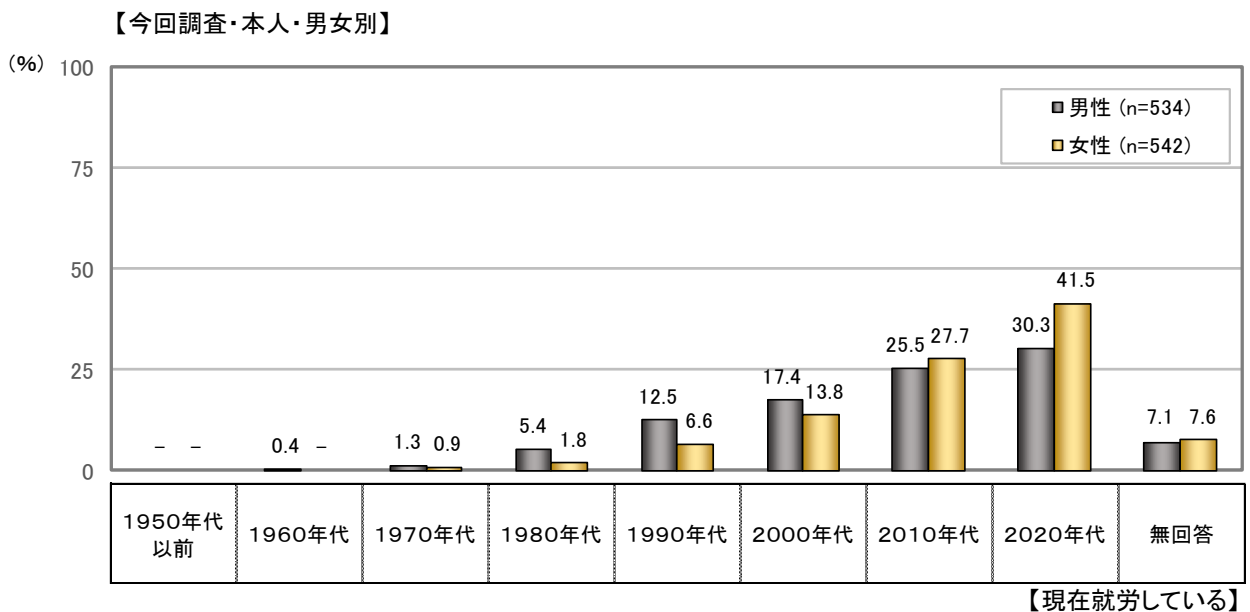
(図表 9-6-2) 就業者の残業時間 (本人・配偶者) (問 29-1⑤-2・問 30-1⑤-2)



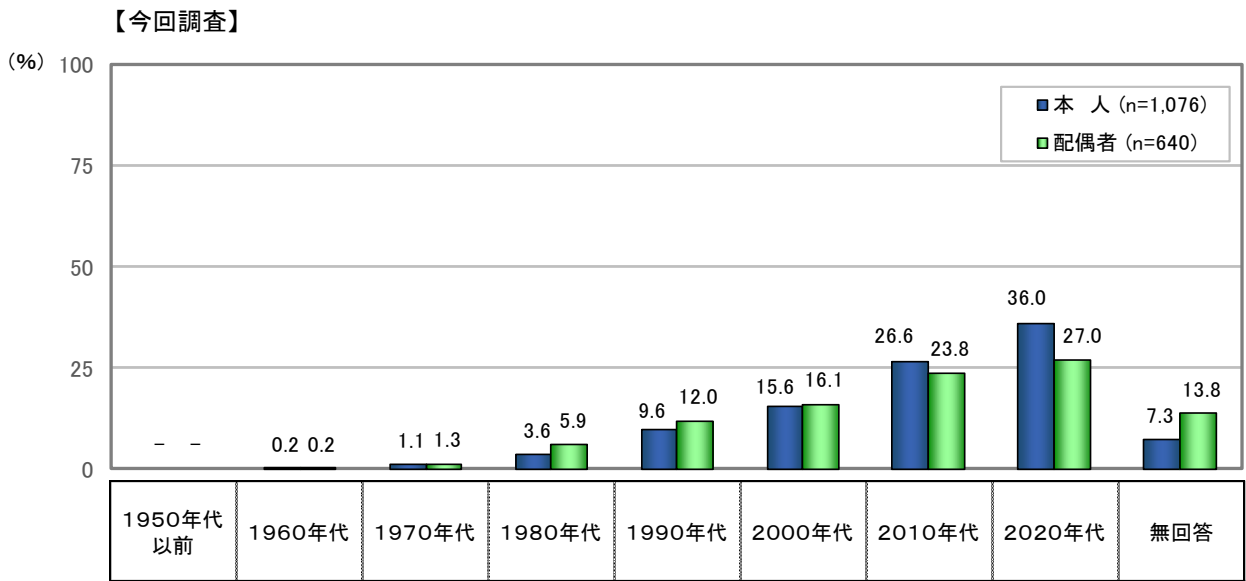
(7) 就業者の就労時期 (本人・配偶者)

- 現在の就業先の就業時期は、回答者本人のうち、男性 (n=534)、女性 (n=542) とともに、「2020 年代」が最も多く (男性 30.3%、女性 41.5%)、次いで、「2010 年代」 (同 25.5%、27.7%) で、年代が古いほど少なかった。
- 回答者本人全体 (n=1,076)、配偶者 (n=640) とともに、「2020 年代」が最も多く (本人 36.0%、配偶者 27.0%)、次いで、「2010 年代」 (同 26.6%、23.8%) で、同様に年代が古いほど少なかった。
(図表 9-7)

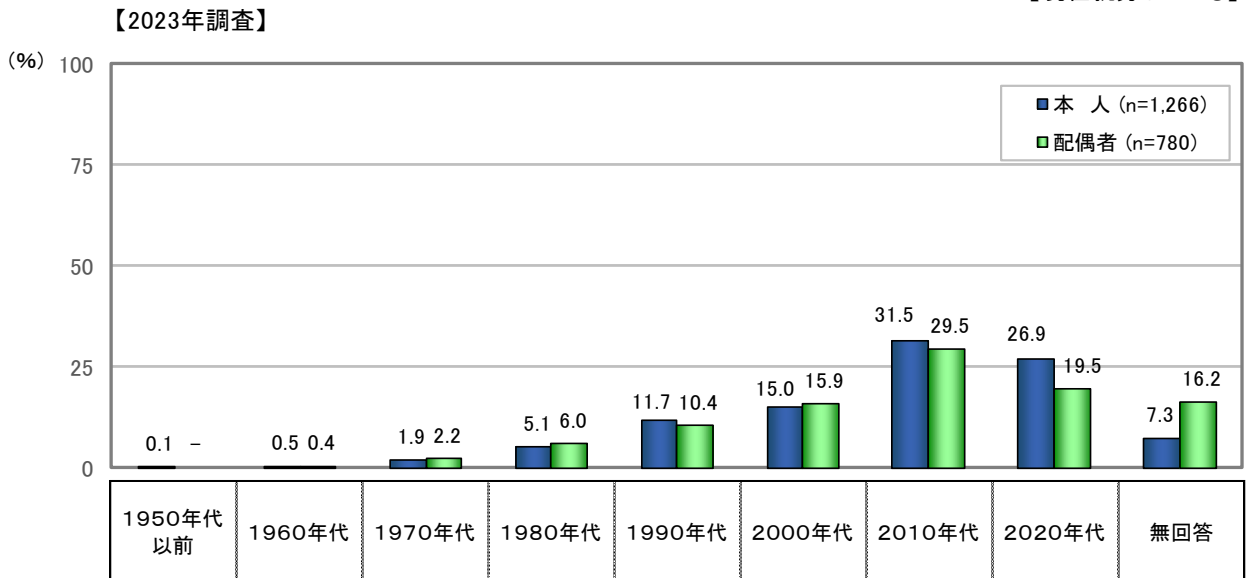
(図表 9 - 7) 就業者の就労時期 (本人・配偶者) (問 29-1⑥・問 30-1⑥)



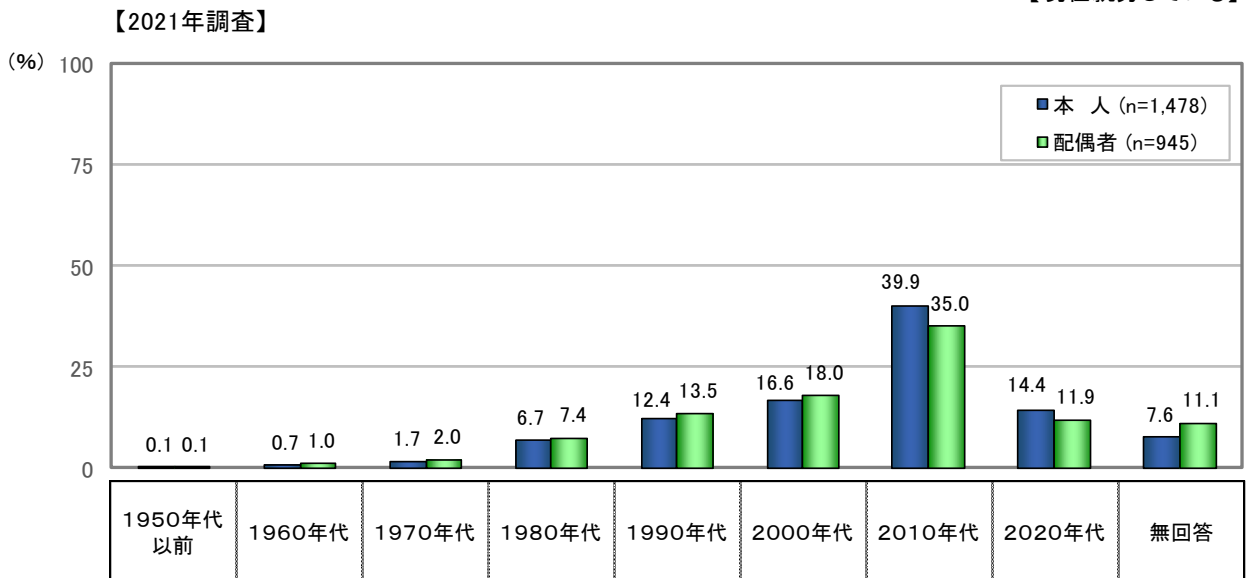
(図表9-7 続き) 就業者の就労時期 (本人・配偶者) (今回調査・2023年調査・2021年調査)



【現在就労している】



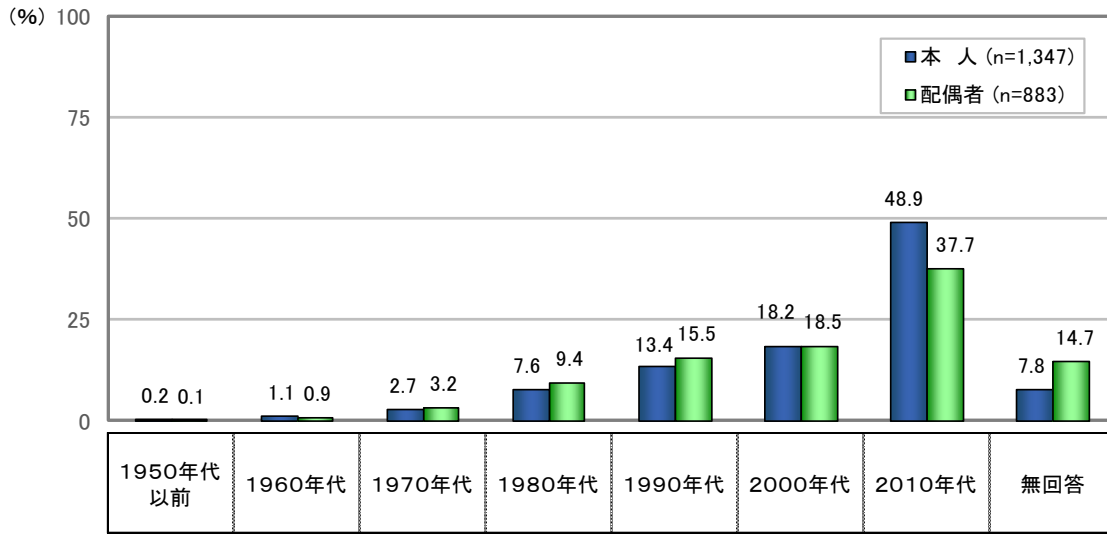
【現在就労している】



【現在就労している】

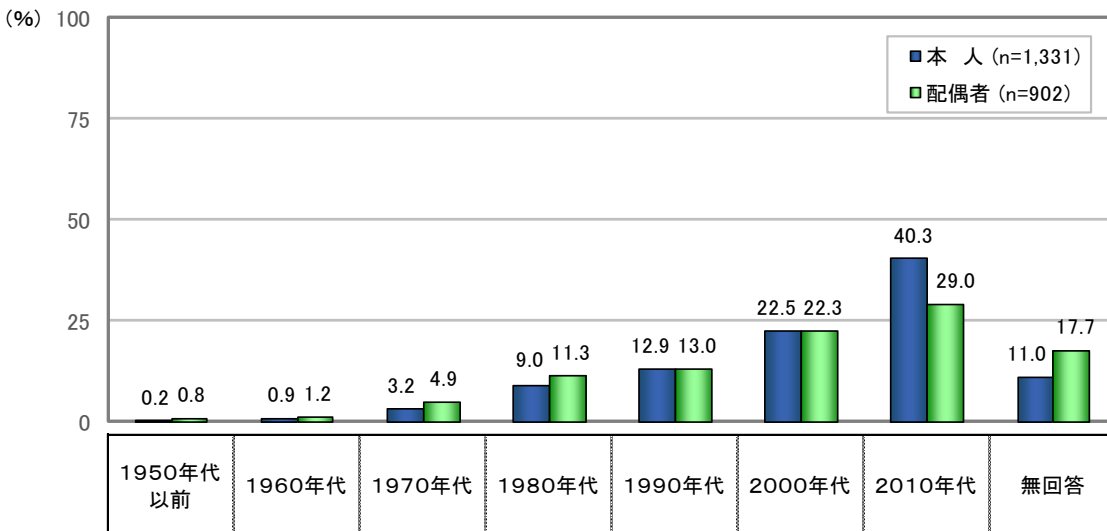
(図表9-7 続き) 就業者の就労時期(本人・配偶者)(2019年調査・2016年調査・2014年調査)

【2019年調査】



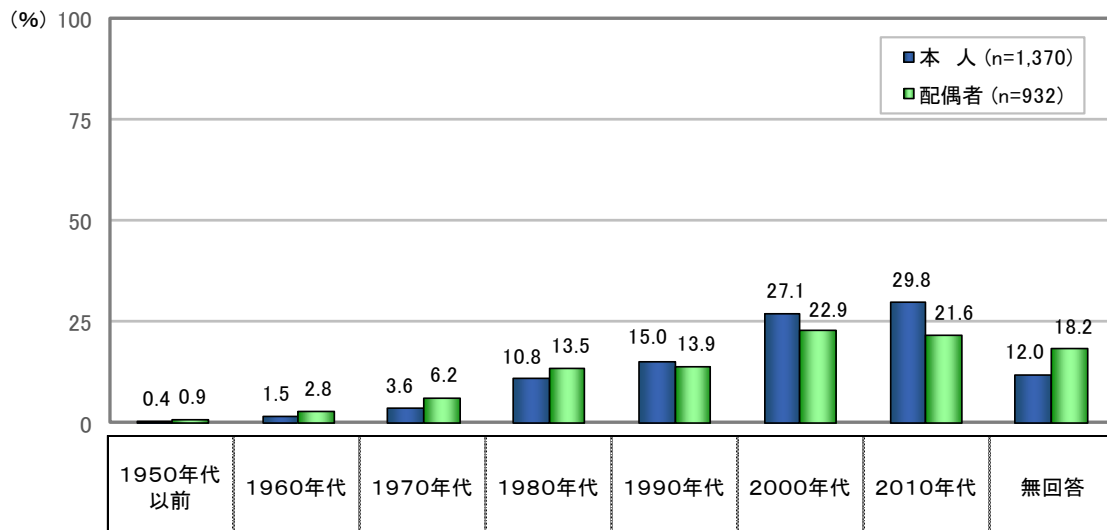
【現在就労している】

【2016年調査】



【現在就労している】

【2014年調査】

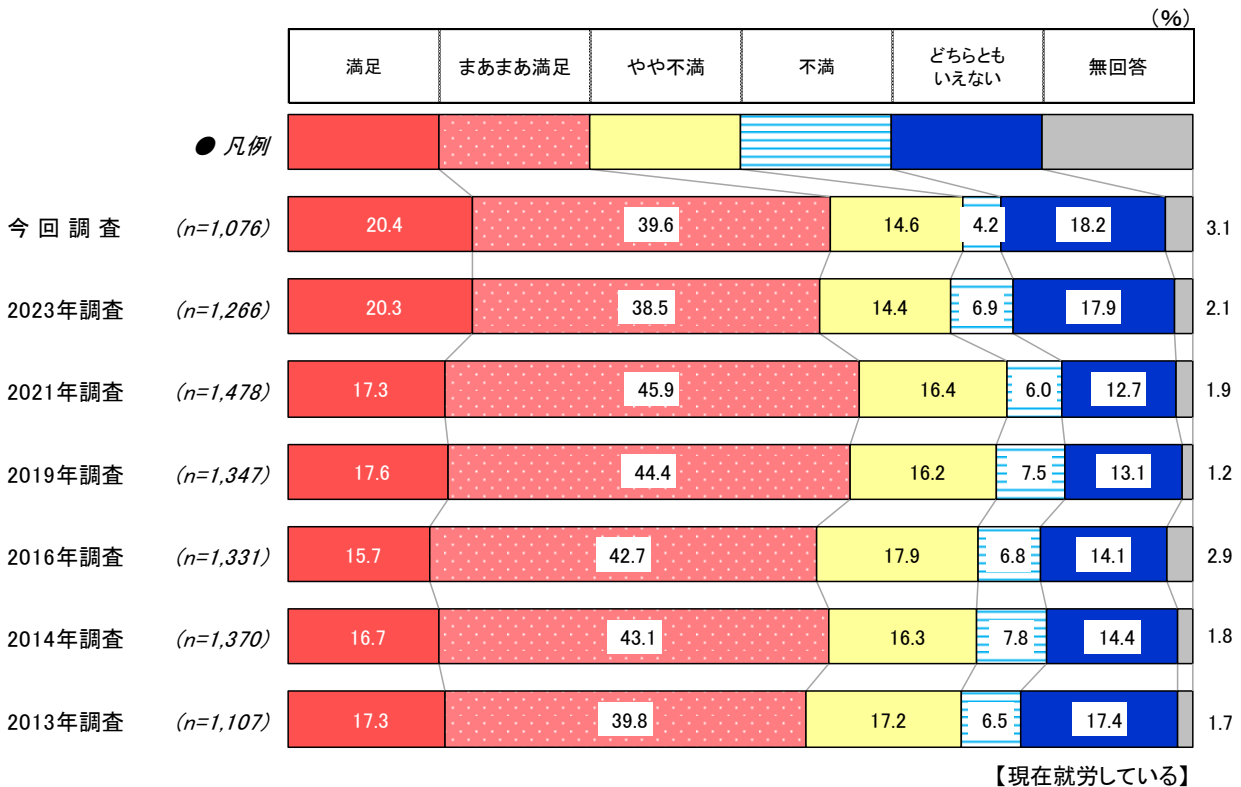
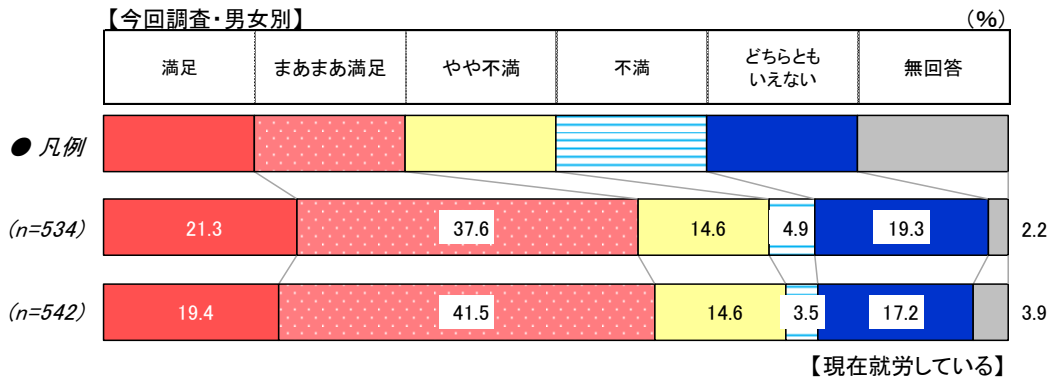


【現在就労している】

(8) 就業者の仕事に対する満足度 (本人)

- 有職回答者のうち、男性 (n=534) の仕事に対する満足度は、「満足」(21.3%)と「まあまあ満足」(37.6%)を合わせた『満足』が59.0%、「不満」(4.9%)と「やや不満」(14.6%)を合わせた『不満』が19.5%となった。また、女性 (n=542) の仕事に対する満足度は、「満足」(19.4%)と「まあまあ満足」(41.5%)を合わせた『満足』が60.9%、「不満」(3.5%)と「やや不満」(14.6%)を合わせた『不満』が18.1%となった。
- 有職回答者全体 (n=1,076) の仕事に対する満足度は、「満足」(20.4%)と「まあまあ満足」(39.6%)を合わせた『満足』が59.9%となった。一方、「不満」(4.2%)と「やや不満」(14.6%)を合わせた『不満』が18.8%となった。(図表 9-8)

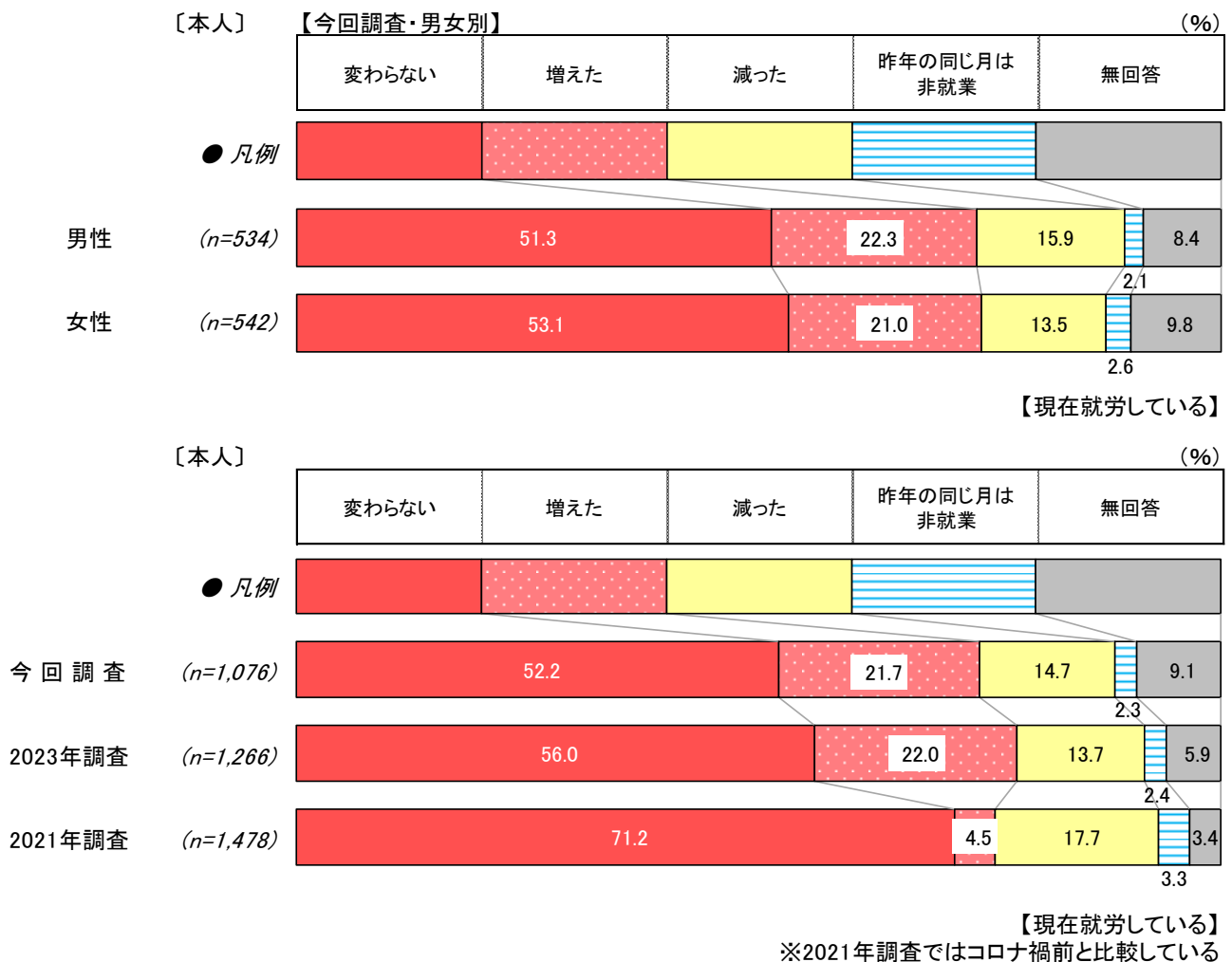
(図表 9-8) 就業者の仕事に対する満足度 (本人) (問 29-1⑦)

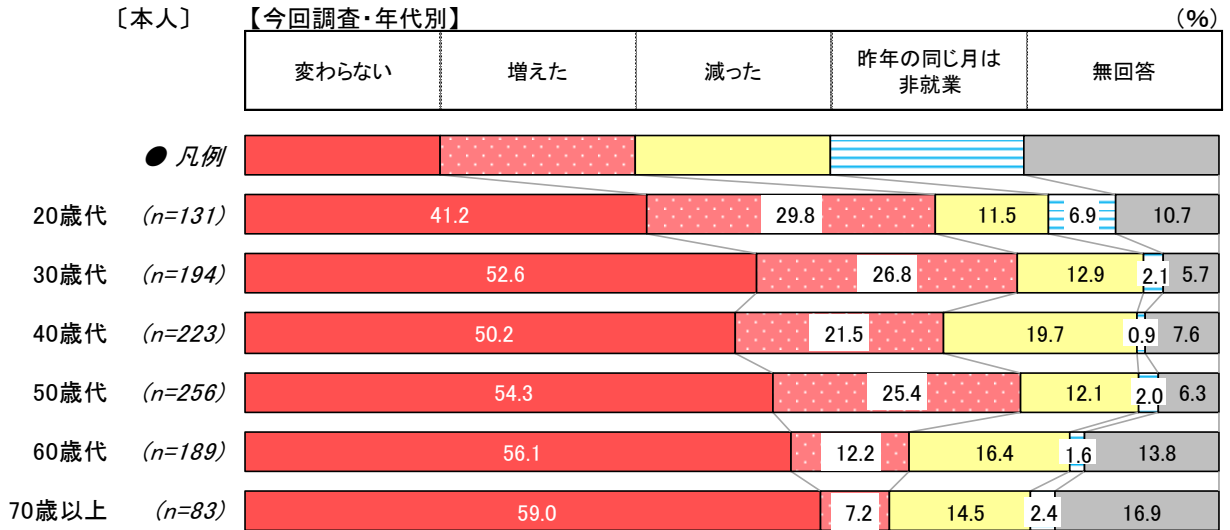


(9) 昨年の同じ月と比較した就労収入の変化

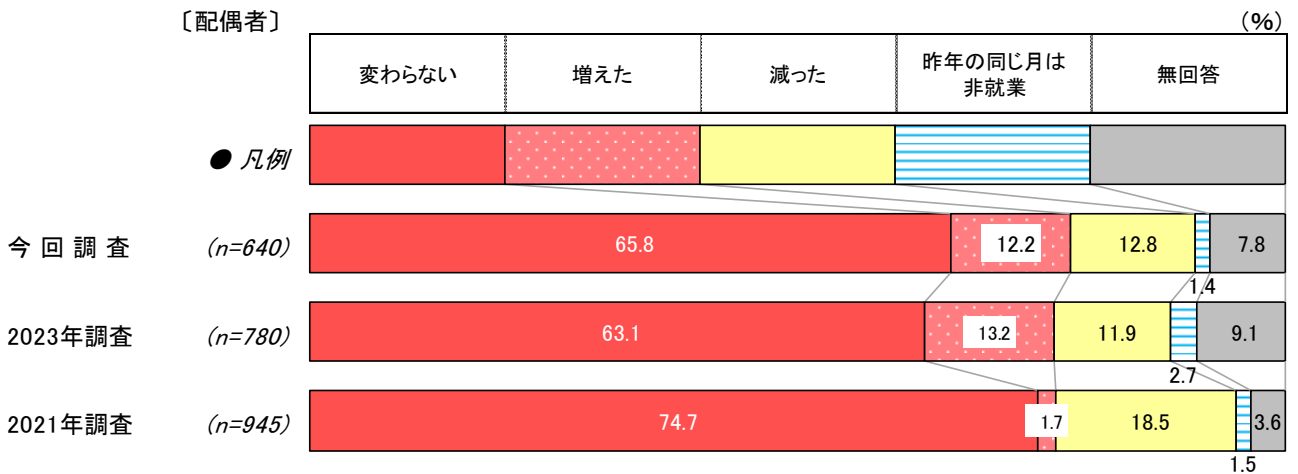
- 有職回答者のうち、男性 (n=534) に、昨年の同じ月と比較して就労収入に変化があったか聞いたところ、「変わらない」(51.3%) が最も多く、次いで、「増えた」(22.3%)、「減った」(15.9%) の順となった。また、女性 (n=542) も「変わらない」(53.1%) が最も多く、次いで、「増えた」(21.0%)、「減った」(13.5%) の順となった。
- 有職回答者全体 (n=1,076) では、「変わらない」(52.2%) が最も多く、次いで、「増えた」(21.7%)、「減った」(14.7%) の順となった。
- 有職配偶者 (n=640) でも、「変わらない」(65.8%) が最も多く、次いで、「減った」(12.8%) 「増えた」(12.2%) の順となった。(図表 9-9-1)
- 就労収入に変化があった本人のうち、男性 (n=204)、女性 (n=187) に、直近の1か月の就労収入が昨年同月と比較して何%に変化したか聞くと、「120%未満」(男性 42.2%、女性 38.5%) が最も多く、次いで、男性は「100%未満」(26.0%)、女性は「100%未満」と「120%以上」(ともに 16.6%) が並んだ。
- 就労収入に変化があった本人全体 (n=391)、配偶者 (n=160) では、「120%未満」(本人 40.4%、配偶者 32.5%) が最も多く、次いで、「100%未満」(本人 21.5%、配偶者 27.5%) となった。(図表 9-9-2)

(図表 9-9-1) 昨年の同じ月と比較した就労収入の変化 (本人・配偶者) (問 29-2・問 30-2)



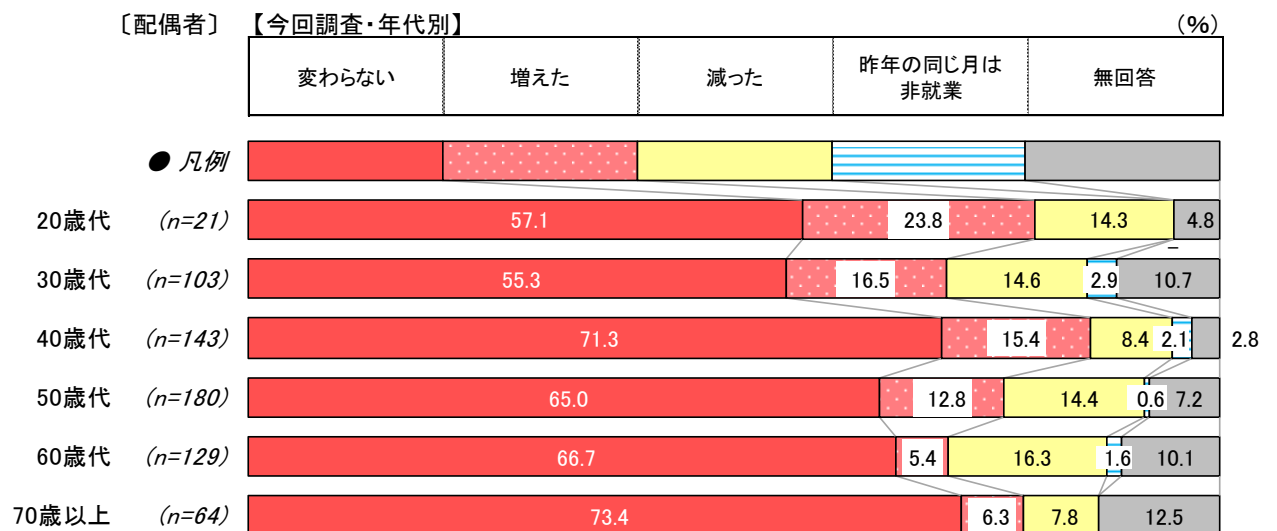


【現在就労している】



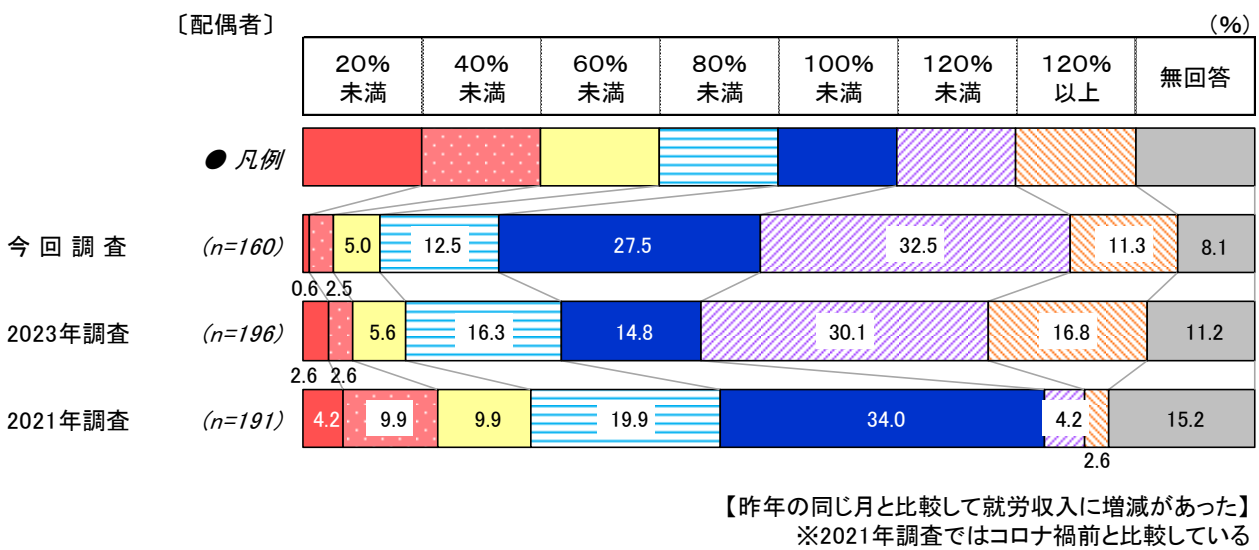
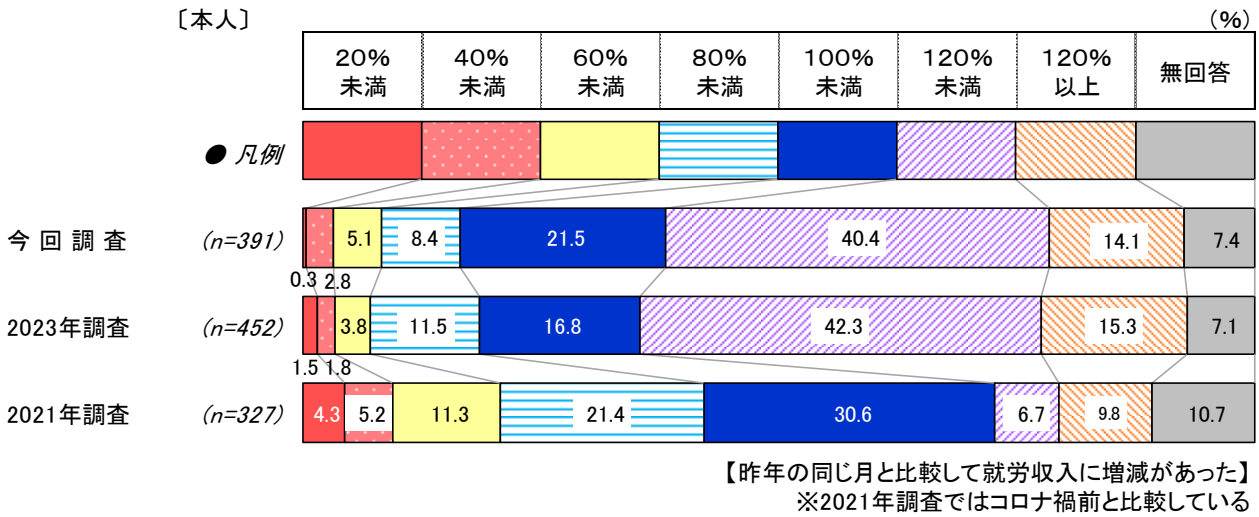
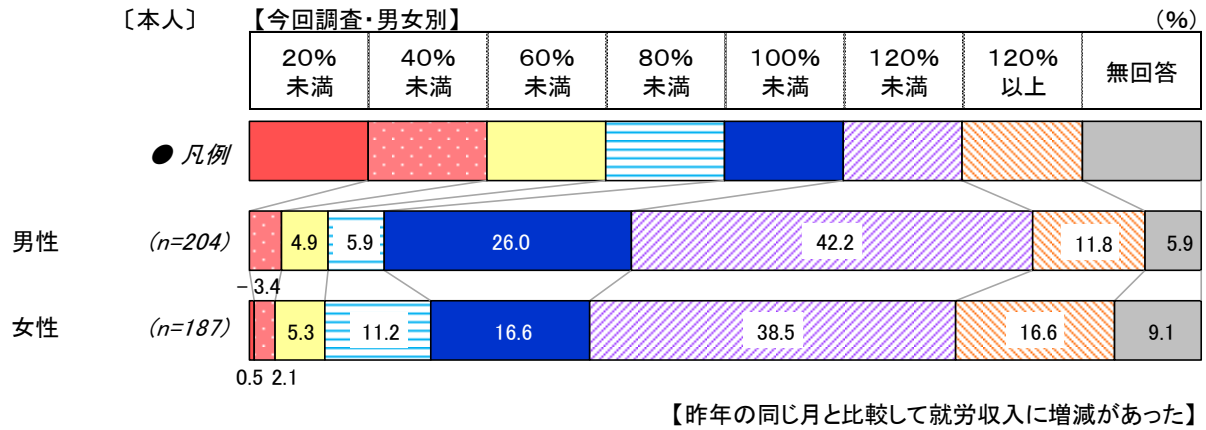
【現在就労している】

※2021年調査ではコロナ禍前と比較している



【現在就労している】

(図表9-9-2) 昨年の同じ月と比較した就労収入(本人・配偶者)(問29-3・問30-3)

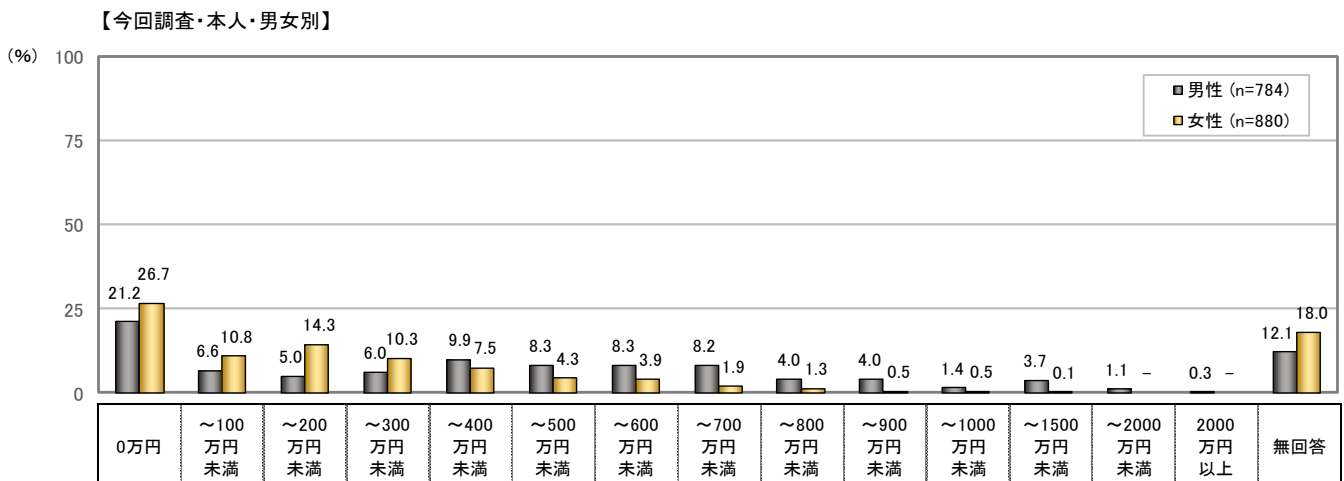


10. 収入と支出、社会保険について

(1) 昨年1年間の就労収入（本人・配偶者）

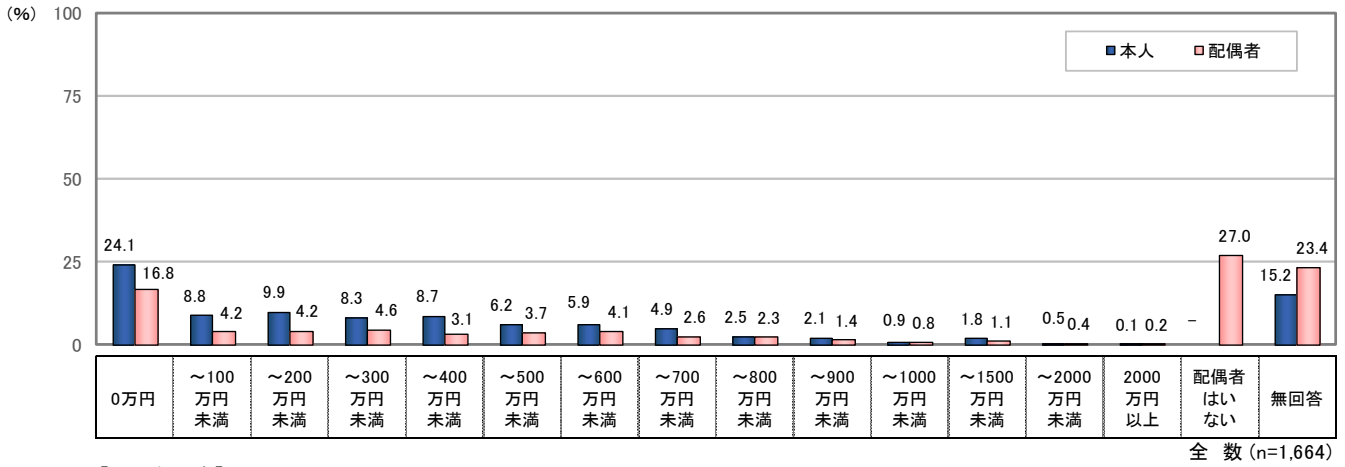
- 昨年1年間の就労収入(税込)について、回答者本人のうち、男性は、「300万円～400万円未満」(9.9%)が最も多く、次いで、「400万円～500万円未満」と「500万円～600万円未満」(ともに8.3%)が並んだ。『0万円超～400万円未満』を合計すると27.6%となった。
- 一方、女性は、「100万円～200万円未満」(14.3%)が最も多く、次いで、「100万円未満」(10.8%)、「200万円～300万円未満」(10.3%)で、『0万円超～400万円未満』を合計すると43.0%となった。
- 「0万円(収入はなかった)」は、男性で21.2%、女性で26.7%と2割前後であった。
- 平均収入は、男性では約369万6千円、女性では約173万9千円となった。
- 回答者本人全体では、「100万円～200万円未満」(9.9%)が最も多く、次いで、「100万円未満」(8.8%)、「300万円以上400万円未満」(8.7%)、「200万円～300万円未満」(8.3%)で、『0万円超～400万円未満』を合計すると35.7%となった。
- 一方、配偶者は、「200万円～300万円未満」(4.6%)、「100万円未満」(4.2%)、「100万円～200万円未満」(4.2%)で、『0万円超～400万円未満』を合計すると16.0%となった。
- 「0万円(収入はなかった)」は、回答者本人で24.1%、配偶者で16.8%と2割前後であった。
- 平均収入は、回答者本人では約269万5千円、配偶者では約287万9千円となった。(図表10-1)

(図表10-1) 昨年1年間の就労収入（本人・配偶者）（問31）

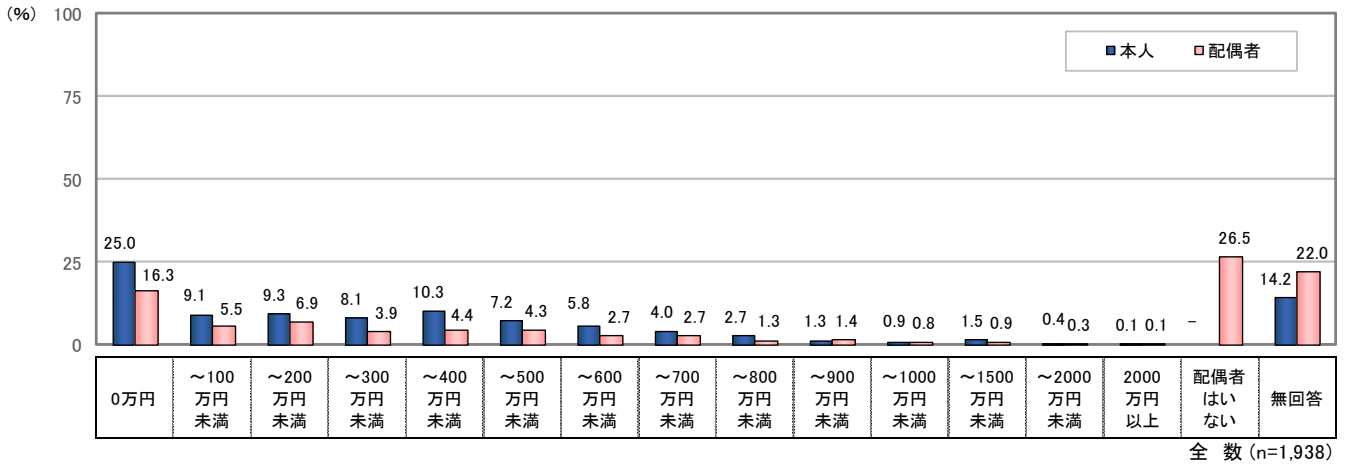


(図表10-1 続き) 昨年1年間の就労収入(本人・配偶者)
(今回調査・2023年調査・2021年調査)

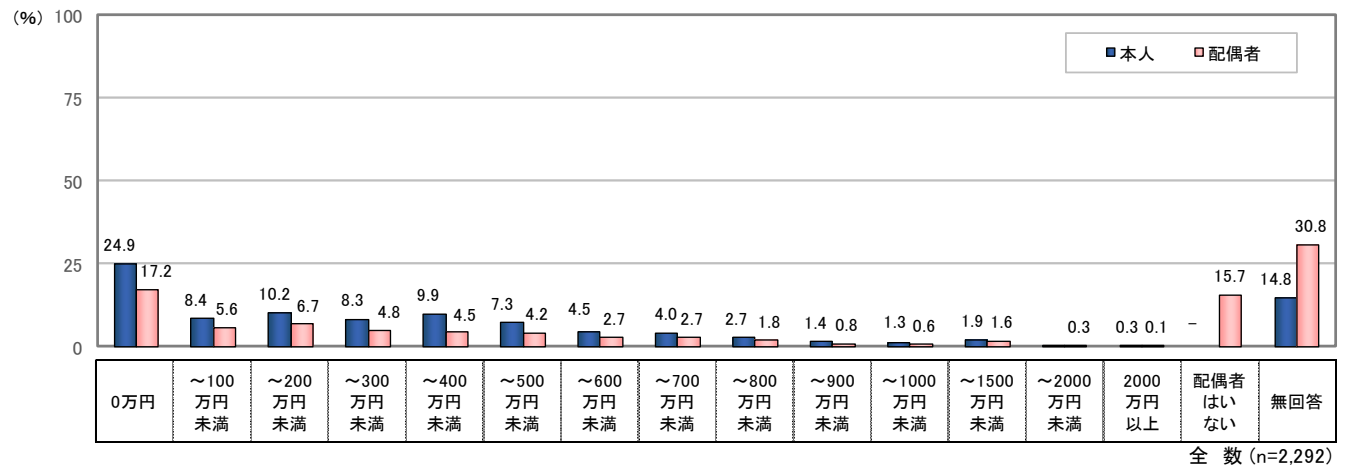
【今回調査】



【2023年調査】

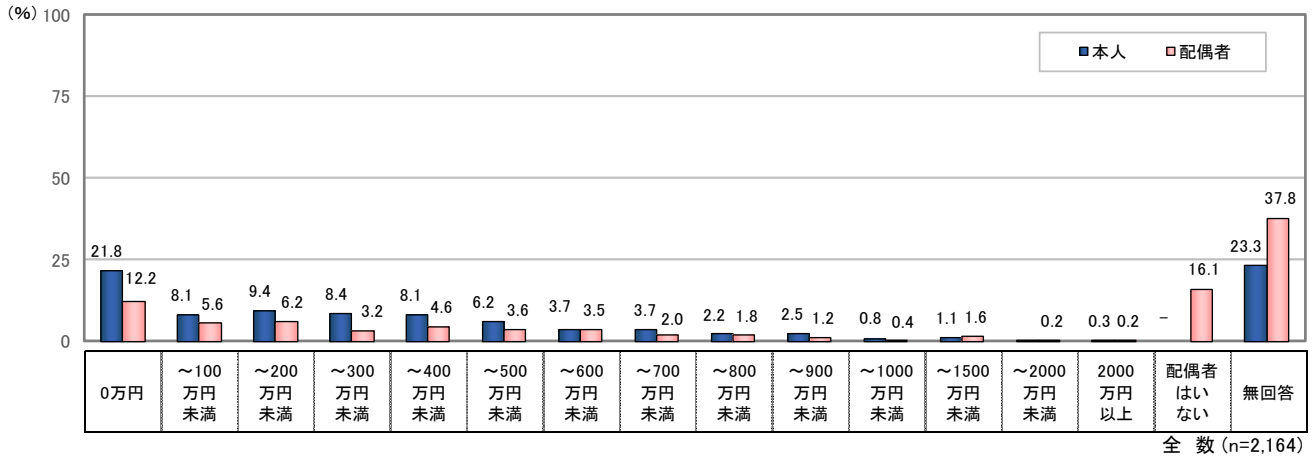


【2021年調査】

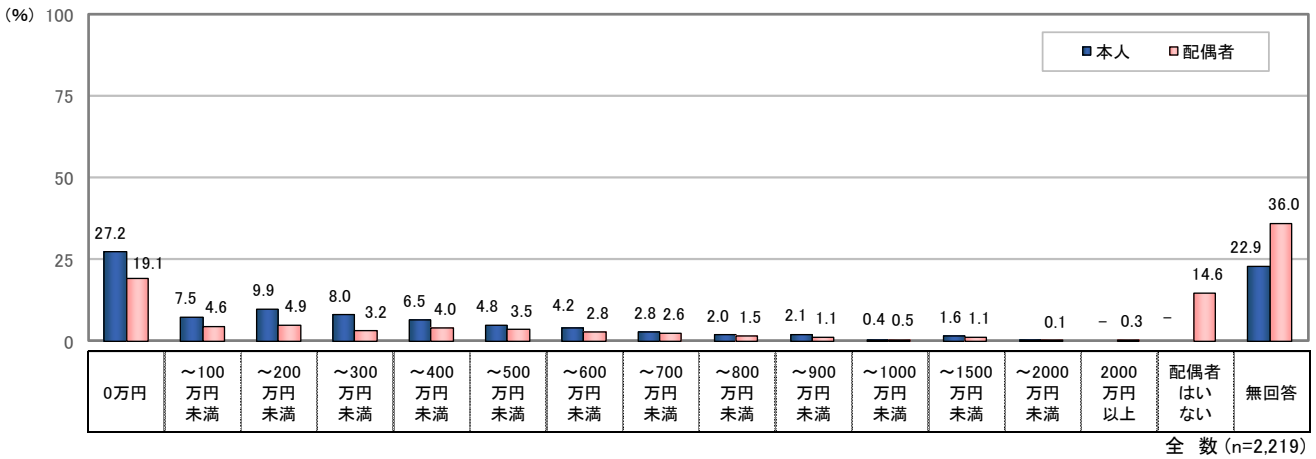


(図表10-1 続き) 昨年1年間の就労収入(本人・配偶者)
(2019年調査・2016年調査・2014年調査)

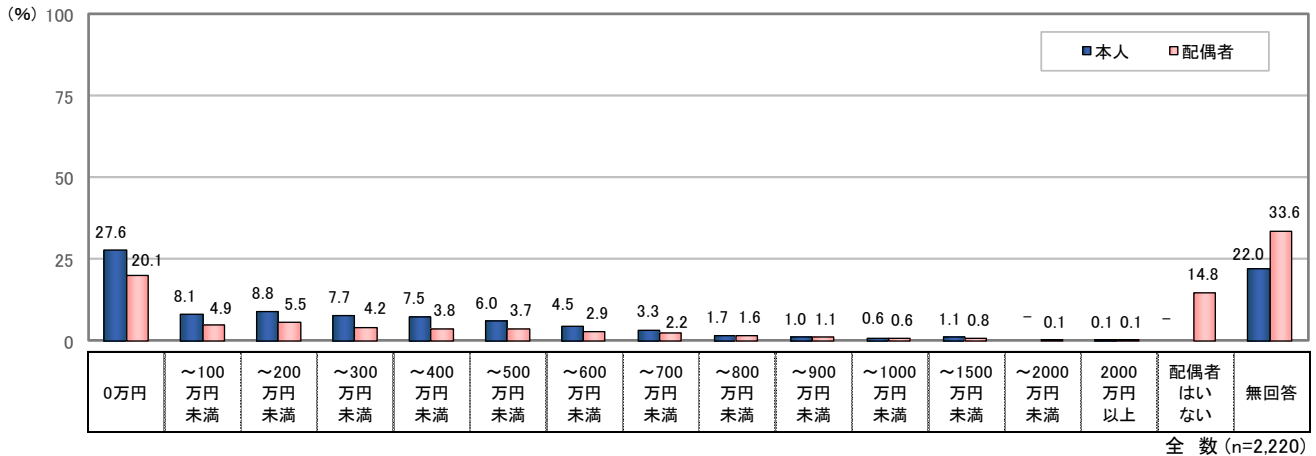
【2019年調査】



【2016年調査】



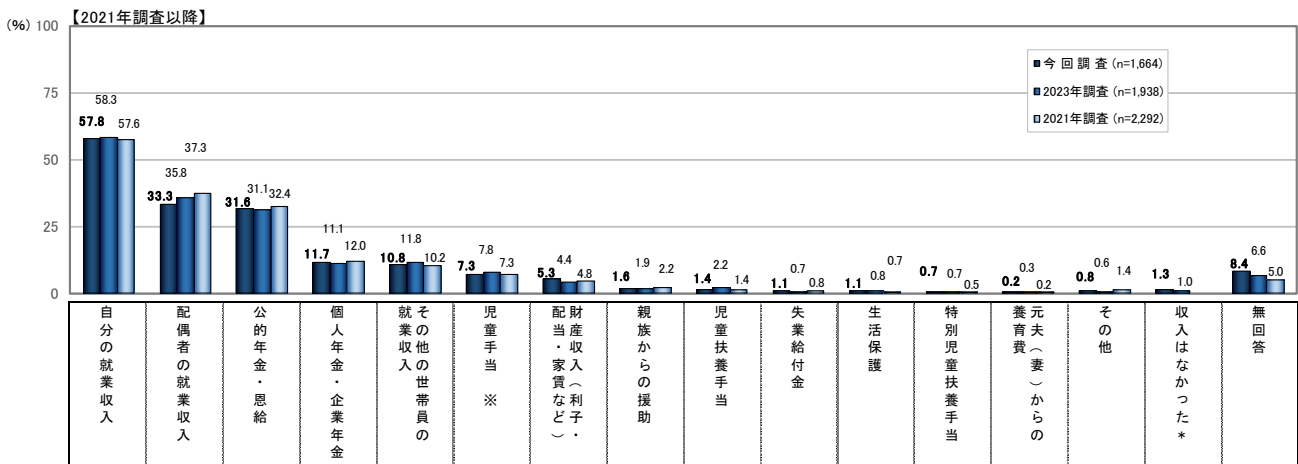
【2014年調査】



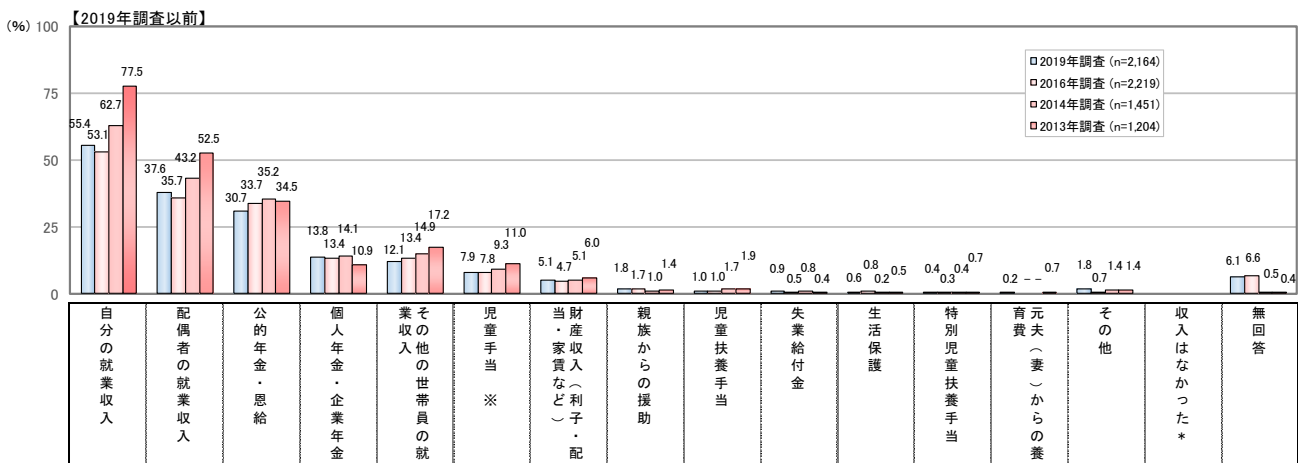
(2) 昨年の世帯年収（総収入・手取り）

- 昨年の世帯収入源（複数回答）としては、「自分の就業収入」が57.8%で最も多く挙げられ、次いで、「配偶者の就業収入」（33.3%）と「公的年金・恩給」（31.6%）などとなった。（図表10-2-1）
- 回答者自身および生計をともにしている家族の昨年1年間の収入は、税金・社会保険料などを差し引かれる前の社会保障給付、贈与、財産収入等を含む総収入（遺産を除く）では、「300万円以上400万円未満」が8.2%、「1000万円以上1500万円未満」が8.1%、「400万円以上500万円未満」が7.0%などで、平均世帯総収入は約630万3千円となった。
- 一方、税金・社会保険料などを差し引かれた手取り額は、「300万円以上400万円未満」が10.5%、「200万円以上300万円未満」が10.0%、「400万円以上500万円未満」が9.9%などで、平均手取り額は約446万2千円となった。（図表10-2-2）

(図表10-2-1) 昨年の世帯収入源（問32、複数回答）



※今回調査の「失業給付金」と「生活保護」は、四捨五入した比率は同じ1.1だが、実数では前者の方が回答数が多い。
 ※2013年調査・2014年調査・2016年調査「児童手当・子ども手当」、2019年調査・2021年調査・2023年調査・2025年調査「児童手当」と表記
 *の項目は2023年調査からの項目。

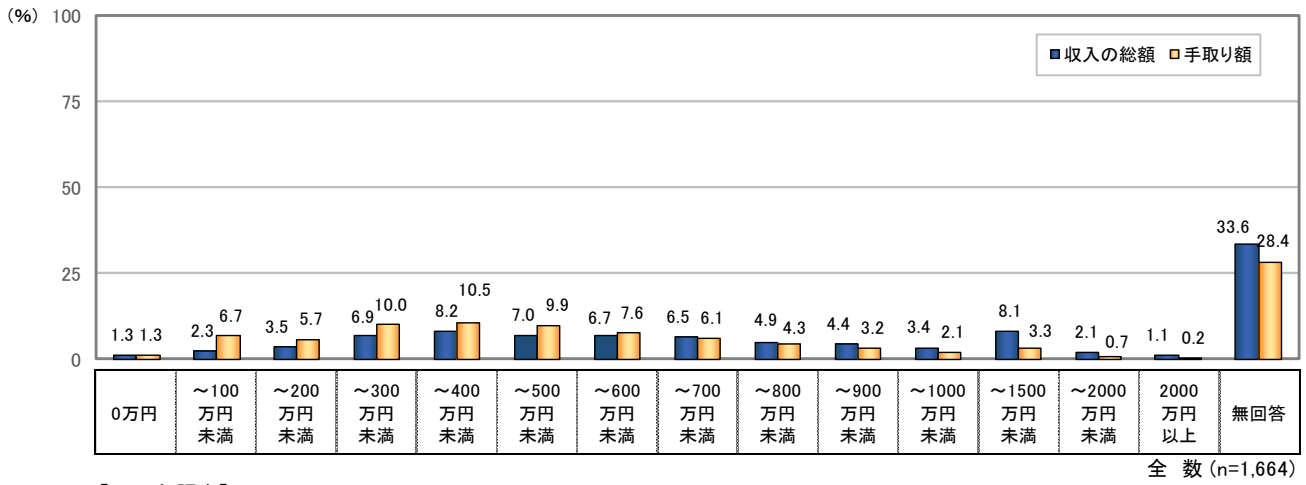


※2013年調査・2014年調査・2016年調査「児童手当・子ども手当」、2019年調査・2021年調査・2023年調査・2025年調査「児童手当」と表記
 *の項目は2023年調査からの項目。

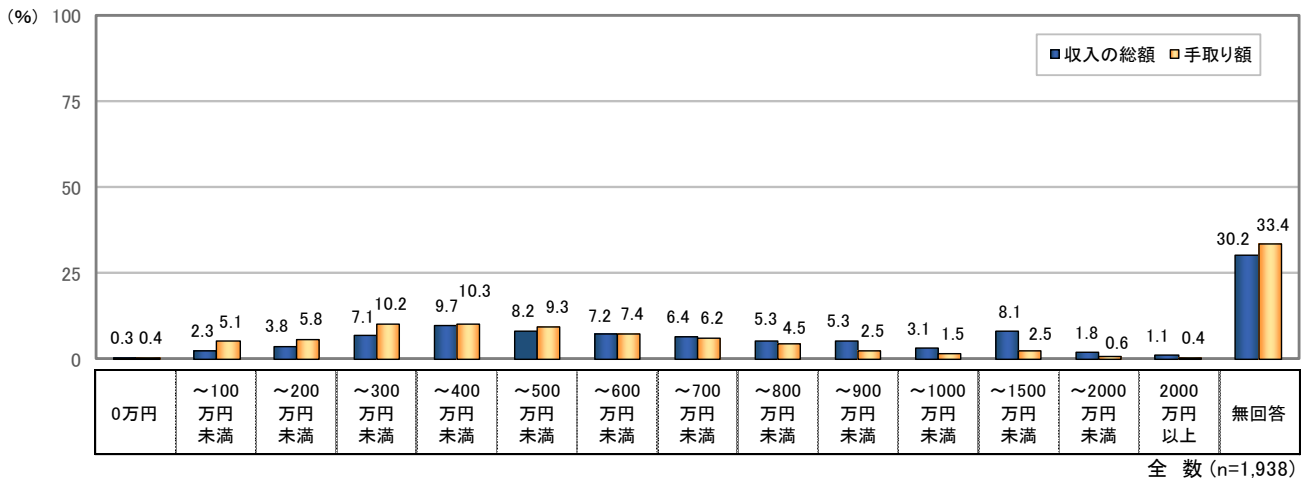
【2013年調査・2014年調査は、昨年度世帯収入額回答者】

(図表10-2-2) 昨年の世帯年収（総収入・手取り）（問33）

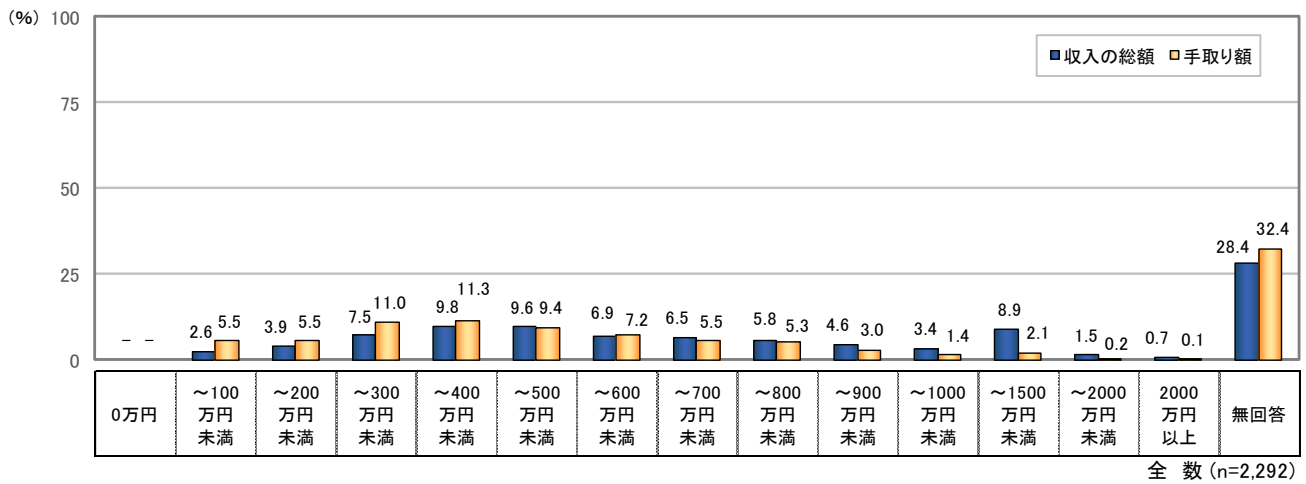
【今回調査】



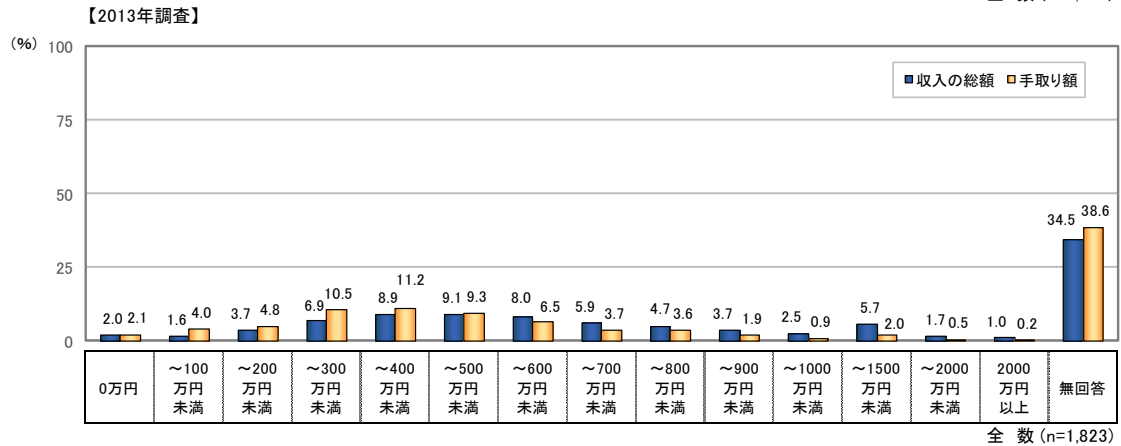
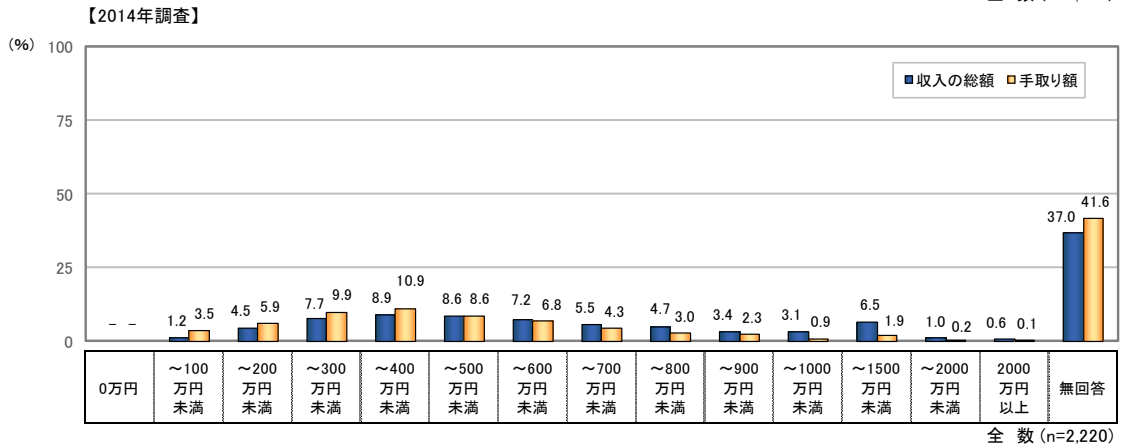
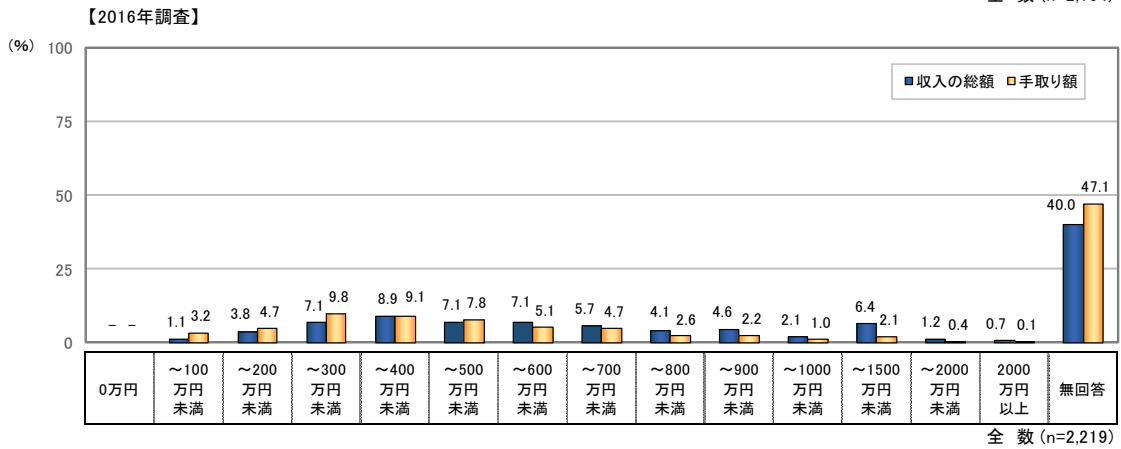
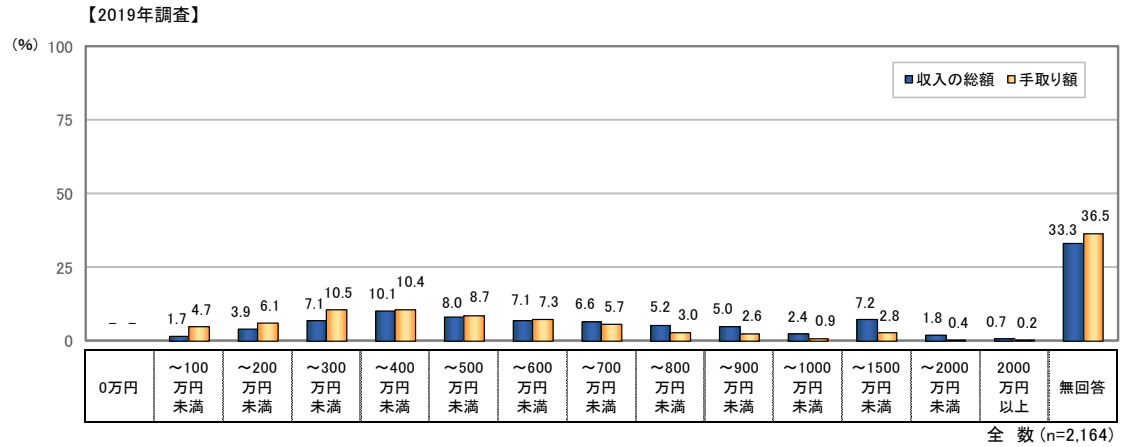
【2023年調査】



【2021年調査】



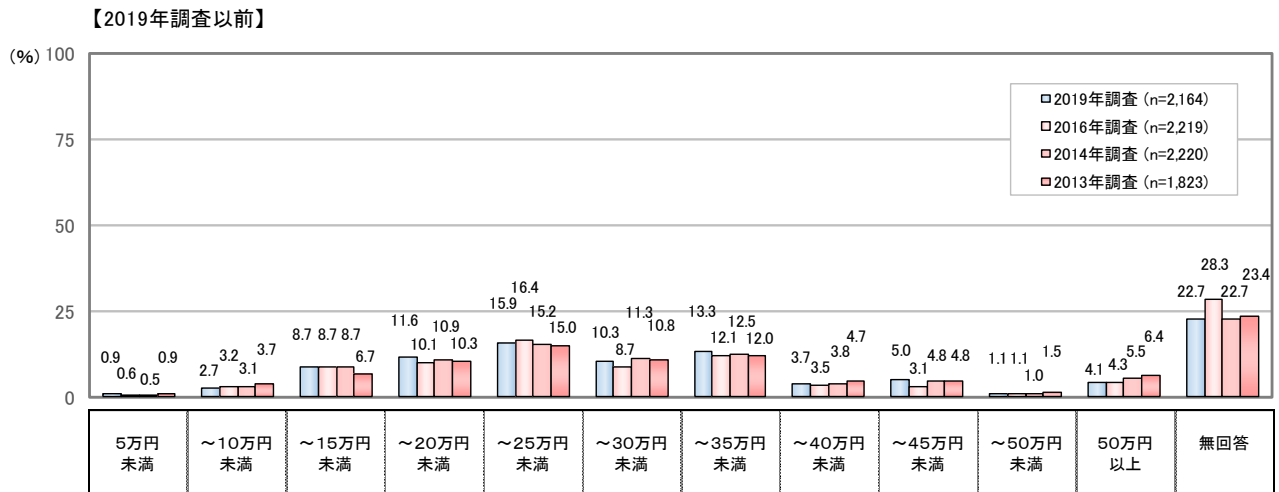
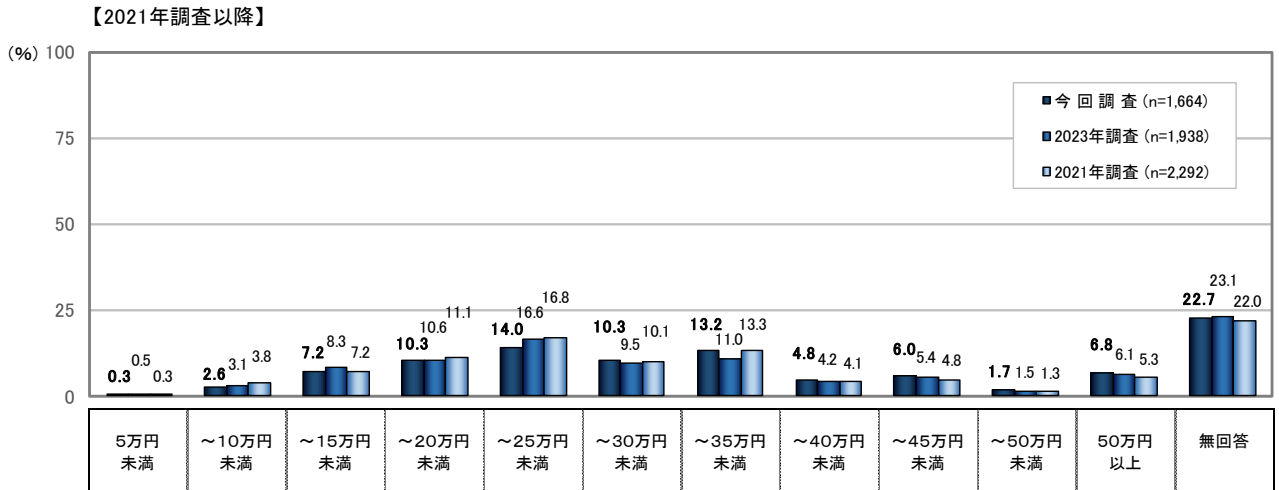
(図表10-2-2 続き) 昨年の世帯年収(総収入・手取り)
(2019年調査・2016年調査・2014年調査・2013年調査)



(3) 昨年ひと月あたりの世帯支出

- 回答者自身および生計をともにしている家族の昨年のひと月あたりの支出は、「20万円以上 25万円未満」が14.0%で最も多く、次いで「30万円以上 35万円未満」(13.2%)、「25万円以上 30万円未満」(10.3%)、「15万円以上 20万円未満」(10.3%)がいずれも約1割であった。(図表10-3)
- 昨年ひと月あたりの平均世帯支出額は約27万4千円となった。

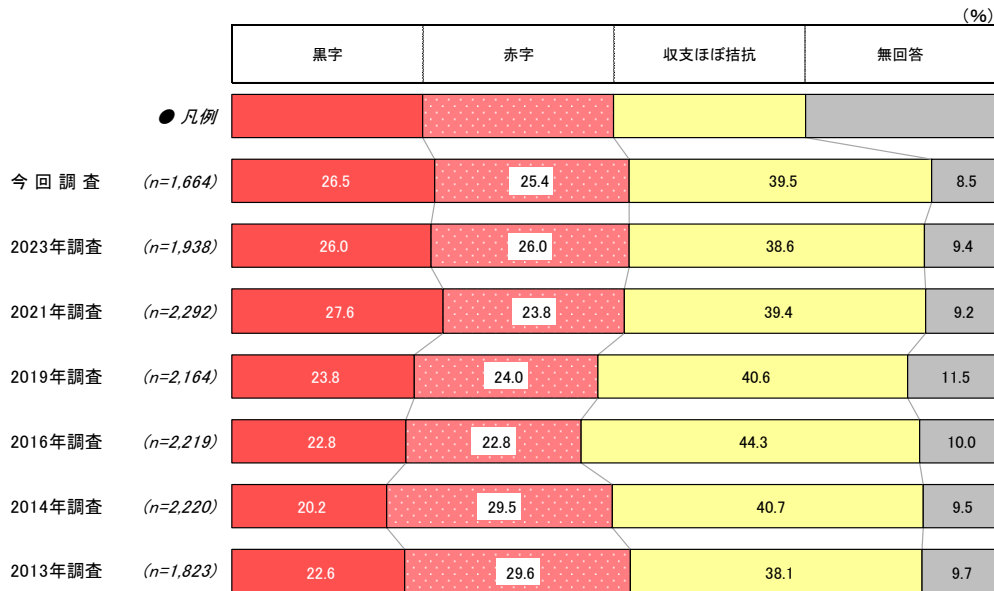
(図表10-3) 昨年ひと月あたりの世帯支出 (問34)



(4) 家計の収支状況

- 回答者の世帯の家計の収支状況は、「収支ほぼ拮抗」が39.5%で最も多く、次いで、「黒字」が26.5%、「赤字」が25.4%であった。(図表10-4)

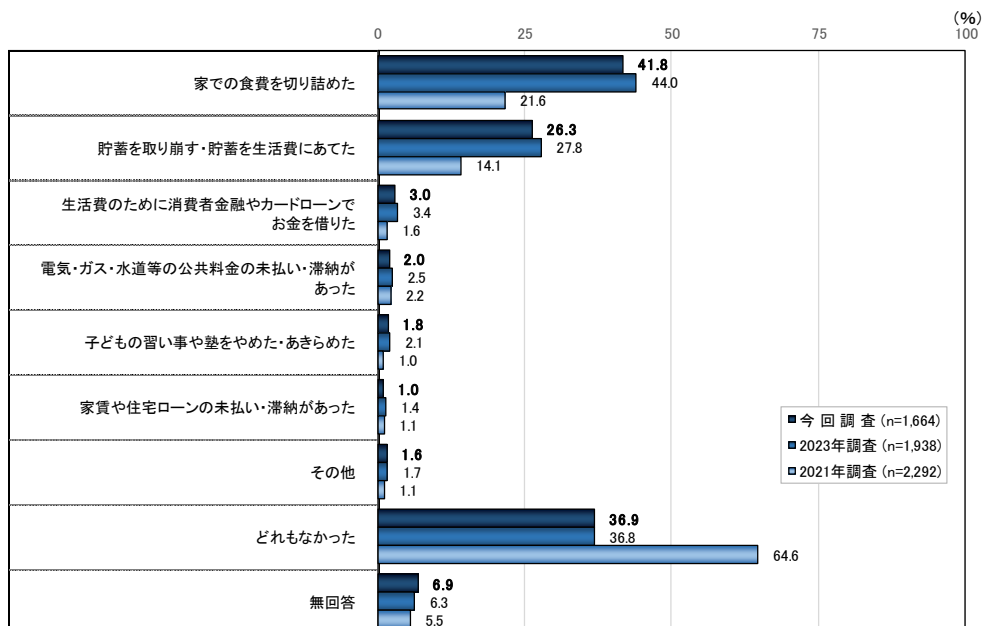
(図表10-4) 家計の収支状況 (問35)



(5) 消費者物価上昇に伴い家計で起こったこと

- 消費者物価上昇に伴い、この1年間で、家計で起こったことを尋ねたところ(複数回答)、「家での食費を切り詰めた」が41.8%で最も多く挙げられ、次いで、「貯蓄を取り崩す・貯蓄を生活費にあてた」(26.3%)となった。「どれもなかった」と回答したのは36.9%であった。(図表10-5)

(図表10-5) 消費者物価上昇に伴い家計で起こったこと (問36、複数回答)

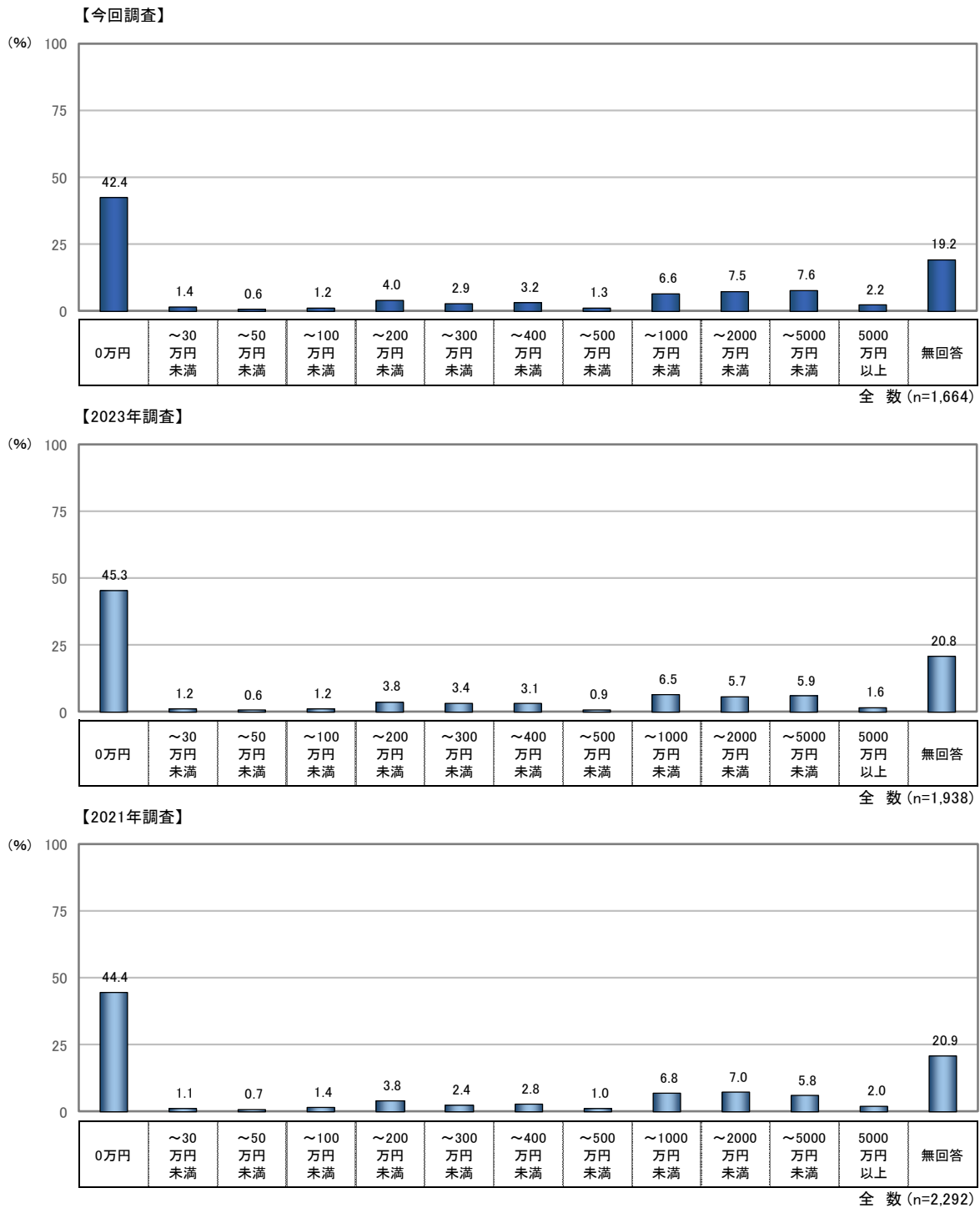


※2021年調査では「新型コロナウイルス感染症の感染拡大が始まった2020年1月頃から」について聞いている。

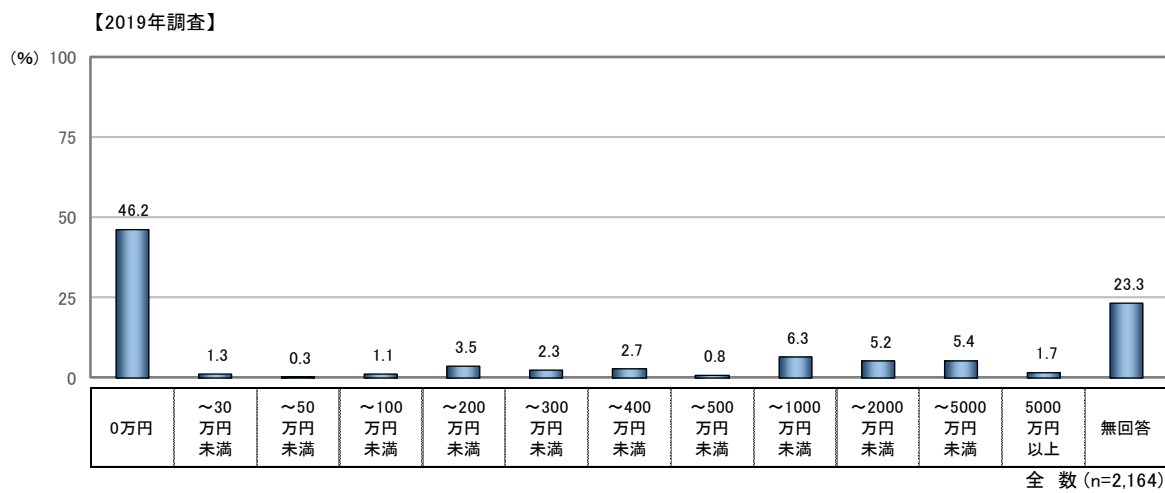
(6) 家計の保有金融資産残高

- 家計で保有している金融資産残高は、「2,000万円以上 5,000万円未満」(7.6%)、「1,000万円以上 2,000万円未満」(7.5%)、「500万円以上 1,000万円未満」(6.6%)が上位で、平均金融資産残高は約 1,386万円であった。(0万円を超えた金融資産残高を回答した方をベースに算出) (図表 10-6)

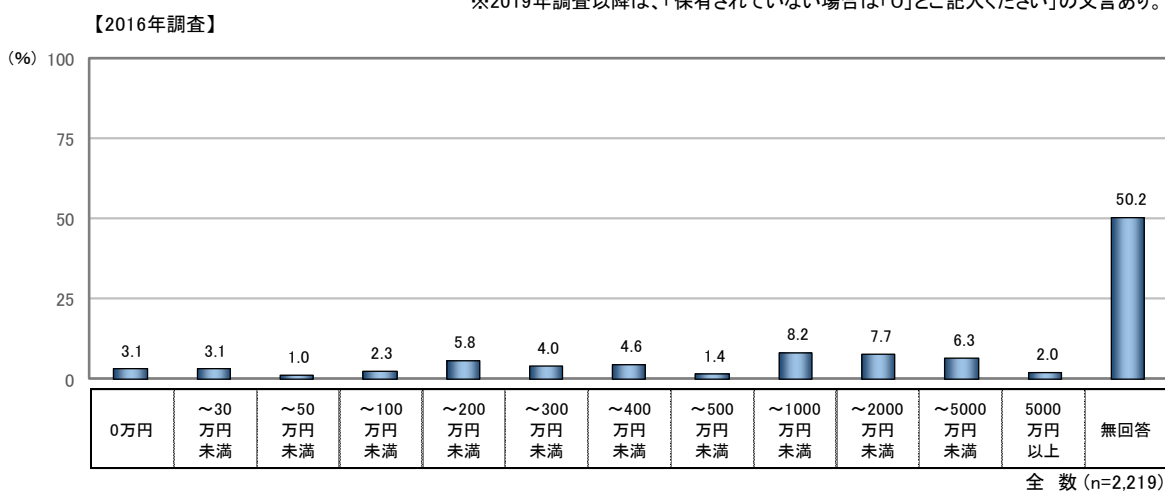
(図表 10-6) 家計の保有金融資産残高 (問 37)



(図表10-6 続き) 家計の保有金融資産残高 (2019年調査・2016年調査)



※2019年調査以降は、「保有されていない場合は「0」とご記入ください」の文言あり。

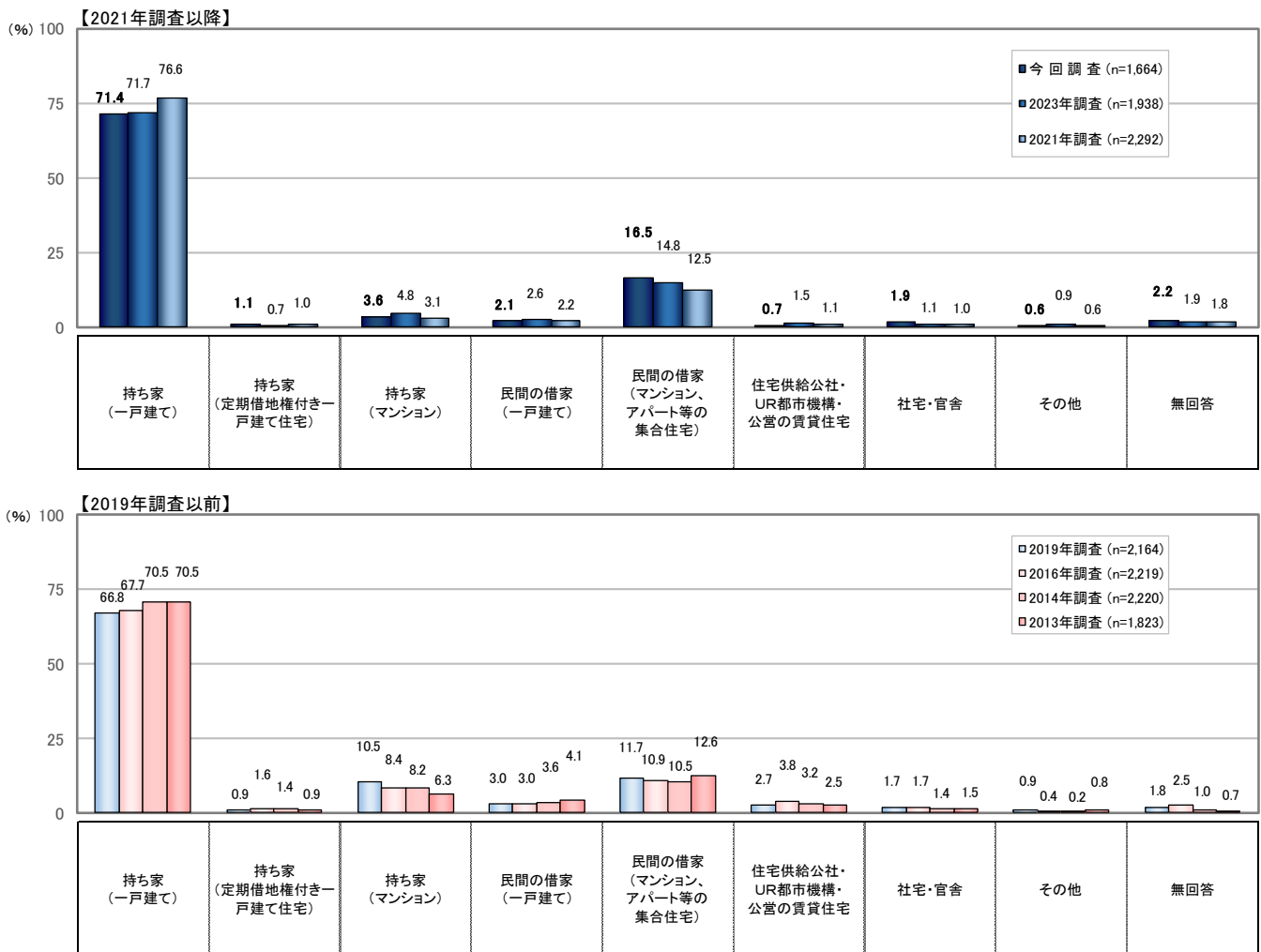


11. 住居について

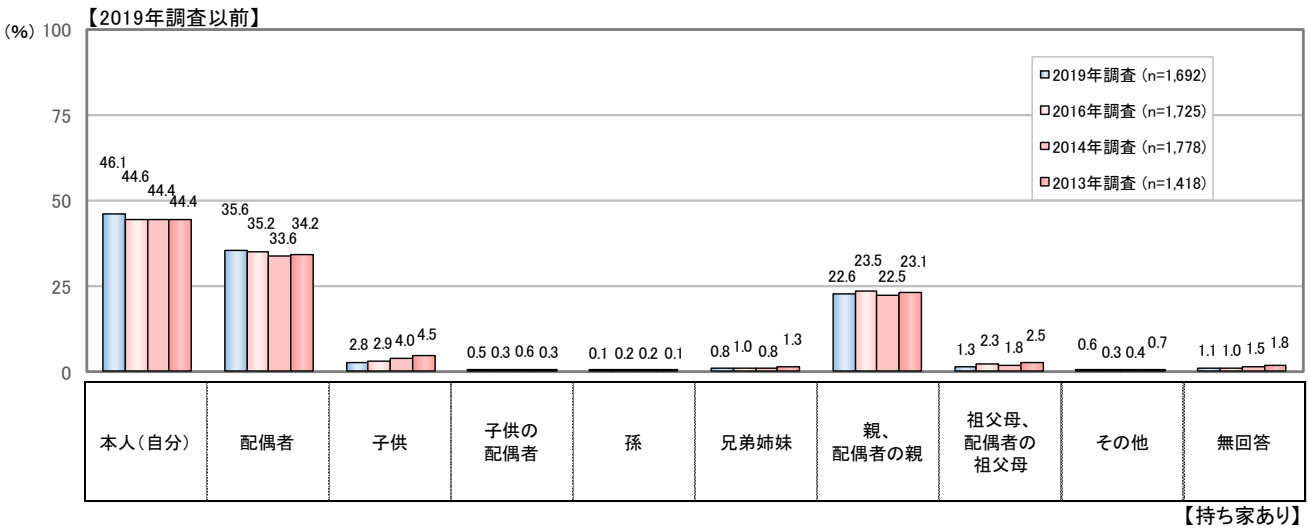
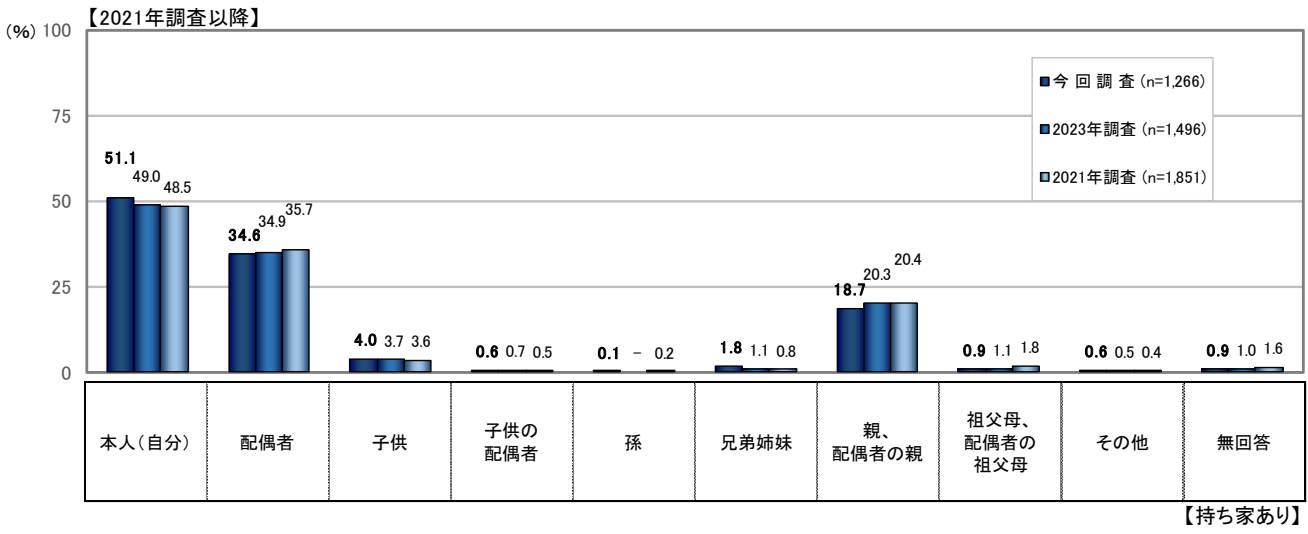
(1) 住居形態・所有者

- 現在の住居形態は、「持ち家（一戸建て）」が 71.4%で、「持ち家（定期借地権付き一戸建て住宅）」（1.1%）、「持ち家（マンション）」（3.6%）を合わせると、『持ち家』居住が 76.1%となった。一方、「民間の借家（マンション、アパート等の集合住宅）」（16.5%）、「民間の借家（一戸建て）」（2.1%）、「住宅供給公社・UR都市機構・公営の賃貸住宅」（0.7%）を合わせると、『賃貸住宅』居住は 19.2%となった。（図表 11-1-1）
- 居住する『持ち家』（n=1,266）の所有者（複数回答）は、「本人」が 51.1%で最も多く、以下、「配偶者」（34.6%）、「親、配偶者の親」（18.7%）の順となった。（図表 11-1-2）

(図表 11-1-1) 住居形態 (問 38)



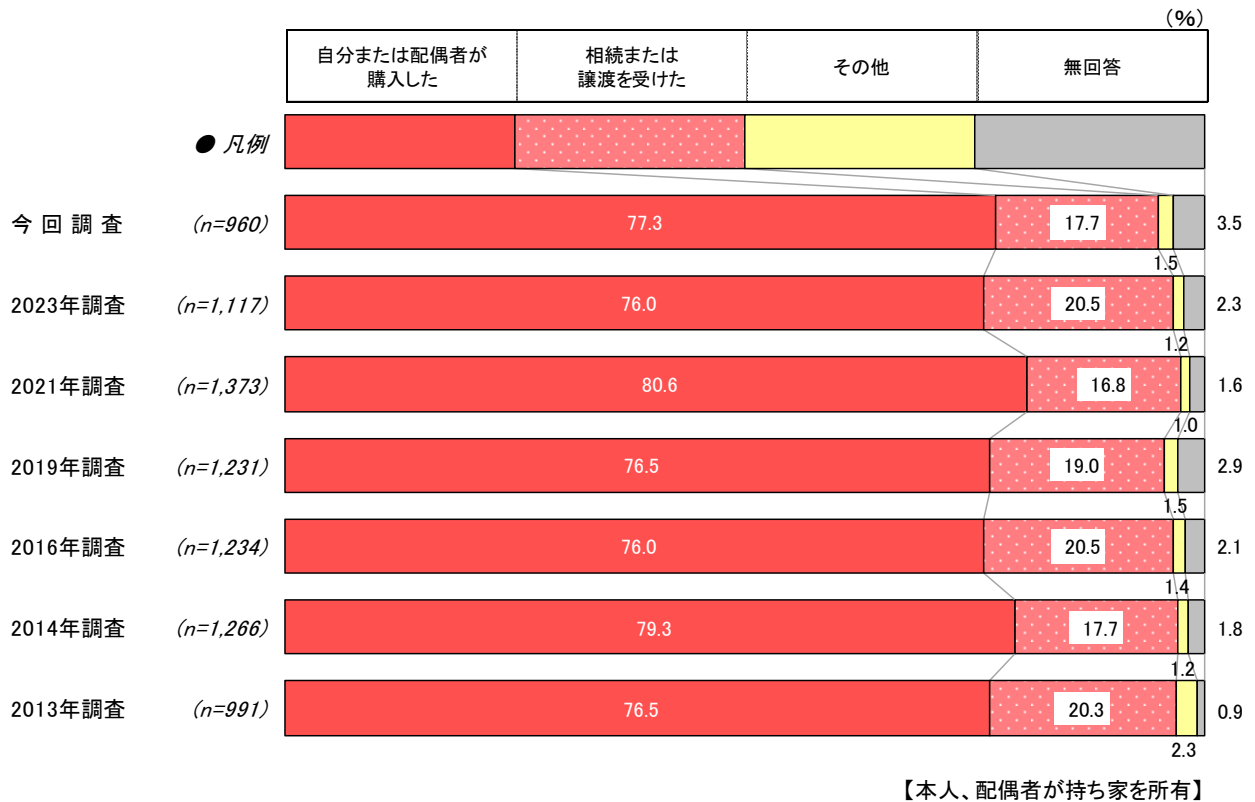
(図表 11-1-2) 『持ち家』の所有者 (問 38-1、複数回答)



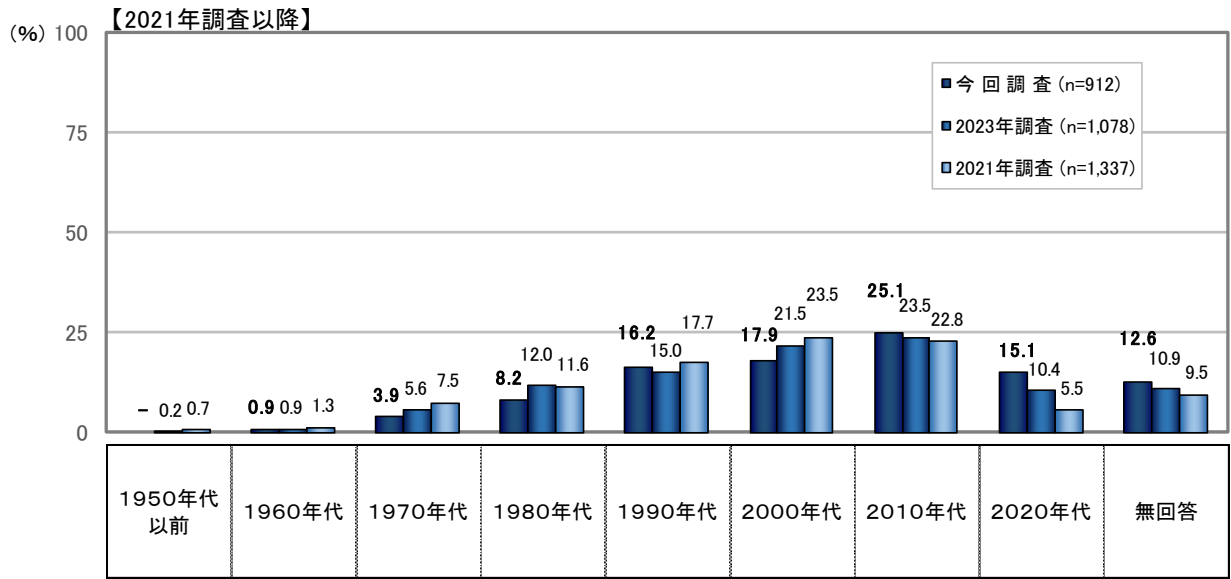
(2) 取得経路・取得時期

- 回答者本人もしくは配偶者が所有する『持ち家』所有者 (n=960) における、持ち家の取得経路は、「自分または配偶者が購入した」が 77.3%で、「相続または譲渡を受けた」は 17.7%となった。(図表 11-2-1)
- 回答者本人もしくは配偶者が所有する『持ち家』を購入もしくは相続した人 (n=912) が『持ち家』を取得した時期は、「2010年代」(25.1%)、「2000年代」(17.9%)、「1990年代」(16.2%)、「2020年代」(15.1%) などであった。(図表 11-2-2)

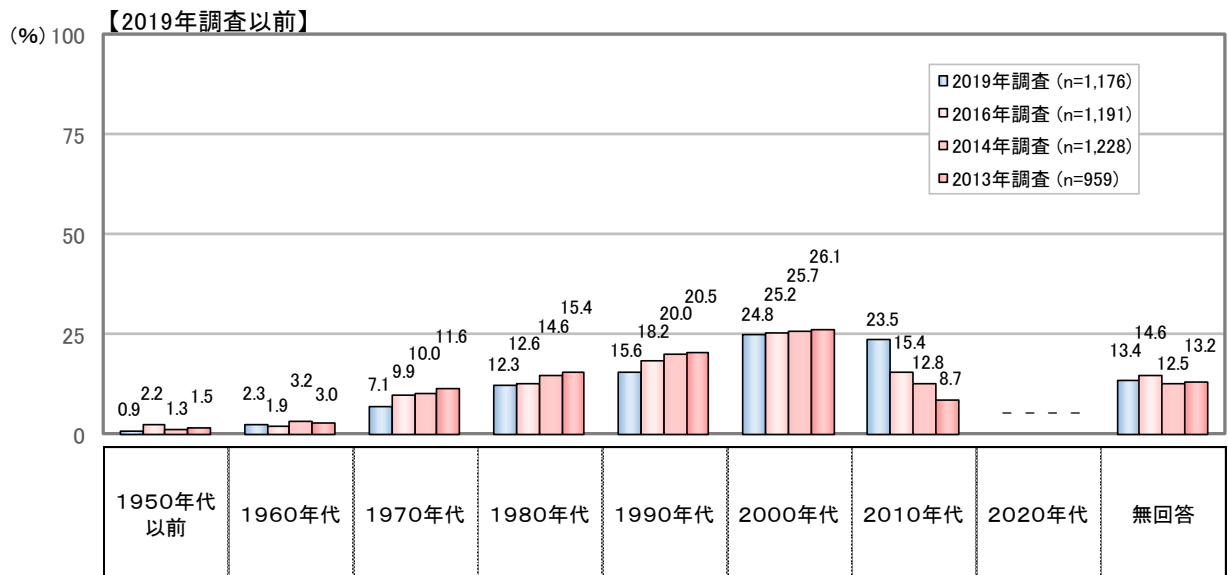
(図表 11-2-1) 『持ち家』の取得経路 (問 38-2)



(図表 1 1 - 2 - 2) 『持ち家』の取得時期 (問 38-3)



【自分または配偶者が購入／相続または譲渡者】

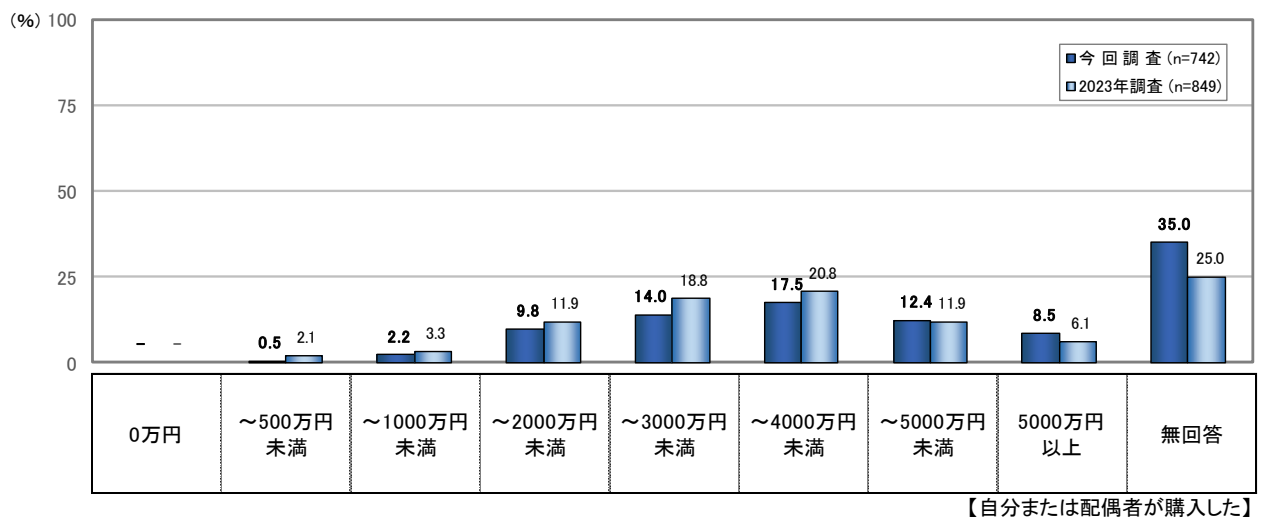


【自分または配偶者が購入／相続または譲渡者】

(3) 住宅購入価格・資金の内訳

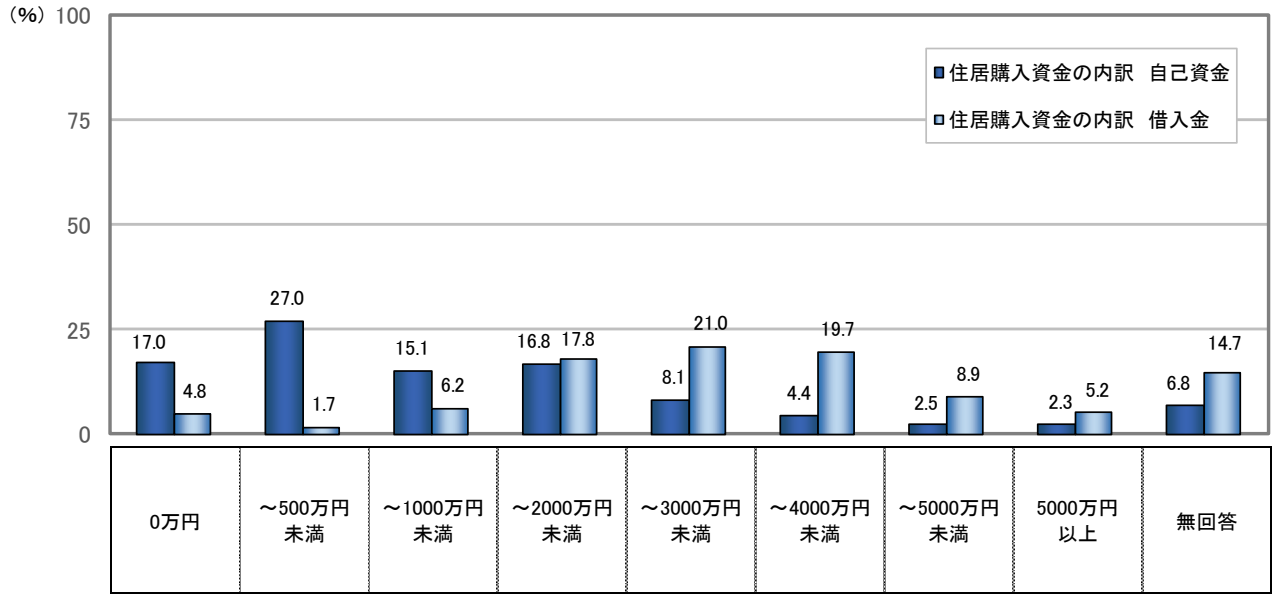
- 回答者本人もしくは配偶者が購入した人 (n=742) の『持ち家』購入価格としては、「3,000 万円以上 4,000 万円未満」が 17.5%で最も多く、次いで、「2,000 万円以上 3,000 万円未満」(14.0%) などとなった。平均購入価格は約 3,382 万 5 千円 (n=482) であった。(図表 11-3-1)
- 回答者本人もしくは配偶者が所有する『持ち家』の購入価格回答者 (n=482) における、住宅購入資金の内訳としては、“自己資金”は「0 万円超 500 万円未満」が 27.0%と 2 割台で、平均金額は約 1,286 万円 (n=449)、“借入金”は「2,000 万円以上 3,000 万円未満」(21.0%)、「3,000 万円以上 4,000 万円未満」(19.7%) などとなり、平均借入額は約 2,663 万 1 千円 (n=411) であった。(図表 11-3-2)

(図表 11-3-1) 住宅購入価格 (問 38-4)



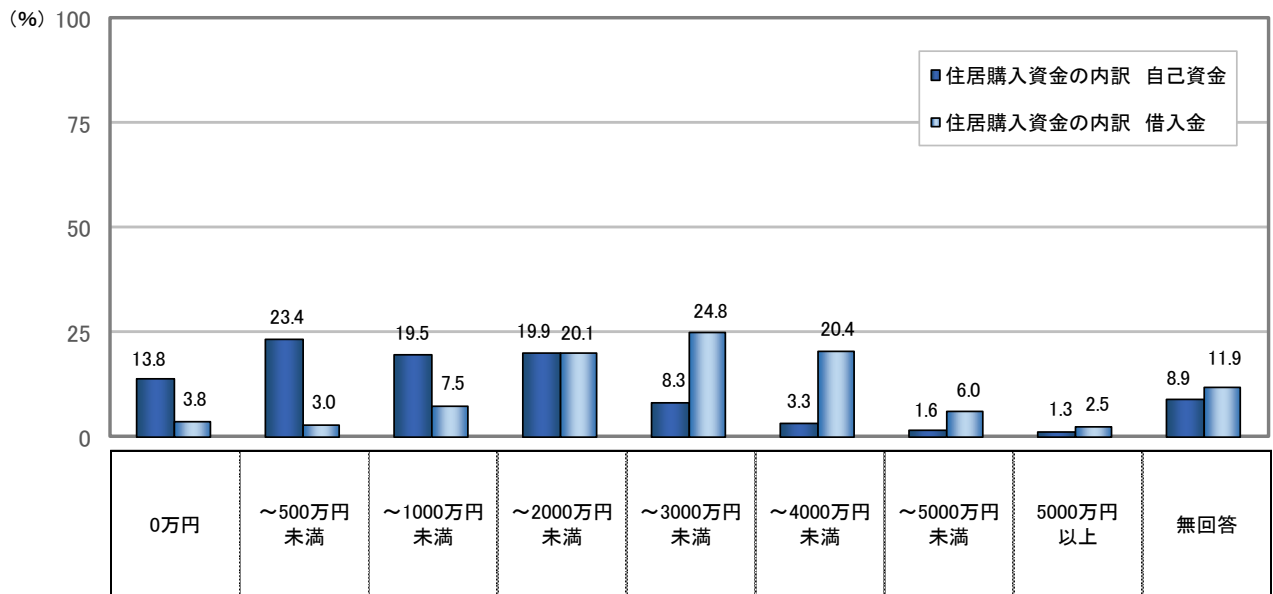
(図表 1 1 - 3 - 2) 住宅購入資金の内訳 (問 38-4)

【今回調査】



【住宅購入価格回答者(n=482)】

【2023年調査】

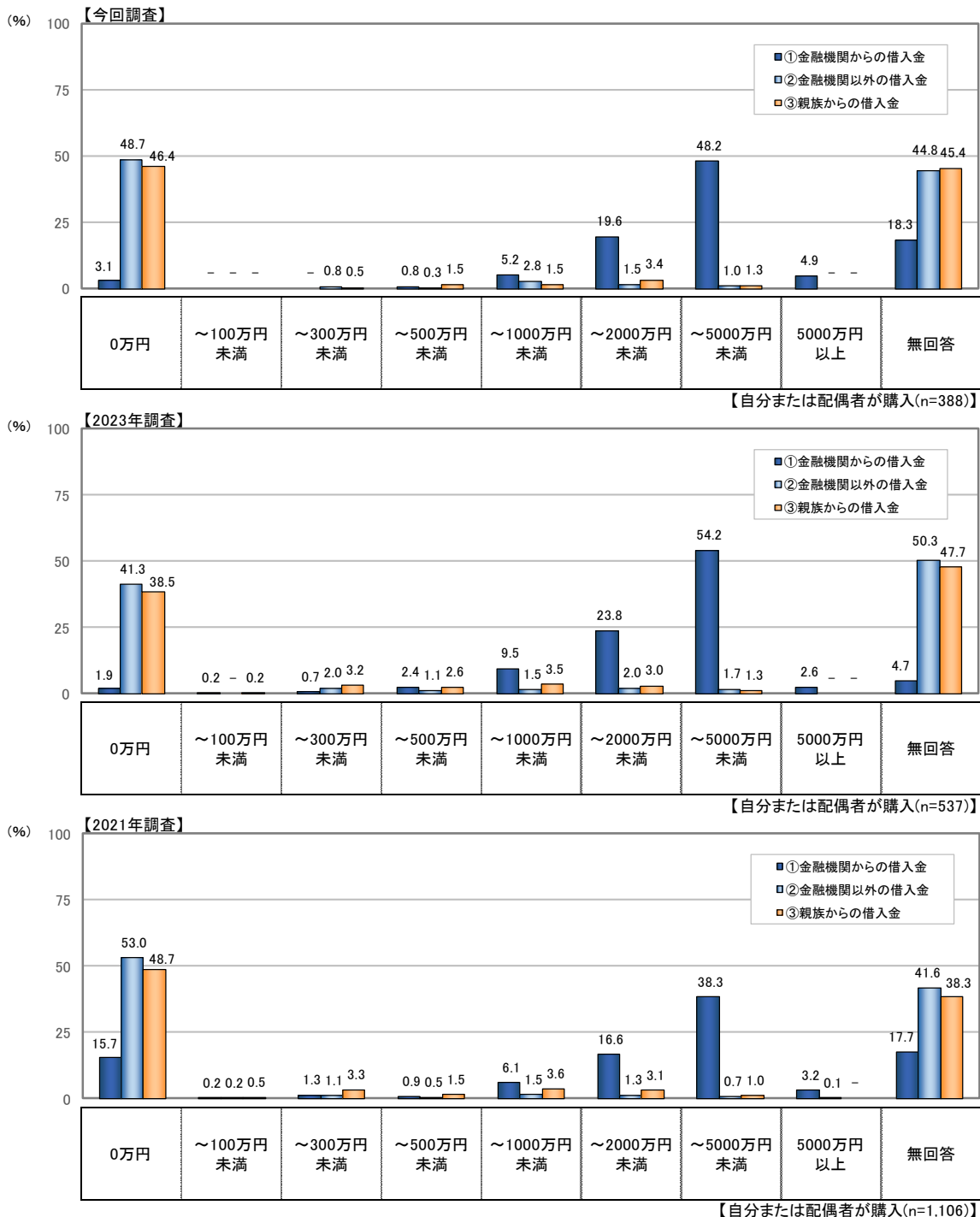


【住宅購入価格回答者(n=637)】

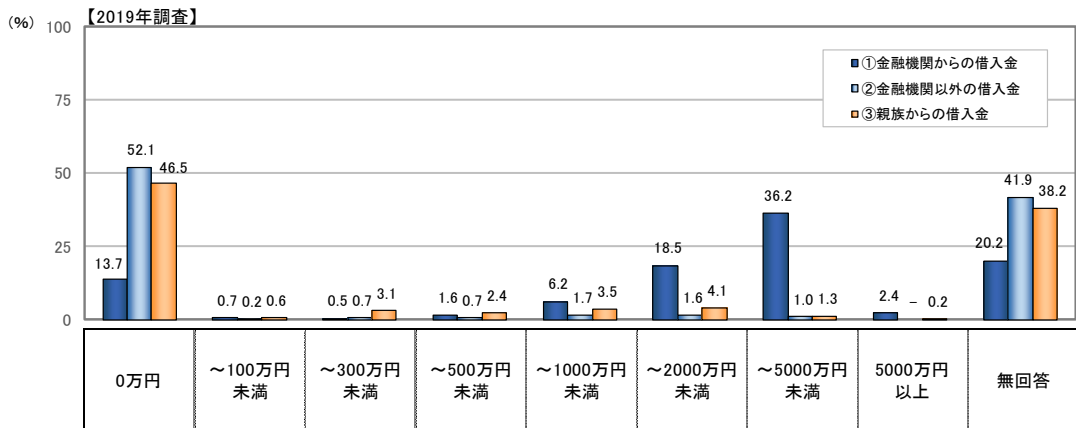
(4) 自己資金以外の購入資金

- 回答者本人もしくは配偶者が購入した『持ち家』購入資金のうち借入金がある人 (n=388) における借入金の利用状況としては、“金融機関からの借入金”は「2,000万円以上 5,000万円未満」が48.2%で最も多く、次いで、「1,000万円以上 2,000万円未満」が19.6%となった。平均借入金額は約2,658万6千円であった。
- “金融機関以外の借入金”は、「0万円」(48.7%)と無回答(44.8%)の合計が9割超、平均借入額は約997万3千円 (n=25)、“親族からの援助”は「0万円」(46.4%)と無回答(45.4%)の合計が9割超、平均借入額は約1003万1千円 (n=32)であった。(図表 11-4)

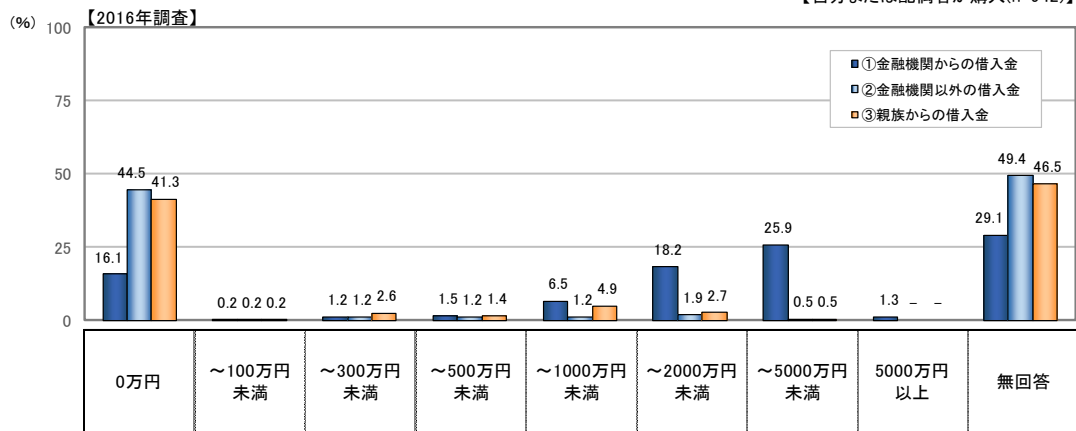
(図表 11-4) 自己資金以外の購入資金 (問 38-5)



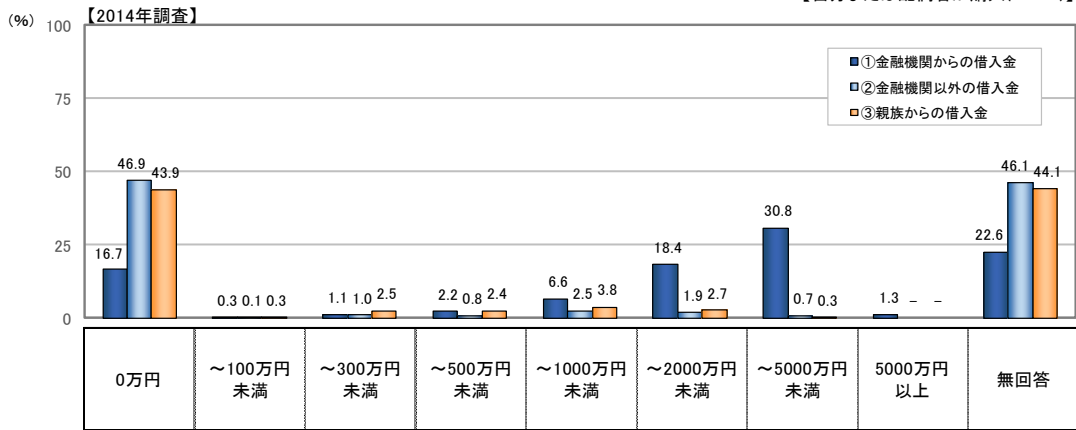
(図表 11-4 続き) 自己資金以外の購入資金
(2019年調査・2016年調査・2014年調査・2013年調査)



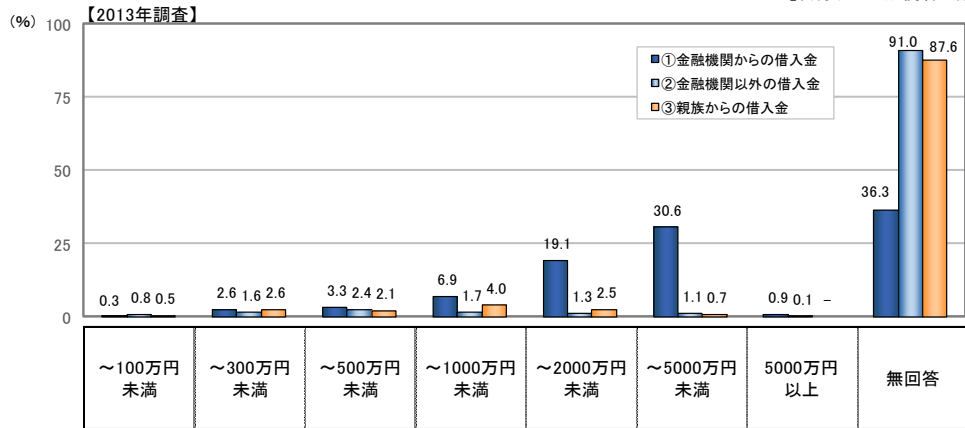
【自分または配偶者が購入(n=942)】



【自分または配偶者が購入(n=938)】



【自分または配偶者が購入(n=1,004)】

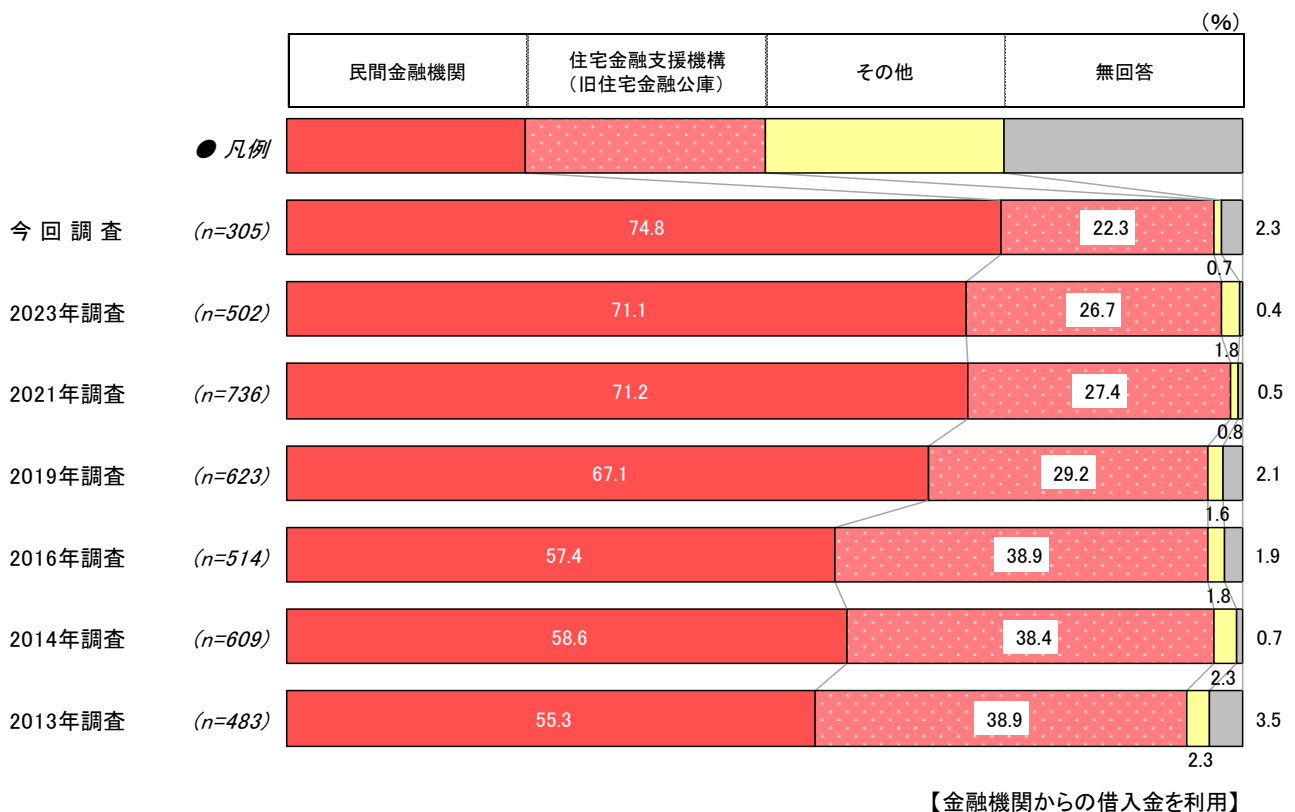


【自分または配偶者が購入(n=758)】

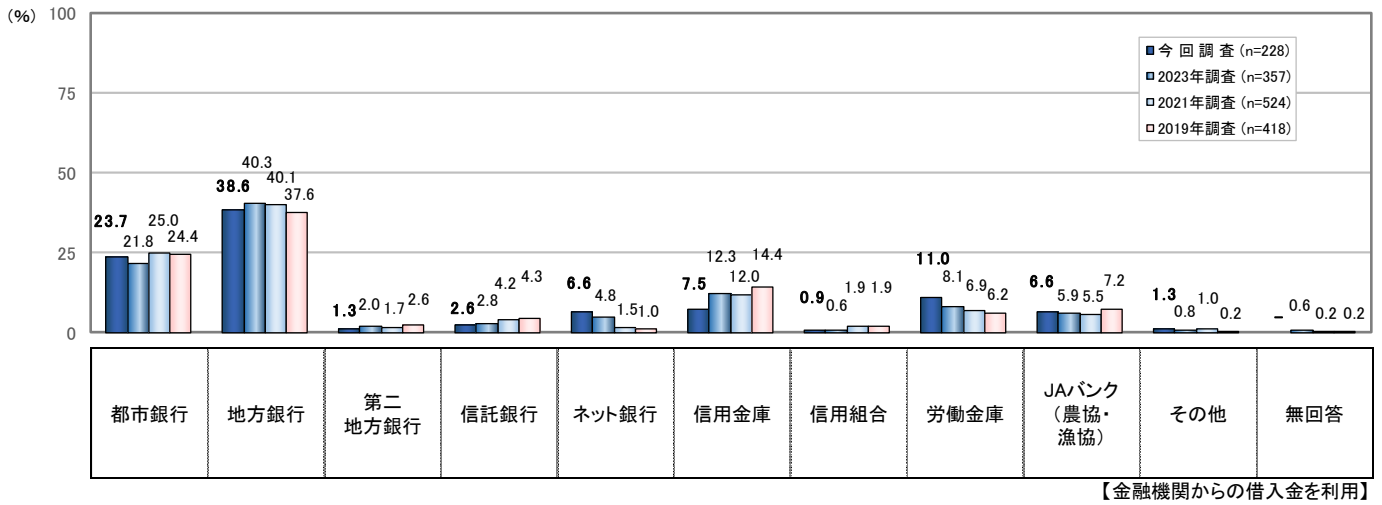
(5) 借入金融機関・金利タイプ・借入金利

- “金融機関からの借入金”がある回答者 (n=305) が『持ち家』購入にあたっての資金を調達した金融機関としては、「民間金融機関」が 74.8%、「住宅金融支援機構 (旧 住宅金融公庫)」が 22.3%となった。(図表 11-5-1)
- 民間金融機関から持家購入資金を調達した人 (n=228) の借入先民間金融機関は、「地方銀行」が 38.6%で最も多く、次いで、「都市銀行」(23.7%)、「労働金庫」(11.0%) の順となった。(図表 11-5-2)
- 民間金融機関から持家購入資金を調達した人 (n=228) の借入金利タイプは、「変動金利型」が 54.4%で最も多く、次いで、「全期間固定金利型 (10 年超)」が 14.9%、「固定金利期間選択型 (10 年以下)」が 13.6%、「固定金利期間選択型 (10 年超)」が 11.0%となった。(図表 11-5-3)
- 民間金融機関から持家購入資金を調達した人 (n=228) の借入当時の金利は、「0.5%以上 1.0%未満」(23.7%)、「1.0%以上 1.5%未満」(10.1%)、「1.5%以上 2.0%未満」(7.9%)、「2.0%以上 2.5%未満」(7.5%) となった。(図表 11-5-4)

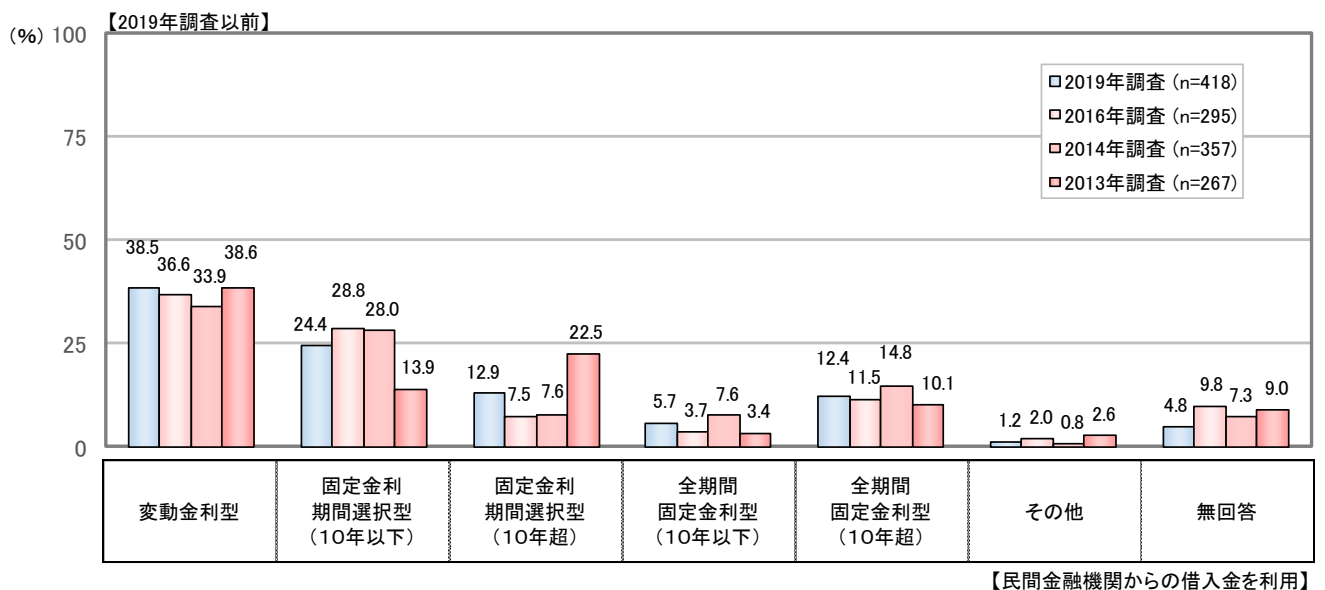
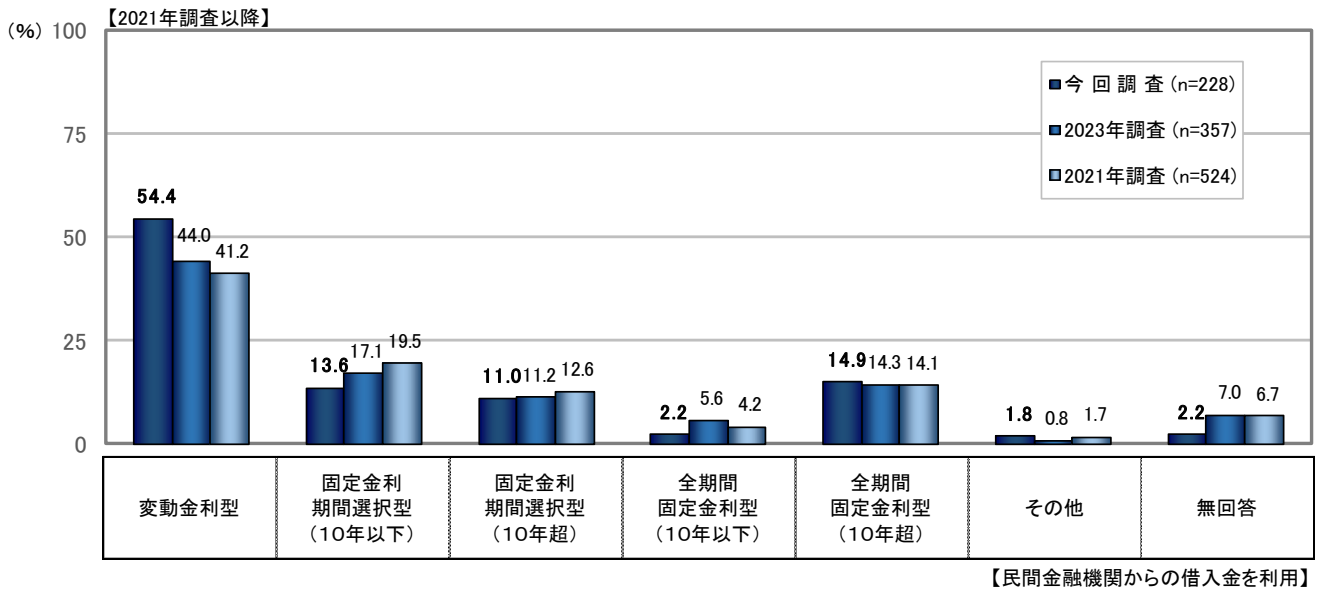
(図表 11-5-1) 借入金融機関 (問 38-6)



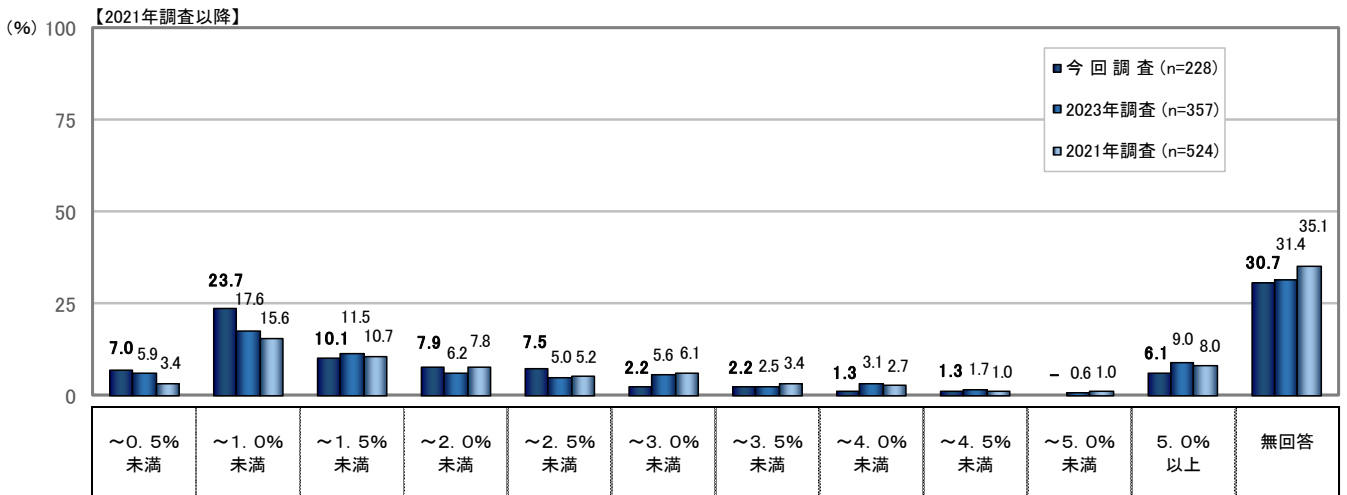
(図表 11-5-2) 主な借入民間金融機関 (問 38-7)



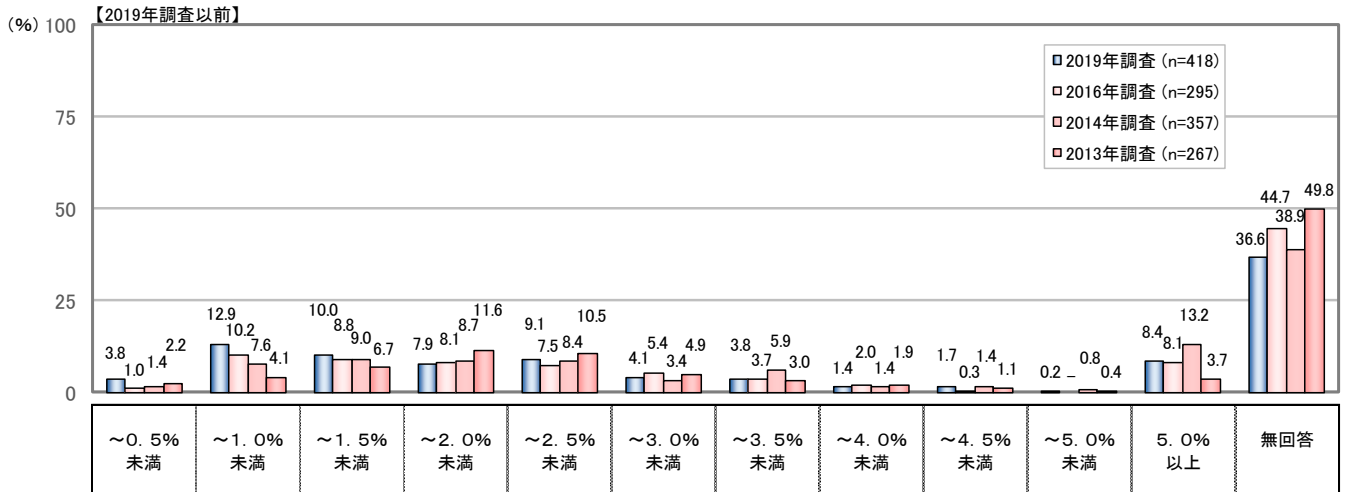
(図表 11-5-3) 金利タイプ (問 38-8)



(図表 11-5-4) 借入金利 (問 38-9)



【民間金融機関からの借入金を利用】

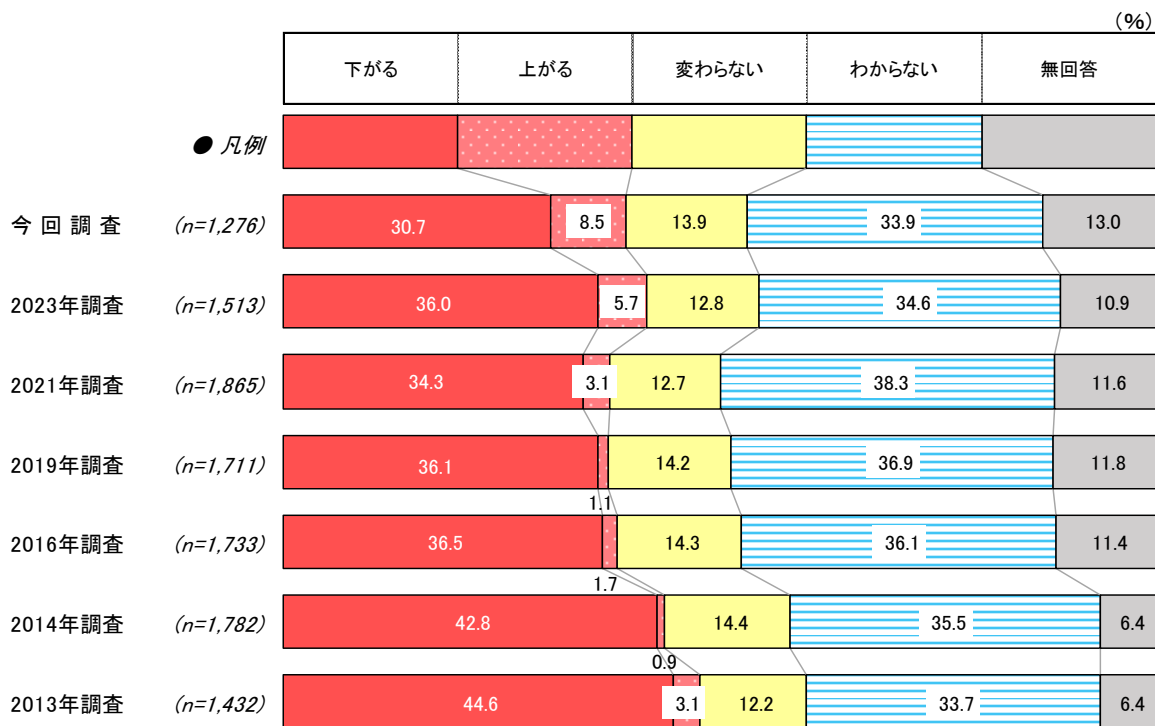


【民間金融機関からの借入金を利用】

(6) 持ち家の3年後の資産価値予測 (持ち家居住者)

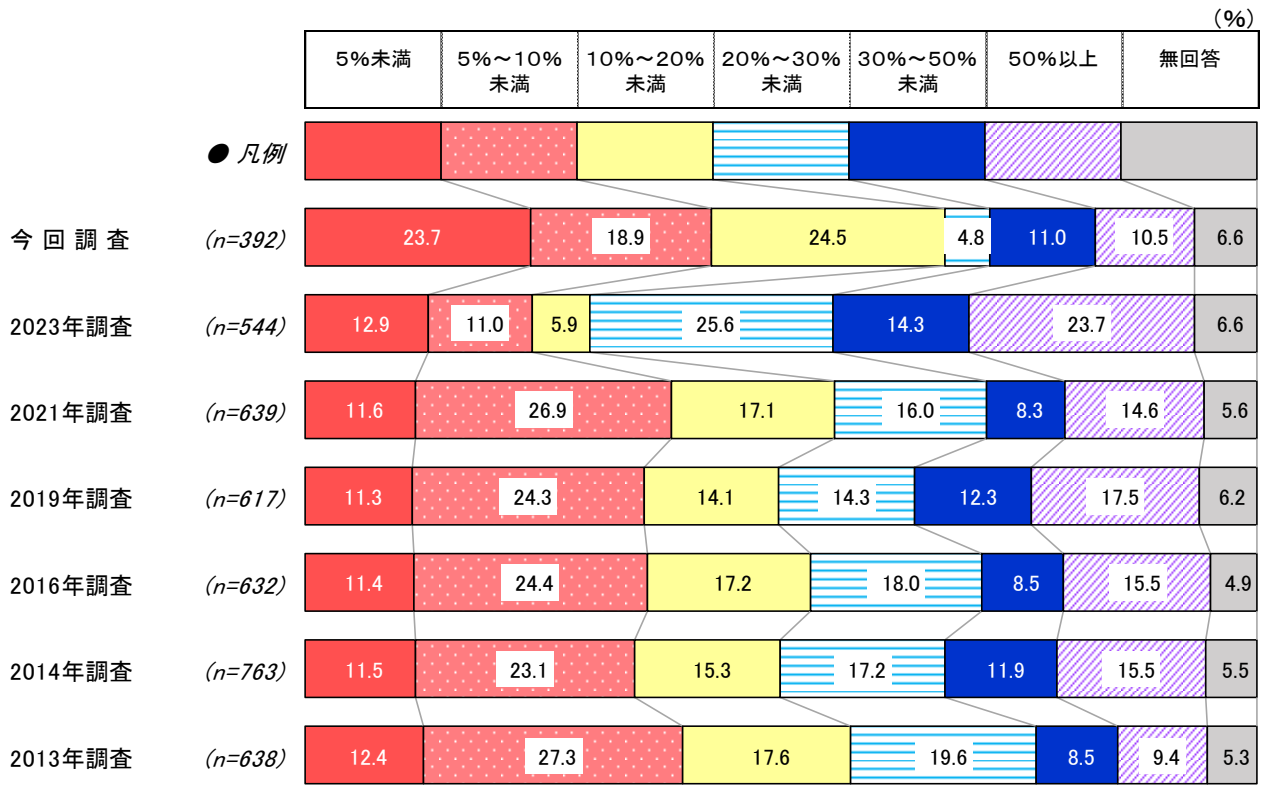
- 持ち家の居住者 (n=1,276) の現在の『持ち家』の3年後の資産価値は、「下がる」が30.7%で、「変わらない」が13.9%、「上がる」は8.5%にとどまった。また、「わからない」は33.9%であった。(図表 11-6-1)
- 『持ち家』の3年後の資産価値は「下がる」と回答した人 (n=392) の考える3年後の下落幅としては、「10%以上～20%未満」が24.5%で最も多かった。(図表 11-6-2)
- 一方、『持ち家』の3年後の資産価値は「上がる」と回答した人 (n=108) の考える上昇幅は、「5%未満」が37.0%で最も多かった。(図表 11-6-3)

(図表 11-6-1) 持ち家の3年後の資産価値予測 (持ち家居住者) (問 38-10)



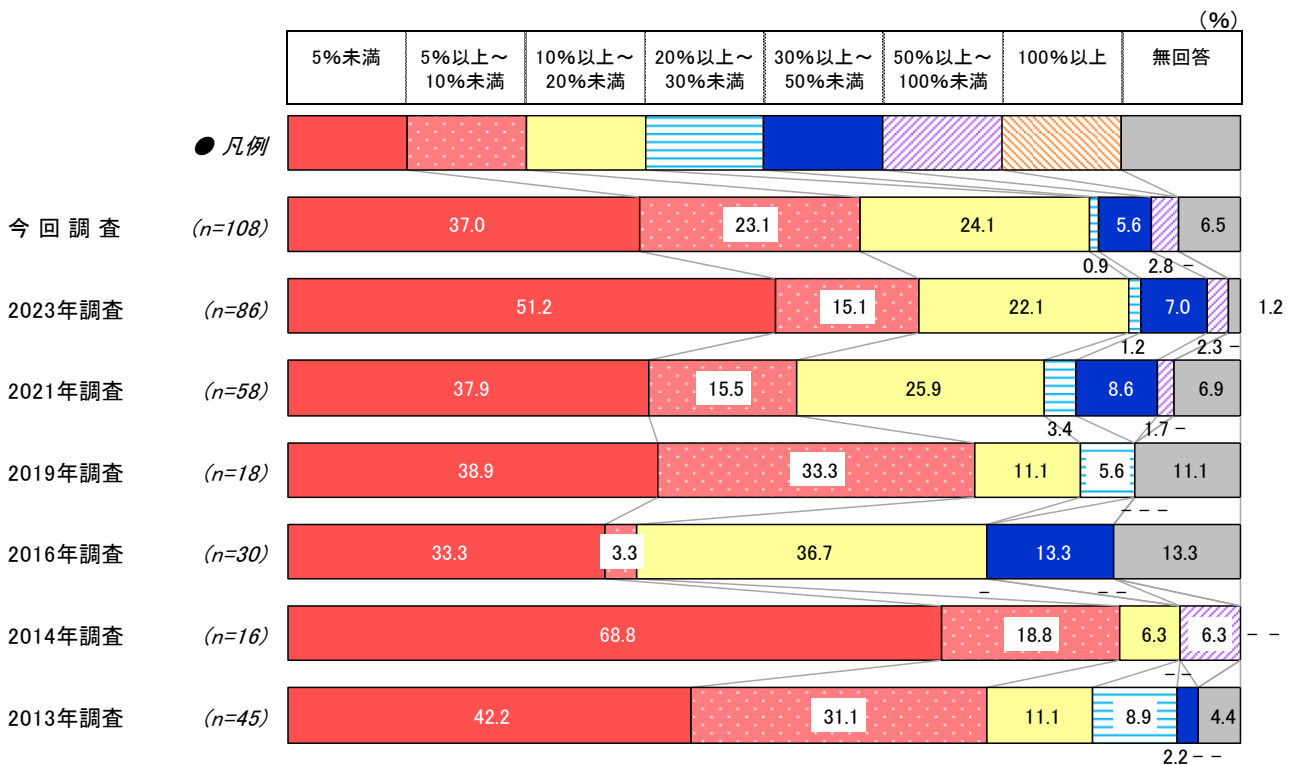
【持ち家あり】
2023年調査までは、持ち家もしくはその他の住居形態の人に聞いている。

(図表 1 1 - 6 - 2) 持ち家の3年後の資産価値下落幅 (問 38-11)



【3年後の資産価値が下がると思う】

(図表 1 1 - 6 - 3) 持ち家の3年後の資産価値上昇幅 (問 38-12)

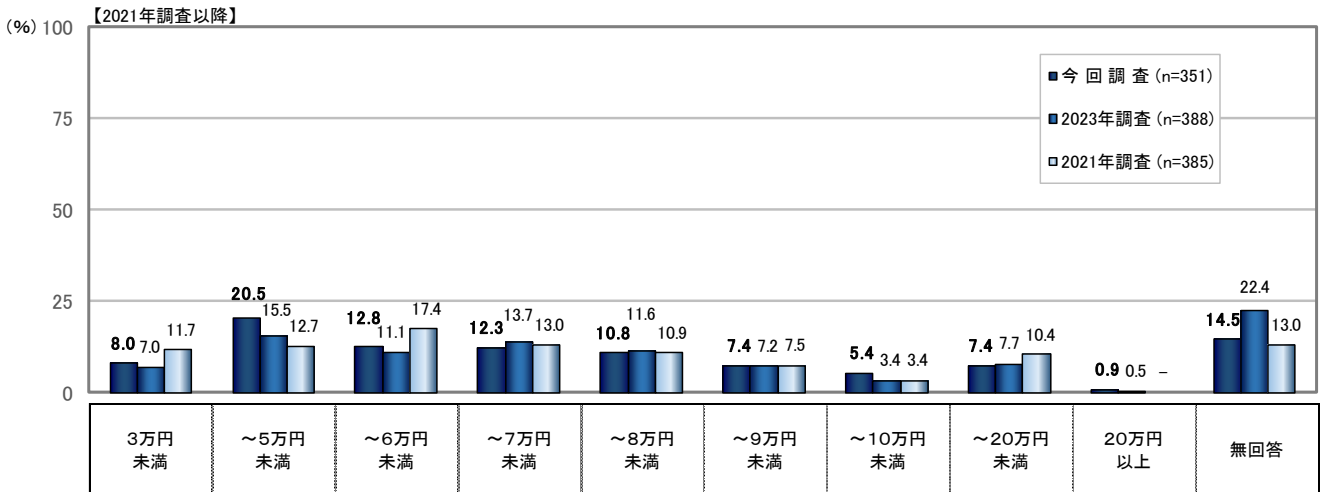


【3年後の資産価値が上がると思う】

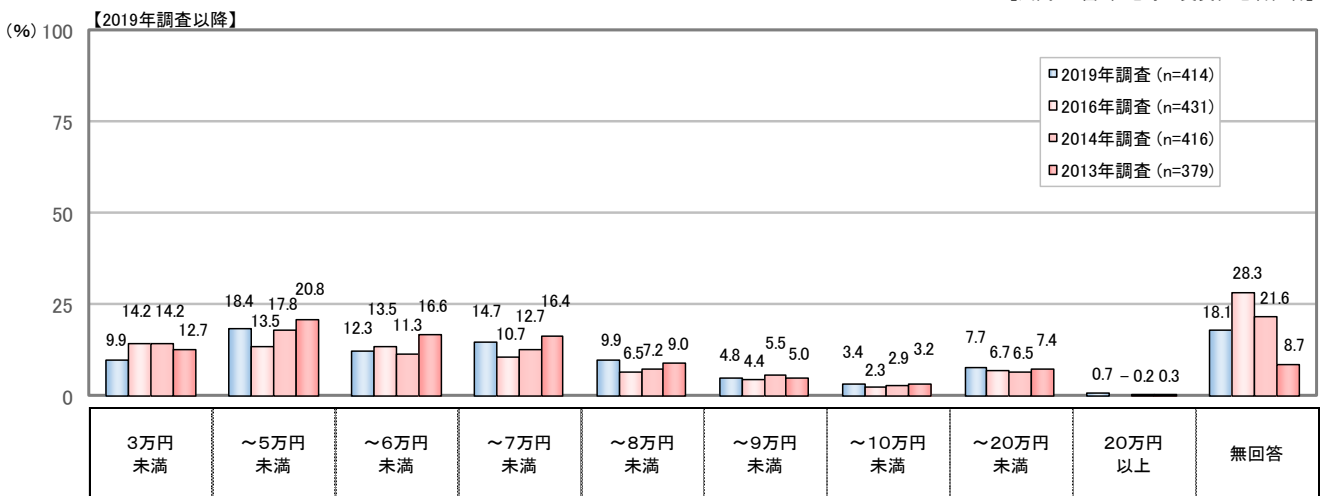
(7) ひと月の家賃（賃貸居住者）

- 民間・公営・社宅等の賃貸住宅居住者（n=351）の、ひと月の家賃は、「3万円以上5万円未満」が20.5%で最も多く、次いで「5万円以上6万円未満」（12.8%）、「6万円以上7万円未満」（12.3%）、「7万円以上8万円未満」（10.8%）などとなった。平均すると約6万3千円となった。（図表 11-7）

（図表 11-7）ひと月の家賃（賃貸居住者）（問 38-13）



【民間・公営・社宅等の賃貸住宅居住者】



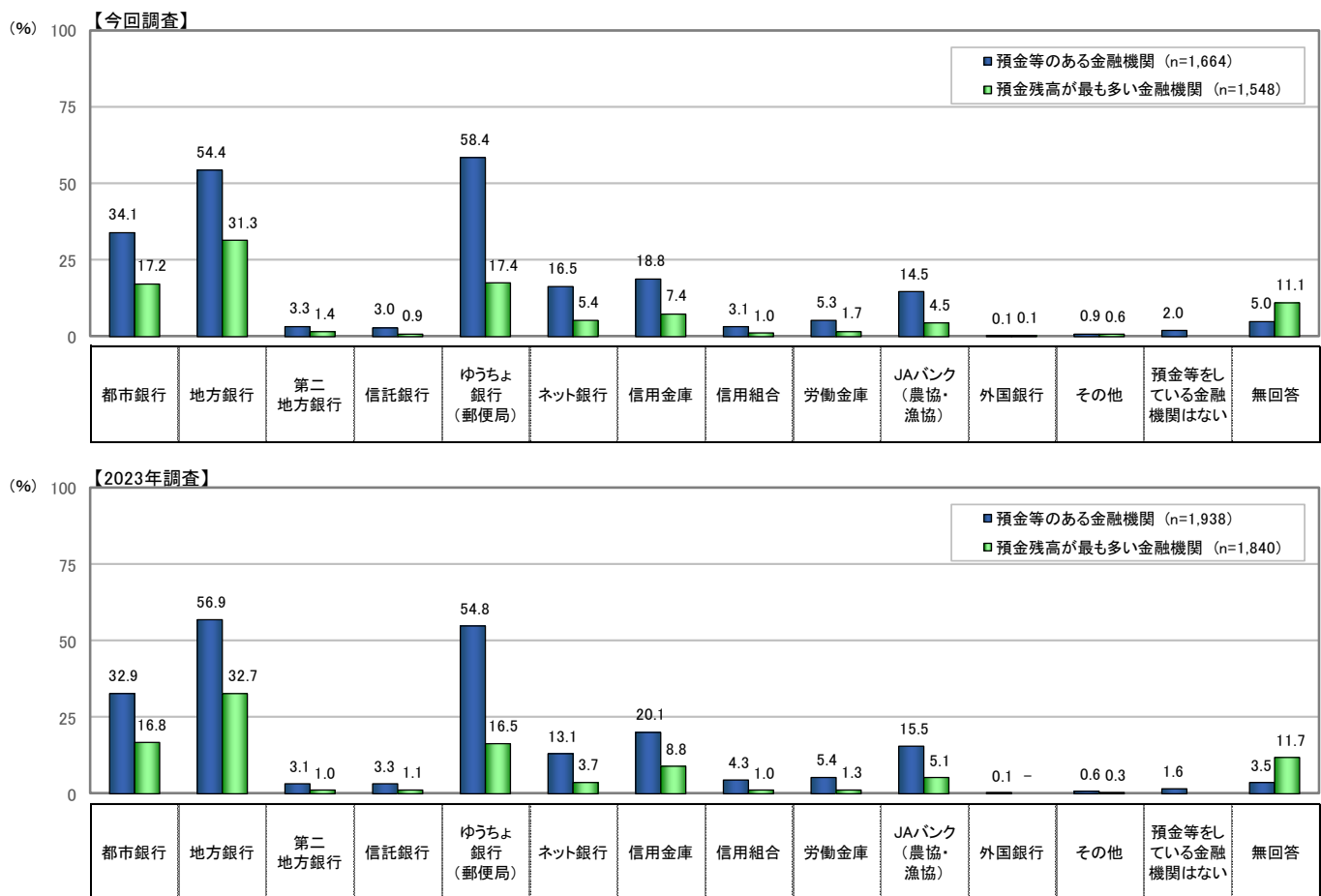
【民間・公営・社宅等の賃貸住宅居住者】

12. 金融機関の利用状況について

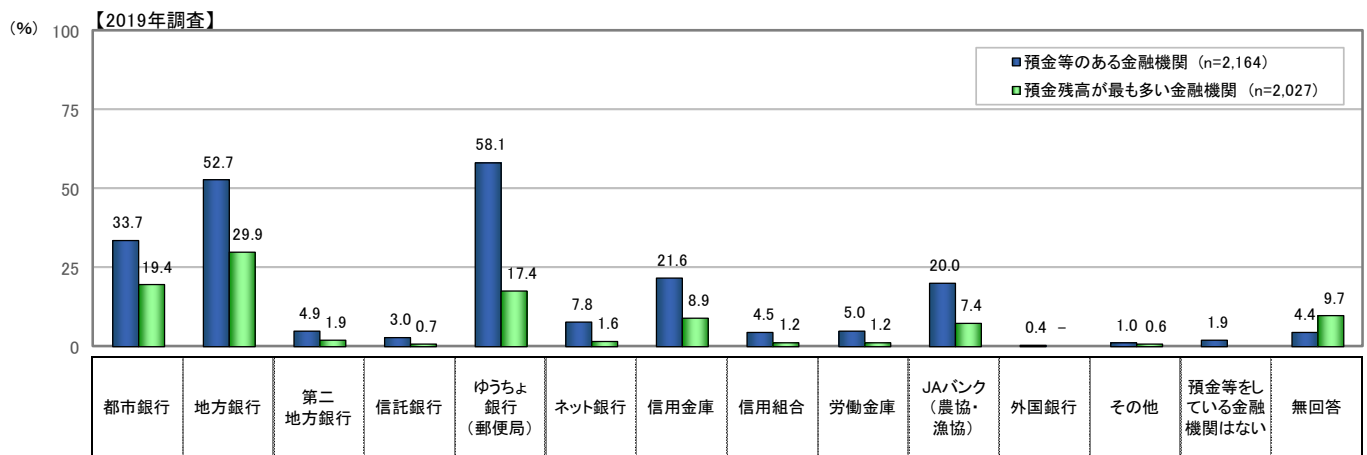
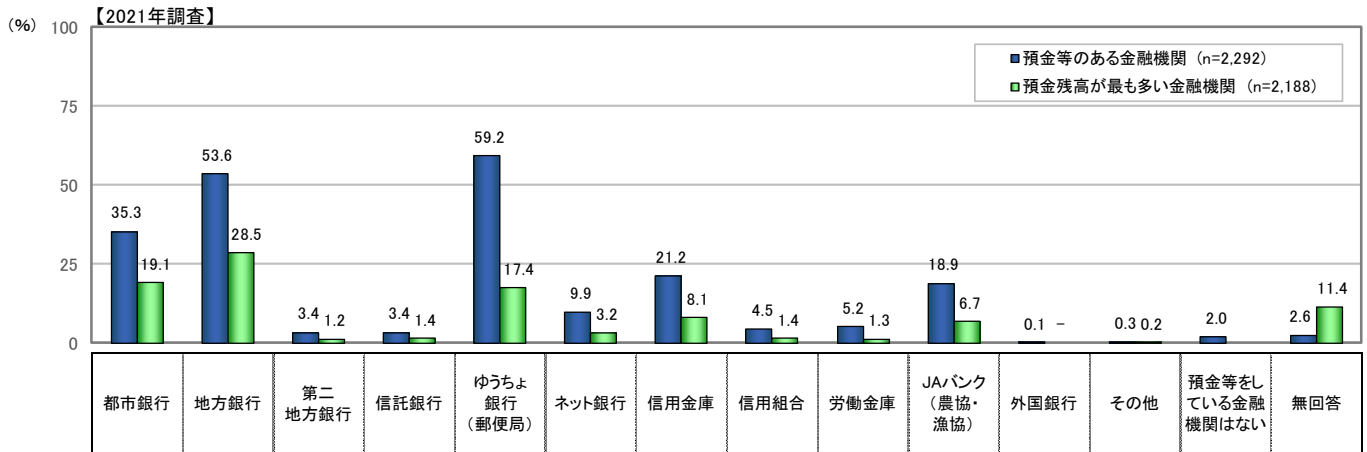
(1) 利用している金融機関

- 現在、預金等をしている金融機関（複数回答）を聞くと、「ゆうちょ銀行」が58.4%で最も多く、次いで、「地方銀行」(54.4%)、「都市銀行」(34.1%)、「信用金庫」(18.8%)、「ネット銀行」(16.5%)、「JAバンク」(14.5%) などとなった。そのうち最も預金残高が多い金融機関を聞くと、多い順に「地方銀行」(31.3%)、「ゆうちょ銀行」(17.4%)、「都市銀行」(17.2%) の順になった。(図表 12-1-1)
- 金融機関を利用している回答者 (n=1,548) に、最近1か月間で入出金のあった金融機関（複数回答）を聞くと、多い順に「地方銀行」(47.4%)、「ゆうちょ銀行」(37.1%)、「都市銀行」(29.5%) の順となった。(図表 12-1-2)

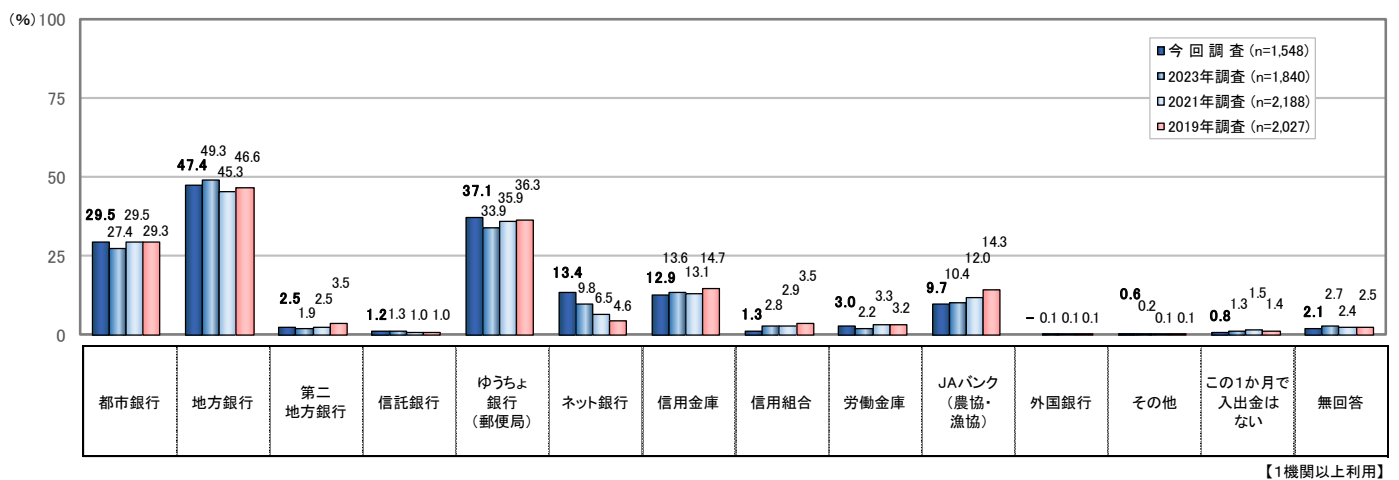
(図表 12-1-1) 預金等をしている金融機関 (問 39、複数回答)



(図表 1 2 - 1 - 1 続き) 預金等をしている金融機関 (2021 年調査・2019 年調査)



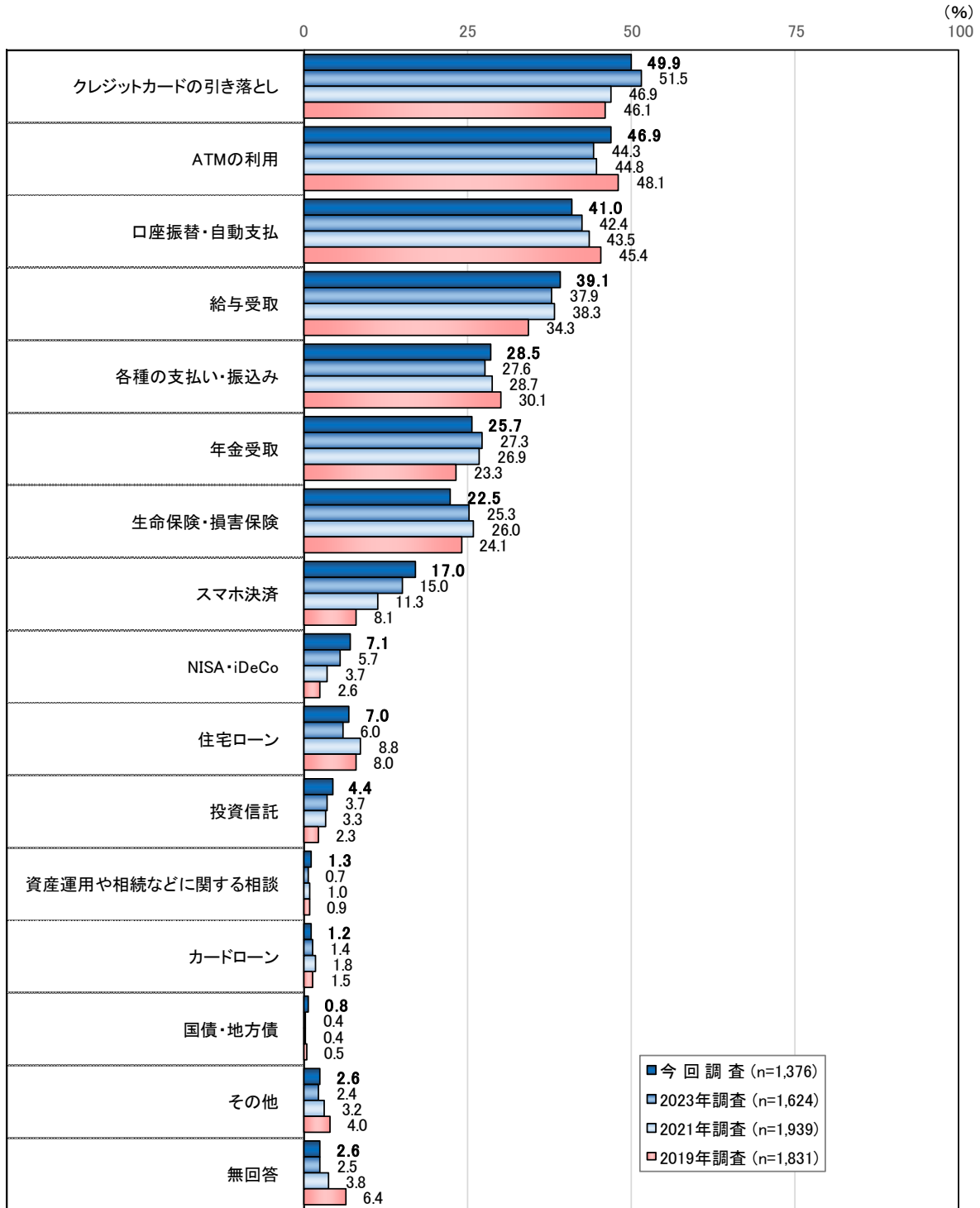
(図表 1 2 - 1 - 2) 過去 1 か月間で入出金のあった金融機関 (問 39-1、複数回答)



(2) 最も預金残高が多い金融機関での利用サービス

- 最も預金残高が多い金融機関の回答者 (n=1,376) に、利用しているサービス (複数回答) を聞くと、「クレジットカードの引き落とし」が 49.9% で最も多く、次いで、「ATM の利用」(46.9%)、「口座振替・自動支払」(41.0%) 「給与受取」(39.1%) などとなった。(図表 12-2)

(図表 12-2) 最も預金残高が多い金融機関での利用サービス (問 39-2、複数回答)

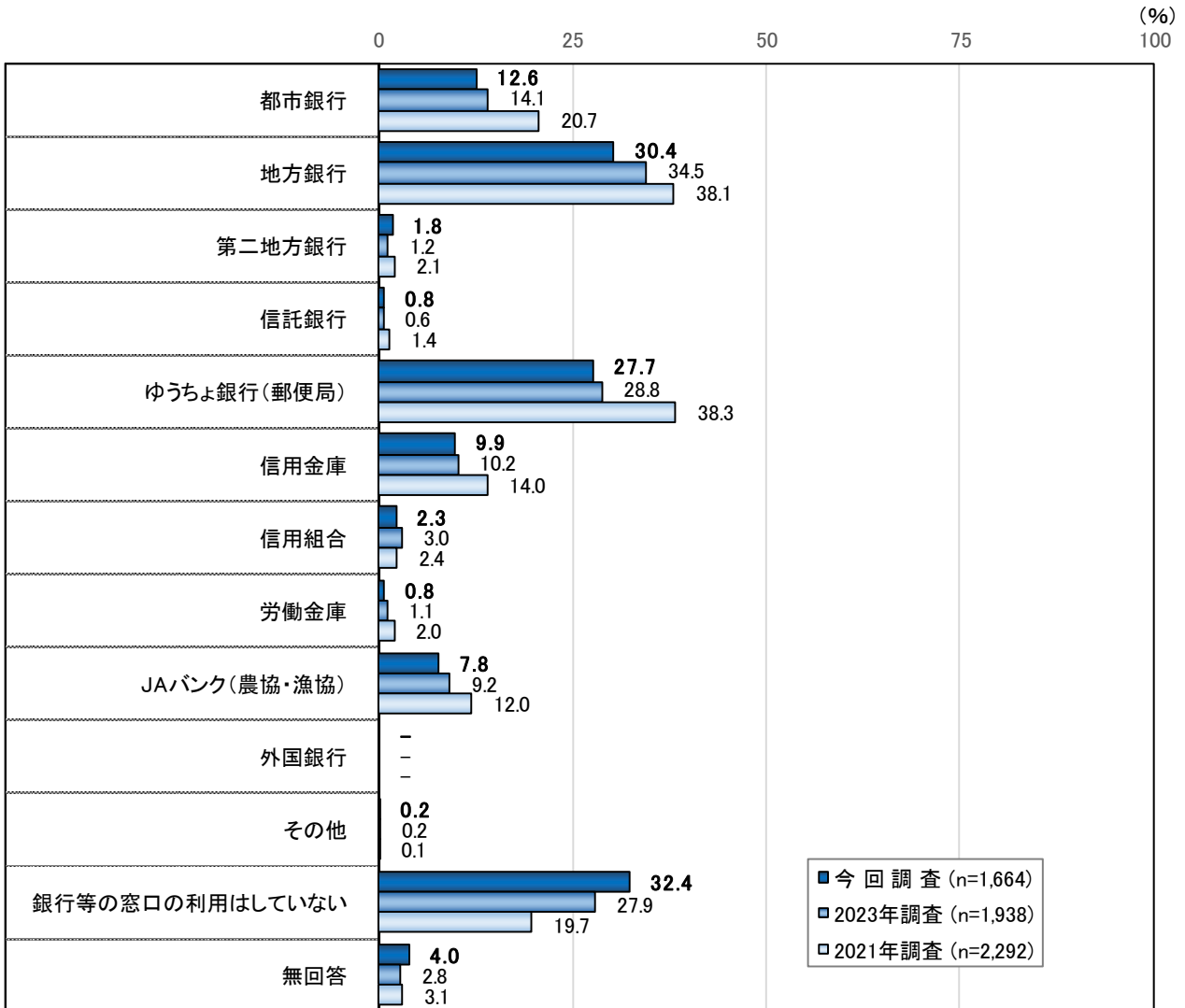


【最も預金残高が多い金融機関回答者】

(3) 行員等がいる窓口を利用している金融機関

- 行員等がいる窓口を利用している金融機関（複数回答）を聞くと、「銀行等の窓口は利用していない」が32.4%で最も多く、次いで、「地方銀行」(30.4%)、「ゆうちょ銀行」(27.7%)、「都市銀行」(12.6%)、「信用金庫」(9.9%)、「JAバンク」(7.8%)の順となった。(図表 12-3)

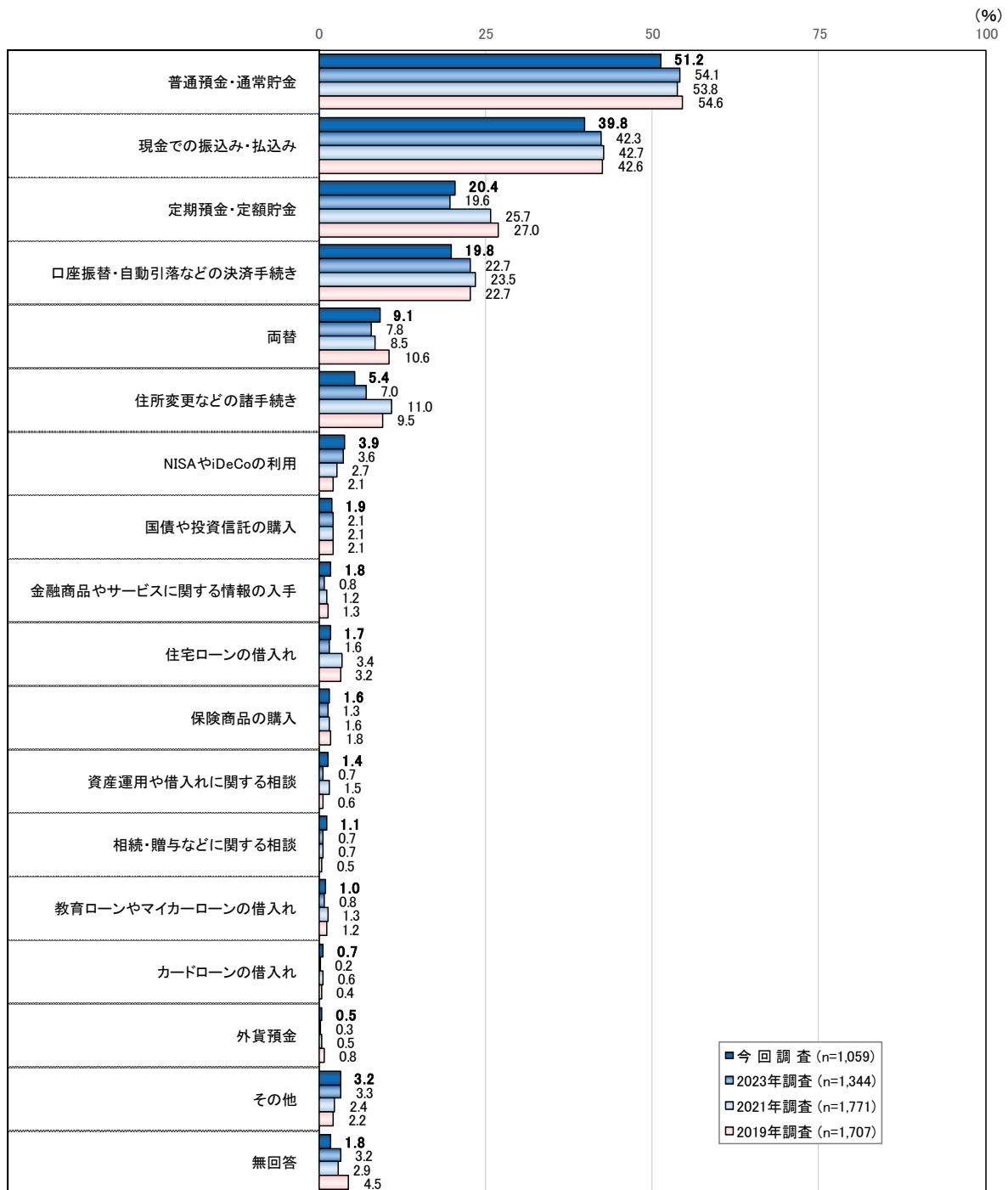
(図表 1 2 - 3) 行員等がいる窓口を利用している金融機関（問 40、複数回答）



(4) 銀行等の窓口を利用する目的、理由

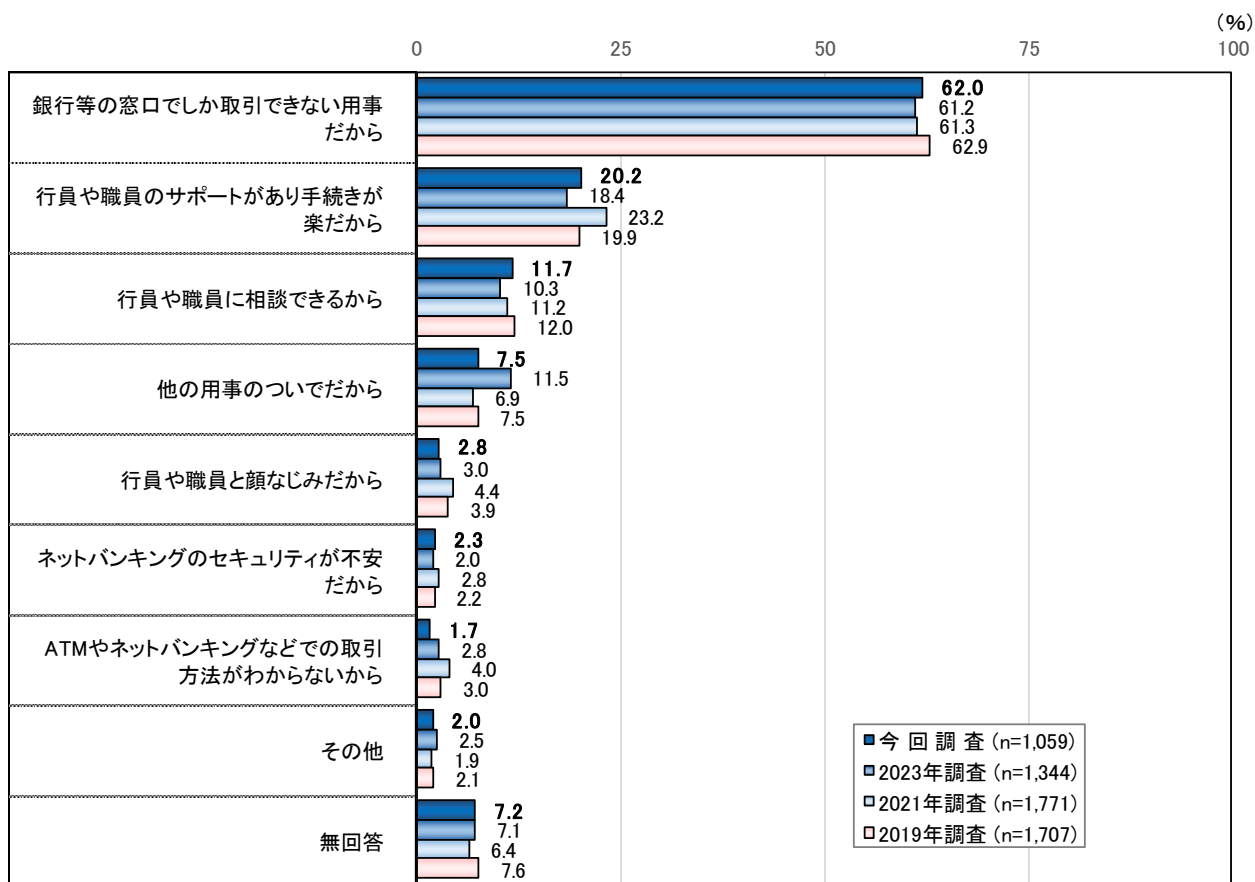
- 銀行等の窓口を利用する人 (n=1,059) に、窓口を利用する目的 (複数回答) を聞くと、「普通預金・通常貯金」が 51.2% で最も多く、次いで、「現金での振込み・払込み」(39.8%)、「定期預金・定額貯金」(20.4%)、「口座振替・自動引落などの決済手続き」(19.8%) の順で続く。(図表 12-4-1)
- 窓口を利用する理由 (複数回答) を聞くと、「銀行等の窓口でしか取引できない用事だから」(62.0%) が最も多く、次いで、「行員や職員のサポートがあり手続きが楽だから」(20.2%)、「行員や職員に相談できるから」(11.7%) の順で続く。その他の選択肢は 1 割未満であった。(図表 12-4-2)

(図表 12-4-1) 銀行等の窓口を利用する目的 (問 40-1、複数回答)



【銀行等窓口利用者】

(図表 1 2 - 4 - 2) 銀行等の窓口を利用する理由 (問 40-2、複数回答)

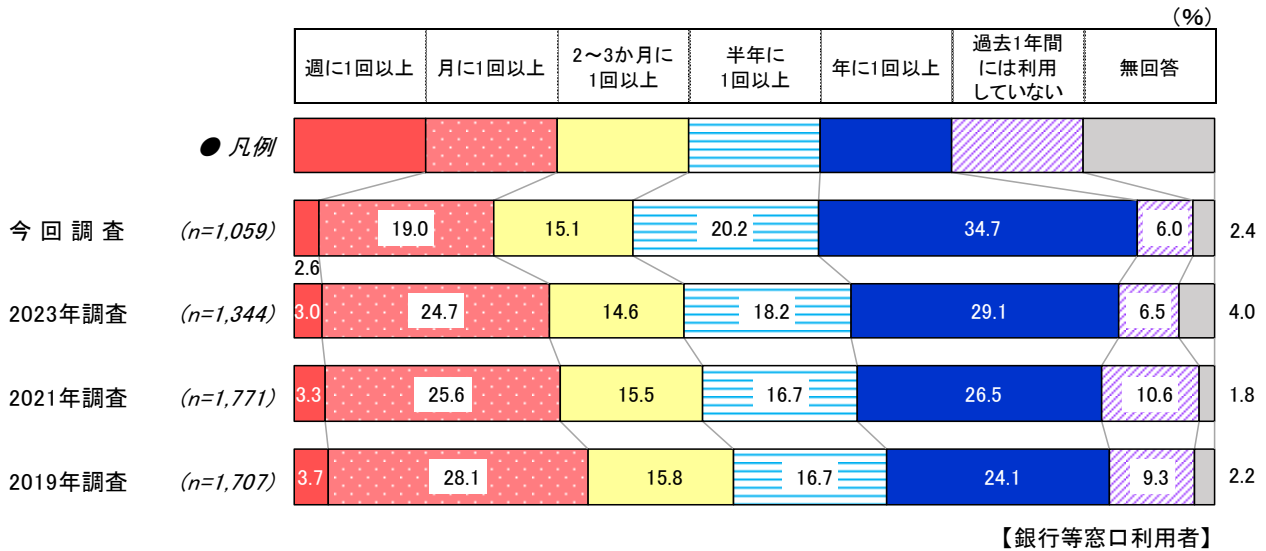


【銀行等窓口利用者】

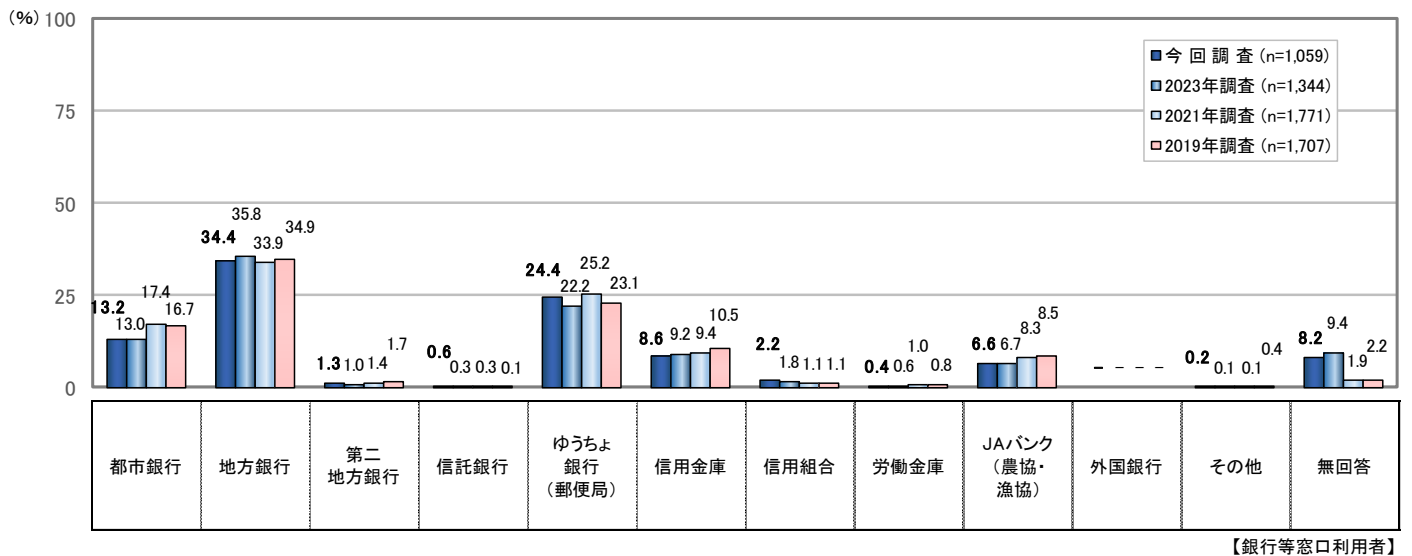
(5) 銀行等の窓口を利用する頻度・最もよく窓口を利用する金融機関

- 銀行等の窓口を利用する人 (n=1,059) が窓口を利用する頻度は、「年に1回以上」が 34.7%で最も多く、次いで、「半年に1回以上」(20.2%)、「月に1回以上」(19.0%) などとなった。(図表 12-5-1)
- 最もよく窓口を利用する金融機関は、「地方銀行」(34.4%)、「ゆうちょ銀行」(24.4%)、「都市銀行」(13.2%) の順となった。(図表 12-5-2)

(図表 12-5-1) 銀行等の窓口を利用する頻度 (問 40-3)



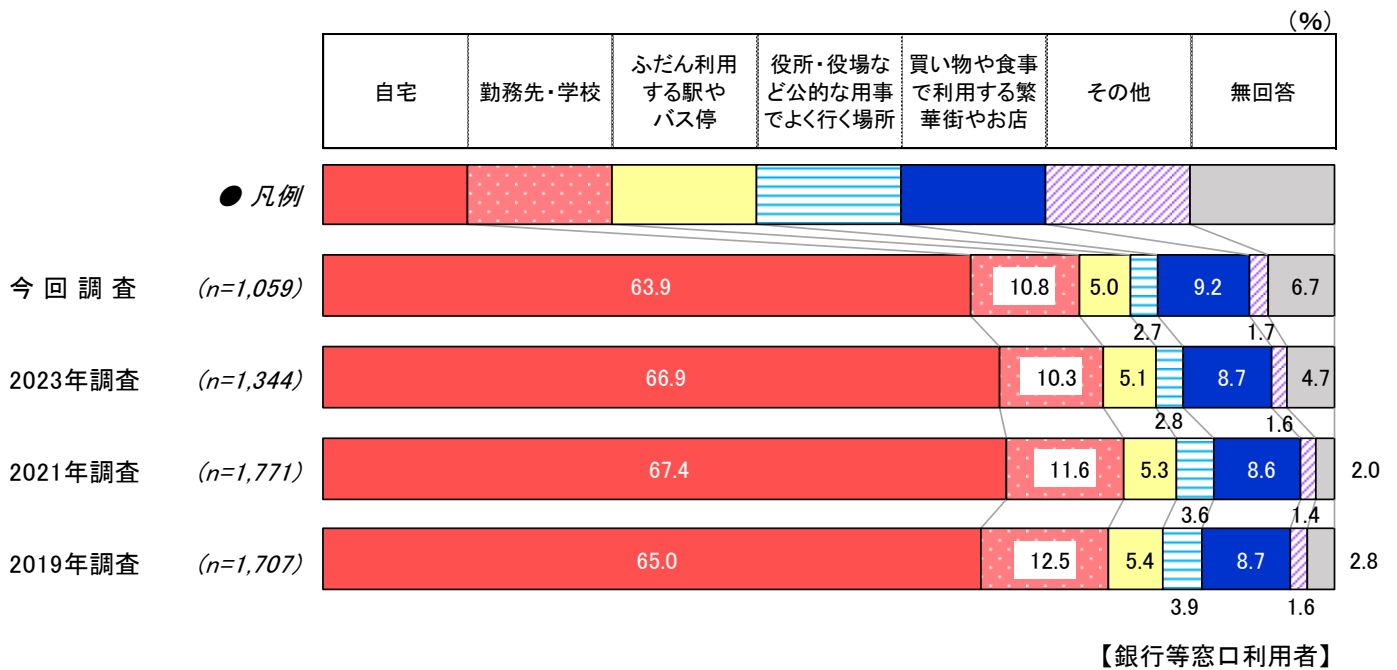
(図表 12-5-2) 最もよく窓口を利用する金融機関 (問 40-4)



(6) 最もよく窓口を利用する金融機関のロケーション

- 銀行等の窓口を利用する人 (n=1,059) に、最もよく窓口利用する金融機関のロケーションが「どこ」の近くかを聞くと、「自宅」が63.9%を占め、次いで「勤務先・学校」(10.8%)、「買い物や食事で利用する繁華街やお店」(9.2%)、「ふだん利用する駅やバス停」(5.0%)、「役所・役場など公的な用事でよく行く場所」(2.7%)の順であった。(図表 12-6)

(図表 12-6) 最もよく窓口を利用する金融機関のロケーション (問 40-5)



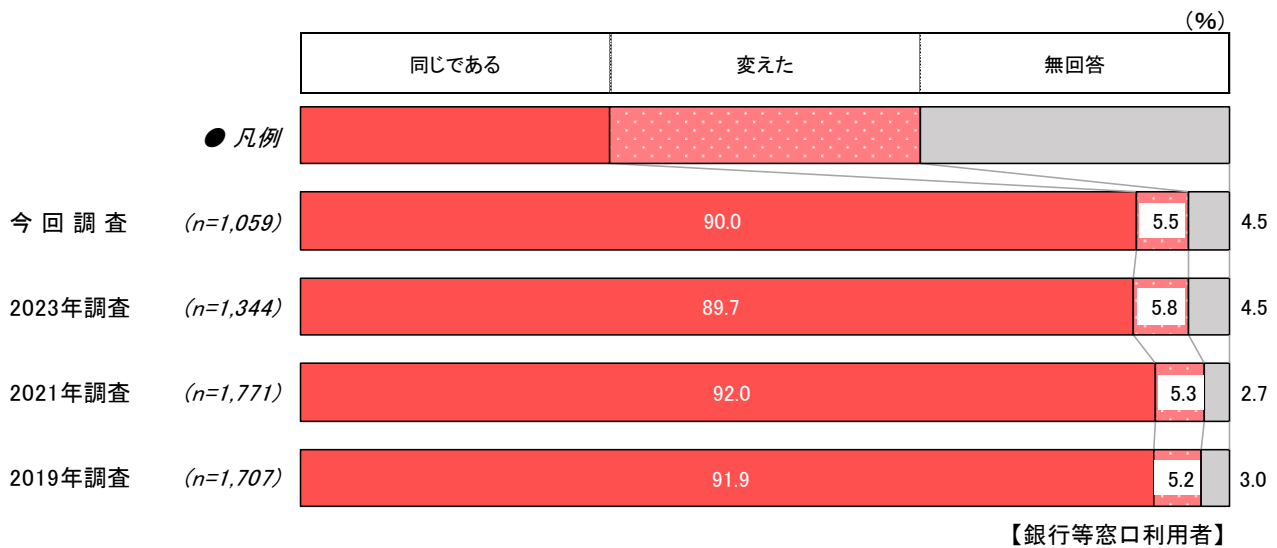
(7) 窓口を利用する金融機関の店舗の変更

- 銀行等の窓口を利用する人(n=1,059)に、現在最もよく窓口を利用する店舗が2年前と同じか変更したかを聞いたところ、「同じである」が90.0%、「変えた」は5.5%であった。

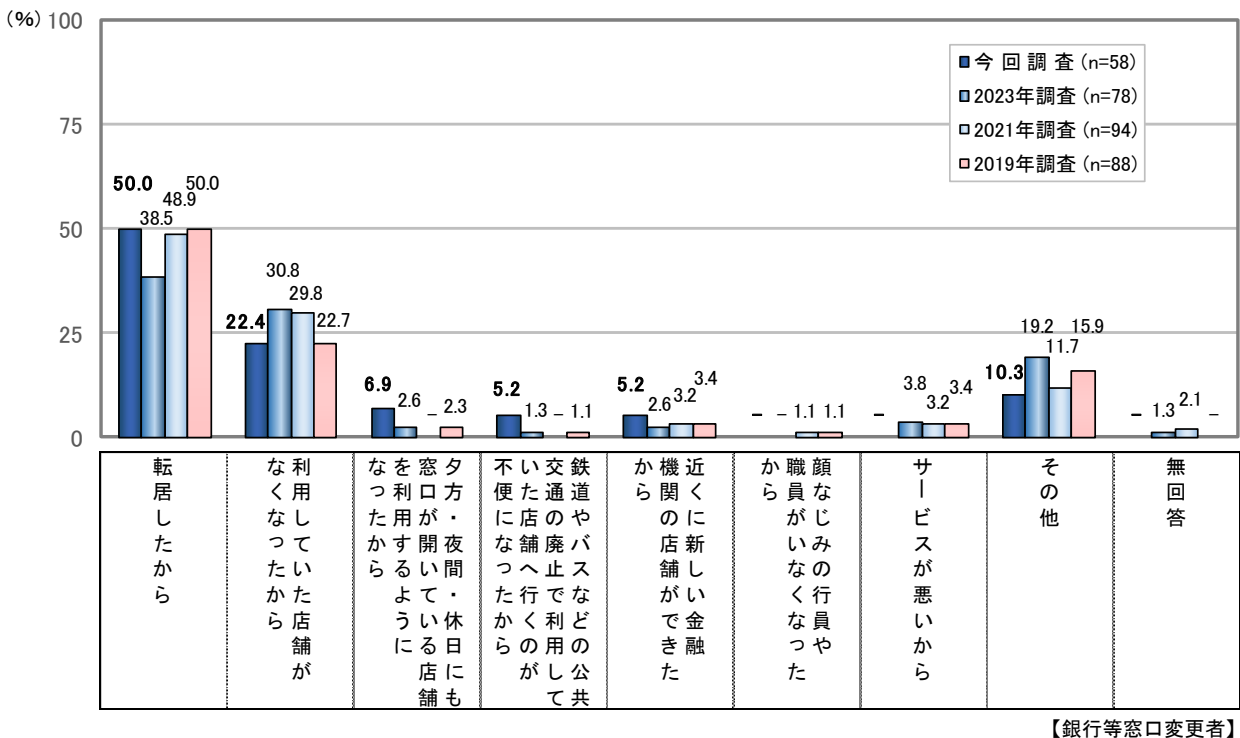
(図表 12-7-1)

- 窓口を「変えた」人 (n=58) に変更した最も大きな理由を聞くと、「転居したから」が50.0%で最も多く、次いで、「利用していた店舗がなくなったから」が22.4%であった。(図表 12-7-2)

(図表 12-7-1) 最もよく窓口を利用する店舗の2年前と現在の変化 (問 40-6)



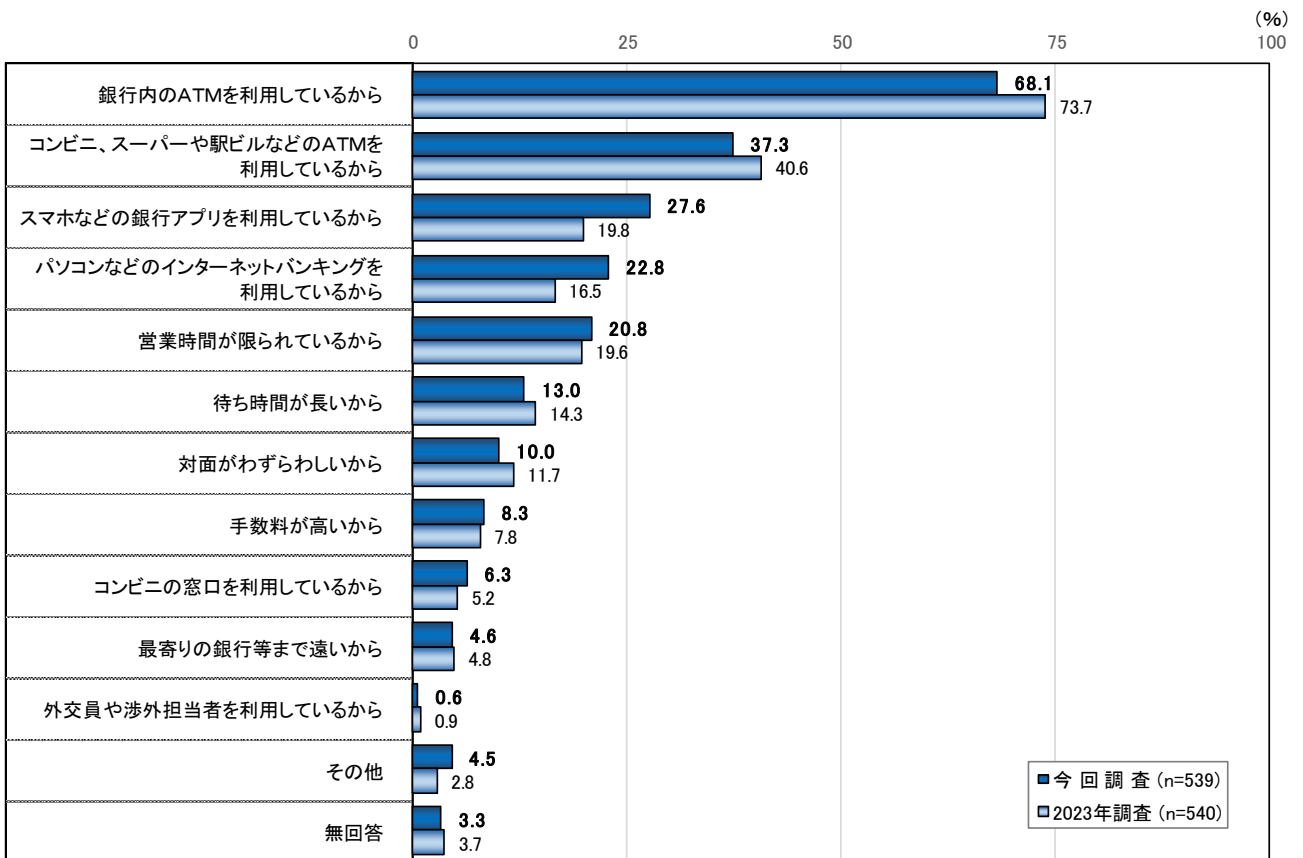
(図表 12-7-2) 最もよく窓口を利用する金融機関の店舗を変えた最大の理由 (問 40-7)



(8) 銀行等の窓口を利用しない理由

- 銀行等の窓口を利用しない人(n=539)に、利用しない理由（複数回答）を聞いたところ、「銀行内のATMを利用しているから」が68.1%で最も多く挙げられ、次いで、「コンビニ、スーパーや駅ビルなどのATMを利用しているから」(37.3%)、「スマホなどの銀行アプリを利用しているから」(27.6%)、「パソコンなどのインターネットバンキングを利用しているから」(22.8%)、「営業時間が限られているから」(20.8%) などとなった。(図表 12-8)

(図表 12-8) 銀行等の窓口を利用しない理由（問 40-8、複数回答）



【銀行等窓口非利用者】

Ⅲ 調査票（付：単純集計結果）

「第7回くらしと生活設計に関する調査」 調査票

- ・この調査は金融やくらしについて、日ごろお考えになられていることなどをお伺いするものです。
- ・封筒の**あて名の方**ご本人がお答えください。
- ・調査データはすべて数値に置き換え、個人情報とは切り離します。お答えいただいた結果は、「〇〇という回答が△△%」というように統計的にまとめて公表するとともに、金融行動等に関する今後の学術研究に役立てます。**個人情報が出ることは一切ございませんので、ご安心ください。**
- ・お答えは、あてはまる選択肢の番号を○で囲んでいただく場合と、マスの中に数字を記入していただく場合があります。「その他」にあてはまるときは選択肢の番号を○で囲み、()内に具体的な内容を記入してください。
- ・金額など数値をお尋ねしている設問では、それぞれの単位に合わせて、その1つ下の位を四捨五入して回答ください。
例) 金額を「万円」の単位でお伺いしている場合：64,000円であれば千の位「4」を四捨五入して「6万円」と回答してください。
- ・質問番号順にお答えください。質問の中には、一部の方にだけおたずねする部分もありますが、その場合は指定された方法に従ってお答えください。
- ・⑩=1、⑪～⑳などの数字はコンピュータで処理するためのマークですので、お気になさらずにお答えください。

【調査票の回収方法について】

ご記入いただいた調査票は、① 郵送による回収、② 調査員による回収のどちらかご都合の良い方法でご提出ください。調査にご協力いただいた方には、謝礼として1,000円分のQUOカードを贈呈いたします。

① 郵送による回収

ご記入済の調査票を同封の返送用封筒に入れて12月7日(日)までにご投函下さい。(※切手は不要です。)期限までにご投函くださった方には、2026年1月中旬に謝礼を郵送にてお送りいたします。

② 調査員による回収

11月14日(金)～11月30日(日)の間に、一般社団法人 中央調査社の調査員が訪問しますので、同封の回収用封筒に入れて調査員にお渡しください。謝礼は調査員が調査票と引き換えにお渡しいたします。

【調査の企画】 一般財団法人 ゆうちよ財団 金融行動調査ワーキングチーム

〒162-0845
東京都新宿区市谷本村町2-1 クイポビル 9階
ホームページ <https://www.yu-cho-f.jp/>

神戸大学 計算社会科学センター 研究教授
ホリオカ・チャールズ・ユウジ
亜細亜大学 社会学部 教授 寺島 拓幸
日本女子大学 人間社会学部 教授 周 燕飛

【調査の実施】 一般社団法人 中央調査社

〒104-8179
東京都中央区銀座5-15-8
ホームページ <https://www.crs.or.jp/>



一般社団法人 中央調査社は一般財団法人 日本情報経済社会推進協会の「プライバシーマーク」の認定を受けております。個人情報保護方針にしたがい、情報の管理を徹底いたします。

【お問い合わせ先】 0120-48-5351(フリーダイヤル) / 03-3549-3125

(平日 9:00～17:00、担当：管理部 萩原、平澤)

整理番号				

点検者

消費生活等についてお伺いします。

【全員の方へ】

問1 次に示されたa～uの買い物についての考え方や行動が、あなたにどのくらいあてはまるかお答えください。(○はそれぞれ1つずつ)(N=1,664)

(N=1,664)		あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	無回答
a. 新しい商品が出るとほしくなる	⇒	(6.2)	(30.3)	(40.0)	(22.1)	(1.4)
b. 広告を見ると、その商品がほしくなる	⇒	(2.8)	(26.3)	(45.8)	(23.5)	(1.6)
c. 周囲の人がもっている商品をもっていないと気になる	⇒	(1.1)	(10.0)	(36.8)	(50.4)	(1.6)
d. 流行や話題になっている商品を選ぶ	⇒	(3.1)	(24.3)	(40.4)	(30.2)	(2.0)
e. ショッピングは楽しい	⇒	(30.2)	(42.2)	(18.8)	(7.2)	(1.7)
f. いろいろなお店を見てまわるのが好きだ	⇒	(24.2)	(31.7)	(26.5)	(15.9)	(1.7)
g. 必要なものを必要な量だけ買う	⇒	(34.0)	(43.8)	(18.1)	(2.5)	(1.7)
h. 買い物は素早く済ませる	⇒	(27.3)	(39.8)	(25.2)	(5.8)	(1.8)
i. コストパフォーマンスをよく検討して商品を選ぶ	⇒	(27.0)	(44.2)	(20.9)	(5.9)	(2.0)
j. 事前にいろいろと情報収集してから商品を買う	⇒	(22.7)	(40.7)	(26.3)	(8.8)	(1.4)
k. できるだけセール価格で商品を買う	⇒	(25.9)	(42.9)	(24.1)	(5.5)	(1.6)
l. 少し値段が高くても、品質のよい商品を選ぶ	⇒	(19.7)	(52.2)	(22.1)	(4.6)	(1.6)
m. 少し値段が高くても、有名なブランドやメーカーの商品を選ぶ	⇒	(6.8)	(31.1)	(36.8)	(23.6)	(1.7)
n. インテリアや服装などはコーディネート(組み合わせ)を考えて商品を選ぶ	⇒	(19.5)	(41.1)	(25.4)	(12.4)	(1.6)
o. おしゃれにお金をかける	⇒	(5.4)	(20.7)	(41.4)	(30.9)	(1.6)
p. 性能よりもデザイン(色や形)を重視して商品を選ぶ	⇒	(4.7)	(25.6)	(47.6)	(20.3)	(1.8)
q. 人とは違った個性的な商品を選ぶ	⇒	(5.6)	(22.2)	(45.4)	(25.1)	(1.7)
r. 自分のこだわりの商品を探求する	⇒	(14.4)	(35.5)	(32.6)	(15.8)	(1.7)
s. 長く使えるものを選ぶ	⇒	(33.0)	(49.0)	(14.4)	(2.3)	(1.3)
t. 環境にやさしい商品を選ぶ	⇒	(11.8)	(38.2)	(38.0)	(10.5)	(1.5)
u. 安全性を考慮した商品を選ぶ	⇒	(28.5)	(49.8)	(16.2)	(4.0)	(1.4)

問2 あなたは、電車やバスの中で他人に席を譲りますか。(○は1つ)(N=1,664)

(13.3) 1 よくする (57.9) 2 たまにする (26.6) 3 ほとんどしない

(2.2) 無回答

問3 あなたは、直近の1年間にどのくらい寄付(ふるさと納税は除く)や募金をしましたか。(○は1つ)(N=1,664)

(55.9) 1 0回 (31.5) 2 1~2回 (6.9) 3 3~4回 (4.3) 4 5回以上

(1.4) 無回答

小学生の頃のことについてお伺いします。

【全員の方へ】

問4 あなたが小学校高学年の頃、世間一般と比べてご家庭の収入状況は、以下のどれに最もあてはまりますか。(○は1つ)(N=1,664)

(11.4) 1 平均よりかなり少ない (37.6) 3 ほぼ平均 (4.0) 5 平均よりかなり多い
(18.0) 2 平均よりやや少ない (17.5) 4 平均よりやや多い (10.2) 6 覚えていない

(1.3) 無回答

問5 あなたが小学校高学年の頃、あなたのお父様とお母様が従事していたお仕事等は、次のどれにあたりますか。下の枠組みの中からあてはまるものを1つ選び、番号をご記入ください。(N=1,664)

	父親	母親
	↓	↓
1 経営者、役員、理事、課長相当以上の管理職(公務員を含む)	(17.1)	(3.1)
2 常時雇用されている一般従業者(公務員を含む)	(49.7)	(16.3)
3 農林漁業の自営業(家族従業員を含む)	(9.3)	(8.4)
4 農林漁業以外の自営業(家族従業員を含む)	(9.3)	(6.9)
5 臨時雇い・パート・アルバイト・内職	(1.5)	(32.8)
6 その他(具体的に)	(2.6)	(1.7)
7 無職	(0.7)	(24.5)
8 わからない	(1.8)	(1.6)
9 父親はいなかった	(4.8)	
10 母親はいなかった		(1.3)
	無回答 (3.2)	(3.4)

問6 あなたが小学校高学年の頃、家の仕事(料理、洗濯、掃除、おつかいなど)を手伝いましたか。

(○は1つ)(N=1,664)

(31.3) 1 手伝った (25.5) 3 あまり手伝わなかった (4.9) 5 覚えていない
(29.2) 2 やや手伝った (7.8) 4 手伝わなかった (0.2) 6 その他(具体的に)

(1.1) 無回答

金融の知識についてお伺いします。

【全員の方へ】

問7 あなたは、どのような金融に関する知識・情報が暮らしに役立つと思いますか。(〇は3つまで)(N=1,664)

- | | | |
|--------|----|---|
| (34.7) | 1 | 金融商品・サービスの種類や商品性(リスクを含む)に関する知識・情報 |
| (20.2) | 2 | 金融機関が破たん(倒産)しても預金を一定額まで保護する仕組みや、破たんのおそれがないかを判断するために必要な知識・情報 |
| (28.6) | 3 | 金融・経済の仕組みに関する知識・情報(例:金融機関や株式市場の役割・機能について) |
| (7.3) | 4 | 多重債務に陥らないための知識・情報 |
| (29.0) | 5 | 金融取引においてトラブルに巻き込まれないための知識・情報 |
| (44.5) | 6 | 将来の生活設計やこれに必要なとなる資金計画などに関する知識・情報 |
| (55.9) | 7 | 介護保険、年金、税金などの制度面に関する知識・情報 |
| (19.4) | 8 | 子どもの健全な金銭感覚を育成するのに役立つ知識・情報 |
| (3.1) | 9 | どれも役立つと思わない |
| (0.7) | 10 | その他(具体的に) |

(3.5) 無回答

問8 銀行で取り扱われている以下の金融商品のうち預金保険の保護の対象となっているのは、どれだと思いますか。(〇は1つ)(N=1,664)

- | | | | | | | | | | | | |
|-------|---|--------|-------|---|---------|--------|---|--------|--------|---|-----------|
| (0.8) | 1 | 外貨預金 | (0.5) | 3 | 公社債投資信託 | (2.6) | 5 | 住宅火災保険 | (2.8) | 7 | どれも保護されない |
| (0.5) | 2 | 株式投資信託 | (3.7) | 4 | 国債 | (38.2) | 6 | 定期預金 | (47.4) | 8 | 分からない |

(3.5) 無回答

問9 預貯金口座に100万円の残高があり、預金金利が年率2%であるとします。預金を引き出さずにそのままにした場合、10年後の金額(税引前)はいくらだと思いますか。(〇は1つ)(N=1,664)

- | | | | | | | | | | | | |
|--------|---|--------|--------|---|-----------|--------|---|---------|--------|---|-------|
| (36.4) | 1 | 120万円超 | (19.5) | 2 | 120万円ちょうど | (21.6) | 3 | 120万円未満 | (20.1) | 4 | 分からない |
|--------|---|--------|--------|---|-----------|--------|---|---------|--------|---|-------|

(2.4) 無回答

問10 仮に、あなたの預金口座に対する利子率が年1%で、インフレ率は年2%だとします。1年後、その口座のお金を使って、あなたはどれくらいの物を購入できると思いますか。(〇は1つ)(N=1,664)

- | | | | | | |
|--------|---|--------------|--------|---|--------------|
| (2.3) | 1 | 今より多く購入できる | (4.4) | 3 | 今と同じくらい購入できる |
| (54.5) | 2 | 今ほど多くは購入できない | (36.0) | 4 | 分からない |

(2.8) 無回答

問11 一社の株式を購入する場合と、複数社の株式に投資する投資信託を購入する場合では、一般的に、一社の株を購入した方が、損益の振れ幅が小さくなる。(〇は1つ)(N=1,664)

- | | | | | | | | | |
|-------|---|-----|--------|---|--------|--------|---|-------|
| (6.1) | 1 | 正しい | (46.9) | 2 | 間違っている | (44.4) | 3 | 分からない |
|-------|---|-----|--------|---|--------|--------|---|-------|

(2.6) 無回答

問12 10万円を投資すると半々の確率で2万円の値上がり益か1万円の値下がり損のいずれかが発生するとします。あなたならどうしますか。(〇は1つ)(N=1,664)

- | | | | | | | | |
|--------|---|------|--------|---|-------|-------|-----|
| (24.3) | 1 | 投資する | (73.0) | 2 | 投資しない | (2.6) | 無回答 |
|--------|---|------|--------|---|-------|-------|-----|

問13 あなたは、これまでに学校や企業等の中で金融教育を受けたことがありますか。(〇はいくつでも)
(N=1,664)

- (5.8) 1 小学校のころ道徳や家庭科の授業で受けた
- (13.1) 2 中学校や高等学校の公民分野の授業で受けた
- (2.1) 3 大学等で専門的に学習した
- (9.3) 4 所属企業等で実施する資産形成・ライフプランの研修等を受けた
- (3.1) 5 所属企業等で実施(補助)する通信講座・セミナー等を受けた
- (6.3) 6 プライベートで資産形成・ライフプラン研修等や通信講座・セミナー等を受けた
- (1.9) 7 その他(具体的に)
- (63.8) 8 1~7のような金融教育を受けたことがない

(2.3) 無回答

クレジットカードについてお伺いします。

【全員の方へ】

問14 あなたは、ご自分名義のクレジットカードを持っていますか。家族カードや使用していないものも含みます。(〇は1つ)(N=1,664)

- (82.3) 1 持っている (16.3) 2 持っていない → 次ページ問15へお進みください

(1.4) 無回答

【問14で「1」を回答した方へ】

問14-1 あなたは、どのような基準で、クレジットカードを選びましたか。(〇はいくつでも)(N=1,370)

- (56.0) 1 ポイントやマイルを貯めやすい
- (55.8) 2 年会費が安い、または無料
- (17.4) 3 銀行・ゆうちょなどのキャッシュカードと一体型
- (7.3) 4 交通系電子マネー(SuicaやPASMOなど)と一体型
- (27.4) 5 よく利用するお店で割引サービスなどが受けられる
- (15.4) 6 ポイントと交換できる商品などが良い
- (5.6) 7 サポート体制(サービスデスクなど)がしっかりしている
- (4.1) 8 利用限度額が高い
- (10.9) 9 入会時などのキャンペーンが充実している
- (3.9) 10 各種補償や保険が充実している
- (7.0) 11 空港ラウンジなどの付帯サービスが充実している
- (13.6) 12 発行会社の知名度が高い
- (2.7) 13 ステータスがある
- (2.2) 14 カードのデザインが良い
- (3.5) 15 その他(具体的に)
- (8.3) 16 特に理由はない

(-) 無回答

カードローンや消費者金融からの借りに関しては、お伺いします。

【全員の方へ】

問15 現在、カードローンや消費者金融からの借入残高はありますか。(○は1つ)(N=1,664)

(4.6)	1	カードローン がある	(1.3)	2	消費者金融が ある	(1.1)	3	カードローン と消費者金融両方ある	(89.2)	4	現在は両方ともない
-------	---	---------------	-------	---	--------------	-------	---	----------------------	--------	---	-----------

→ 次ページ問16へお進みください

(3.7) 無回答

【問15で「1～3」と回答した方へ】

問15-1 あなたは、最近の3年間にカードローンや消費者金融から何回お金を借りましたか。

※問15で借入残高があるものについてお答えください。(a、bそれぞれ○は1つ)

	a. カードローン (N=95)	b. 消費者金融 (N=40)
1回ある	(15.8)	(22.5)
2～5回ある	(41.1)	(20.0)
6～9回ある	(5.3)	(12.5)
10回以上ある	(23.2)	(27.5)
最近3年間はない	(7.4)	(2.5)
無回答	(7.4)	(15.0)

問15-2 現在の借入残高の総額はいくらですか。カードローン・消費者金融それぞれについてお答えください。回答可能な範囲でお答えいただければ結構です。(実数記入)

※問15で借入残高があるものについてお答えください。

a. カードローン (N=95)	(-) 0万円	(25.3)	～300万円未満	(7.4) 無回答
	(9.5) ～10万円未満	(1.1)	～500万円未満	
	(18.9) ～30万円未満	(-)	～1000万円未満	
	(10.5) ～50万円未満	(-)	1000万円以上	
	(27.4) ～100万円未満			
b. 消費者金融 (N=40)	(-) 0万円	(27.5)	～300万円未満	(7.5) 無回答
	(2.5) ～10万円未満	(5.0)	～500万円未満	
	(20.0) ～30万円未満	(-)	～1000万円未満	
	(10.0) ～50万円未満	(2.5)	1000万円以上	
	(25.0) ～100万円未満			

問15-3 カードローンや消費者金融からの借入について、その返済に困難を感じていますか。

※問15で借入残高があるものについてお答えください。(a、bそれぞれ○は1つ)

	a. カードローン (N=95)	b. 消費者金融 (N=40)
まったく困難を感じていない	(36.8)	(17.5)
少し困難を感じている	(57.9)	(60.0)
すでに返済困難な状況になっている	(2.1)	(12.5)
多重債務、個人破産に追い込まれている	(1.1)	(7.5)
無回答	(2.1)	(2.5)

決済方法についてお伺いします。

【全員の方へ】

問 1 6 あなたは、スーパーやコンビニでの買い物の支払いに次のどのような方法を利用されていますか。

(○はいくつでも) (N=1, 664)

(65.6) 1 現金	(16.4) 7 カード型流通系電子マネー (nanaco、WAON など)
(3.1) 2 金券	(38.0) 8 スマホ決済※
(24.8) 3 クレジットカード (差し込み)	(4.3) 9 プリペイドカード
(30.6) 4 クレジットカード (タッチ)	(11.3) 10 ポイント
(1.9) 5 デビットカード	(0.1) 11 仮想通貨 (暗号資産)
(11.8) 6 カード型交通系電子マネー (Suica、PASMO など)	(0.2) 12 その他 (具体的に)

(4.6) 無回答

※スマホ決済：コードや NFC (近接)・アプリを使った決済。



「1」を選ばずに「3~11」を選んだ方は、問 1 6 - 3 へお進みください。



「1」も「3~11」も選ばなかった方は、次ページ問 1 7 へお進みください。

→【問 1 6 で「1」と回答した方へ】

問 1 6 - 1 キャッシュレス化が進んでいますが、あなたはキャッシュレス決済についてどのように考えていますか。(○は 1 つ) (N=1, 092)

(41.0) 1 キャッシュレス決済はなるべくしたくない (引き続き現金を利用したい)	} 次ページ問 1 7 へお進みください
(32.6) 2 キャッシュレス決済になるべく移行したい (している)	
(22.9) 3 考えたことがない	

(3.5) 無回答

→【問 1 6 - 1 で「1」と回答した方へ】

問 1 6 - 2 今後も現金を利用したい理由は次のどれですか。(○はいくつでも) (N=448)

(83.0) 1 その場で支払いが完了するから	(19.6) 5 信頼性が高いから
(25.9) 2 多くの場所で使えるから	(63.4) 6 お金を使い過ぎる心配が少ないから
(12.9) 3 キャッシュレス決済の仕方がわからな い・設定が難しいから	(8.5) 7 匿名性が高いから
(15.2) 4 手数料などのコストがかからないから	(1.6) 8 その他 (具体的に)

(0.4) 無回答



問 1 6 で「3~11」を選ばなかった方は、次ページ問 1 7 へお進みください。

【問 1 6 で「3~11」と回答した方へ】

問 1 6 - 3 あなたがキャッシュレス決済を利用する際、最も重要視されたのはどれですか。(○は 1 つ) (N=1, 167)

(32.3) 1 ポイント還元率の高い方を使う	(1.6) 6 チャージの際に得な方を使う
(1.5) 2 割引率が高い方を使う	(8.2) 7 チャージ方法が簡単な方を使う
(0.6) 3 クーポンがもらえる方を使う	(1.5) 8 利用上限額を意識している
(0.5) 4 キャンペーンをしている方を使う	(3.1) 9 利用通知などのセキュリティ面やサポート体制
(20.0) 5 よく利用する店舗で使える方を使う	(2.9) 10 その他 (具体的に)

(27.7) 無回答

【全員の方へ】

問 1 7 あなたは、電気・ガス・水道代などの公共料金の支払いに次のどのような方法を利用されていますか。

(○はいくつでも) (N=1, 664)

(67.7) 1	口座振替・自動引落	(0.3) 6	デビットカード
(1.8) 2	銀行等や郵便局の窓口での支払い	(2.9) 7	スマホ決済
(0.8) 3	ATMでの支払い	(0.4) 8	インターネットバンキング
(9.1) 4	コンビニでの支払い	(0.7) 9	その他(具体的に)
(26.0) 5	クレジットカード	(12.1) 10	支払っていない

(1.8) 無回答

問 1 8 あなたは、家賃・給食費・新聞購読代などの公共料金以外の定期的な支払いには次のどのような方法を利用されていますか。(○はいくつでも) (N=1, 664)

(59.4) 1	口座振替・自動引落	(0.7) 6	デビットカード
(3.1) 2	銀行等や郵便局の窓口での支払い	(2.6) 7	スマホ決済
(2.8) 3	ATMでの支払い	(1.6) 8	インターネットバンキング
(6.5) 4	コンビニでの支払い	(4.1) 9	その他(具体的に)
(22.4) 5	クレジットカード	(16.8) 10	支払っていない

(2.2) 無回答

問 1 9 あなたは、固定資産税などの税金や国民年金保険料などの社会保険料の支払いには次のどのような方法を利用されていますか。(○はいくつでも) (N=1, 664)

(53.0) 1	口座振替・自動引落	(0.3) 6	デビットカード
(13.8) 2	銀行等や郵便局の窓口での支払い	(5.2) 7	スマホ決済
(2.3) 3	ATMでの支払い	(1.6) 8	インターネットバンキング
(19.3) 4	コンビニでの支払い	(3.4) 9	その他(具体的に)
(5.1) 5	クレジットカード	(11.5) 10	支払っていない

(2.3) 無回答

問 2 0 あなたは、ネット通販で購入された代金の支払いには次のどのような方法を利用されていますか。

(○はいくつでも) (N=1, 664)

(6.0) 1	銀行等や郵便局の窓口での支払い	(0.8) 7	プリペイドカード
(3.3) 2	ATMでの支払い	(4.7) 8	ポイント
(23.4) 3	コンビニでの支払い	(-) 9	仮想通貨(暗号資産)
(55.6) 4	クレジットカード	(7.6) 10	代金引換
(2.1) 5	デビットカード	(0.3) 11	その他(具体的に)
(15.1) 6	スマホ決済	(17.4) 12	ネット通販は利用していない

(1.9) 無回答

問 2 1 最近さまざまなスマホ決済が利用できるようになってきましたが、あなたは、スマホ決済を利用したいと思いますか。(○は1つ) (N=1, 664)

(52.0) 1	現在利用している	(6.6) 2	今後利用してみたい	(27.6) 3	利用するつもりはない	(11.7) 4	わからない
----------	----------	---------	-----------	----------	------------	----------	-------

(2.1) 無回答

問 2 1 - 1 へ

→ 次ページ問 2 1 - 2 へ
お進みください

→ 次ページ問 2 2 へ
お進みください

【問21で「1」または「2」と回答した方へ】

問21-1 あなたが現在利用している、または今後利用してみたいスマホ決済は次のどれですか。

(〇はいくつでも) (N=975)

- | | | |
|--------|---|---------------------------------------|
| (51.3) | 1 | クレジットカード決済 (Visaタッチ、Mastercard®タッチなど) |
| (17.8) | 2 | 商業系電子マネー決済 (nanaco、WAON など) |
| (27.8) | 3 | 交通系電子マネー決済 (Suica、PASMO、ICOCA など) |
| (73.3) | 4 | QRコード決済 (楽天ペイ、PayPay など) |
| (27.2) | 5 | キャリア決済 (d払い、auかんたん決済など) |
| (0.4) | 6 | その他 (具体的に) |

(0.3) 無回答



ここまで回答した方は、問22へお進みください。

【問21で「3」と回答した方へ】

問21-2 あなたが、スマホ決済を利用されない理由は次のどれですか。(〇はいくつでも) (N=460)

- | | | | | | |
|--------|---|------------------|--------|---|--------------------|
| (16.7) | 1 | スマホを持っていないから | (21.1) | 6 | ついお金を使い過ぎてしまいそうだから |
| (2.6) | 2 | 使える場所が限られているから | (39.3) | 7 | 現在の決済方法で満足しているから |
| (25.2) | 3 | 個人情報漏れるのが怖いから | (30.2) | 8 | 利用の仕方がわからなく、面倒だから |
| (32.4) | 4 | セキュリティに不安があるから | (1.7) | 9 | その他 (具体的に) |
| (28.5) | 5 | スマホの紛失や故障時に心配だから | | | |

(5.9) 無回答

相続対策についてお伺いします。

【全員の方へ】

問22 相続について、あなたは、ご自身の財産の相続に対する準備をしていますか。(〇は1つ) (N=1,664)

- | | | | | | | | | |
|-------|---|----|--------|---|-------|--------|---|-----------|
| (7.7) | 1 | して | (79.0) | 2 | していない | (10.6) | 3 | 相続する者がいない |
| | | いる | | | | | | |
| | | | | | | | | |

→ 次ページ問22-3へお進みください

→ 次ページ問23へお進みください

(2.8) 無回答

【問22で「1」と回答した方へ】

問22-1 具体的にはどのような対策に取り組んでいますか。(〇はいくつでも) (N=128)

- | | | | | | |
|--------|---|----------------|--------|---|----------------|
| (19.5) | 1 | 遺言書を作成 | (4.7) | 5 | 金融機関の「遺言信託」を活用 |
| (35.9) | 2 | 生前贈与による相続財産の削減 | (12.5) | 6 | 不必要な不動産の処分 |
| (3.9) | 3 | 相続時精算課税制度を活用 | (13.3) | 7 | 墓地や仏具などを生前購入 |
| (32.0) | 4 | 生命保険金の非課税制度を活用 | (16.4) | 8 | その他 (具体的に) |

(2.3) 無回答

問22-2 相続対策を行うようになった主なきっかけについてお答えください。(〇は2つまで) (N=128)

- | | | | | | |
|--------|---|-----------------------|--------|---|------------------------|
| (17.2) | 1 | 子どもや孫の誕生、その成長 | (5.5) | 5 | 周囲 (金融機関等も含む) からのアドバイス |
| (56.3) | 2 | 自身もしくは親の高齢化 (健康状態を含む) | (23.4) | 6 | 節税対策 |
| (9.4) | 3 | 周囲での相続に関するトラブル | (12.5) | 7 | その他 |
| (5.5) | 4 | マスメディア等からの情報 | | | (具体的に) |

(4.7) 無回答



ここまで回答した方は、次ページ問23へお進みください。

【問22で「2」と回答した方へ】

問22-3 相続対策を行っていない理由についてお答えください。(○は1つ)(N=1,314)

- | | |
|------------------------------|------------------|
| (10.9) 1 必要だと思っているがやり方がわからない | (3.7) 4 その他 |
| (42.1) 2 将来的にはやりたいが今は早すぎる | (具体的に) |
| (8.1) 3 検討はしたがそこまでは不要 | (30.8) 5 特に理由はない |

(4.4) 無回答

問22-4 金融機関で相続に関する次のような商品やサービスがあれば利用したいと思いますか。

(○はいくつでも)(N=1,314)

- | |
|--|
| (21.5) 1 生前にご家族(子や孫)へ計画的に贈与できる商品やサービス |
| (19.7) 2 相続に関するアドバイスや事務を代行するサービス |
| (16.7) 3 相続の事前準備に関する相談会の実施 |
| (11.6) 4 相続に関する専門家(弁護士、司法書士、税理士、行政書士)の紹介 |
| (0.5) 5 その他(具体的に) |
| (46.8) 6 特にない |

(8.9) 無回答

【全員の方へ】

問23 相続について、あなたの親は、相続に対する準備をしていますか。(○は1つ)(N=1,664)

- | | | | |
|---------------|----------------|------------------|----------------|
| (10.0) 1 している | (23.3) 2 していない | (30.7) 3 両親ともいない | (31.8) 4 わからない |
|---------------|----------------|------------------|----------------|

→ 問24へお進みください

(4.1) 無回答

【問23で「1」と回答した方に】

問23-1 具体的にはどのような対策に取り組んでいますか。(○はいくつでも)(N=167)

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| (34.1) 1 遺言書を作成 | (2.4) 5 金融機関の「遺言信託」を活用 |
| (28.7) 2 生前贈与による相続財産の削減 | (16.2) 6 不必要な不動産の処分 |
| (1.8) 3 相続時精算課税制度を活用 | (23.4) 7 墓地や仏具などを生前購入 |
| (17.4) 4 生命保険金の非課税制度を活用 | (9.6) 8 その他(具体的に) |

(2.4) 無回答

リスク性金融商品についてお伺いします。

【全員の方へ】

問24 投資信託などのリスク性金融商品を保有することによって長期の資産形成をすることが推進されていますが、あなたは必要性を感じますか。(○は1つ)(N=1,664)

※「リスク性金融商品」とは、価格・金利・為替相場の変動により利益率が変動するため、状況によっては元本割れとなる可能性のある金融商品。

- | | | |
|---------------------|----------------------|-----------------------|
| (11.0) 1 非常に必要性を感じる | (25.5) 3 どちらともいえない | (16.1) 5 まったく必要性を感じない |
| (22.2) 2 やや必要性を感じる | (21.4) 4 あまり必要性を感じない | |

(3.8) 無回答

問25 あなたは、リスク性金融商品を保有・運用されていますか。(○は1つ)(N=1,664)

(28.4) 1	現在、保有・運用している	(49.6) 3	いままで保有・運用したことはない
(5.1) 2	過去に保有・運用したことがある		→ 次ページ問25-3へお進みください
		(13.7) 4	わからない → 次ページ問26へお進みください

(3.2) 無回答

【問25で「1」または「2」と回答した方へ】

問25-1 あなたが、保有・運用されたことのあるリスク性金融商品は次のどれですか。(○はいくつでも)(N=558)

(52.5) 1	国内株式	(6.3) 6	外貨建ての債券	(1.1) 11	先物・オプション商品
(22.0) 2	外国株式	(11.5) 7	外貨預金	(1.6) 12	ラップ口座
(56.1) 3	投資信託・ETF	(1.6) 8	外国為替証拠金(FX)、差金決済(CFD)	(7.2) 13	仮想通貨(暗号資産)
(3.8) 4	REIT	(2.2) 9	外貨建てMMF	(1.6) 14	その他
(3.8) 5	国債以外の国内債券	(9.0) 10	外貨建て個人年金保険		(具体的に)

(0.4) 無回答

問25-2 (1) あなたが、リスク性金融商品を保有・運用された目的は次のどれですか。(○はいくつでも)
(2) (1) で選ばれた目的のうち、最も重要視されたのはどれですか。(○は1つ)

	(1)運用の目的 (いくつでも) (N=558)	(2)最も重視 (1つだけ) (N=558)
配当金・分配金・利子を得るため	(62.2)	(24.0)
長期の資産形成・資産運用のため	(67.6)	(36.2)
短期の運用益を得るため	(17.9)	(4.1)
株主優待を得るため	(18.6)	(1.6)
社会的に貢献度が高い活動をしている企業を応援するため	(3.2)	(0.2)
老後の生活資金のため	(50.0)	(18.5)
教育資金のため	(8.6)	(1.1)
住宅購入資金のため	(1.3)	(-)
レジャーや高額品の購入資金のため	(3.4)	(0.4)
信頼できる営業担当者に勧められたため	(10.8)	(1.6)
投資の勉強のため	(18.8)	(2.0)
時間の有効活用のため	(4.8)	(0.4)
その他(具体的に)	(2.0)	(1.3)

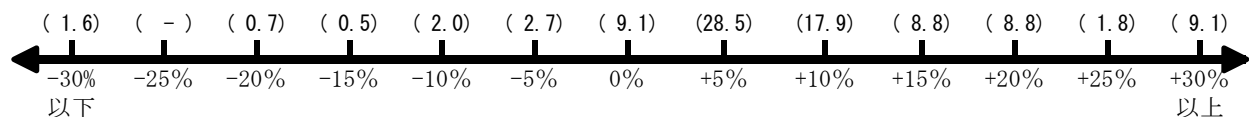
無回答

(1.6)

(8.8)

問25-2 (3) 過去1年間で、あなたが投資しているリスク性金融商品の損益状況(実現損益と含み損益の総額)に最も当てはまるものは、以下のどれですか。(○は1つ)(N=558)

※お答えは、以下の1~13の選択肢番号に○をしてください。



以下

(8.4) 無回答



ここまで回答した方は、次ページ問26へお進みください。

【問25で「3」と回答した方へ】

問25-3 あなたが、リスク性金融商品を保有・運用されていない理由は次のどれですか。(〇はいくつでも)
(N=825)

(48.5) 1 手元に資金がないから	(28.8) 7 取引の仕方がわからないから
(27.6) 2 損をしそうだから	(32.8) 8 面倒だから
(25.9) 3 元本割れリスクのある取引はしたくないから	(5.3) 9 手数料や信託報酬がかかるから
(24.8) 4 リスク性金融商品に関する知識がないから	(10.3) 10 税制がわからないから
(1.7) 5 近くに証券会社や銀行などの金融機関の店舗がないから	(12.4) 11 時間的余裕がないから
(10.9) 6 安心して相談できる専門家がないから	(3.2) 12 その他(具体的に)

(1.5) 無回答

【全員の方へ】

問26 リスク性金融商品の場合、どのような金融商品であれば魅力を感じますか。(〇はいくつでも)
(N=1,664)

(33.1) 1 少額から始められる金融商品	(19.1) 5 手数料や信託報酬が低い金融商品
(39.8) 2 リスクの少ない金融商品	(1.6) 6 その他(具体的に)
(27.0) 3 税金が優遇される金融商品	(30.5) 7 わからない
(29.6) 4 仕組みが分かりやすい金融商品	

(3.3) 無回答

問27 税金が優遇される長期資産形成の制度として次のようなものがありますが、あなたは利用されていますか。(〇はいくつでも)(N=1,664)

(16.9) 1 新NISA(つみたて投資枠)	(4.3) 4 旧つみたてNISA	(6.1) 6 iDeCo
(10.6) 2 新NISA(成長投資枠)	(0.7) 5 ジュニアNISA	(69.4) 7 どれも利用していない
(6.2) 3 旧一般NISA		(4.1) 無回答

注)新NISAの特徴:非課税保有期間の無期限化、口座開設期間の恒久化、つみたて投資(つみたてNISA相当)枠と成長投資(従来的一般NISA相当)の併用可、年間投資枠の拡大(つみたて投資枠:年間120万円、成長投資枠:年間240万円、合計最大年間360万円まで)、非課税保有限度額は、全体で1,800万円(成長投資枠:1,200万円。枠の再利用が可能)。



「1~5」を1つも選ばなかった方は、次ページ問27-2へお進みください。

【問27で「1~5」のいずれかを回答した方へ】

問27-1 あなたが、NISAを利用する際に困っていることはありますか。(〇はいくつでも)(N=401)

(27.7) 1 多くの運用商品があり過ぎて仕組みがわからない	(7.7) 5 信頼できる情報がない
(26.2) 2 自分に適した運用商品がわからない	(8.2) 6 安心して相談できる専門家がない
(8.5) 3 資産の配分方法がわからない	(3.2) 7 信頼できる金融機関がわからない
(16.7) 4 分配金など損得の判断が難しい	(3.0) 8 その他(具体的に)
	(43.1) 9 困っていることはない

(1.0) 無回答



ここまで回答した方は、次ページ問28へお進みください。

【問27で「1～5」のいずれにも〇のない（NISA未利用の方へ）】

問27-2 NISAを利用していないのは、どのような理由からですか。主な理由を2つまでお答えください。

(〇は2つまで) (N=1,194)

(10.2) 1 預金のように元本保証がないから	(8.6) 5 忙しくて時間がないから
(24.7) 2 投資に関する知識がないから	(11.3) 6 損をしそうで怖いから
(22.2) 3 余裕資金がないから	(17.4) 7 制度がわかりにくいから
(0.7) 4 コスト（販売手数料・信託報酬）が高そうだから	(4.5) 8 その他(具体的に)
	(22.4) 9 特に理由はない

(12.5) 無回答

【全員の方へ】

問28 2026年の税制改正要望に盛り込むことが検討されている「プラチナNISA」や「こども支援NISA」※について、もし導入された場合にあなたは利用したいですか。(〇はそれぞれ1つつ) (N=1,664)

	利用したい	やや利用したい	どちらともいえない	あまり利用したくない	利用したくない	該当しない	無回答
a. プラチナNISA ⇒	(4.4)	(7.3)	(25.4)	(6.2)	(24.2)	(26.1)	(6.3)
b. こども支援NISA ⇒	(3.8)	(5.9)	(18.6)	(4.2)	(18.1)	(37.3)	(12.0)

※「プラチナNISA」は、65歳以上を対象として毎月分配型投信を対象商品に追加することが検討されています。

「こども支援NISA」は、18歳未満の子や孫名義での口座開設が想定されています。

ご自身のお仕事についてお伺いします。

【全員の方へ】

問29 あなたは、現在、収入をとまなう仕事をしていますか。(〇は1つ) (N=1,664)

(64.7) 1 している	(5.0) 2 していない(求職中)	} → 14ページ問30へお進みください
(27.9) 3 していない(求職活動もしていない)		

(2.4) 無回答

【問29で「1」と回答した方へ】

問29-1 あなたの現在のお仕事についてお答えください。複数の仕事をお持ちの場合は、主な仕事1つだけについてお答えください。(N=1,076)※②業種は27ページの「業種分類表」にしたがって回答してください。

①雇用形態 (〇は1つ)	(53.1) 1 正社員・正規職員	(24.6) 4 パート・アルバイト	(1.8) 7 自営業の手伝い
	(7.1) 2 嘱託・契約社員	(2.6) 5 自営業(雇人あり)	(0.5) 8 内職
	(3.0) 3 派遣社員	(6.3) 6 自営業(雇人なし)	(0.5) 9 その他(具体的に)
			(0.7) 無回答
②業種 (〇は1つ)	(2.4) 1 農林漁鉱業	(3.5) 4 運輸業、郵便業	(15.8) 7 医療、福祉
	(6.7) 2 建設業	(9.7) 5 卸売業、小売業	(13.1) 8 公務、教育、電気水道業
	(14.1) 3 製造業	(4.9) 6 宿泊業、飲食サービス業	(26.9) 9 その他サービス業
			(2.9) 無回答

③～⑦についてもお答えください。

③職種 (○は1つ)	(24.6) 1 専門・技術的職業(医師、看護師、弁護士、教師、技術者、デザイナーなど) (5.1) 2 管理的な仕事(企業・官公庁における課長職以上、議員、経営者など) (19.3) 3 事務的な仕事(企業・官公庁における一般事務、経理、内勤の営業など) (10.4) 4 営業・販売の仕事(小売・卸売店主、店員、不動産売買、保険外交、外勤のセールスなど) (11.5) 5 技能工・生産工程に関わる職業(製品製造・組立て、自動車整備、建設作業員、大工、電気工事、農水産物加工など) (3.3) 6 運輸・通信の仕事(トラック・タクシー運転手、船員、郵便配達、通信士など) (2.9) 7 保安的職業(警察官、消防士、自衛官、警備員など) (2.3) 8 農林漁業に関わる職業 (15.1) 9 サービスの職業(理・美容師、料理人、ウェイトレス、ホームヘルパーなど) (2.1) 10 その他(具体的に) (3.3) 無回答					
④従業員数 (パート・アルバイトなどを含む) (○は1つ)	(11.9) 1 5人未満 (7.4) 2 5人以上10人未満 (12.5) 3 10人以上30人未満	(16.2) 4 30人以上100人未満 (9.9) 5 100人以上300人未満 (4.6) 6 300人以上500人未満	(4.1) 7 500人以上1,000人未満 (16.3) 8 1,000人以上 (5.2) 9 官公庁 (7.2) 10 わからない (4.6) 無回答	※派遣社員や業務委託社員の方は、実際に働いている会社の従業員数をお答えください。		
⑤就労時間 (実数記入)	週平均 (31.98 時間)	(15.8) 10時間未満 (10.2) 20時間未満 (8.8) 30時間未満 (13.5) 40時間未満	(35.7) 50時間未満 (6.7) 60時間未満 (2.0) 70時間未満 (0.6) 80時間未満	(0.2) 90時間未満 (-) 100時間未満 (0.6) 100時間以上 (5.9) 無回答	うち残業時間 週平均 (3.07時間) (30.1) 0時間 (15.3) 5時間未満 (10.3) 10時間未満	(5.5) 15時間未満 (2.3) 15時間以上 (36.4) 無回答
⑥就職時期 (現在の就業先 について) (実数記入)	西暦 (-) 1950年代以前 (3.6) 1980年代 (26.6) 2010年代	(0.2) 1960年代 (9.6) 1990年代 (36.0) 2020年代	(1.1) 1970年代 (15.6) 2000年代 (7.3) 無回答	※26ページの「西暦・元号対比表」をご参照ください。 ※いったん退職した後に同じ会社で再就職した場合には、再就職した時点を記入してください。 ※自営業の場合には、事業を始められた時期を記入してください。		
⑦仕事に対する満足度 (○は1つ)	(20.4) 1 満足 (39.6) 2 まあまあ満足	(14.6) 3 やや不満 (4.2) 4 不満	(18.2) 5 どちらともいえない (3.1) 無回答			

【引き続き、問29で「1」と回答した方へ】

問29-2 あなたの直近の1か月の就労収入(仕事からの税込収入)は、昨年と同じ月と比較して変化していますか。(○は1つ)(N=1,076)

※昨年と同じ月に非就業の場合は、「4 昨年と同じ月は非就業」に○をおつけください。

(52.2) 1 変わらない	(21.7) 2 増えた	(14.7) 3 減った	(2.3) 4 昨年と同じ月は非就業
↳ 問30へお進みください			↳ 問30へお進みください
			(9.1) 無回答

【問29-2で「2」または「3」と回答した方へ】

問29-3 あなたの直近の1か月の就労収入は、昨年と同じ月と比較して何%に変化しましたか。

(実数記入)(N=391)

昨年と同じ月を100%とすると、
直近の1か月の月収は

平均 (97.11%)	%程度
(0.3) 20%未満	(8.4) 80%未満 (14.1) 120%以上
(2.8) 40%未満	(21.5) 100%未満 (7.4) 無回答
(5.1) 60%未満	(40.4) 120%未満

※例えば、昨年と同じ月の収入が税込20万円で、直近の月収が税込25万円に増えている場合は、25/20となるので、「125」%程度と記入してください。昨年と同じ月の収入が税込20万円で、直近の月収が税込15万円に減っている場合は、15/20となるので、「75」%程度と記入してください。

配偶者の方のお仕事についてお伺いします。

【全員の方へ】

問30 あなたの配偶者は、現在収入をとまなう仕事をしていますか。配偶者のいない方は「4 配偶者はいない」をお選びください。(〇は1つ)(N=1,664)

(38.5) 1 している	(2.2) 2 していない(求職中)	} 次ページ問31へお進みください
(18.3) 3 していない(求職活動もしていない)	(37.6) 4 配偶者はいない	

(3.5) 無回答

【問30で「1」と回答した方へ】

問30-1 配偶者の方のお仕事についてお答えください。複数の仕事をお持ちの場合は、主な仕事1つだけについてお答えください。(N=640)※②業種は27ページの「業種分類表」にしたがって回答してください。

①雇用形態 (〇は1つ)	(54.7) 1 正社員・正規職員 (20.0) 4 パート・アルバイト (1.3) 7 自営業の手伝い (8.6) 2 嘱託・契約社員 (4.8) 5 自営業(雇人あり) (-) 8 内職 (1.4) 3 派遣社員 (6.7) 6 自営業(雇人なし) (0.3) 9 その他(具体的に) (2.2) 無回答
②業種 (〇は1つ)	(2.5) 1 農林漁鉱業 (4.4) 4 運輸業、郵便業 (12.5) 7 医療、福祉 (6.6) 2 建設業 (8.3) 5 卸売業、小売業 (15.5) 8 公務、教育、電気水道業 (15.3) 3 製造業 (5.8) 6 宿泊業、飲食サービス業 (23.1) 9 その他サービス業 (6.1) 無回答
③職種 (〇は1つ)	(21.6) 1 専門・技術的職業(医師、看護師、弁護士、教師、技術者、デザイナーなど) (7.8) 2 管理的な仕事(企業・官公庁における課長職以上、議員、経営者など) (18.8) 3 事務的な仕事(企業・官公庁における一般事務、経理、内勤の営業など) (9.2) 4 営業・販売の仕事(小売・卸売店主、店員、不動産売買、保険外交、外勤のセールスなど) (14.4) 5 技能工・生産工程に関わる職業(製品製造・組立て、自動車整備、建設作業員、大工、電気工事、農水産物加工など) (3.8) 6 運輸・通信の仕事(トラック・タクシー運転手、船員、郵便配達、通信士など) (2.7) 7 保安的職業(警察官、消防士、自衛官、警備員など) (2.3) 8 農林漁業に関わる職業 (12.2) 9 サービスの職業(理・美容師、料理人、ウェイトレス、ホームヘルパーなど) (3.4) 10 その他(具体的に) (3.9) 無回答
④従業員数 (パート・アルバイトなどを含む) (〇は1つ)	(12.0) 1 5人未満 (17.3) 4 30人以上100人未満 (5.8) 7 500人以上1,000人未満 (5.9) 2 5人以上10人未満 (8.9) 5 100人以上300人未満 (12.8) 8 1,000人以上 (9.5) 3 10人以上30人未満 (4.4) 6 300人以上500人未満 (5.2) 9 官公庁 (11.7) 10 わからない (6.4) 無回答 ※派遣社員や業務委託社員の方は、実際に働いている会社の従業員数をお答えください。
⑤就労時間 (実数記入)	週平均 (33.31時間) (15.2) 10時間未満 (34.5) 50時間未満 (0.3) 90時間未満 (うち残業時間 週平均 (3.83時間)) (6.3) 20時間未満 (8.6) 60時間未満 (0.2) 100時間未満 (25.9) 0時間 (6.4) 15時間未満 (8.8) 30時間未満 (3.3) 70時間未満 (0.3) 100時間以上 (9.7) 5時間未満 (3.3) 15時間以上 (10.2) 40時間未満 (0.9) 80時間未満 (11.6) 無回答 (6.7) 10時間未満 (48.0) 無回答
⑥就職時期 (現在の就業先について) (実数記入)	西暦 (-) 1950年代以前 (0.2) 1960年代 (1.3) 1970年代 (5.9) 1980年代 (12.0) 1990年代 (16.1) 2000年代 (23.8) 2010年代 (27.0) 2020年代 (13.8) 無回答 ※26ページの「西暦・元号対比表」をご参照ください。 ※いったん退職した後に同じ会社で再就職した場合には、再就職した時点を記入してください。 ※自営業の場合には、事業を始められた時期を記入してください。

問30-2へ

【引き続き、問30で「1」と回答した方へ】

問30-2 配偶者の方の直近の1か月の就労収入（仕事からの税込収入）は、昨年と同じ月と比較して変化していますか。（○は1つ）(N=640)

※昨年と同じ月に非就業の場合は、「4 昨年と同じ月は非就業」に○をおつけください。

(65.8) 1 変わらない	(12.2) 2 増えた	(12.8) 3 減った	(1.4) 4 昨年と同じ月は非就業
↳ 問31へお進みください		↳ 問31へお進みください	

(7.8) 無回答

【問30-2で「2」または「3」と回答した方へ】

問30-3 配偶者の方の直近の1か月の就労収入は、昨年と同じ月と比較して何%に変化しましたか。

(実数記入) (N=160)

昨年と同じ月を100%とすると、直近の1か月の月収は

平均 (93.78%)	%程度	
(0.6) 20%未満	(12.5) 80%未満	(11.3) 120%以上
(2.5) 40%未満	(27.5) 100%未満	(8.1) 無回答
(5.0) 60%未満	(32.5) 120%未満	

※例えば、昨年と同じ月の収入が税込20万円で、直近の月収が税込25万円に増えている場合は、25/20となるので、「125」%程度と記入してください。昨年と同じ月の収入が税込20万円で、直近の月収が税込15万円に減っている場合は、15/20となるので、「75」%程度と記入してください。

収入と支出、社会保険についてお伺いします。

【全員の方へ】

問31 (1) あなたご自身の昨年1年間の就労収入は、およそいくらですか。税金・社会保険料などを差し引かれる前の残業手当、ボーナス、臨時収入、副業収入を含む総収入でお答えください。自営の場合は、売上高などから必要経費を除いた金額を記入してください。収入なしの場合には「0」を記入してください。また、昨年1年間、就労していなかった場合は、「X 昨年1年間は、就労していなかった」に○をおつけください。(実数記入、または○を1つ) (N=1,664)

(2) 配偶者の方の就労収入も、ご記入ください。配偶者のいない方は「Y 配偶者はいない」に○をおつけください。(実数記入、または○を1つ) (N=1,664)

(1)あなた (税込)	(2)配偶者 (税込)
(24.1) 0万円 (6.2) ~500万円未満 (0.9) ~1000万円未満	(16.8) 0万円 (3.7) ~500万円未満 (0.8) ~1000万円未満
(8.8) ~100万円未満 (5.9) ~600万円未満 (1.8) ~1500万円未満	(4.2) ~100万円未満 (4.1) ~600万円未満 (1.1) ~1500万円未満
(9.9) ~200万円未満 (4.9) ~700万円未満 (0.5) ~2000万円未満	(4.2) ~200万円未満 (2.6) ~700万円未満 (0.4) ~2000万円未満
(8.3) ~300万円未満 (2.5) ~800万円未満 (0.1) 2000万円以上	(4.6) ~300万円未満 (2.3) ~800万円未満 (0.2) 2000万円以上
(8.7) ~400万円未満 (2.1) ~900万円未満 (15.2) 無回答	(3.1) ~400万円未満 (1.4) ~900万円未満 (23.4) 無回答
X 昨年1年間は、就労していなかった	X 昨年1年間は、就労していなかった
	(27.0) Y 配偶者はいない

問32 あなたの世帯（あなた自身および生計をともにしているご家族）の昨年1年間の総収入は、どこから得たものですか。次のうちあてはまるものをすべてお答えください。（○はいくつでも）(N=1,664)

(57.8) 1 あなたの就業収入	(1.1) 6 失業給付	(0.7) 11 特別児童扶養手当
(33.3) 2 配偶者の就業収入	(0.2) 7 元夫（妻）からの養育費	(1.1) 12 生活保護
(10.8) 3 その他の世帯員の就業収入	(1.6) 8 親族からの援助	(5.3) 13 財産収入（利子・配当・家賃など）
(31.6) 4 公的年金・恩給	(7.3) 9 児童手当	(0.8) 14 その他（具体的に）
(11.7) 5 個人年金・企業年金	(1.4) 10 児童扶養手当	(1.3) 15 収入はなかった

(8.4) 無回答

問 3 3 あなたの世帯（あなた自身および生計をともにしているご家族）の昨年 1 年間の収入の総額は、およそいくらですか。税金・社会保険料などを差し引かれる前の社会保障給付、贈与、財産収入等を含む総収入（遺産を除く）と、税金・社会保険料などを差し引かれた手取り額でお答えください。

(実数記入) (N=1, 664)

総収入: 税込	(1.3) 0 万円	(7.0) ～500 万円未満	(3.4) ～1000 万円未満
	(2.3) ～100 万円未満	(6.7) ～600 万円未満	(8.1) ～1500 万円未満
	(3.5) ～200 万円未満	(6.5) ～700 万円未満	(2.1) ～2000 万円未満
	(6.9) ～300 万円未満	(4.9) ～800 万円未満	(1.1) 2000 万円以上
	(8.2) ～400 万円未満	(4.4) ～900 万円未満	(33.6) 無回答
手取り:	(1.3) 0 万円	(9.9) ～500 万円未満	(2.1) ～1000 万円未満
	(6.7) ～100 万円未満	(7.6) ～600 万円未満	(3.3) ～1500 万円未満
	(5.7) ～200 万円未満	(6.1) ～700 万円未満	(0.7) ～2000 万円未満
	(10.0) ～300 万円未満	(4.3) ～800 万円未満	(0.2) 2000 万円以上
	(10.5) ～400 万円未満	(3.2) ～900 万円未満	(28.4) 無回答

問 3 4 あなたの世帯（あなた自身および生計をともにしている家族）の、昨年のひと月あたりの支出はどのくらいですか。最も平均的な月についてお答えください。**(実数記入) (N=1, 664)**

ひと月あたり			※支出には次のものを含みます。
(0.3) 5 万円未満	(14.0) ～25 万円未満	(6.0) ～45 万円未満	食費、光熱費、住宅ローンの返済・住宅費（住宅購入費や住宅改修費を除く）、被服費、耐久消費財購入費、交通・通信費、教養娯楽・交際費、医療費
(2.6) ～10 万円未満	(10.3) ～30 万円未満	(1.7) ～50 万円未満	
(7.2) ～15 万円未満	(13.2) ～35 万円未満	(6.8) 50 万円以上	
(10.3) ～20 万円未満	(4.8) ～40 万円未満	(22.7) 無回答	

問 3 5 お宅の家計の収支状況は次のうちどれが最も近いですか。**(○は 1 つ) (N=1, 664)**

(26.5) 1 黒字	(25.4) 2 赤字	(39.5) 3 収支ほぼ拮抗
(8.5) 無回答		

問 3 6 消費者物価が、資源高や穀物価格の上昇、円安による値上げなどの影響を受けて上昇しています。この 1 年間で、お宅の家計では次のようなことがありましたか。**(○はいくつでも) (N=1, 664)**

(41.8) 1 家での食費を切り詰めた	(3.0) 6 生活費のために消費者金融やカードローンでお金を借りた
(1.8) 2 子どもの習い事や塾をやめた・あきらめた	(1.6) 7 その他（具体的に)
(26.3) 3 貯蓄を取り崩す・貯蓄を生活費にあてた	(36.9) 8 どれもなかった
(1.0) 4 家賃や住宅ローンの未払い・滞納があった	
(2.0) 5 電気・ガス・水道等の公共料金の未払い・滞納があった	
(6.9) 無回答	

問 3 7 お宅の家計では金融資産を保有されていますか。保有されている場合の残高はいくらくらいですか。保有されていない場合は「0」とご記入ください。**(実数記入) (N=1, 664)**

(42.4) 0 万円	(4.0) ～200 万円未満	(6.6) ～1000 万円未満
(1.4) ～30 万円未満	(2.9) ～300 万円未満	(7.5) ～2000 万円未満
(0.6) ～50 万円未満	(3.2) ～400 万円未満	(7.6) ～5000 万円未満
(1.2) ～100 万円未満	(1.3) ～500 万円未満	(2.2) 5000 万円以上
(19.2) 無回答		

住居についてお伺いします。

【全員の方へ】

問38 現在のお宅はどのような住居ですか。親族の住居に同居しており、生計をともにしている場合はその住居についてお答えください。(○は1つ)(N=1,664)

(71.4) 1	持ち家(一戸建て)	(2.1) 4	民間の借家(一戸建て)
(1.1) 2	持ち家(定期借地権付 き一戸建て住宅)	(16.5) 5	民間の借家(マンション、 アパート等の集合住宅)
(3.6) 3	持ち家(マンション)	(0.7) 6	住宅供給公社・UR都市機構・ 公営の賃貸住宅
		(1.9) 7	社宅・官舎
		(0.6) 8	その他(具体的に)

→19ページ 問38-13へお進みください
→20ページ問39へお進みください
(2.2) 無回答

【問38で「1~3」と回答した方へ】

問38-1 それはどなたの所有ですか。ご自分からみた続柄でお答えください。(○はいくつでも)(N=1,266)

(51.1) 1	本人(自分)	(4.0) 3	子供	(1.8) 6	兄弟姉妹	(0.9) 8	祖父母、配偶者の祖父母
(34.6) 2	配偶者	(0.6) 4	子供の配偶者	(18.7) 7	親、配偶者の親	(0.6) 9	その他(具体的に)
		(0.1) 5	孫				

(0.9) 無回答

「1」と「2」をどちらも選ばなかった方は、19ページ問38-10へお進みください。

【問38-1で「1」または「2」と回答した方へ】

問38-2 それはどのようにして取得されましたか。(○は1つ)(N=960)

(77.3) 1	自分または配偶者が購入した	(1.5) 3	その他(具体的に)
(17.7) 2	相続または譲渡を受けた		

→19ページ問38-10へお進みください
(3.5) 無回答

【問38-2で「1」または「2」と回答した方へ】

問38-3 それを購入・相続・譲渡された時期はいつでしたか。(実数記入)(N=912)

(-) 1950年代以前	(8.2) 1980年代	(25.1) 2010年代
(0.9) 1960年代	(16.2) 1990年代	(15.1) 2020年代
(3.9) 1970年代	(17.9) 2000年代	(12.6) 無回答

※26ページの「西暦・元号対比表」をご参照ください。

問38-2で「1」と回答した方は、問38-4へ

問38-2で「2」と回答した方は、19ページ問38-10へ

【問38-2で「1」と回答した方へ】 ※問38-2で「2」と回答した方は、19ページ問38-10へお進みください。

問38-4 それを購入した際の購入価格と資金の内訳について、それぞれの金額をご記入ください。(実数記入)

購入価格(総額) (N=742)	(-) 0万円	(2.2) ~1000万円未満	(14.0) ~3000万円未満	(12.4) ~5000万円未満
	(0.5) ~500万円未満	(9.8) ~2000万円未満	(17.5) ~4000万円未満	(8.5) 5000万円以上
【内訳】				(35.0) 無回答
うち 自己資金 (N=482)	(17.0) 0万円	(15.1) ~1000万円未満	(8.1) ~3000万円未満	(2.5) ~5000万円未満
	(27.0) ~500万円未満	(16.8) ~2000万円未満	(4.4) ~4000万円未満	(2.3) 5000万円以上
				(6.8) 無回答
借入金(親族からの 援助を含む) (N=482)	(4.8) 0万円	(6.2) ~1000万円未満	(21.0) ~3000万円未満	(8.9) ~5000万円未満
	(1.7) ~500万円未満	(17.8) ~2000万円未満	(19.7) ~4000万円未満	(5.2) 5000万円以上
				(14.7) 無回答

問38-5へ

「借入金」のない方は、19ページ問38-10へお進みください。

【問38-4で「借入金」のある方へ】

問38-5 借入金（親族からの援助を含む）の利用状況について、それぞれの金額をお答えください。

※利用されていない場合は、「× 利用していない」に○をおつけください。（実数記入、または○を1つ）
(N=388)

①金融機関からの借入金	(3.1) 0万円	(-) ~300万円未満	(5.2) ~1000万円未満	(48.2) ~5000万円未満
	(-) ~100万円未満	(0.8) ~500万円未満	(19.6) ~2000万円未満	(4.9) 5000万円以上
(18.3) 無回答				
②それ以外の借入金	(48.7) 0万円	(0.8) ~300万円未満	(2.8) ~1000万円未満	(1.0) ~5000万円未満
	(-) ~100万円未満	(0.3) ~500万円未満	(1.5) ~2000万円未満	(-) 5000万円以上
(44.8) 無回答				
③親族からの援助	(46.4) 0万円	(0.5) ~300万円未満	(1.5) ~1000万円未満	(1.3) ~5000万円未満
	(-) ~100万円未満	(1.5) ~500万円未満	(3.4) ~2000万円未満	(-) 5000万円以上
(45.4) 無回答				



「①金融機関からの借入金」を利用していない方は、次ページ問38-10へお進みください。

【問38-5で「①金融機関からの借入金」のある方へ】

→問38-6 次のうちの主にどの金融機関から調達されましたか。（○は1つ）**(N=305)**

(74.8) 1 民間金融機関	(22.3) 2 住宅金融支援機構（旧住宅金融公庫）	} 次ページ問38-10へお進みください
(0.7) 3 その他（具体的に)	
(2.3) 無回答		

【問38-6で「1」と回答した方へ】

問38-7 民間金融機関はどちらでしたか。複数ある場合は、主な金融機関1つだけをお答えください。

(○は1つ) (N=228)

※銀行の種別は、28ページの「銀行一覧」をご参照ください。

(23.7) 1 都市銀行	(7.5) 6 信用金庫
(38.6) 2 地方銀行	(0.9) 7 信用組合
(1.3) 3 第二地方銀行	(11.0) 8 労働金庫
(2.6) 4 信託銀行	(6.6) 9 JAバンク（農協・漁協）
(6.6) 5 ネット銀行	(1.3) 10 その他（具体的に
(-) 無回答	

問38-8 その金融機関からの借入金について金利のタイプは次のどれにあてはまりますか。（○は1つ）

(N=228)

(54.4) 1 変動金利型	(2.2) 4 全期間固定金利型（10年以下）
(13.6) 2 固定金利期間選択型（10年以下）	(14.9) 5 全期間固定金利型（10年超）
(11.0) 3 固定金利期間選択型（10年超）	(1.8) 6 その他（具体的に
(2.2) 無回答	

問38-9 その金融機関から借入れたときの金利はおおよそどのくらいでしたか。小数第1位までご記入ください。（実数記入）**(N=228)**

(7.0) ~0.5%未満	(7.9) ~2.0%未満	(2.2) ~3.5%未満	(-) ~5.0%未満
(23.7) ~1.0%未満	(7.5) ~2.5%未満	(1.3) ~4.0%未満	(6.1) ~5.0%以上
(10.1) ~1.5%未満	(2.2) ~3.0%未満	(1.3) ~4.5%未満	
(30.7) 無回答			

問38-10へ

【引き続き、問38で「1～3」と回答した方へ】

問38-10 現在のお住まいについて、3年後のその資産価値はどうかと思いますか。マンションにお住まいの方は専有部分についてのみお答えください。(〇は1つ)(N=1,276)

(30.7) 1 下がる	(13.9) 3 変わらない	} 次ページ問39へお進みください
(8.5) 2 上がる	(33.9) 4 わからない	

(13.0) 無回答

【問38-10で「1」と回答した方へ】

問38-11 下がる幅はおよそどの程度とお考えですか。(〇は1つ)(N=392)

(23.7) 1 5%未満	(24.5) 3 10%以上～20%未満	(11.0) 5 30%以上～50%未満
(18.9) 2 5%以上～10%未満	(4.8) 4 20%以上～30%未満	(10.5) 6 50%以上

(6.6) 無回答



ここまで回答した方は、次ページ問39へお進みください。

【問38-10で「2」と回答した方へ】

→問38-12 上がる幅はおよそどの程度とお考えですか。(〇は1つ)(N=108)

(37.0) 1 5%未満	(0.9) 4 20%以上～30%未満	(-) 7 100%以上
(23.1) 2 5%以上～10%未満	(5.6) 5 30%以上～50%未満	
(24.1) 3 10%以上～20%未満	(2.8) 6 50%以上～100%未満	

(6.5) 無回答



ここまで回答した方は、次ページ問39へお進みください。

【問38で「4～7」と回答した(「持ち家」以外にお住まいの方)へ】

問38-13 ひと月の家賃はどれくらいですか。(千円未満は四捨五入してお答えください。) 支払っていない場合は、「0」とご記入ください。(実数記入)(N=351)

(8.0) 3万円未満	(12.3) ～7万円未満	(7.4) ～9万円未満	(7.4) ～20万円未満
(20.5) ～5万円未満	(10.8) ～8万円未満	(5.4) ～10万円未満	(0.9) 20万円以上
(12.8) ～6万円未満			

(14.5) 無回答

金融機関の利用についてお伺いします。

【全員の方へ】

- 問39 (1) 現在、あなたが預金等をされている銀行等の金融機関は、次のどこですか。(〇はいくつでも)
 (2) 預金等をされている金融機関のうち、最も預金残高が多い金融機関はどこですか。(〇は1つ)
 ※銀行の種別は、28ページの「銀行一覧」をご参照ください。

	(1) 預金等のある金融機関 (いくつでも) (N=1,664) ↓	(2) 預金残高が最も多い金融 機関(1つだけ) (N=1,548) ↓
都市銀行	(34.1)	(17.2)
地方銀行	(54.4)	(31.3)
第二地方銀行	(3.3)	(1.4)
信託銀行	(3.0)	(0.9)
ゆうちょ銀行(郵便局)	(58.4)	(17.4)
ネット銀行	(16.5)	(5.4)
信用金庫	(18.8)	(7.4)
信用組合	(3.1)	(1.0)
労働金庫	(5.3)	(1.7)
JAバンク(農協・漁協)	(14.5)	(4.5)
外国銀行	(0.1)	(0.1)
その他(具体的に)	(0.9)	(0.6)
預金等をしている金融機関はない	(2.0)	

無回答

(5.0)

(11.1)

→ 次ページ問40へお進みください

【問39(1)で「1~12」のいずれかを回答した(預金等をしている金融機関がある)方へ】

- 問39-1 最近1か月で入出金のあった金融機関は、次のどこですか。(〇はいくつでも) (N=1,548)
 ※銀行の種別は、28ページの「銀行一覧」をご参照ください。

(29.5) 1 都市銀行	(13.4) 6 ネット銀行	(-) 11 外国銀行
(47.4) 2 地方銀行	(12.9) 7 信用金庫	(0.6) 12 その他(具体的に)
(2.5) 3 第二地方銀行	(1.3) 8 信用組合	(0.8) 13 この1ヶ月で入出金はない
(1.2) 4 信託銀行	(3.0) 9 労働金庫	
(37.1) 5 ゆうちょ銀行(郵便局)	(9.7) 10 JAバンク(農協・漁協)	

(2.1) 無回答

- 問39-2 問39(2)で回答した、最も預金残高が多い金融機関で利用されているサービスは次のどれですか。(〇はいくつでも) (N=1,376)

(49.9) 1 クレジットカードの引き落とし	(0.8) 9 国債・地方債
(46.9) 2 ATMの利用	(4.4) 10 投資信託
(17.0) 3 スマホ決済	(7.1) 11 NISA・iDeCo
(39.1) 4 給与受取	(7.0) 12 住宅ローン
(25.7) 5 年金受取	(1.2) 13 カードローン
(41.0) 6 口座振替・自動支払	(1.3) 14 資産運用や相続などに関する相談
(28.5) 7 各種の支払い・振込み	(2.6) 15 その他(具体的に)
(22.5) 8 生命保険・損害保険	

(2.6) 無回答

【全員の方へ】

問 4 0 あなたが利用されている金融機関のうち、この1年間で行員等がいる窓口（銀行等の窓口）を利用されているのは次のどこですか。（〇はいくつでも）(N=1, 664)

(12.6) 1 都市銀行	(2.3) 7 信用組合
(30.4) 2 地方銀行	(0.8) 8 労働金庫
(1.8) 3 第二地方銀行	(7.8) 9 JAバンク（農協・漁協）
(0.8) 4 信託銀行	(-) 10 外国銀行
(27.7) 5 ゆうちょ銀行（郵便局）	(0.2) 11 その他（具体的に
(9.9) 6 信用金庫	(32.4) 12 銀行等の窓口の利用はしていない

→ 次ページ問40-8へお進みください

(4.0) 無回答

【問40で「1～11」のいずれかにご回答の（銀行等の窓口を利用する）方へ】

問 4 0 - 1 あなたが銀行等の窓口を利用される目的は次のどれですか。（〇はいくつでも）(N=1, 059)

(51.2) 1 普通預金・通常貯金	(39.8) 10 現金での振込み・払込み
(20.4) 2 定期預金・定額貯金	(19.8) 11 口座振替・自動引落などの決済手続き
(0.5) 3 外貨預金	(9.1) 12 両替
(1.9) 4 国債や投資信託の購入	(1.8) 13 金融商品やサービスに関する情報の入手
(3.9) 5 NISA や iDeCo の利用	(1.4) 14 資産運用や借入れに関する相談
(1.6) 6 保険商品の購入	(1.1) 15 相続・贈与などに関する相談
(1.7) 7 住宅ローンの借入れ	(5.4) 16 住所変更などの諸手続き
(1.0) 8 教育ローンやマイカーローンの借入れ	(3.2) 17 その他（具体的に
(0.7) 9 カードローンの借入れ	

(1.8) 無回答

問 4 0 - 2 あなたが、銀行等の窓口を利用される理由は次のどれですか。（〇はいくつでも）(N=1, 059)

(62.0) 1 銀行等の窓口でしか取引できない用事だから
(20.2) 2 行員や職員のサポートがあり手続きが楽だから
(11.7) 3 行員や職員に相談できるから
(2.8) 4 行員や職員と顔なじみだから
(7.5) 5 他の用事のついでだから
(1.7) 6 ATM やネットバンキングなどでの取引方法がわからないから
(2.3) 7 ネットバンキングのセキュリティが不安だから
(2.0) 8 その他（具体的に

(7.2) 無回答

問 4 0 - 3 あなたが、銀行等の窓口を利用される頻度はどの程度ですか。（〇は1つ）(N=1, 059)

(2.6) 1 週に1回以上	(20.2) 4 半年に1回以上
(19.0) 2 月に1回以上	(34.7) 5 年に1回以上
(15.1) 3 2～3か月に1回以上	(6.0) 6 過去1年間には利用していない

(2.4) 無回答

問 4 0 - 4 へ

【引き続き、問40で「1～11」のいずれかにご回答の（銀行等の窓口を利用する）方へ】

問40-4 あなたが最もよく窓口を利用する金融機関はどれですか。（○は1つ）（N=1,059）

- | | |
|----------------------|----------------------|
| (13.2) 1 都市銀行 | (2.2) 7 信用組合 |
| (34.4) 2 地方銀行 | (0.4) 8 労働金庫 |
| (1.3) 3 第二地方銀行 | (6.6) 9 JAバンク（農協・漁協） |
| (0.6) 4 信託銀行 | (-) 10 外国銀行 |
| (24.4) 5 ゆうちょ銀行（郵便局） | (0.2) 11 その他（具体的に |
| (8.6) 6 信用金庫 |) |

(8.2) 無回答

問40-5 問40-4でご回答の、あなたが最もよく窓口を利用する金融機関は、「どこ」の近くにありますか。複数当てはまる場合は、最も当てはまるものを1つお選びください。（○は1つ）（N=1,059）

- | | |
|----------------------|-----------------------------|
| (63.9) 1 自宅 | (2.7) 4 役所・役場など公的な用事でよく行く場所 |
| (10.8) 2 勤務先・学校 | (9.2) 5 買い物や食事で利用する繁華街やお店 |
| (5.0) 3 ふだん利用する駅やバス停 | (1.7) 6 その他（具体的に |
| |) |

(6.7) 無回答

問40-6 あなたが最もよく窓口を利用する金融機関の店舗は、2年前と同じですか。（○は1つ）（N=1,059）

- | | |
|---------------------------------|-----------|
| (90.0) 1 同じである → 次ページF1へお進みください | (4.5) 無回答 |
| (5.5) 2 変えた | |

【問40-6で「2」と回答した方へ】

問40-7 最もよく窓口を利用する金融機関の店舗を変えた最も大きな理由は次のどれですか。（○は1つ）（N=58）

- | | |
|---|---|
| (22.4) 1 利用していた店舗がなくなったから | (-) 5 サービスが悪いから |
| (5.2) 2 鉄道やバスなどの公共交通の廃止で利用していた店舗へ行くのが不便になったから | (5.2) 6 近くに新しい金融機関の店舗ができたから |
| (50.0) 3 転居したから | (6.9) 7 夕方・夜間・休日にも窓口が開いている店舗を利用するようになったから |
| (-) 4 顔なじみの行員や職員がいなくなったから | (10.3) 8 その他（具体的に |
| |) |

(-) 無回答

⇨ ここまで回答した方は、次ページF1へお進みください。

【問40で「12」と回答した方へ】

問40-8 銀行等の窓口の利用をしていない理由は次のどれですか。（○はいくつでも）（N=539）

- | | |
|---------------------------------------|------------------------|
| (68.1) 1 銀行内のATMを利用しているから | (20.8) 7 営業時間が限られているから |
| (37.3) 2 コンビニ、スーパーや駅ビルなどのATMを利用しているから | (4.6) 8 最寄りの銀行等まで遠いから |
| (22.8) 3 パソコンなどのインターネットバンキングを利用しているから | (8.3) 9 手数料が高いから |
| (27.6) 4 スマホなどの銀行アプリを利用しているから | (13.0) 10 待ち時間が長いから |
| (6.3) 5 コンビニの窓口を利用しているから | (10.0) 11 対面がわずらわしいから |
| (0.6) 6 外交員や渉外担当者を利用しているから | (4.5) 12 その他（具体的に |
| |) |

(3.3) 無回答

F1へ

最後に、あなたとご家族についてお伺いします。

【全員の方へ】

F 1 あなたの性別（出生時の戸籍・出生届の性別）をお知らせください。（○は1つ）(N=1, 664)

※「出生時」とは、生まれたときに最も近い時点のことを指します。

(47.1) 1 男性	(52.9) 2 女性	(-) 無回答
-------------	-------------	-----------

F 2 あなたは現在、ご結婚されていますか。（○は1つ）(N=1, 664)

(59.9) 1 既婚	(24.6) 2 未婚	(14.3) 3 離別・死別	(1.3) 無回答
-------------	-------------	----------------	-----------

F 3 現在、あなたの健康状態は良好ですか。既婚の方は配偶者についてもお答えください。配偶者のいない方は「5 配偶者はいない」をお選びください。（○はそれぞれ1つずつ）(N=1, 664)

	健康である	まあ健康である	あまり健康でない	健康でない	配偶者はいない	無回答
あなた ⇒	(38.2)	(44.2)	(11.3)	(3.8)		(2.5)
配偶者 ⇒	(23.9)	(26.9)	(5.8)	(2.3)	(28.7)	(12.3)

F 4 あなたとあなたの配偶者（離別・死別の場合は元配偶者を含む）の生年月（西暦）と、それぞれのご両親の生年（西暦）と存否を教えてください。（実数記入）(N=1, 664)

	あなた	配偶者
	↓	↓
1930年代以前	(3.5)	(2.6)
1940年代	(12.5)	(9.7)
1950年代	(17.7)	(13.5)
1960年代	(17.5)	(12.9)
1970年代	(18.6)	(12.4)
1980年代	(13.6)	(8.7)
1990年代	(10.5)	(4.9)
2000年代	(5.9)	(0.4)

無回答 (-) (35.0)

	あなたの父親	あなたの母親	配偶者の父親	配偶者の母親
	↓	↓	↓	↓
1900年代以前	(1.3)	(0.5)	(0.8)	(0.4)
1910年代	(2.8)	(2.2)	(2.3)	(1.7)
1920年代	(7.1)	(5.6)	(4.4)	(3.8)
1930年代	(11.4)	(11.6)	(7.3)	(8.1)
1940年代	(14.3)	(14.9)	(7.5)	(8.2)
1950年代	(10.6)	(12.3)	(6.7)	(6.9)
1960年代	(7.8)	(9.1)	(3.7)	(5.1)
1970年代	(3.5)	(5.2)	(0.3)	(0.5)
1980年代	(0.2)	(0.1)	(-)	(0.1)

無回答 (41.0) (38.3) (67.0) (65.1)

	あなたの父親	あなたの母親	配偶者の父親	配偶者の母親
	↓	↓	↓	↓
	(38.5) 1 存命 (46.6) 2 逝去	(49.6) 1 存命 (35.8) 2 逝去	(19.9) 1 存命 (36.2) 2 逝去	(30.5) 1 存命 (24.9) 2 逝去
	(14.8) 無回答	(14.5) 無回答	(43.9) 無回答	(44.5) 無回答
	↓	↓	↓	↓
没年	(N=776)	(N=596)	(N=603)	(N=415)
1930年代以前	(0.1)	(0.3)	(-)	(-)
1940年代	(0.9)	(0.3)	(0.7)	(-)
1950年代	(0.9)	(0.3)	(0.8)	(0.2)
1960年代	(2.6)	(1.2)	(1.8)	(1.0)
1970年代	(3.4)	(3.4)	(3.3)	(1.7)
1980年代	(8.5)	(4.0)	(5.5)	(3.4)
1990年代	(9.7)	(6.9)	(11.8)	(7.0)
2000年代	(47.2)	(54.2)	(42.1)	(48.2)
無回答	(26.8)	(29.4)	(34.0)	(38.6)

F5 あなたとあなたの配偶者（離別・死別の場合は元配偶者を含む）、それぞれのご両親が最後に卒業された学校はどちらですか。下の枠組みの中からあてはまるものを1つ選び、番号をご記入ください。

(N=1,664)

	あなた	あなたの父親	あなたの母親	配偶者	配偶者の父親	配偶者の母親
	↓	↓	↓	↓	↓	↓
中学校(旧制小・高等小)	(5.8)	(21.3)	(20.4)	(4.3)	(12.4)	(12.4)
高等学校(旧制中・旧制高女)	(33.5)	(28.3)	(33.7)	(24.2)	(19.0)	(21.4)
専修学校・各種学校	(10.0)	(3.1)	(4.1)	(6.2)	(0.6)	(1.2)
短大・高等専門学校	(11.4)	(1.7)	(8.1)	(8.7)	(0.8)	(3.4)
大学・大学院(文系)	(19.6)	(10.8)	(4.9)	(13.8)	(5.2)	(3.1)
大学・大学院(理系)	(10.3)	(5.9)	(1.6)	(6.4)	(3.2)	(0.4)
その他(具体的に)	(0.2)	(0.5)	(0.4)	(0.2)	(0.2)	(0.2)
わからない	(0.2)	(13.4)	(12.1)	(0.9)	(15.6)	(15.1)
無回答	(9.1)	(15.0)	(14.6)	(35.3)	(42.9)	(42.8)

F6 ご家族の生計を主として維持している方からみて、あなたは次のどの立場にあたりますか。(○は1つ)

(N=1,664)

(53.2) 1 本人	(0.8) 4 兄弟・姉妹	(11.4) 7 子
(26.9) 2 配偶者	(1.6) 5 親	(0.1) 8 子の配偶者
(0.3) 3 内縁の妻(夫)	(0.2) 6 配偶者の親	(0.3) 9 その他(具体的に)

(5.1) 無回答

F7 あなたのご家庭(住居と生計をともにしている人々)は、あなたも含めて何人ですか。

別居している方は除いてお答えください。(実数記入)(N=1,664)

(16.7) 1人	(31.6) 2人	(22.4) 3人	(16.0) 4人	(6.7) 5人	(1.6) 6人	(0.8) 7人以上
-----------	-----------	-----------	-----------	----------	----------	------------

(4.1) 無回答

F 8 ご自身のお子さん（養子や継子を含む）は全部で何人いらっしゃいますか。生計をともにしている・していないにかかわらず、また、同居・別居に関係なくお答えください。**(実数記入) (N=1, 664)**
 (お子さんがいらっしゃらない場合は「0」とご記入ください。)

(29.3) 0人	(13.5) 1人	(35.5) 2人	(14.1) 3人	(3.2) 4人以上
-----------	-----------	-----------	-----------	------------

(4.4) 無回答

ご自身のお子さんがいらっしゃる方は、次ページF 9へお進みください。

ご自身のお子さんがいらっしゃらない方は、次ページF 10へお進みください。

【ご自身のお子さん（養子や継子を含む）がいらっしゃる方へ】

F 9 それぞれのお子さんの状況について、①～⑤の項目にお答えください。

	1人目 (N=1, 104)	2人目 (N=879)	3人目 (N=289) ※4人以上の場合は末子について
①性別(○は1つ)	(49.5) 1 男 (48.8) 2 女 (1.6) 無回答	(47.3) 1 男 (49.1) 2 女 (3.5) 無回答	(43.9) 1 男 (45.0) 2 女 (11.1) 無回答
②生年月 (西暦) (実数記入)	(1.0) 1950年代以前 (16.8) 2000年代 (6.6) 1960年代 (13.1) 2010年代 (16.4) 1970年代 (5.9) 2020年代 (17.8) 1980年代 (7.5) 無回答 (14.9) 1990年代	(0.6) 1950年代以前 (15.8) 2000年代 (4.6) 1960年代 (12.6) 2010年代 (15.0) 1970年代 (6.6) 2020年代 (21.0) 1980年代 (9.0) 無回答 (14.8) 1990年代	(-) 1950年代以前 (13.1) 2000年代 (2.4) 1960年代 (13.5) 2010年代 (8.3) 1970年代 (6.9) 2020年代 (20.4) 1980年代 (15.2) 無回答 (20.1) 1990年代
③同別居状況 (○は1つ)	(43.3) 1 同居 (52.9) 2 別居 (3.8) 無回答	(41.8) 1 同居 (53.2) 2 別居 (5.0) 無回答	(41.2) 1 同居 (47.8) 2 別居 (11.1) 無回答
④健康状態 (○は1つ)	(88.9) 1 おおむね良好 (5.2) 2 軽い持病あり (0.9) 3 重病・難病あり (1.8) 4 障害あり (3.3) 無回答	(88.9) 1 おおむね良好 (4.1) 2 軽い持病あり (0.8) 3 重病・難病あり (1.7) 4 障害あり (4.6) 無回答	(83.0) 1 おおむね良好 (2.4) 2 軽い持病あり (1.4) 3 重病・難病あり (1.0) 4 障害あり (12.1) 無回答
⑤学校等教育機関 での在籍状況 (○は1つ)	(3.3) 1 認可保育園 (0.4) 2 認可外保育施設 (認証保育園、ベビーホテル等) (0.8) 3 幼稚園 (14.9) 4 小中高校 (国公立) (2.2) 5 小中高校 (私立) (1.2) 6 短大・高専 (9.1) 7 大学・大学院 (0.6) 8 その他教育機関 (38.0) 9 該当なし (29.5) 無回答	(4.1) 1 認可保育園 (0.5) 2 認可外保育施設 (認証保育園、ベビーホテル等) (1.9) 3 幼稚園 (14.6) 4 小中高校 (国公立) (3.8) 5 小中高校 (私立) (0.5) 6 短大・高専 (8.3) 7 大学・大学院 (0.6) 8 その他教育機関 (34.6) 9 該当なし (31.3) 無回答	(3.8) 1 認可保育園 (0.7) 2 認可外保育施設 (認証保育園、ベビーホテル等) (1.4) 3 幼稚園 (14.2) 4 小中高校 (国公立) (1.7) 5 小中高校 (私立) (0.3) 6 短大・高専 (8.0) 7 大学・大学院 (1.4) 8 その他教育機関 (38.4) 9 該当なし (30.1) 無回答

【全員の方へ】

F 10 あなたは現在、どなたと一緒に住まいますか。(○はいくつでも) (N=1, 664)

(57.6) 1 配偶者	(3.2) 5 孫	(0.3) 9 友人・知人
(1.0) 2 内縁の夫(妻)	(16.0) 6 あなたの親	(1.0) 10 その他
(29.6) 3 未婚の子ども	(2.7) 7 配偶者の親	(具体的に)
(6.2) 4 既婚の子ども	(5.8) 8 その他の親族	(16.7) 11 いない(自分1人だけ)

(3.1) 無回答

以上で終了です。ご協力ありがとうございました。

西曆・元号对比表

西曆	元号	西曆	元号	西曆	元号	西曆	元号	西曆	元号
1920年	大正 9年	1941年	昭和16年	1962年	昭和37年	1983年	昭和58年	2004年	平成16年
1921年	大正10年	1942年	昭和17年	1963年	昭和38年	1984年	昭和59年	2005年	平成17年
1922年	大正11年	1943年	昭和18年	1964年	昭和39年	1985年	昭和60年	2006年	平成18年
1923年	大正12年	1944年	昭和19年	1965年	昭和40年	1986年	昭和61年	2007年	平成19年
1924年	大正13年	1945年	昭和20年	1966年	昭和41年	1987年	昭和62年	2008年	平成20年
1925年	大正14年	1946年	昭和21年	1967年	昭和42年	1988年	昭和63年	2009年	平成21年
1926年	大正15年 昭和元年	1947年	昭和22年	1968年	昭和43年	1989年	昭和64年 平成元年	2010年	平成22年
1927年	昭和 2年	1948年	昭和23年	1969年	昭和44年	1990年	平成 2年	2011年	平成23年
1928年	昭和 3年	1949年	昭和24年	1970年	昭和45年	1991年	平成 3年	2012年	平成24年
1929年	昭和 4年	1950年	昭和25年	1971年	昭和46年	1992年	平成 4年	2013年	平成25年
1930年	昭和 5年	1951年	昭和26年	1972年	昭和47年	1993年	平成 5年	2014年	平成26年
1931年	昭和 6年	1952年	昭和27年	1973年	昭和48年	1994年	平成 6年	2015年	平成27年
1932年	昭和 7年	1953年	昭和28年	1974年	昭和49年	1995年	平成 7年	2016年	平成28年
1933年	昭和 8年	1954年	昭和29年	1975年	昭和50年	1996年	平成 8年	2017年	平成29年
1934年	昭和 9年	1955年	昭和30年	1976年	昭和51年	1997年	平成 9年	2018年	平成30年
1935年	昭和10年	1956年	昭和31年	1977年	昭和52年	1998年	平成10年	2019年	平成31年 令和元年
1936年	昭和11年	1957年	昭和32年	1978年	昭和53年	1999年	平成11年	2020年	令和 2年
1937年	昭和12年	1958年	昭和33年	1979年	昭和54年	2000年	平成12年	2021年	令和 3年
1938年	昭和13年	1959年	昭和34年	1980年	昭和55年	2001年	平成13年	2022年	令和 4年
1939年	昭和14年	1960年	昭和35年	1981年	昭和56年	2002年	平成14年	2023年	令和 5年
1940年	昭和15年	1961年	昭和36年	1982年	昭和57年	2003年	平成15年	2024年	令和 6年

業種分類表

1 農林漁鉱業	農業、林業、漁業、水産養殖業、鉱業、採石業、砂利採取業
2 建設業	総合工事業、一般土木建築工事業、土木工事業、舗装工事業、建築工事業、木造建築工事業、建築リフォーム工事業、大工工事業、とび・土木・コンクリート工事業、鉄骨・鉄筋工事業、石工・れんが・タイル・ブロック工事業、左官工事業、板金・金物工事業、塗装工事業、床・内装工事業、その他の職別工事業、電気工事業、電気通信・信号装置工事業、管工事業、機械器具設置工事業、その他の設備工事業
3 製造業	食料品製造業、飲料・たばこ・飼料製造業、繊維工業、木材・木製品製造業、家具・装備品製造業、パルプ・紙・紙加工品製造業、印刷・同関連業、化学工業、石油製品・石炭製品製造業、プラスチック製品製造業、ゴム製品製造業、なめし革・同製品・毛皮製造業、窯業・土石製品製造業、鉄鋼業、非鉄金属製造業、金属製品製造業、はん用機械器具製造業、生産用機械器具製造業、業務用機械器具製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業、電気機械器具製造業、情報通信機械器具製造業、輸送用機械器具製造業、精密機械器具製造業、その他の製造業
4 運輸業、郵便業	鉄道業、道路旅客運送業、道路貨物運送業、水運業、航空運輸業、倉庫業、運輸に附帯するサービス業、郵便業
5 卸売業、小売業	各種商品卸売業、繊維・衣服等卸売業、飲食料品卸売業、建築材料・鉱物・金属材料等卸売業、機械器具卸売業、その他の卸売業、各種商品小売業、織物・衣服・身の回り品小売業、飲食料品小売業、機械器具小売業、その他の小売業、無店舗小売業
6 宿泊業、飲食サービス業	宿泊業、飲食店、持ち帰り・配達飲食サービス業
7 医療、福祉	医療業、保険衛生、社会保険・社会福祉・介護事業
8 公務、教育、電気水道業	国家公務（他に分類されないもの）、地方公務（他に分類されないもの）、学校教育、その他の教育、学習支援業、電気業、ガス業、熱供給業、水道業
9 その他サービス業	情報通信業（通信業、放送業、情報サービス業、インターネット付随サービス業、映像・音声・文字情報制作業）、金融・保険業（銀行業、協同組織金融業、貸金業、クレジットカード業等非預金信用機関、金融商品取引業、商品先物取引業、補助的金融業等、保険業＜保険媒介代理業、保険サービス業を含む＞）、不動産業、物品賃貸業（不動産取引業、不動産賃貸業・管理業、物品賃貸業）、複合サービス事業（郵便局、協同組合＜他に分類されないもの＞）、学術研究、専門・技術サービス業（学術・開発研究機関、専門サービス業＜他に分類されないもの＞）、広告業、技術サービス業＜他に分類されないもの＞）、生活関連サービス業、娯楽業（洗濯・理容・美容・浴場業、その他の生活関連サービス業、娯楽業）、サービス業（他に分類されないもの＜廃棄物処理業、自動車整備業、機械等修理業、職業紹介・労働者派遣業、その他の事業サービス業、政治・経済・文化団体、宗教、その他のサービス業、外国公務＞）、分類不能の産業

銀行一覧

都市銀行	みずほ銀行、三菱UFJ銀行、三井住友銀行、りそな銀行
地方銀行 (北から南の順)	北海道銀行、青森みちのく銀行、秋田銀行、北都銀行、荘内銀行、山形銀行、岩手銀行、東北銀行、七十七銀行、東邦銀行、群馬銀行、足利銀行、常陽銀行、筑波銀行、武蔵野銀行、千葉銀行、千葉興業銀行、きらぼし銀行、横浜銀行、第四北越銀行、山梨中央銀行、八十二銀行、北陸銀行、富山銀行、北國銀行、福井銀行、静岡銀行、スルガ銀行、清水銀行、大垣共立銀行、十六銀行、三十三銀行、百五銀行、滋賀銀行、京都銀行、関西みらい銀行、池田泉州銀行、南都銀行、紀陽銀行、但馬銀行、鳥取銀行、山陰合同銀行、中国銀行、広島銀行、山口銀行、阿波銀行、百十四銀行、伊予銀行、四国銀行、福岡銀行、西日本シティ銀行、北九州銀行、筑邦銀行、佐賀銀行、十八親和銀行、肥後銀行、大分銀行、宮崎銀行、鹿児島銀行、琉球銀行、沖縄銀行
第二地方銀行 (北から南の順)	北洋銀行、きらやか銀行、北日本銀行、仙台銀行、福島銀行、大東銀行、東和銀行、栃木銀行、京葉銀行、東日本銀行、東京スター銀行、神奈川銀行、大光銀行、長野銀行、富山第一銀行、福邦銀行、静岡中央銀行、あいち銀行、名古屋銀行、みなと銀行、島根銀行、トマト銀行、もみじ銀行、西京銀行、徳島大正銀行、香川銀行、愛媛銀行、高知銀行、福岡中央銀行、佐賀共栄銀行、長崎銀行、熊本銀行、豊和銀行、宮崎太陽銀行、南日本銀行、沖縄海邦銀行
信託銀行	三菱UFJ信託銀行、みずほ信託銀行、三井住友信託銀行、野村信託銀行、ニューヨークメロン信託銀行、日本マスタートラスト信託銀行、オリックス銀行、ステート・ストリート信託銀行、SMBC信託銀行、農中信託銀行、新生信託銀行、日証金信託銀行、日本カストディ銀行
ネット銀行	PayPay銀行、ソニー銀行、楽天銀行、住信SBIネット銀行、GMO あおぞらネット銀行 auじぶん銀行、大和ネクスト銀行、イオン銀行、ローソン銀行、セブン銀行、みんなの銀行、UI銀行、SBJ銀行
その他	あおぞら銀行、SBI新生銀行、埼玉りそな銀行、ゆうちょ銀行